授業評価アンケート報告集
2023年度

長崎総合科学大学
授業評価実施委員会

アンケート実施期間と調査方法

１．前期：２０２３年7月１８日（火）～8月１２日（金）
２．後期：２０２４年1月１７日（水）～2月２２日（木）
３．調査方法：AAA-Web ポータルシステムを利用したＷｅｂ回答方式

授業評価アンケート質問項目

〇授業計画・方法について

1. この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。(シラバス・ルーブリック・ガイダンス等)
2. カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、「なぜこの科目が必要なのか」「この科目は何に役立つのか」という動機付けの説明を、教員から充分受けることができましたか。
3. 授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
4. 授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。(履修条件の前提科目の指定等含む)
   【５：難しい　４：やや難しい　３：適切　２：やや易しい　１：易しい】
5. 授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。(板書・口頭での説明・ICT の活用・配布物や教科書等)

〇授業環境について

6. 教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか。
7. 休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
   【５：休講なし　４：休講があったが相談・合意の上で補講実施　３：休講があり相談はあったが教員の都合で補講実施　２：休講があったが相談なく土曜以外で補講実施　１：休講があったが補講なし】
8. 教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。(私語の制止・静穏の確保・質問を促す等)

〇自己評価

9. 授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
10. 授業に出席し、積極的または主体的に参加できた回数を教えてください。

〇その他

11. 授業を受けての感想や要望、疑問点を自由に記載してください。

〇選択肢（４，７を除く）

【５：良い・できた　４：まぁ良い・まぁできた　３：普通　２：あまり良くない・あまりできなかった　１：良くない・できなかった】

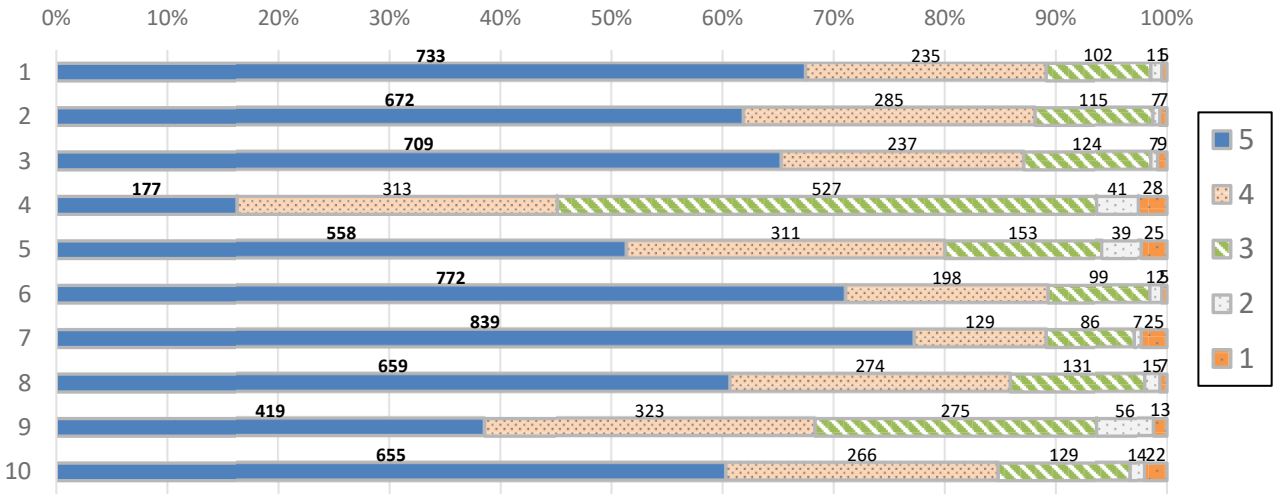
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	
授業科目名	2023年度前期全科目平均
担当者	
所属	

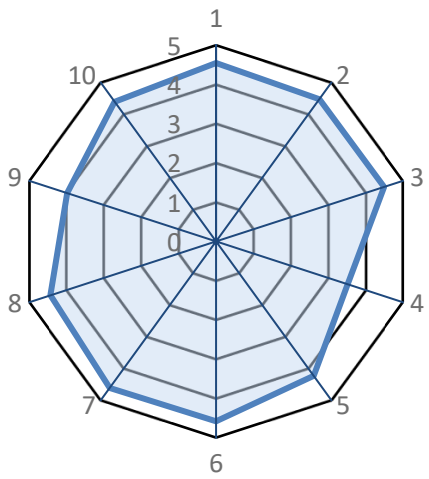
調査実施日	2023年7月
回答者数	1086
対象者数	5560

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

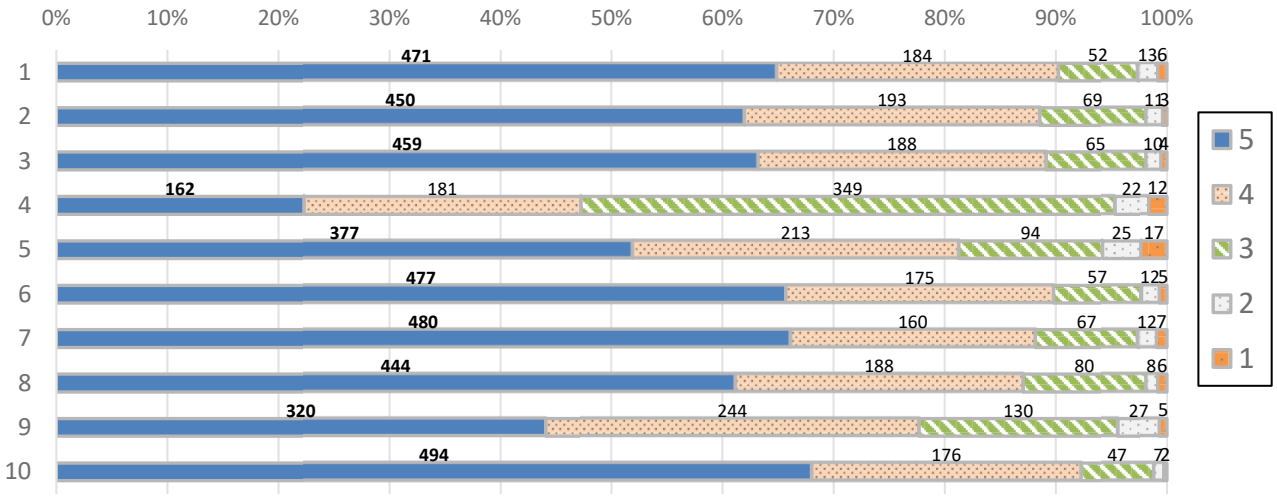
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	
授業科目名	2023年度後期全科目平均
担当者	
所属	

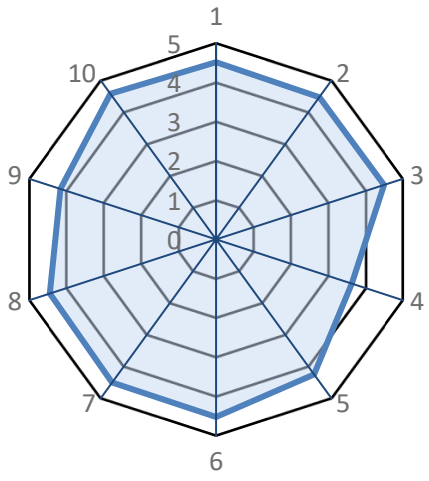
調査実施日	2024年2月
回答者数	726
対象者数	5560

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

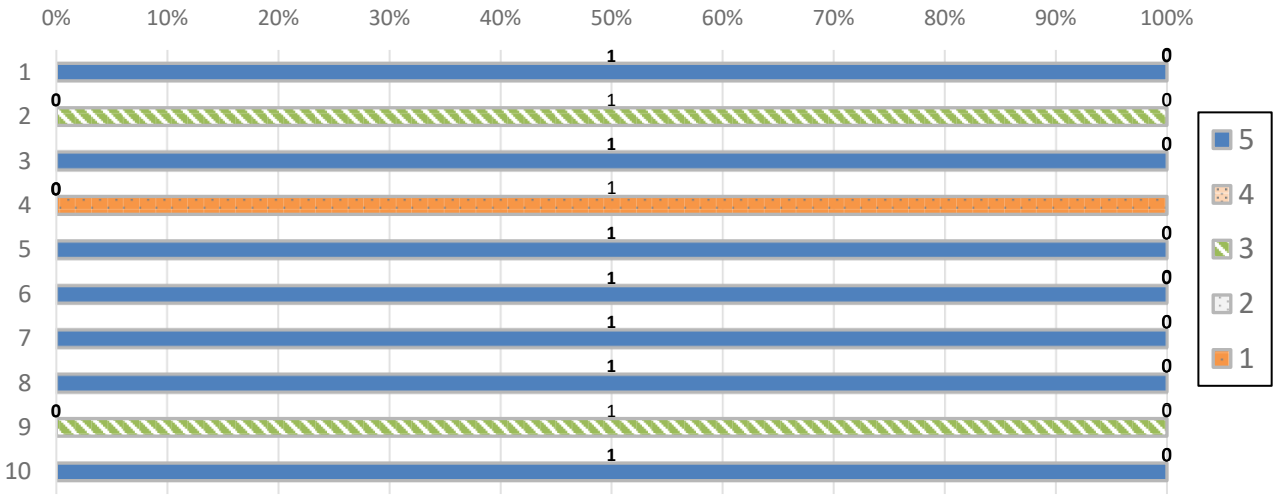
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16110
授業科目名	保健体育実技Aa
担当者	岡　茂行
所属	共通教育

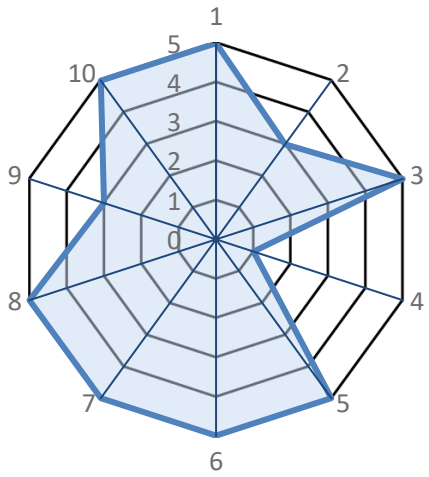
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	20

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね良好と思われる。1年生前期の授業であること、体育実技の特異性を考え、健康管理・体力向上を目的に運動を実施し、学生同士のコミュニケーションを充実させ、仲間作りなどこれからの大学生活を有意義におくれれるように指導していきたい。

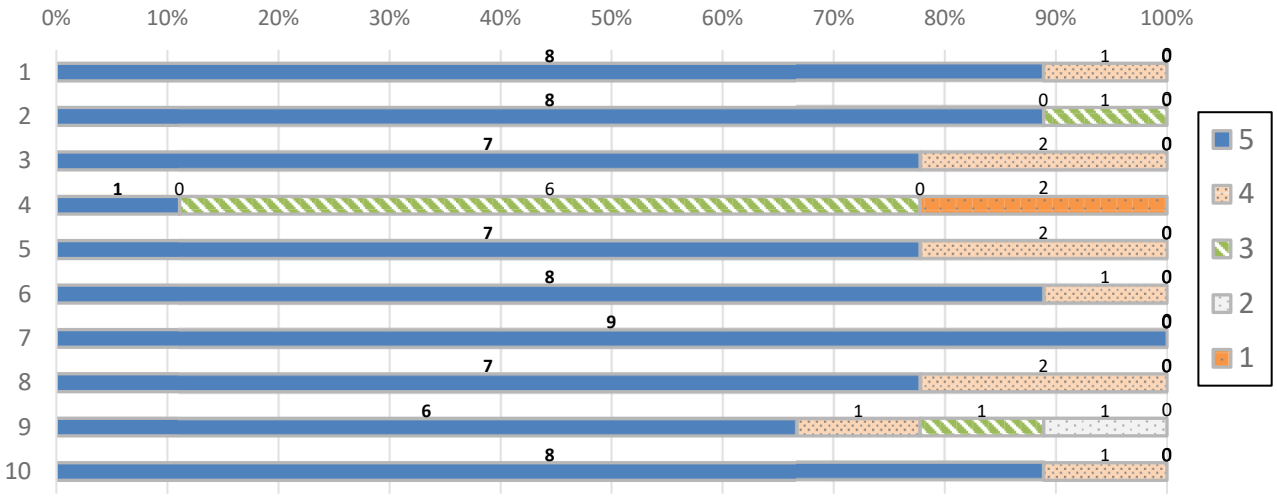
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16116
授業科目名	保健体育実技Ab
担当者	岡　茂行
所属	共通教育

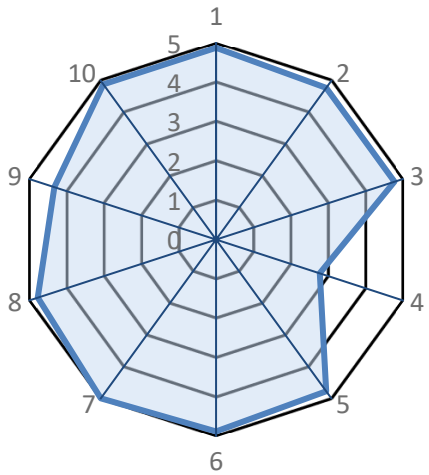
調査実施日	2023年7月
回答者数	9
対象者数	37

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね良好と思われる。1年生前期の授業であること、体育実技の特異性を考え、健康管理・体力向上を目的に運動を実施し、学生同士のコミュニケーションを充実させ、仲間作りなどこれからの大学生活を有意義におくれれるように指導していきたい。

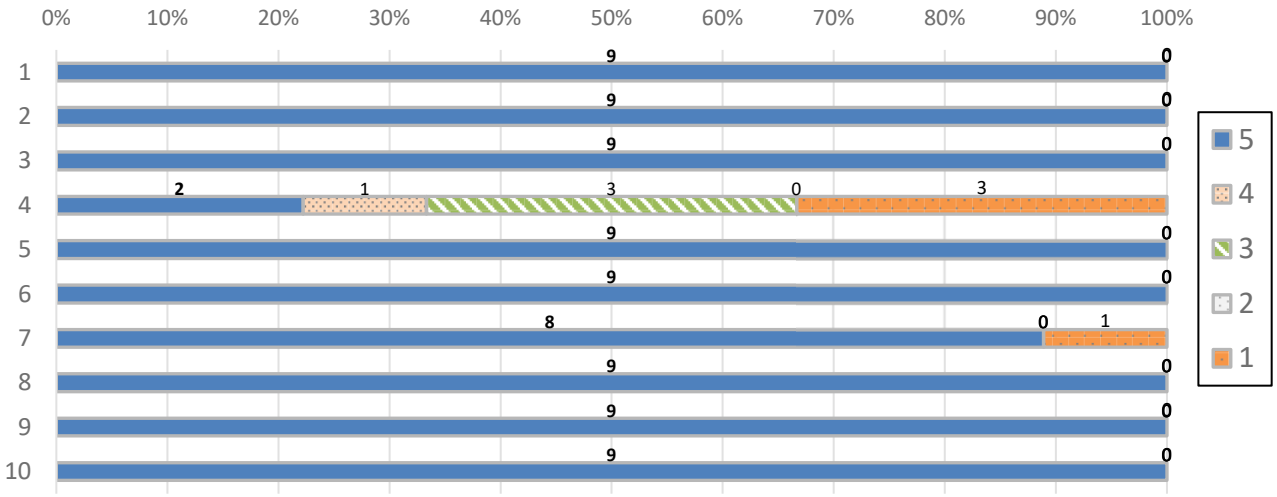
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16118
授業科目名	保健体育実技Ac
担当者	岡　茂行
所属	共通教育

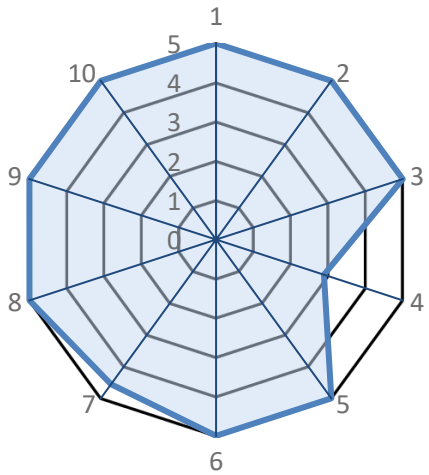
調査実施日	2023年7月
回答者数	9
対象者数	32

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね良好と思われる。1年生前期の授業であること、体育実技の特異性を考え、健康管理・体力向上を目的に運動を実施し、学生同士のコミュニケーションを充実させ、仲間作りなどこれからの大学生活を有意義におくれれるように指導していきたい。

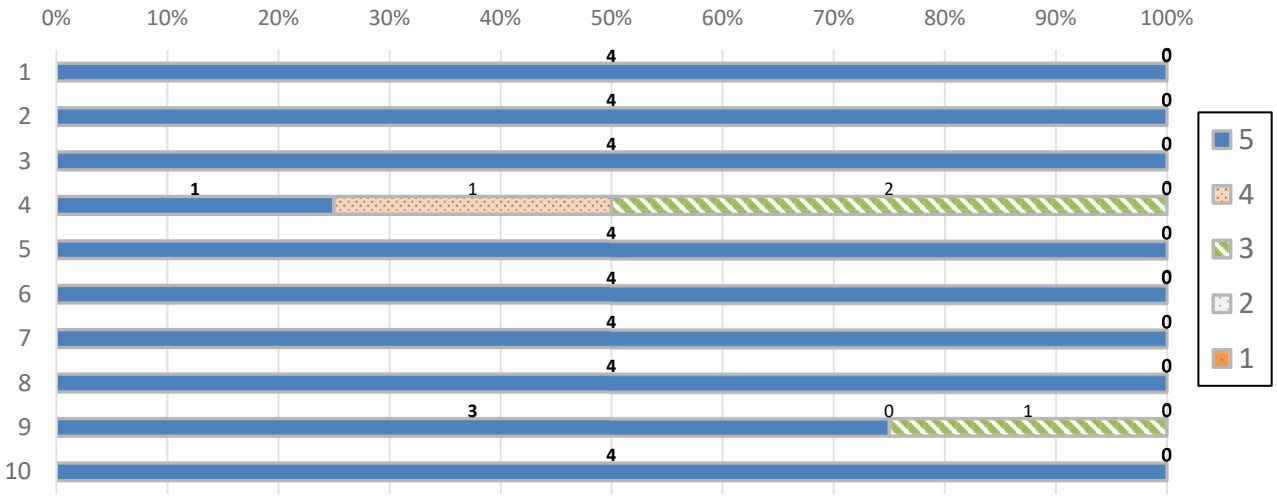
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17112
授業科目名	日本語ＩＡ　1組
担当者	桑戸　孝子
所属	共通教育

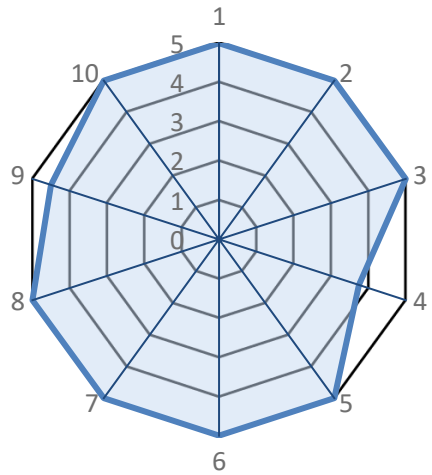
調査実施日	2023年7月
回答者数	4
対象者数	16

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

16名の受講者のうち、回答者は4名のみであった。そのため、本科目受講者全員の傾向を知ることはできない。回答してくれた4名については、概ね肯定的な評価である。

最も数値が悪いのは、設問4の「授業内容の量および難度」である。1名が難しい、1名がやや難しいと答えている。本科目では日本語能力試験N2の文字語彙の導入も組み込んでいるが、それがかなりの分量となるため、このような反応となったのだろうと考える。分量を減らすことはできないが、繰り返し学習できるように復習の時間も取り入れていきたいと思う。

次に、設問9の「自己学習」については1名「普通」と回答している。毎回予習復習の指示は出しているが、当該学生が十分にやったと実感できるものではなかったの

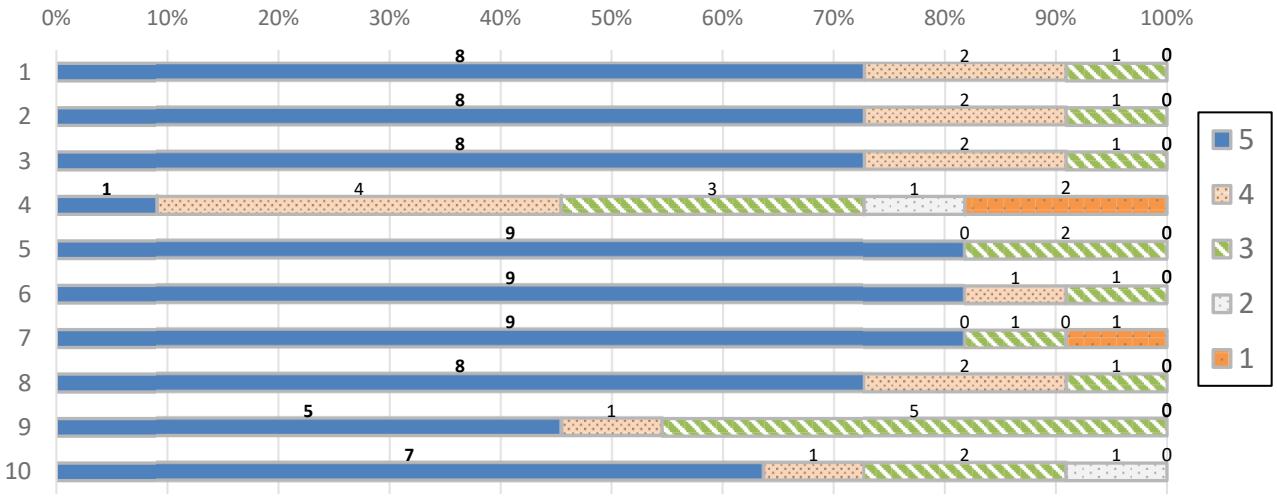
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16108
授業科目名	大学生入門a
担当者	古川　直子
所属	共通教育

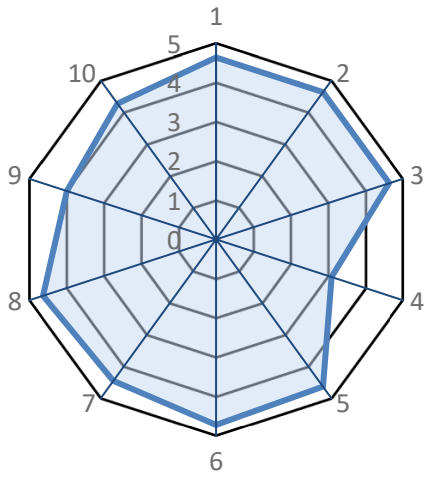
調査実施日	2023年7月
回答者数	11
対象者数	39

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「問9」の自己学修が、他の項目に比べて少し点数が低いため、もう少し課題を増やしてもよいかもしれない。

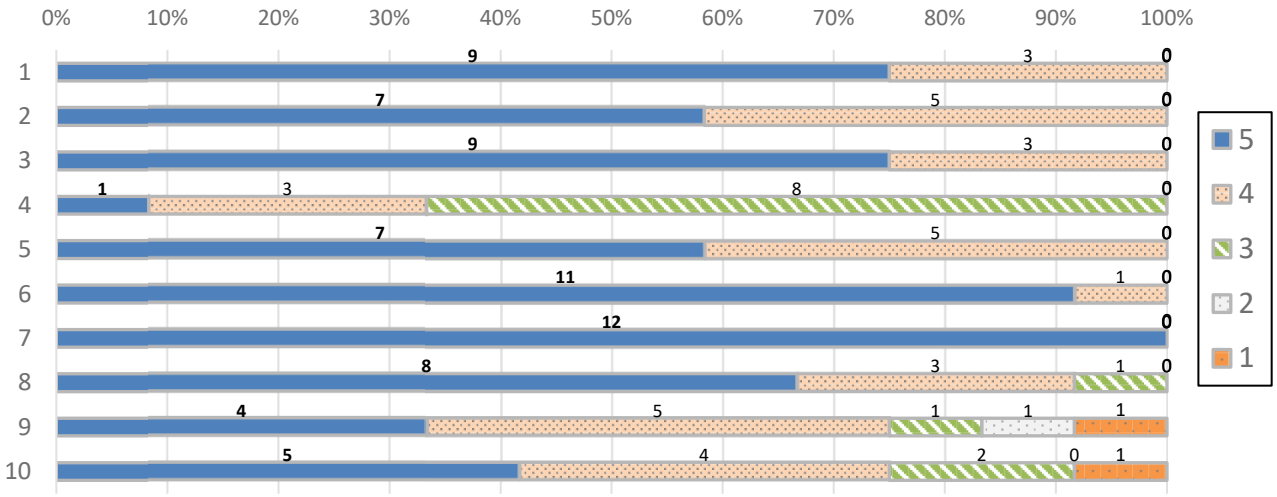
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16112
授業科目名	大学生入門b
担当者	古川　直子
所属	共通教育

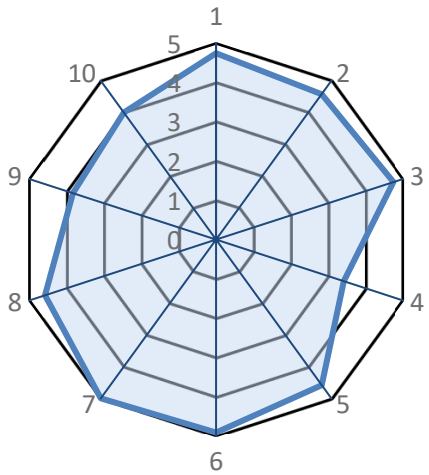
調査実施日	2023年7月
回答者数	12
対象者数	34

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「問9」の自己学修と「問10」の主体的参加についての項目が、他に比べて少し点数が低めであるため、課題などをもう少し増やしてもよかったかもしれない。

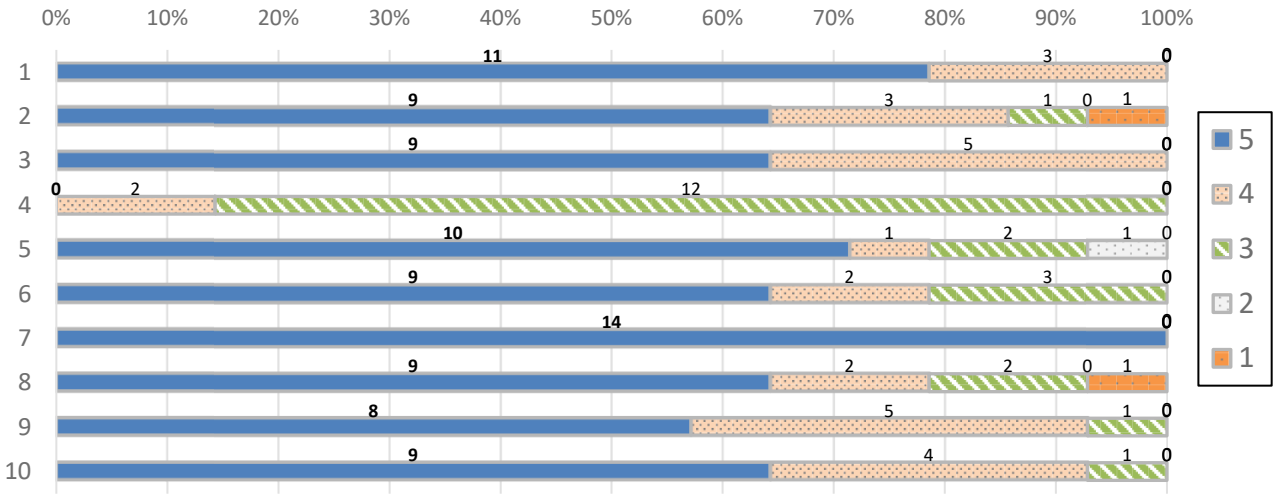
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16129
授業科目名	社会学Ⅰ
担当者	古川　直子
所属	共通教育

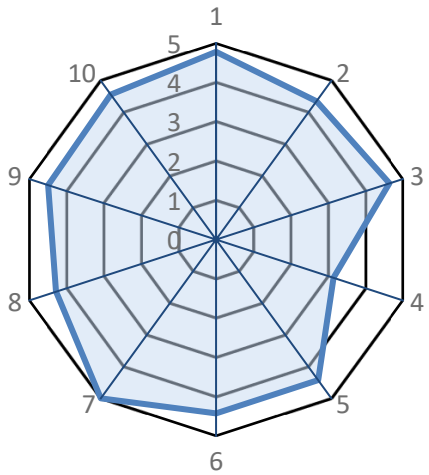
調査実施日	2023年7月
回答者数	14
対象者数	95

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体として、概ね問題はないように思われる。なお、自由記述欄に、教員の具体的な言動を捏造したコメント（一名）が見られたことは残念であった。「重い荷物を持ってあげようとしたら、差別者呼ばわりされた」「特定の思想のもとで話し合うことを強要された」といった記述である。匿名アンケート自体にはもちろん意義があるが、評価者のモラルに頼った制度運用には、限界があるのではないかと思わされた。

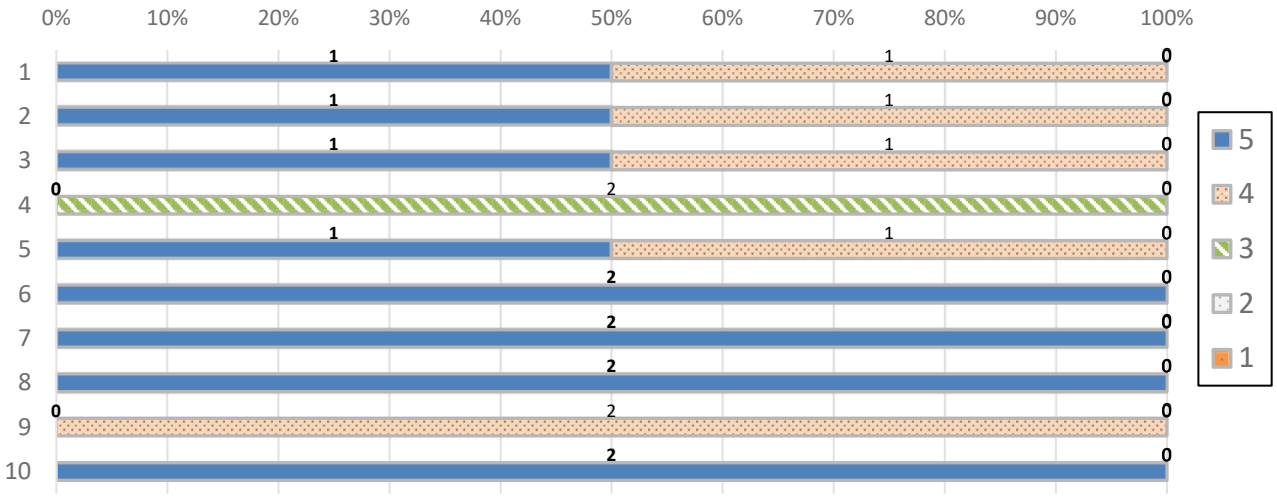
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16121
授業科目名	社会科学ゼミⅠａ
担当者	古川　直子
所属	共通教育

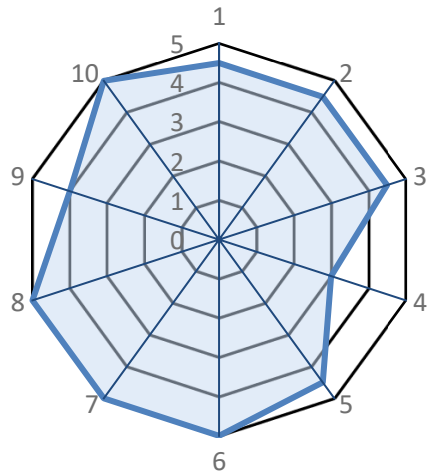
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	9

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「問9」の自己学修が、他の項目に比べて少し点数が低いため、もう少し課題を増やしてもよいかもしれない。

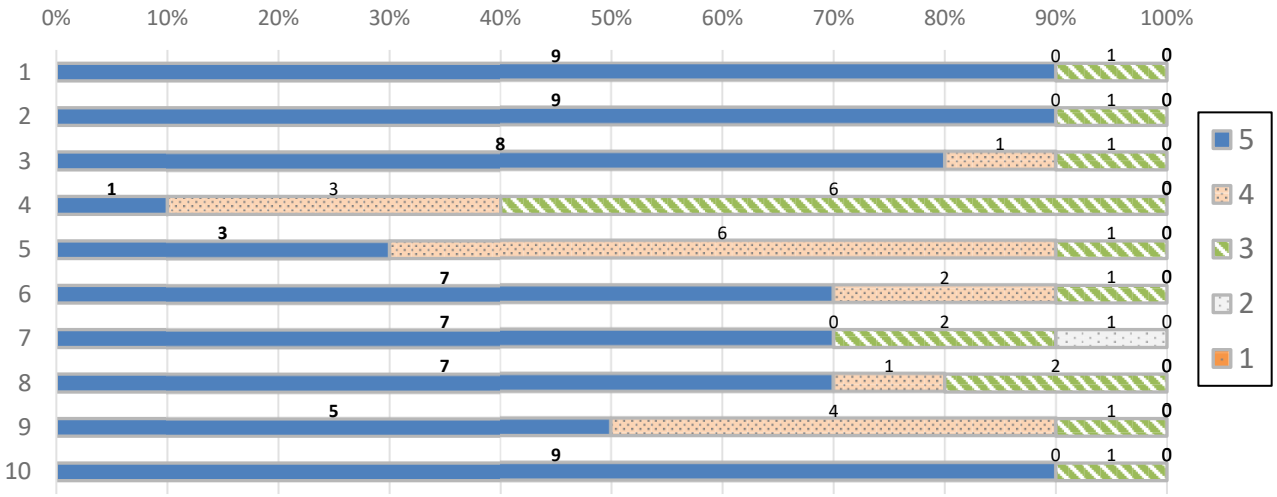
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15142
授業科目名	情報基礎　2組
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

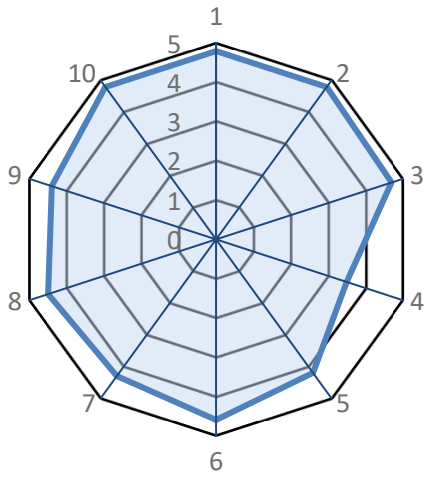
調査実施日	2023年7月
回答者数	10
対象者数	28

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・現状でも特段の問題はないように見える。
・Q7 についてだが、教員都合の休講は一度もしていない。なぜ、休講があったという回答があるのか理解に苦しむ。事務局で責任を持って回答をした本人に照会して頂きたい。　・この講義はコンピュータ関連のアップデートに伴い、毎年内容の更新が必要である。今まではクラス分けのために大幅な変更はできてないが、そろそろ改訂が必要になっているように思う。
・情報基礎は「クラス分け」であり、講義内容は同一である。回答数がある程度集まれば、同じ傾向となるはずである。

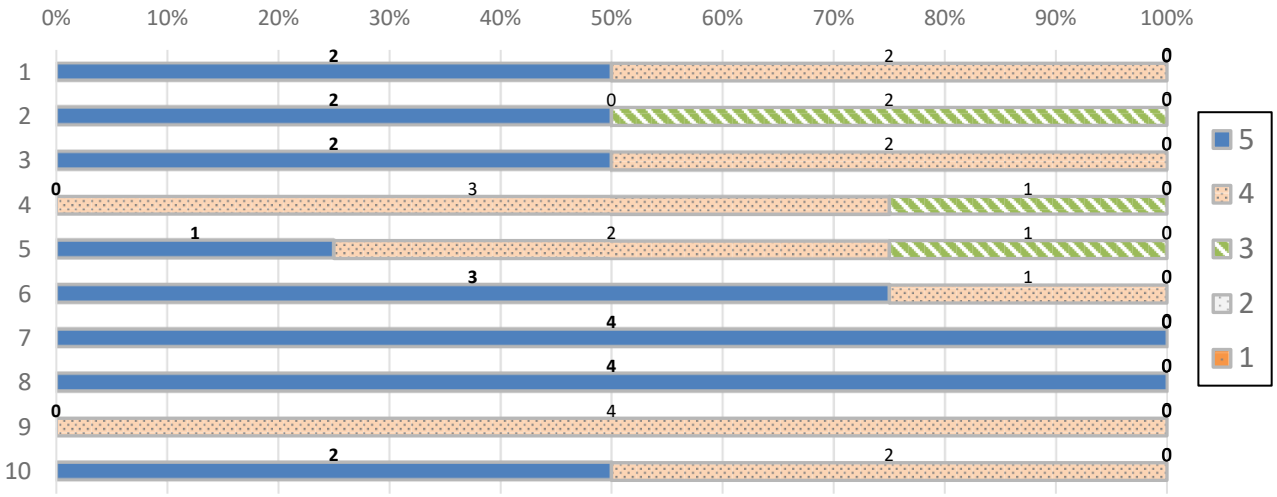
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15146
授業科目名	情報基礎　6組
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

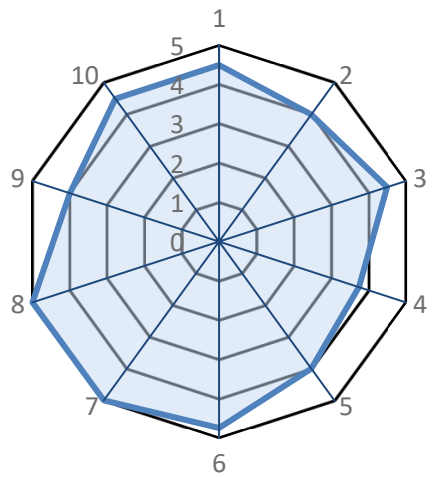
調査実施日	2023年7月
回答者数	4
対象者数	43

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・回答数が1割未満なので偏っていると思うが、現状でも特段の問題はないように見える。
・この講義はコンピュータ関連のアップデートに伴い、毎年内容の更新が必要である。今まではクラス分けのために大幅な変更はできてないが、そろそろ改訂が必要になっているように思う。
・情報基礎は「クラス分け」であり、講義内容は同一である。回答数がある程度集まれば、同じ傾向となるはずである。

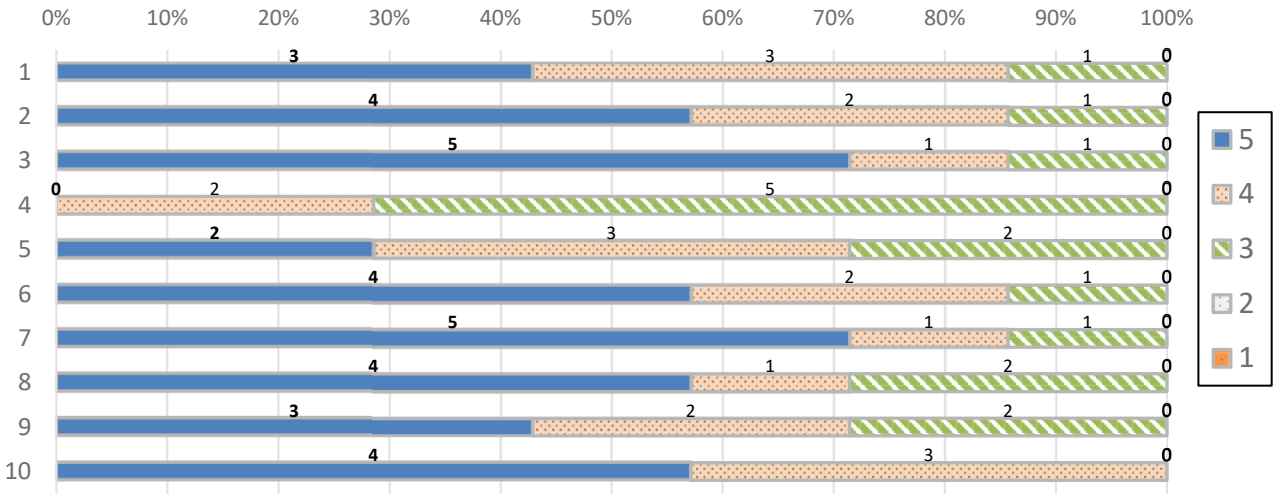
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15149
授業科目名	情報基礎　8組
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

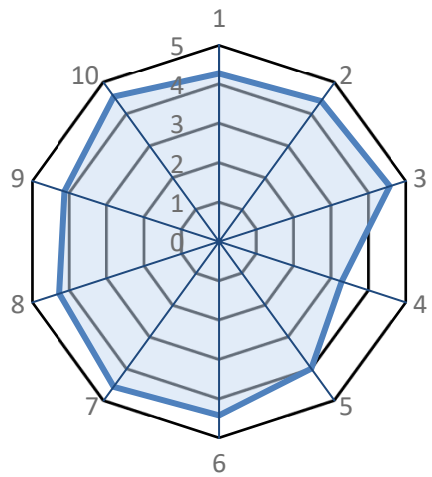
調査実施日	2023年7月
回答者数	7
対象者数	29

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・現状でも特段の問題はないように見える。
・Q7 についてだが、教員都合の休講は一度もしていない。なぜ、休講があったという回答があるのか理解に苦しむ。事務局で責任を持って回答をした本人に照会して頂きたい。　・この講義はコンピュータ関連のアップデートに伴い、毎年内容の更新が必要である。今まではクラス分けのために大幅な変更はできてないが、そろそろ改訂が必要になっているように思う。
・情報基礎は「クラス分け」であり、講義内容は同一である。回答数がある程度集まれば、同じ傾向となるはずである。

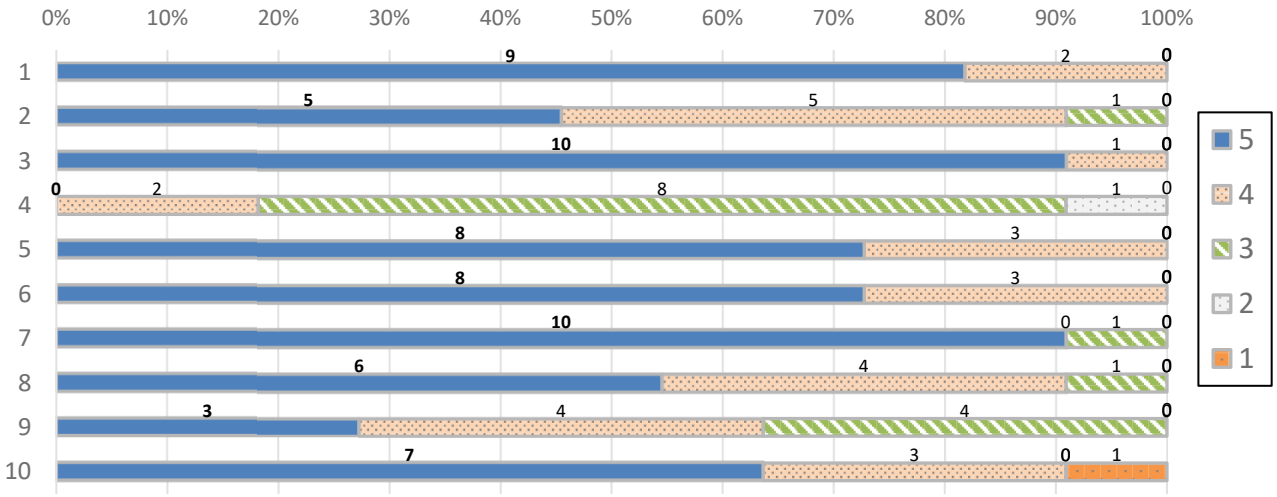
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16127
授業科目名	政治学
担当者	山口　響
所属	共通教育

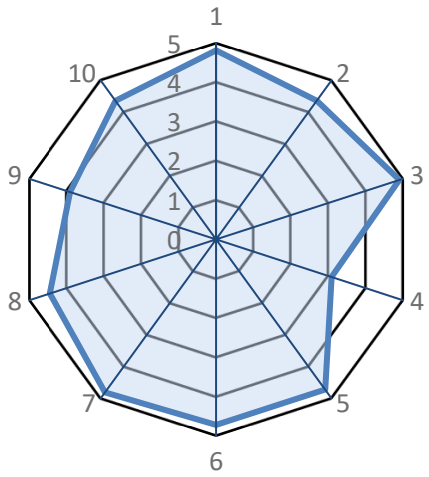
調査実施日	2023年7月
回答者数	11
対象者数	52

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートの表面上はおおむね及第点と見てよいかもしれないが、そもそもアンケートを提出した学生自体が少ない。授業への満足度が高い学生はアンケートにより積極的に回答する傾向にあると見られるため、アンケート結果の表面にとらわれず、より満足度をあげる取り組みを行いたい。

従来よりは授業内容をある程度簡素なものにしてきたが、Q4の回答からすると、より内容を絞り込んだ方がよいかもしれない。

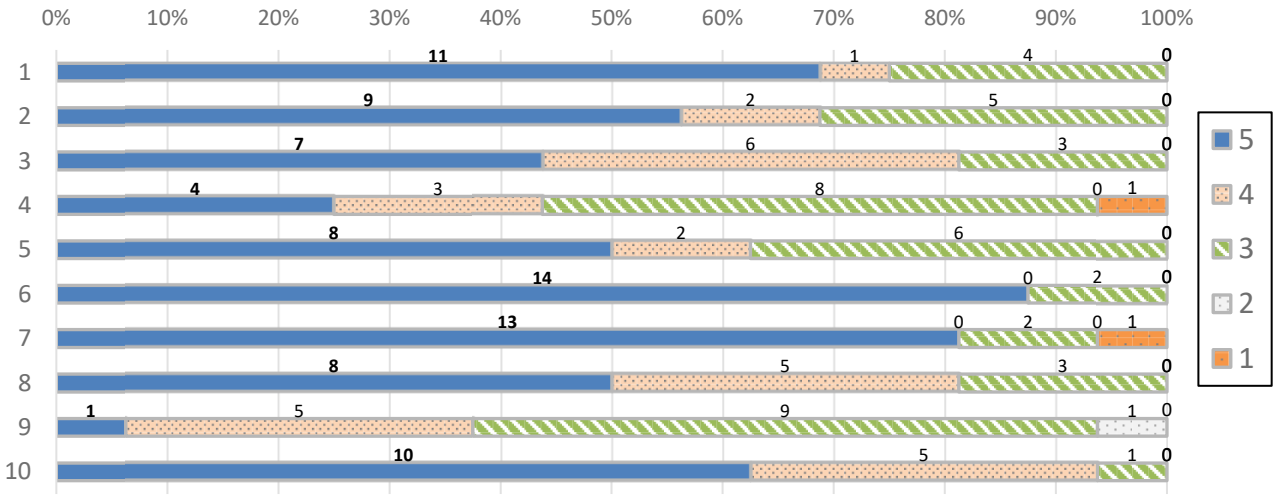
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16103
授業科目名	憲法Ⅰ
担当者	西津　佐和子
所属	共通教育

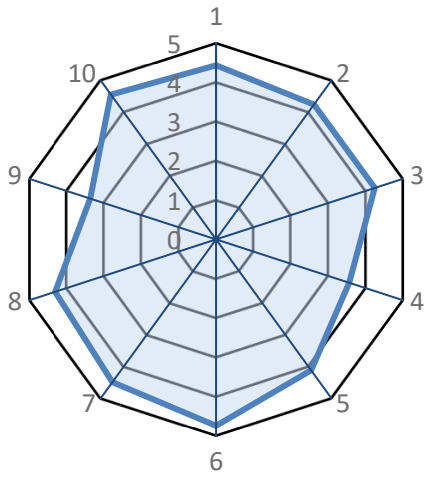
調査実施日	2023年7月
回答者数	16
対象者数	71

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

本学で講義を担当するのは初めてであったため、学生達の基礎学力や理解力を把握したり、教室の設備の特性に適応することに多くの時間を要した。大学教育としての質を落とすことなく、学生の理解力に合わせた分量や教授方法を選定し直す必要性を強く感じた。

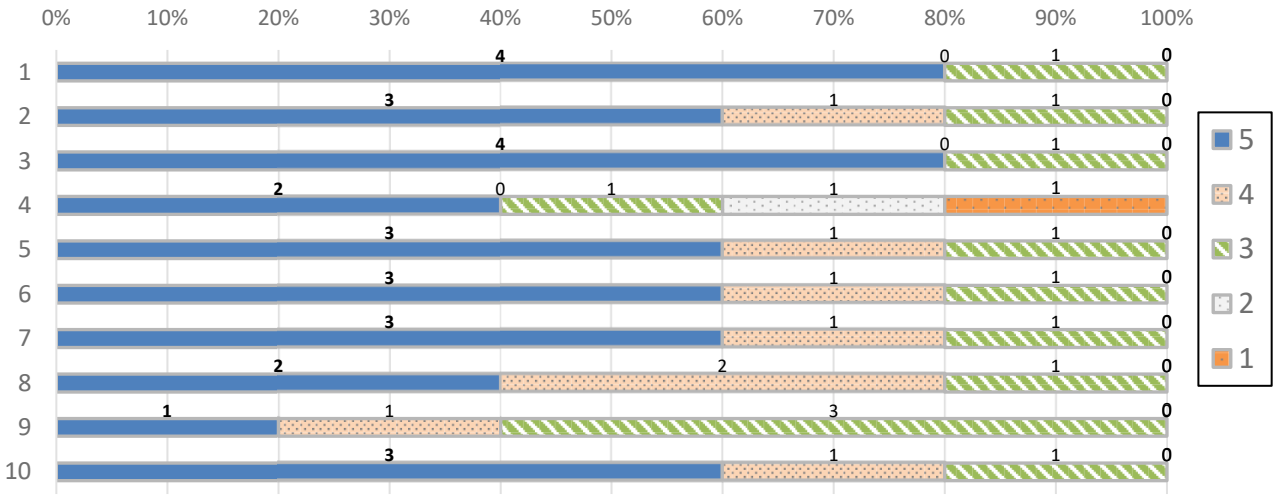
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17102
授業科目名	基礎英語ＩＡ　4組
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

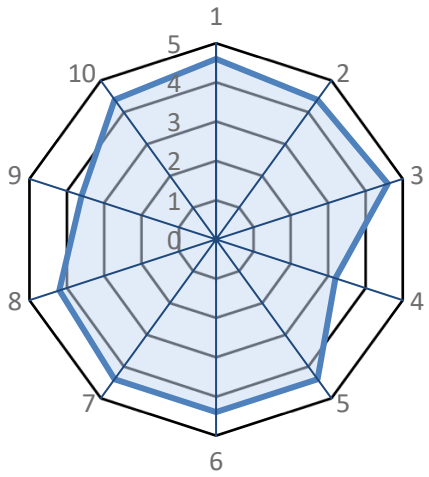
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、「やや易しい」「易しい」という低い評価が目立つ。実際、現在の教科書はリメディアル的な特徴が強く、当該クラスの習熟度に対し平易ではないかという感触も年々強くなっている。教員として現在の教科書を用いるなかで工夫は続けているが、教科書自体について検討する余地もあるのではないか。

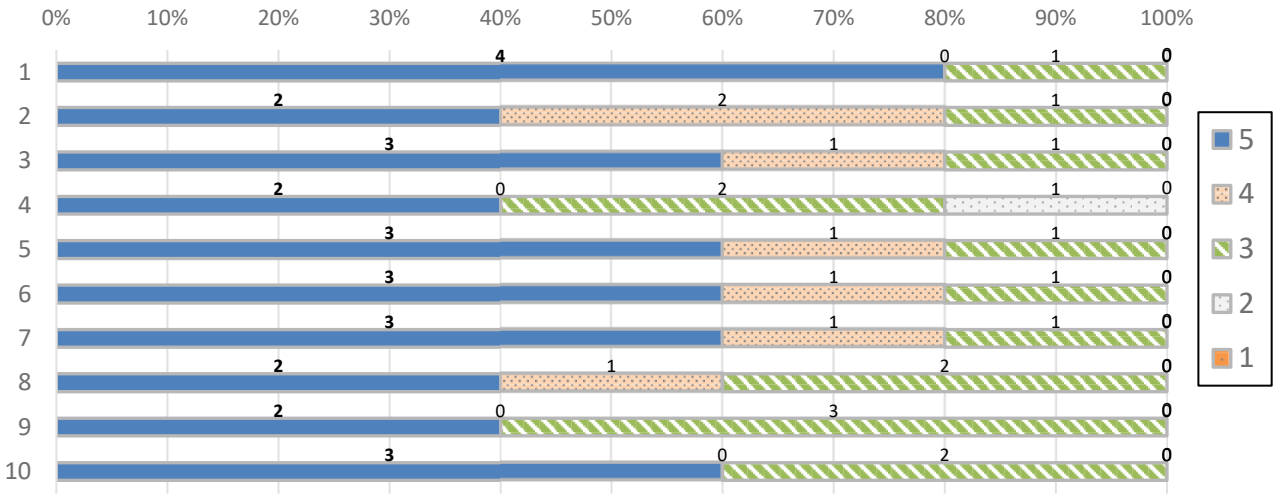
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17109
授業科目名	基礎英語ＩＢ　4組
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

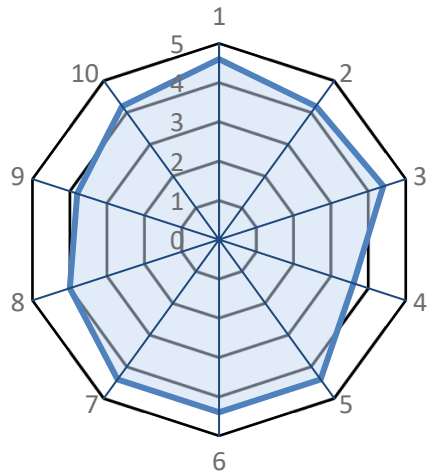
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、「やや易しい」「易しい」という低い評価が目立つ。実際、現在の教科書はリメディアル的な特徴が強く、当該クラスの習熟度に対し平易ではないかという感触も年々強くなっている。教員として現在の教科書を用いるなかで工夫は続けているが、教科書自体について検討する余地もあるのではないか。

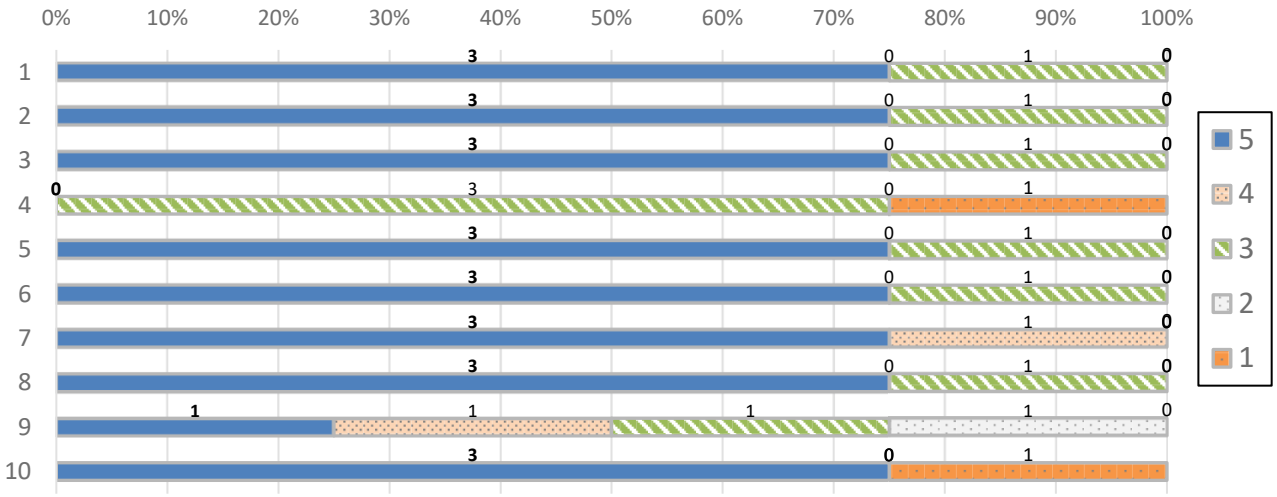
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17205
授業科目名	英語ＩＢ　6組
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

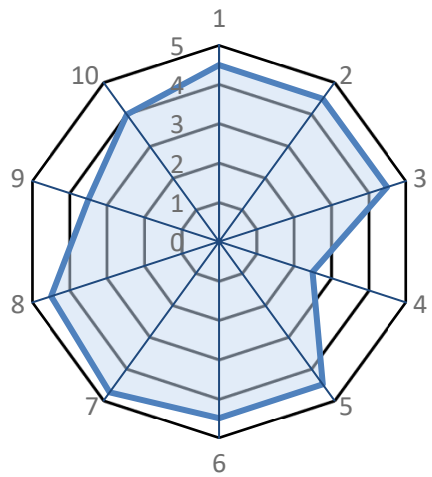
調査実施日	2023年7月
回答者数	4
対象者数	30

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、「易しい」という低い評価が目立つ。当該6組は習熟度が低いとされるクラスだが、その中に過年度のより高いクラスにいた再履修や初登録の学生が混在してしまう。教員としては、当該クラスに対し基礎的英語力の確認と補強に重点を置きながら授業を進め、Q9「授業以外の自己学修」にも働きかけたい。またQ10との関係では、高いクラスにいた学生は授業の出席率が課題であることが多いため、その点にも目配りしたい。

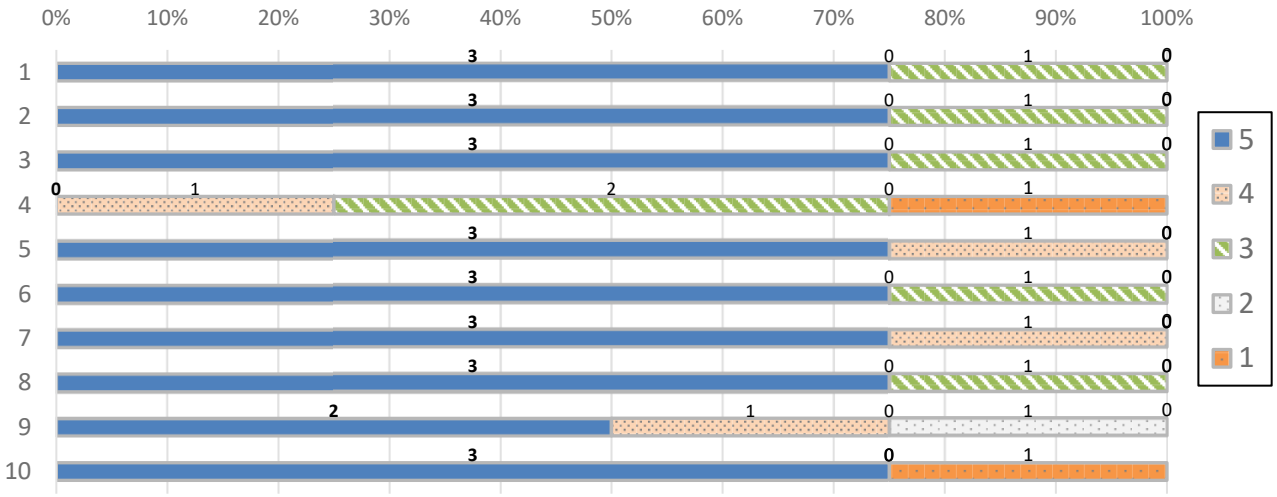
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17208
授業科目名	英語ＩＡ　6組
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

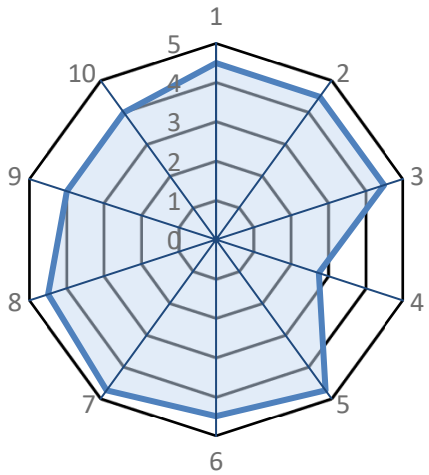
調査実施日	2023年7月
回答者数	4
対象者数	30

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、「易しい」という低い評価が目立つ。当該6組は習熟度が低いとされるクラスだが、その中に過年度のより高いクラスにいた再履修や初登録の学生が混在してしまう。教員としては、当該クラスに対し基礎的英語力の確認と補強に重点を置きながら授業を進め、Q9「授業以外の自己学修」にも働きかけたい。またQ10との関係では、高いクラスにいた学生は授業の出席率が課題であることが多いため、その点にも目配りしたい。

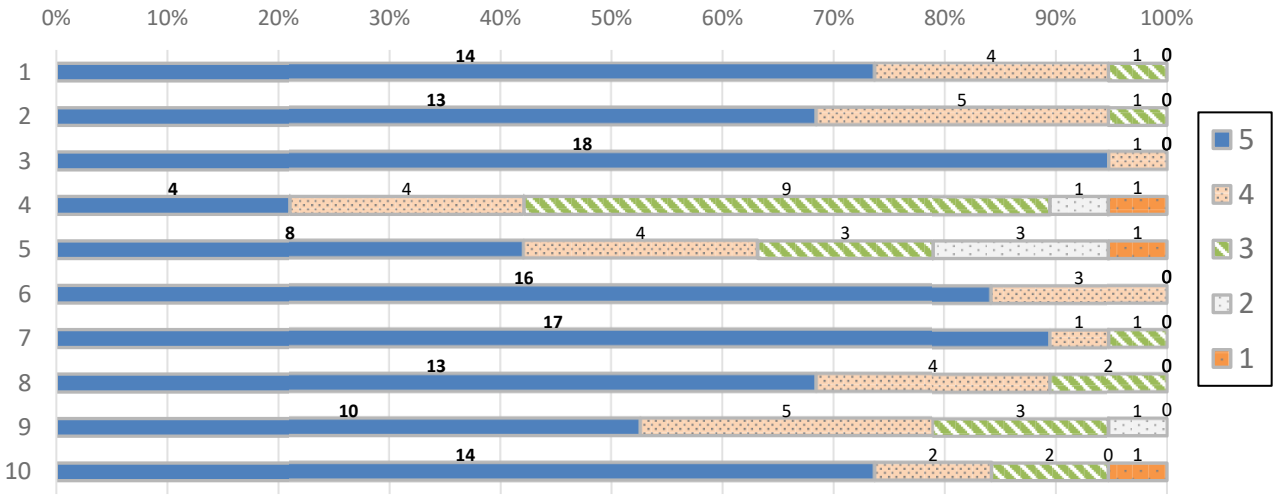
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15141
授業科目名	情報基礎　1組
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

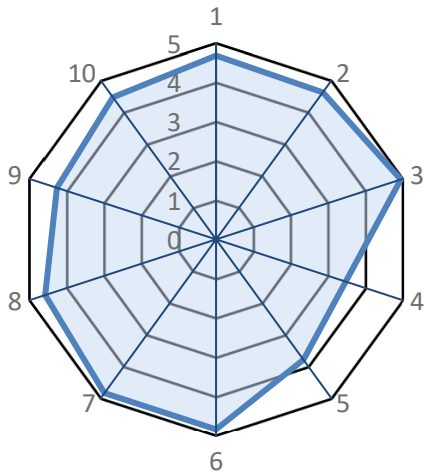
調査実施日	2023年7月
回答者数	19
対象者数	28

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

必修科目でもあるため，他のクラスと同調しながら授業を行った．難易度は別として，学生には自分で調べてわからない部分を明快にしてから質問をさせるようにするよう，継続した取り組みが必要だと考える．

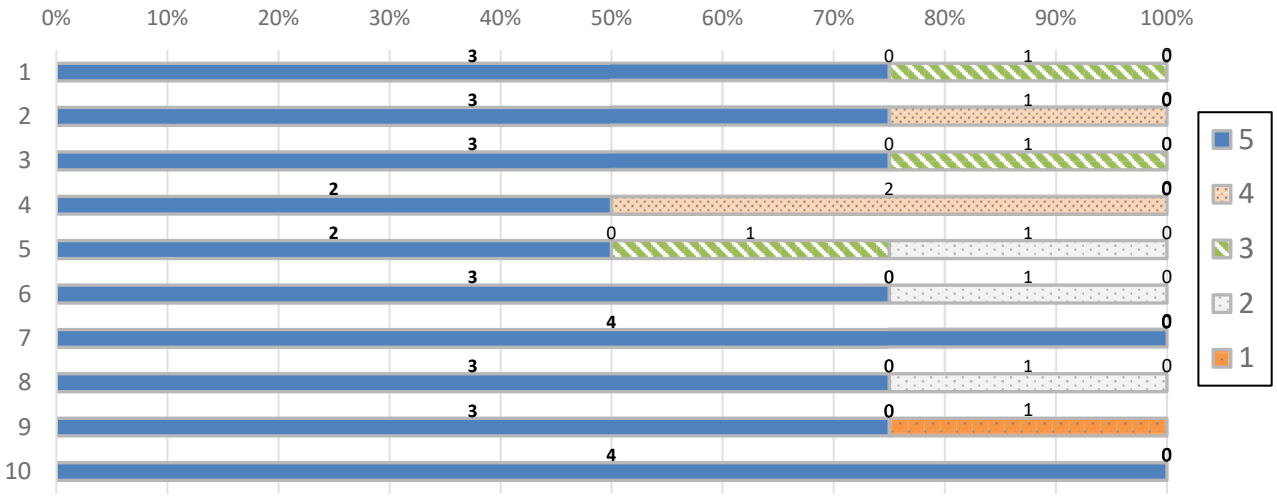
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15145
授業科目名	情報基礎　5組
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

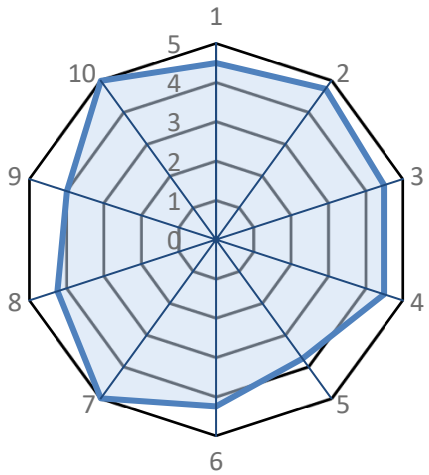
調査実施日	2023年7月
回答者数	4
対象者数	13

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

必修科目でもあるため，他のクラスと同調しながら授業を行った．難易度は別として，学生には自分で調べてわからない部分を明快にしてから質問をさせるようにするよう，継続した取り組みが必要だと考える．

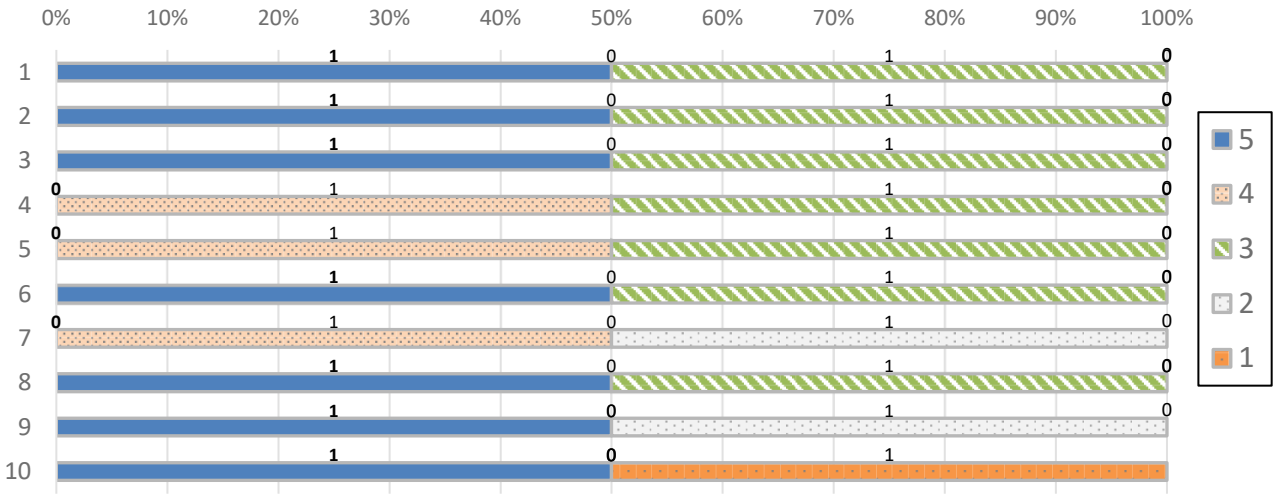
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18106
授業科目名	情報科学
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

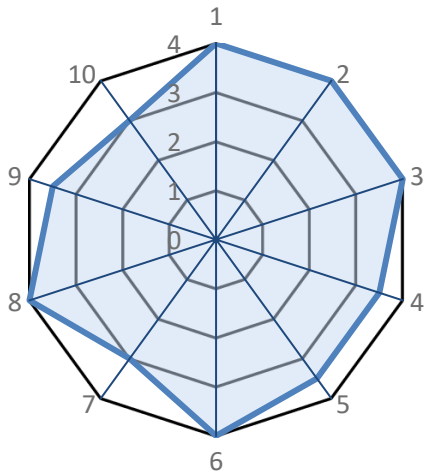
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	17

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートに応じた学生が少ないのは否めないが，授業に対して真摯に向き合う学生が年々増えているように感じられる．難易度は別として，学生には自分で調べてわからない部分を明快にしてから質問をさせるようにするよう，継続した取り組みが必要だと考える．

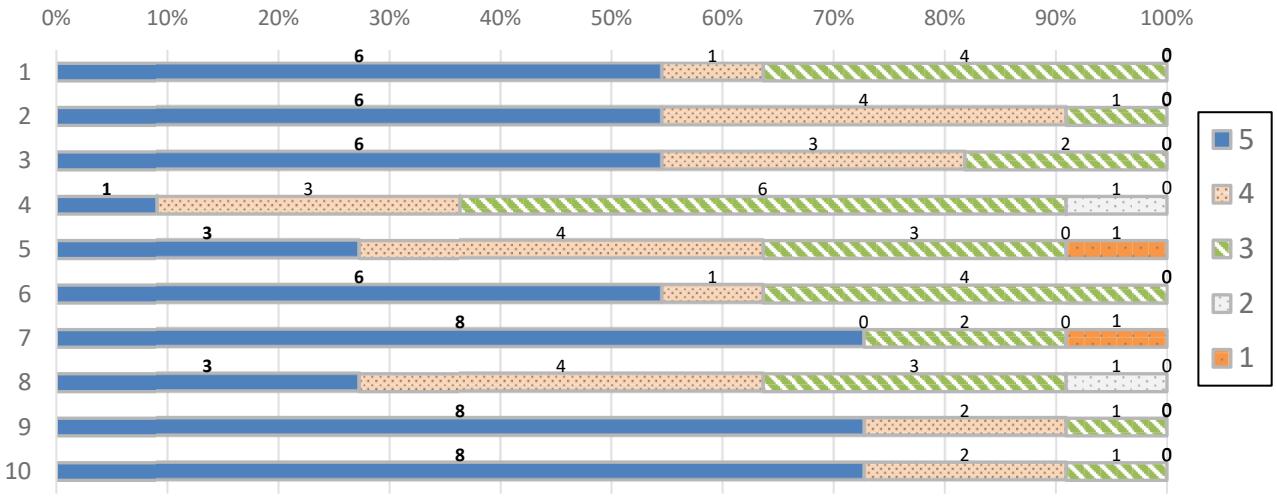
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15148
授業科目名	情報基礎　7組
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

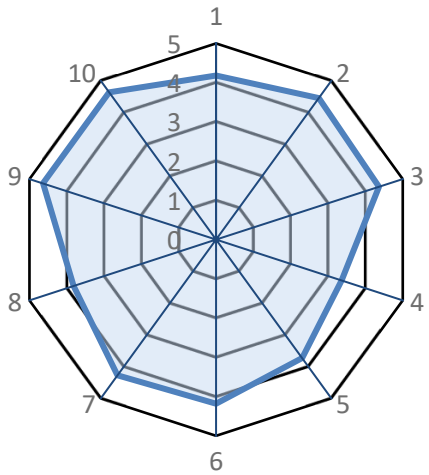
調査実施日	2023年7月
回答者数	11
対象者数	48

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

この科目は必修科目でもあるため，他のクラスと同調しながら授業を行った．難易度は別として，学生には自分で調べてわからない部分を明快にしてから質問をさせるようにするよう，継続した取り組みが必要だと考える．

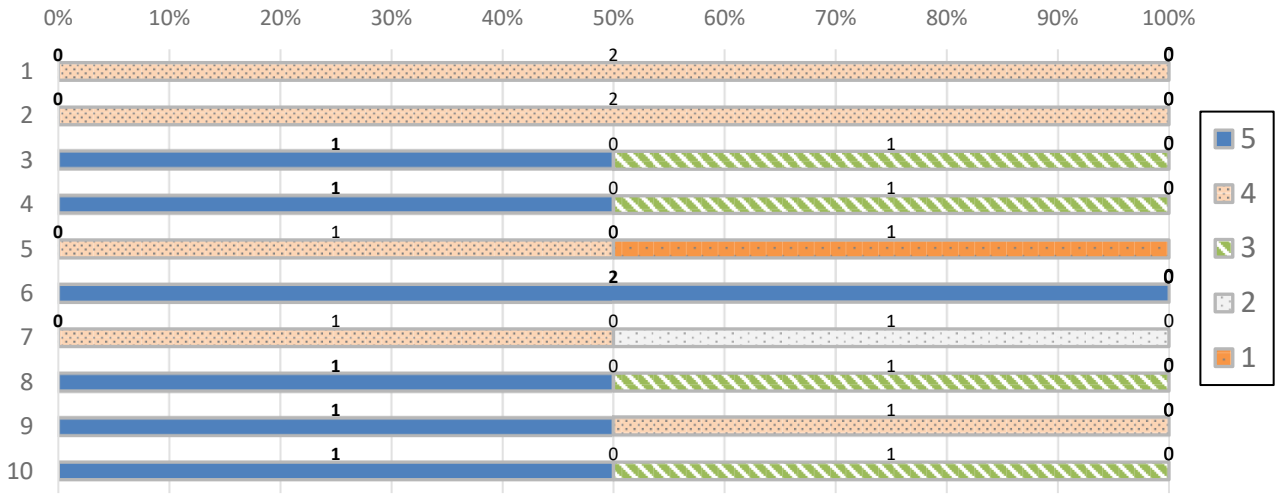
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	72107
授業科目名	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎Ⅱ　C
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

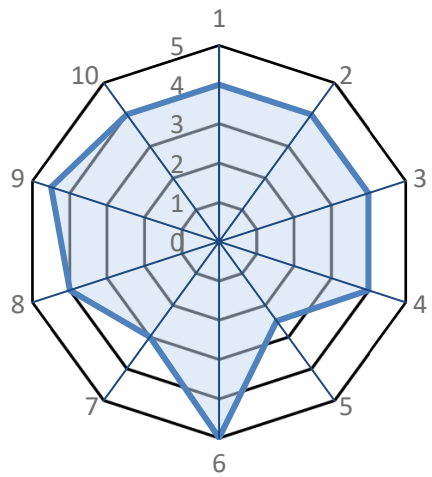
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートに応じた母数が少ないのは致し方ないが，年々，真摯に向き合う学生が増えてきているように感じている．授業をものにするためにも，しっかりと自分で調べてわからない部分を明快にしてから質問するように，指導することも継続したい．

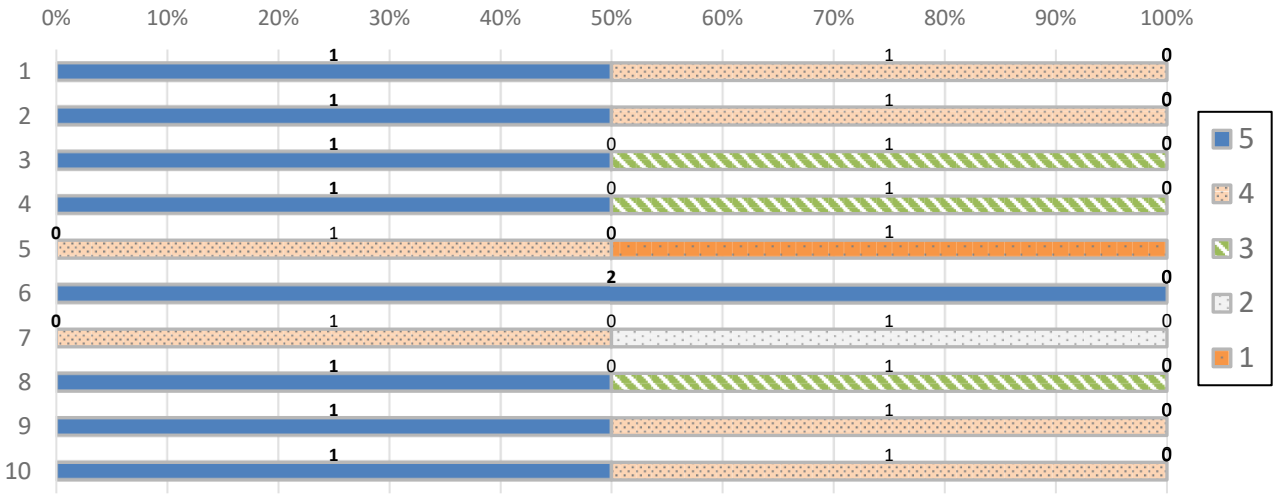
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	72108
授業科目名	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎Ⅱ演習
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

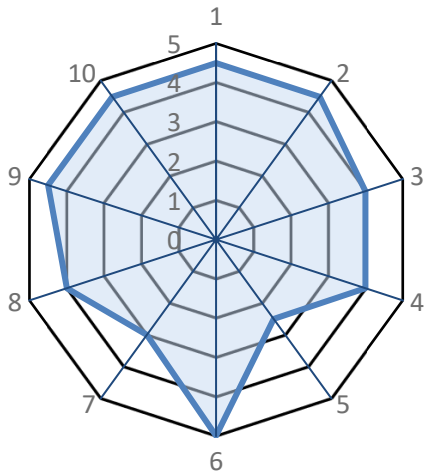
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートに応じた母数が少ないのは致し方ないが，年々，真摯に向き合う学生が増えてきているように感じている．授業をものにするためにも，しっかりと自分で調べてわからない部分を明快にしてから質問するように，指導することも継続したい．

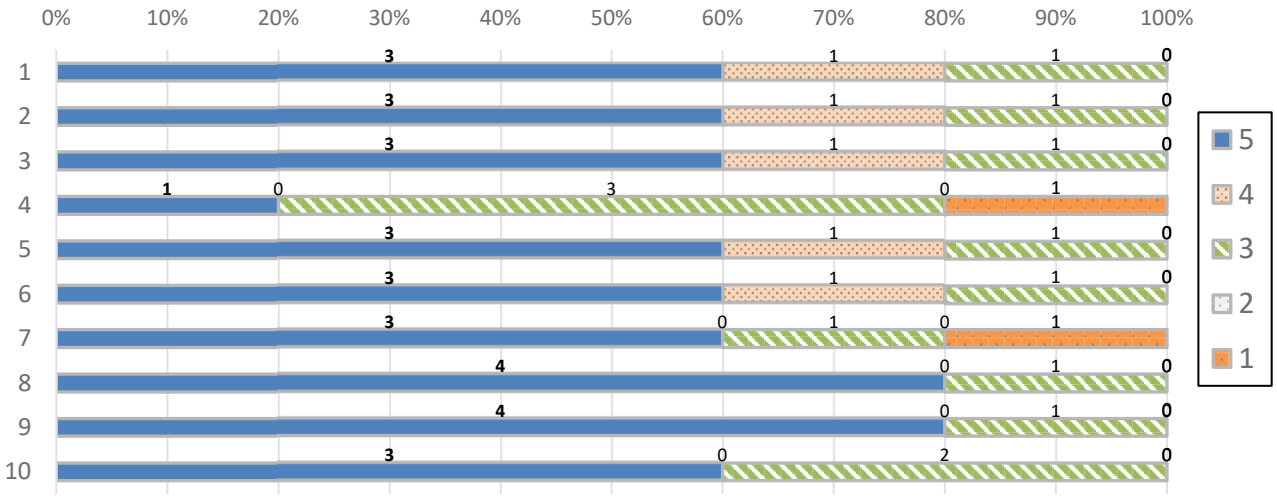
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17137
授業科目名	日本語ＩＢ
担当者	田島　紀子
所属	共通教育

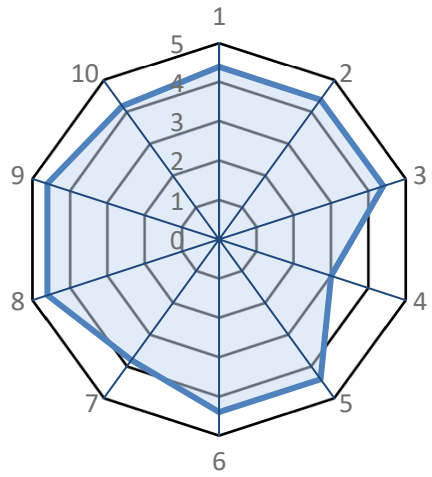
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	16

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4の授業内容の量や難易度についての評価は、想定内だった。今学期の受講生の中には、日本語力不足から事前に設定された授業内容、シラバスについてこられない学生がいたことを承知している。また、一方でレベルが高い学生もおり、双方に満足できるような授業展開が十分にできなかったことが反省点である。次回からは個々の能力を高められるよう指導に尽力したい。また、学生が興味関心を持って自ら積極的に授業に参加したいと思うような指導法を実践したい。
授業についての説明や、休講補講の連絡については十分に行ったつもりである。しかしながら、学生に伝わっていなかったということであれば口頭、google classroom、掲示板などをしっかり活用し改善したい。

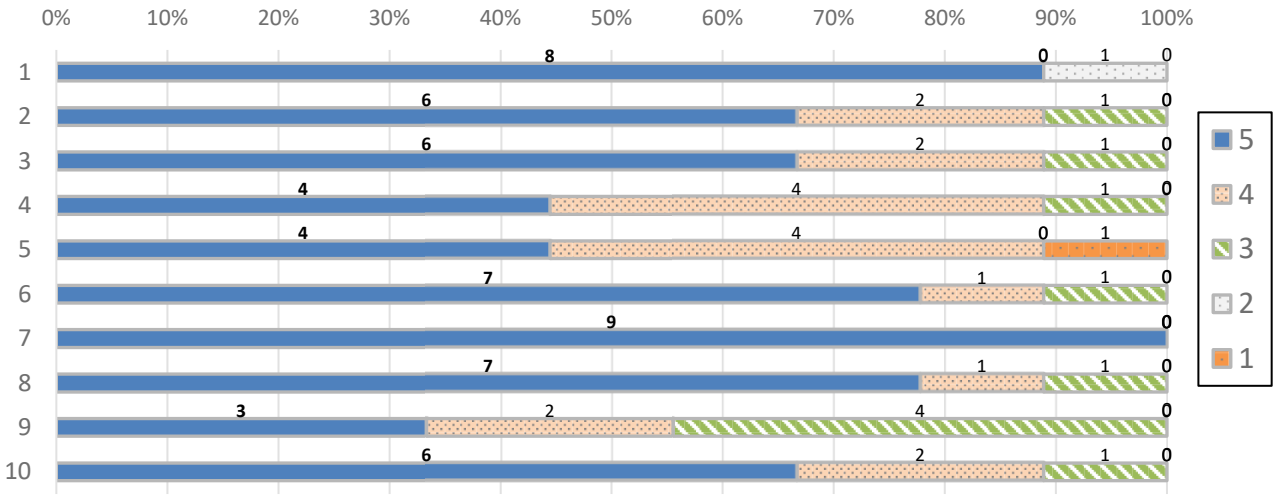
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15102
授業科目名	線形代数学Ⅰ　2組
担当者	板倉　数記
所属	共通教育

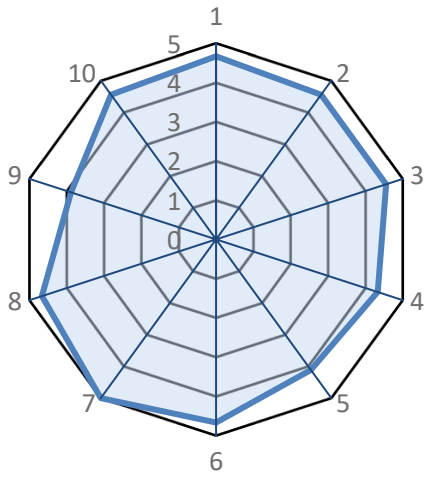
調査実施日	2023年7月
回答者数	9
対象者数	35

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2,3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

学生には講義の内容が概ね伝わっていたようで安堵したが、授業時間以外における学修が不十分のように思える。少し自宅で取り組むことのできる課題を準備しようかと思う。

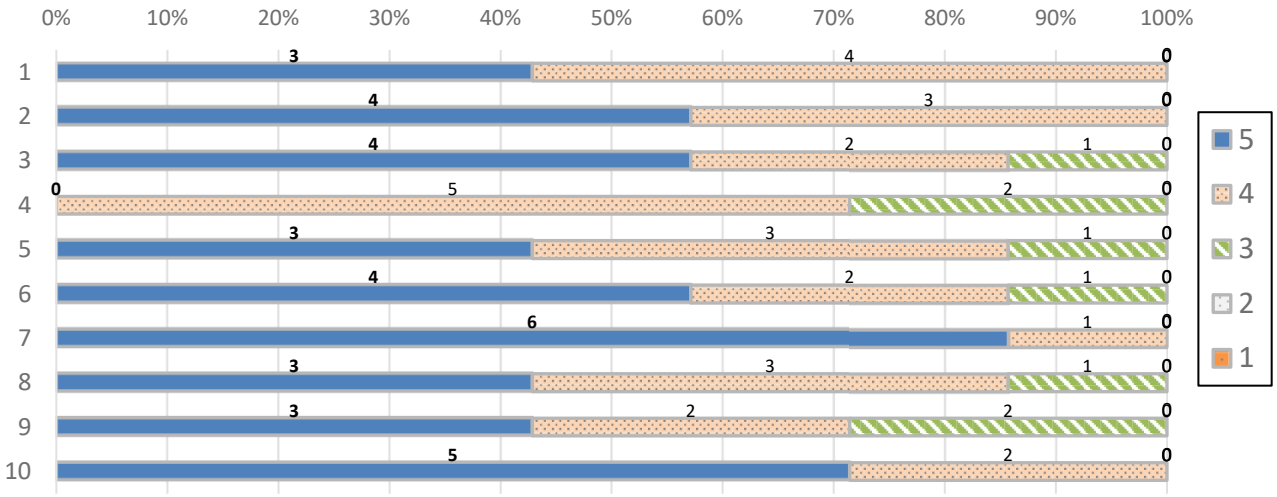
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15128
授業科目名	力学Ⅰ
担当者	板倉　数記
所属	共通教育

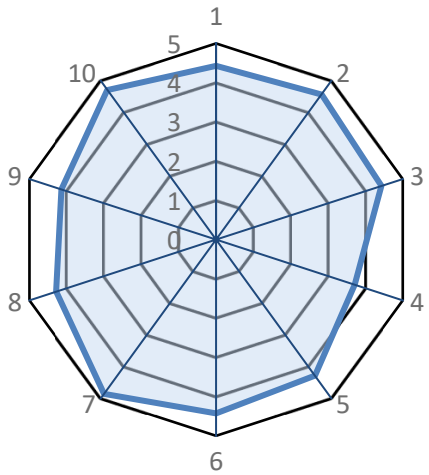
調査実施日	2023年7月
回答者数	7
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

比較的良好だったようだが、少し量が多かったかもしれない。今後は少し内容を削減し、説明に余裕を持たせるのが良いかもしれない。

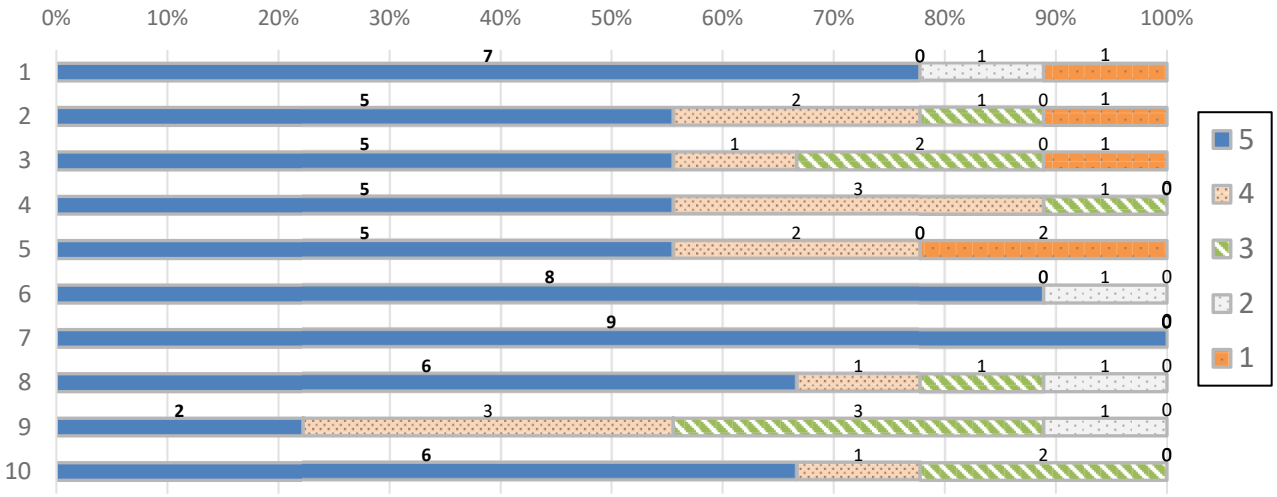
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15134
授業科目名	微分積分学Ⅰ　2組
担当者	板倉　数記
所属	共通教育

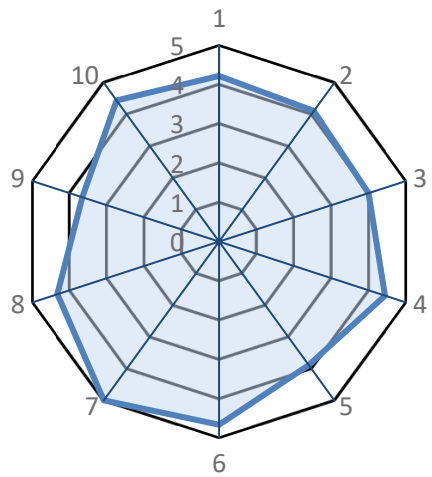
調査実施日	2023年7月
回答者数	9
対象者数	33

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

毎年相当な努力をして学生の理解向上、教室外での学習時間の確保などの工夫をしている。23年度は途中から講義ノートも作成し、板書を写す時間がないという状況を改善した。できることはかなりやっている。あとはレベルを落とすだけだが、それはできない。

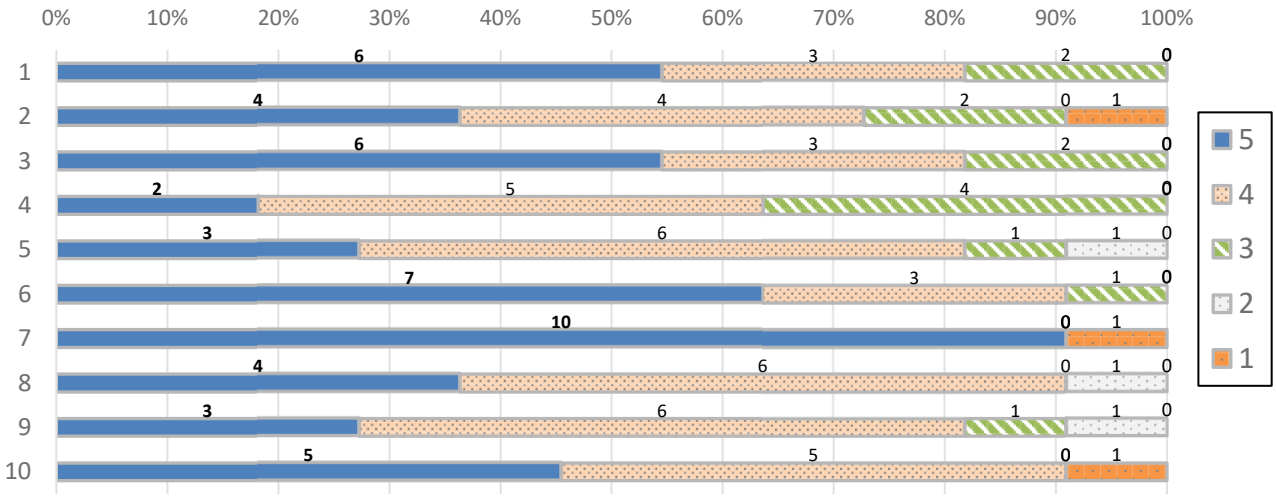
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15103
授業科目名	線形代数学Ⅰ　3組
担当者	林田　滋
所属	共通教育

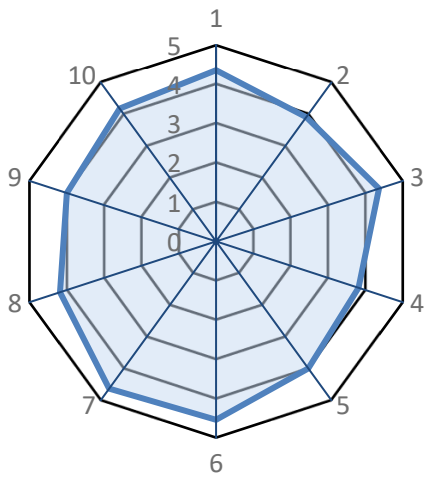
調査実施日	2023年7月
回答者数	11
対象者数	35

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

この講義も私が担当するのは、最後なのでこれまでの感想を述べておきたい。

高校までの学習歴がいろいろなので、証明などの難しいことはせず、とにかく使えること（小学校でいえば 1＋1＝2 が出来ることですね）を目指して講義をしてきました。テキストも読めば素直に理解できるものを選びました。概ね目標は達せられた思います。

講義をしていく上で気になったことは、受講者の計算の過程で単純なミスが結構多いことでした。例えば、次の行に移ると＋がいつの間にか－になっていたりとかです。昔と違って計算機を使い、頭で計算することが減ってきたからでしょう。でも手計算をして数字に対する感覚を鋭くすることは大切だと思います。

（以下、線形代数Ⅱの記述欄に続く）

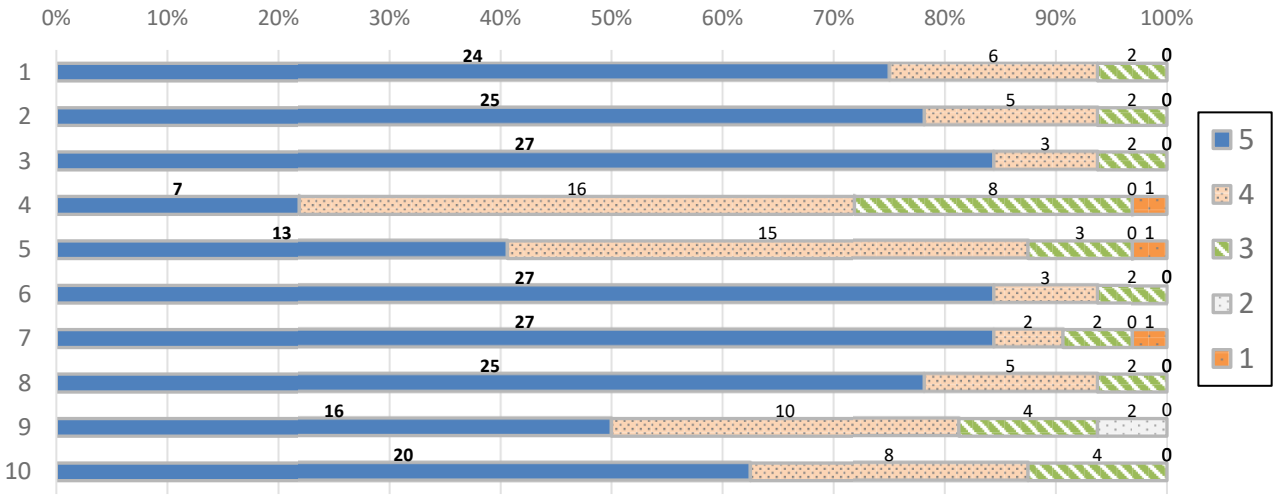
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15105
授業科目名	線形代数学Ⅰ　4組・5組
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

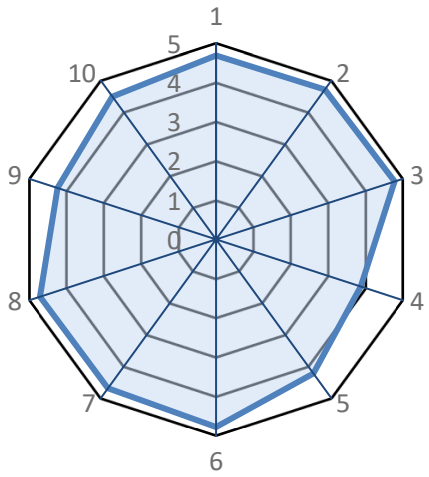
調査実施日	2023年7月
回答者数	32
対象者数	98

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2,3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

自由記載で板書に関して読みにくいなどの意見があった。反省して見やすさに気をつけなければならないと考える。
また、Q4の結果では難しいという方向に傾いており、十分な説明がされていないかったととらえられる。今一度質問のしやすい雰囲気作りに取り組んでいく。
その他の自由記載は肯定的なものも多かったので、プリントによる課題で復習していく方式は意味があるものと解釈している。

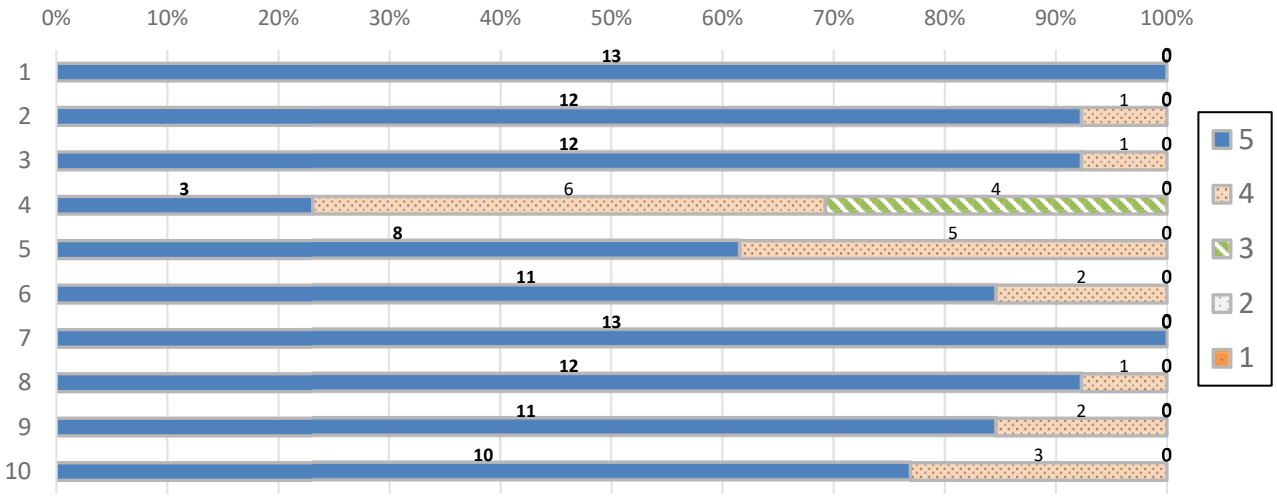
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15117
授業科目名	微分積分学Ⅰ　5組
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

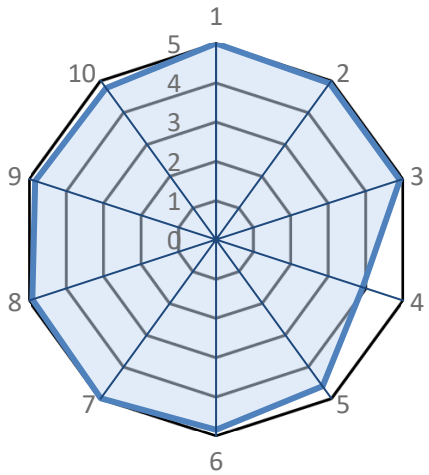
調査実施日	2023年7月
回答者数	13
対象者数	54

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

自由記載については肯定的なものが多かった。
しかし一方でQ4については難しいという方向に傾いており、理解の実感が乏しかった学生もいることが予想される。課題などでさらに学生の理解度を測りフィードバックしていくことを考えたい。

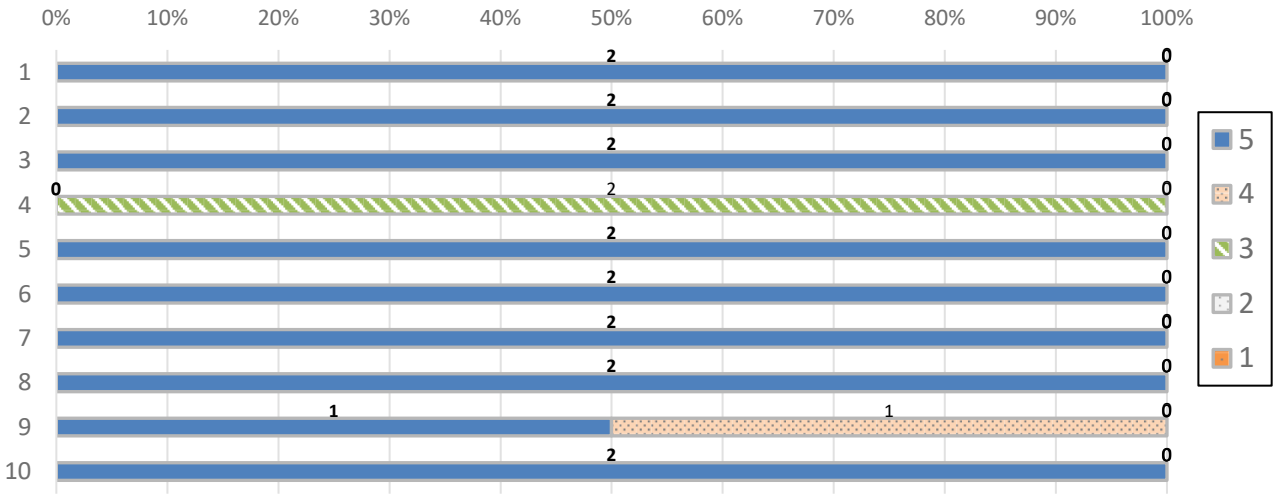
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15125
授業科目名	微分積分学Ⅱ
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

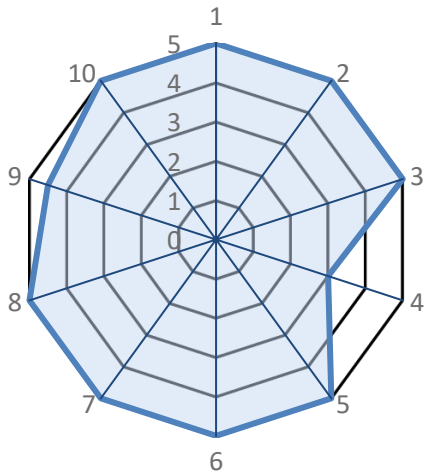
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

自由記載と上のアンケート結果では概ねうまくいったと考えられる。
とはいえ回答数が少ないため、不満がある学生がアンケート回答をしていないということもあり得るので、今後も精進していく。

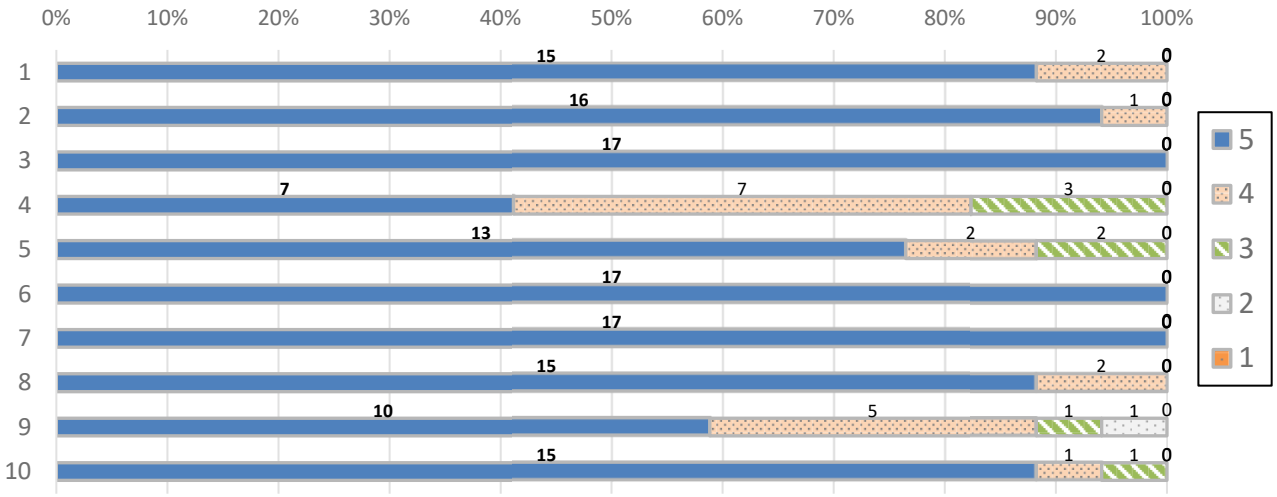
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15126
授業科目名	力学Ⅰ
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

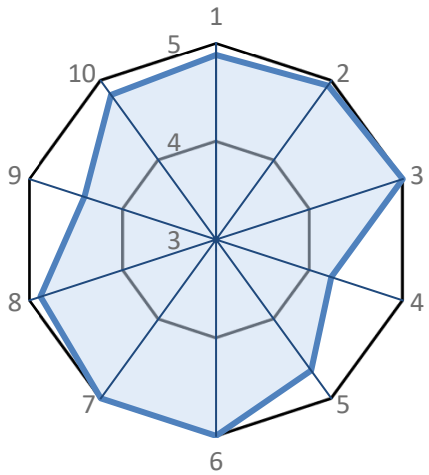
調査実施日	2023年7月
回答者数	17
対象者数	51

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2,3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

自由記載で361教室のクーラーに関する苦情があったが、それ以外は概ね肯定的だった。
その他の結果も全体的には良い指標となっている。Q9で自己学習が足りないと考える学生が少し多いのが気になる。
今後も学生の理解度に注意していく。

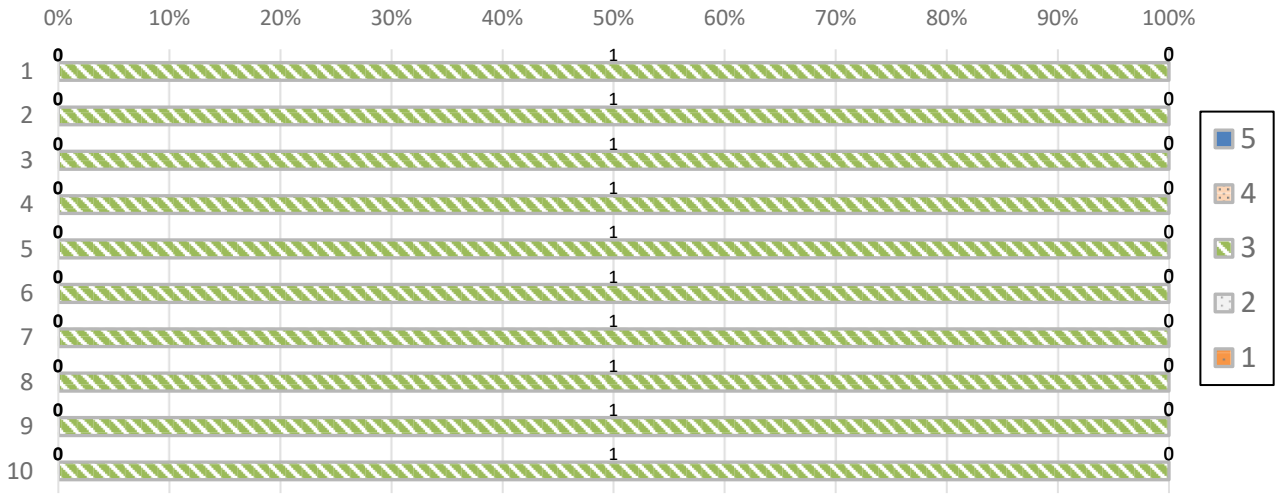
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15130
授業科目名	熱力学
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

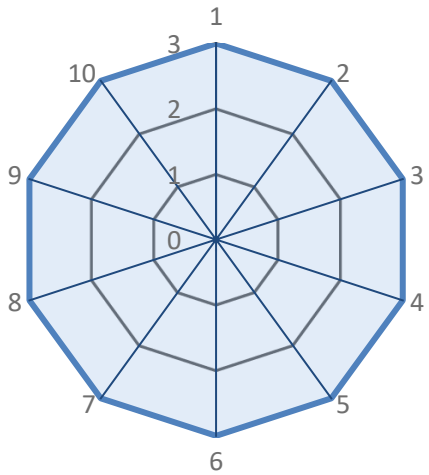
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

残念ながら回答数1であり、データからは読み取れない。
しかし、回答数が少ないということはコミュニケーション不足とも言えるので、よりコミュニケーションをとっていく。

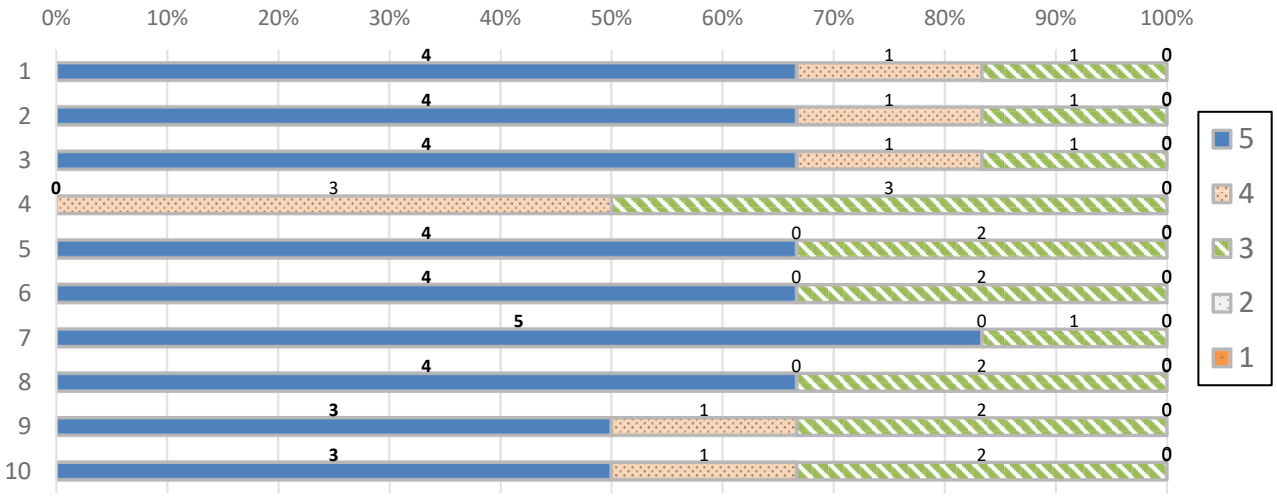
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15133
授業科目名	微分積分学Ⅲ
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

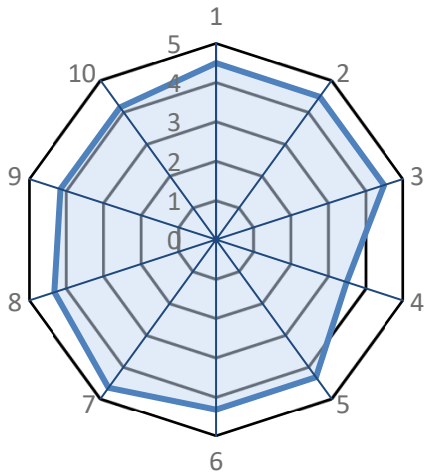
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	40

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

指標としては全体的に良い結果となっているがQ9,Q10についてはもう少し学生に自分が行ったことへの達成感が得られるような工夫を考えたい。

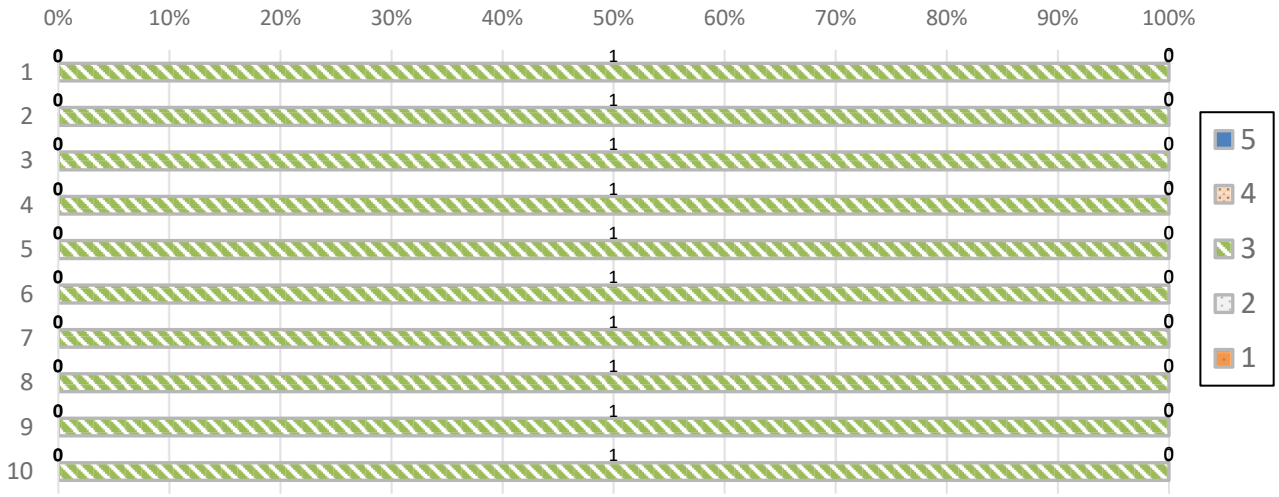
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15535
授業科目名	ベクトル解析
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

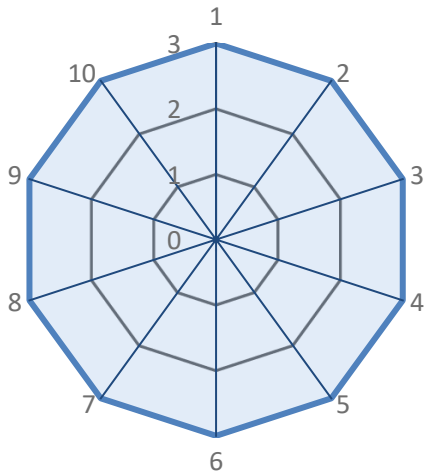
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

残念ながら回答数1であり、データからは読み取れない。
しかし、回答数が少ないということはコミュニケーション不足とも言えるので、よりコミュニケーションをとっていく。

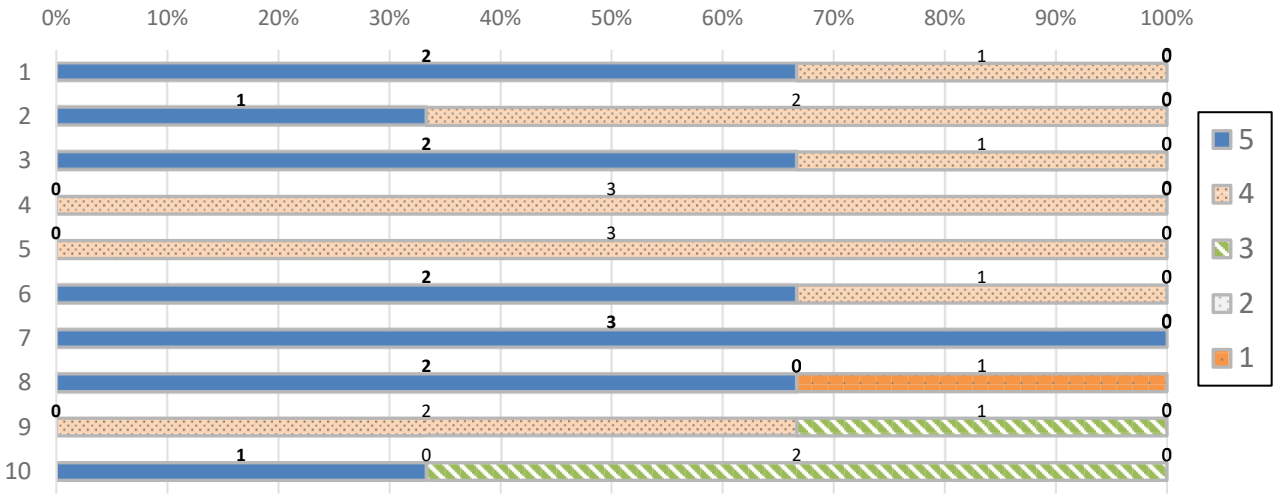
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18101
授業科目名	代数学A
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

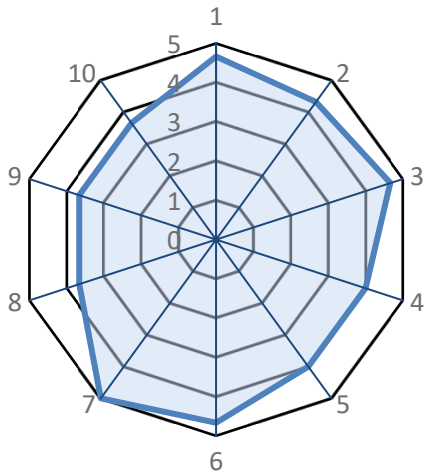
調査実施日	2023年7月
回答者数	3
対象者数	34

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

換気に関する苦情が自由記載にあった。説明不足を痛感した。
一方で全体的に他の担当科目に比べると指標が少し悪く、説明が不十分であった所があると考えられる。
より質問しやすい雰囲気作りから取り組んでいく。

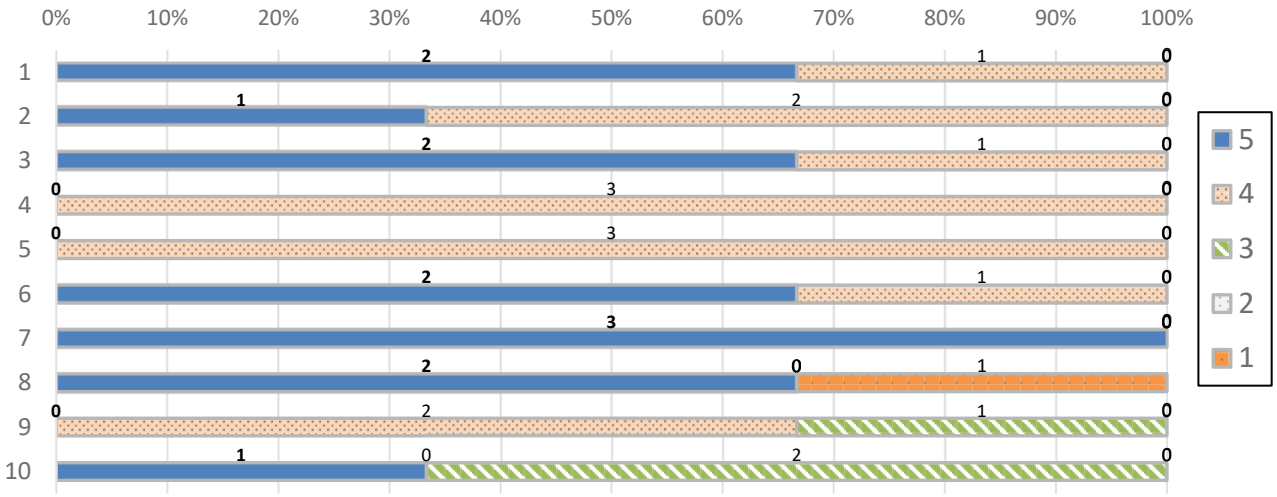
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18103
授業科目名	微分方程式
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

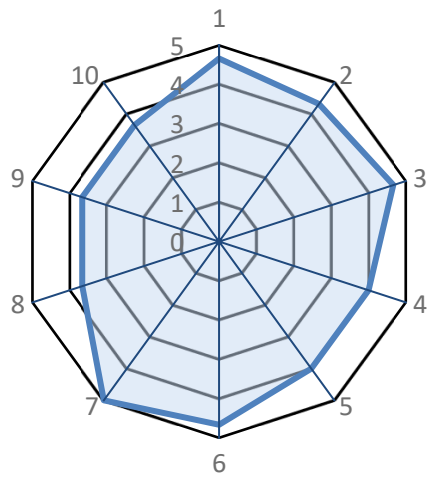
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	46

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講数に比べ回答数が少ない。また、Q8は静穏は保たれていたと記憶しているので、質問を促すなどについて良くない状況だったと考えられる。自由記載でも黒板の字が小さいという指摘もあり、そのようなことも発言できない状態であったことを反省する。よりコミュニケーションを取っていく。

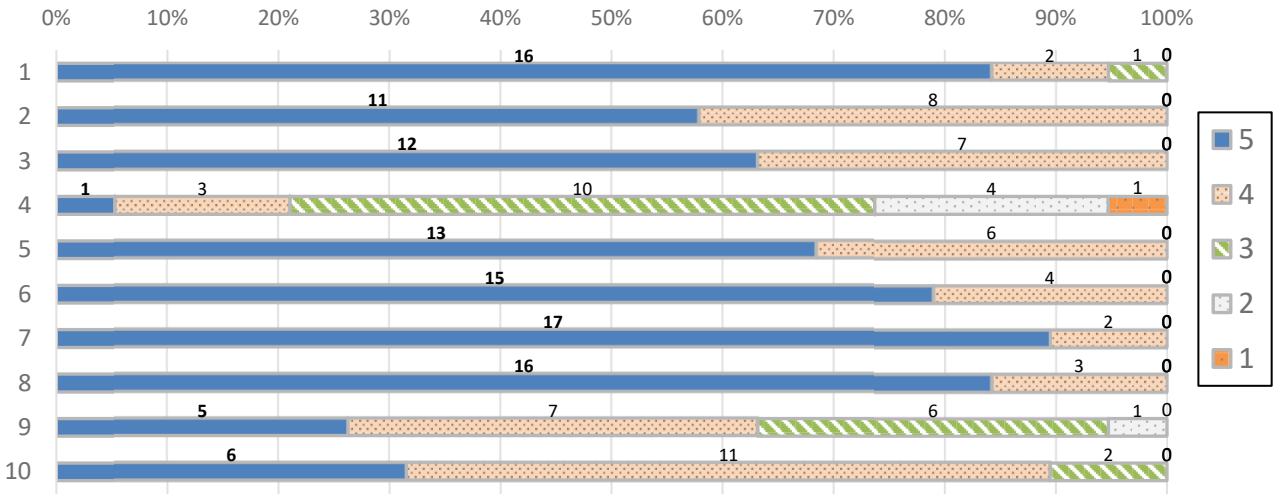
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17106
授業科目名	基礎英語ＩＡ　6組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

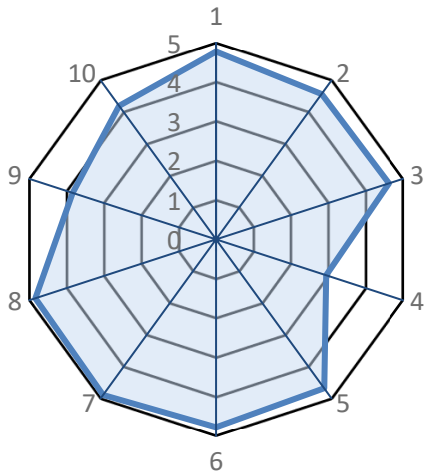
調査実施日	2023年7月
回答者数	19
対象者数	22

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

コロナの影響も薄れ、授業進行が計画的に進めるようになったことは大きかった。その中で、授業外の学修について、MS Teamsを利用して具体的に指示をしておくことが重要であった。特に授業の進行とその内容、そしてその内容に対して必要な課題や学修については、明確に指示をできていたと思う。ただ、このクラスは習熟度レベルが一番低いクラスで、どうしても量をこなして理解を深める形態になってしまい、その点で学生たちの印象は、講義内外での課題の多さがあったのだと思う。

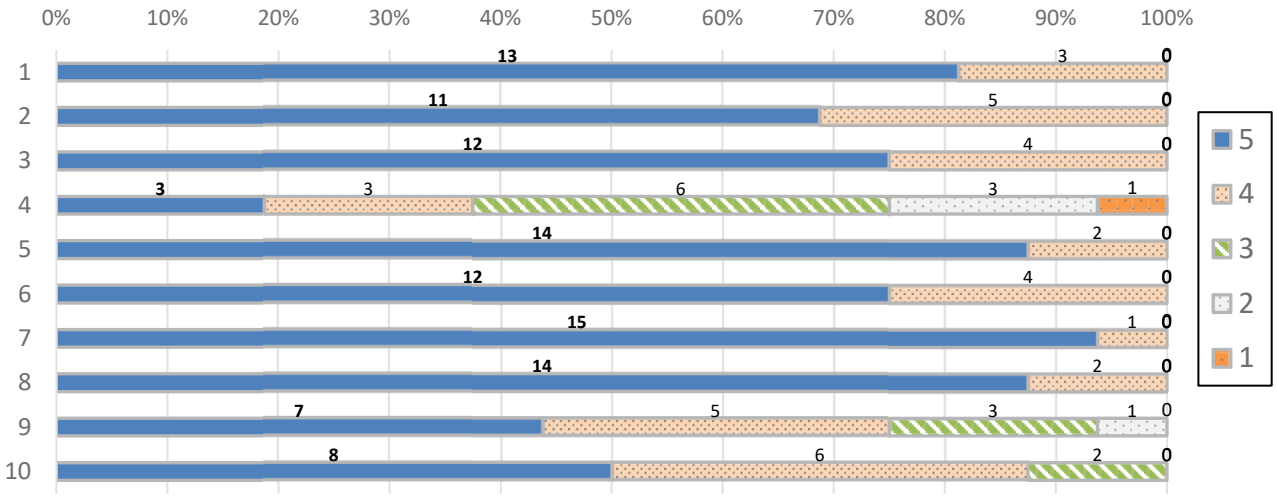
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17123
授業科目名	基礎英語ＩＢ　6組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

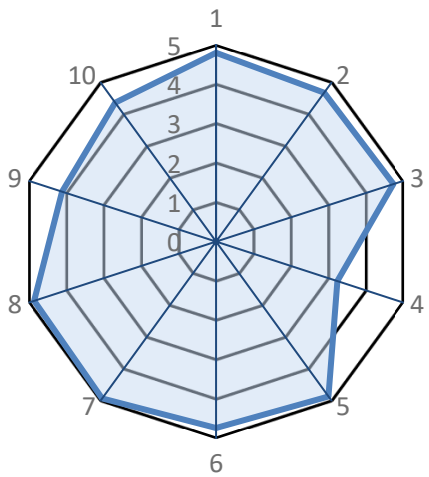
調査実施日	2023年7月
回答者数	16
対象者数	22

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

コロナの影響も薄れ、授業進行が計画的に進めるようになったことは大きかった。その中で、授業外の学修について、MS Teamsを利用して具体的に指示をしておくことが重要であった。特に授業の進行とその内容、そしてその内容に対して必要な課題や学修については、明確に指示をできていたと思う。ただ、このクラスは習熟度レベルが一番低いクラスで、どうしても量をこなして理解を深める形態になってしまい、その点で学生たちの印象は、講義内外での課題の多さがあったのだと思う。

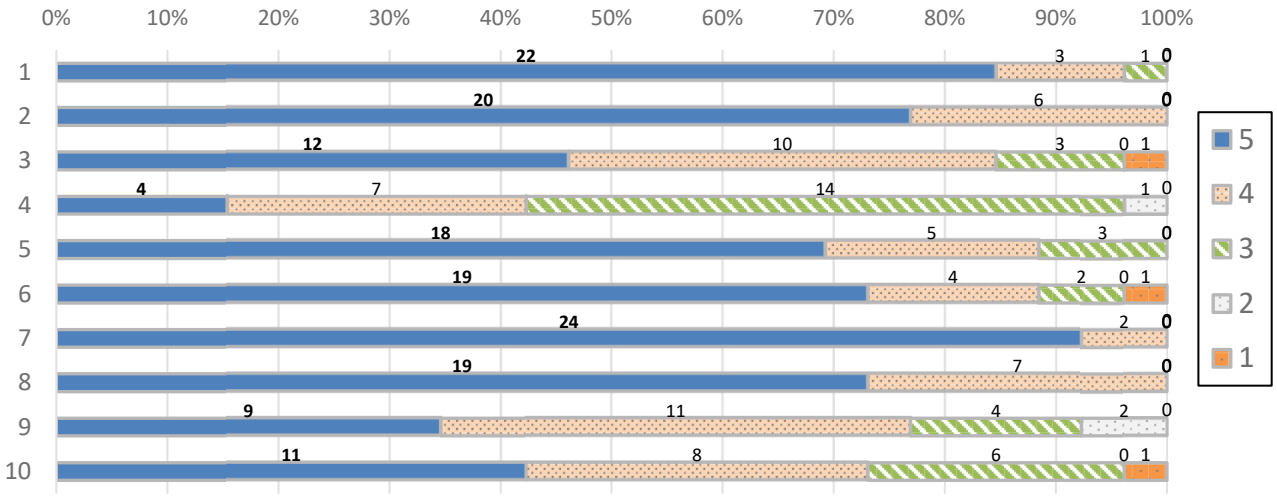
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17114
授業科目名	英語ＩＡ　1組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

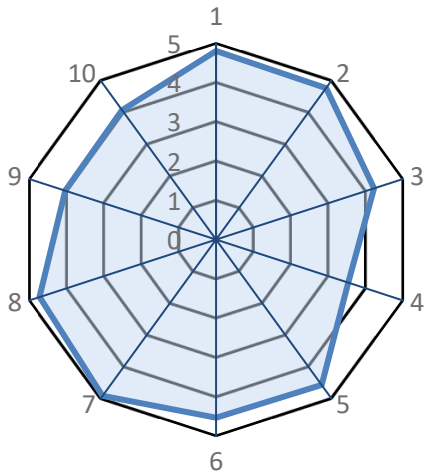
調査実施日	2023年7月
回答者数	26
対象者数	34

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2,3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

このクラスは、習熟度アッパークラスということもあって、自立してできる英語学修が目標であった。コロナの影響も徐々に薄れ、授業進行が計画的に進める要素はあったが、教科書のボリュームの多さに要点を掴んで進めなかった。1年生の前期という学生の皆さんに柔軟な対応を求めることになったことは反省点である。その中で、授業外の学修について、具体的に指示をしておくことが重要であった。特に授業の進行とその内容、そしてその内容に対して必要な課題や学修、今後は明確に指示していきたい。

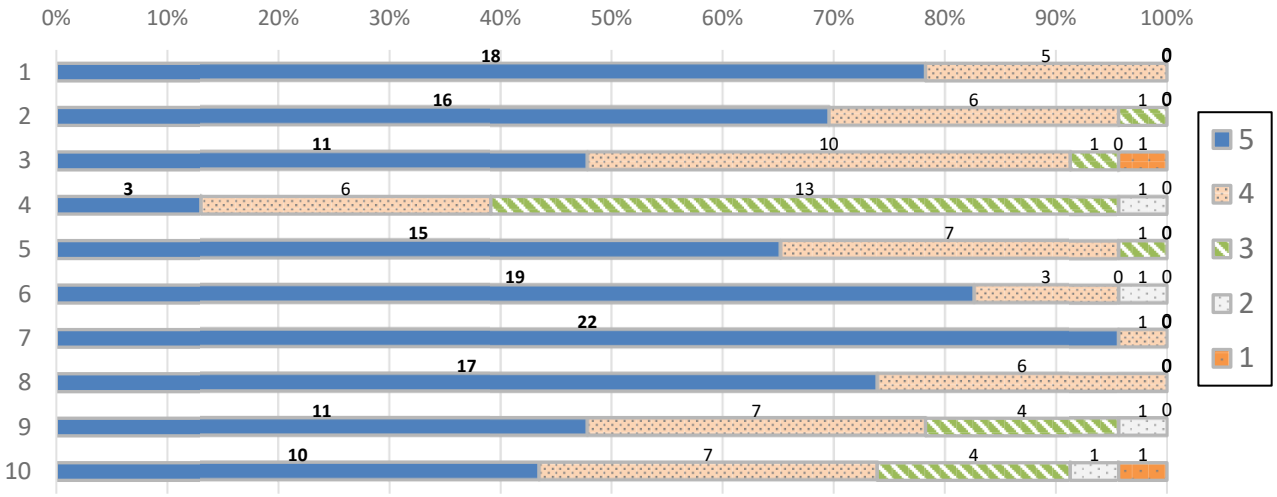
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17130
授業科目名	英語ＩＢ　1組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

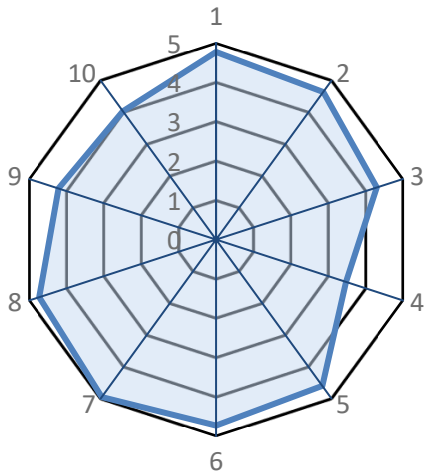
調査実施日	2023年7月
回答者数	23
対象者数	34

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

このクラスは、習熟度アッパークラスということもあって、自立してできる英語学修が目標であった。コロナの影響も徐々に薄れ、授業進行が計画的に進める要素はあったが、教科書のボリュームの多さに要点を掴んで進めなかった。1年生の前期という学生の皆さんに柔軟な対応を求めることになったことは反省点である。その中で、授業外の学修について、具体的に指示をしておくことが重要であった。特に授業の進行とその内容、そしてその内容に対して必要な課題や学修、今後は明確に指示していきたい。

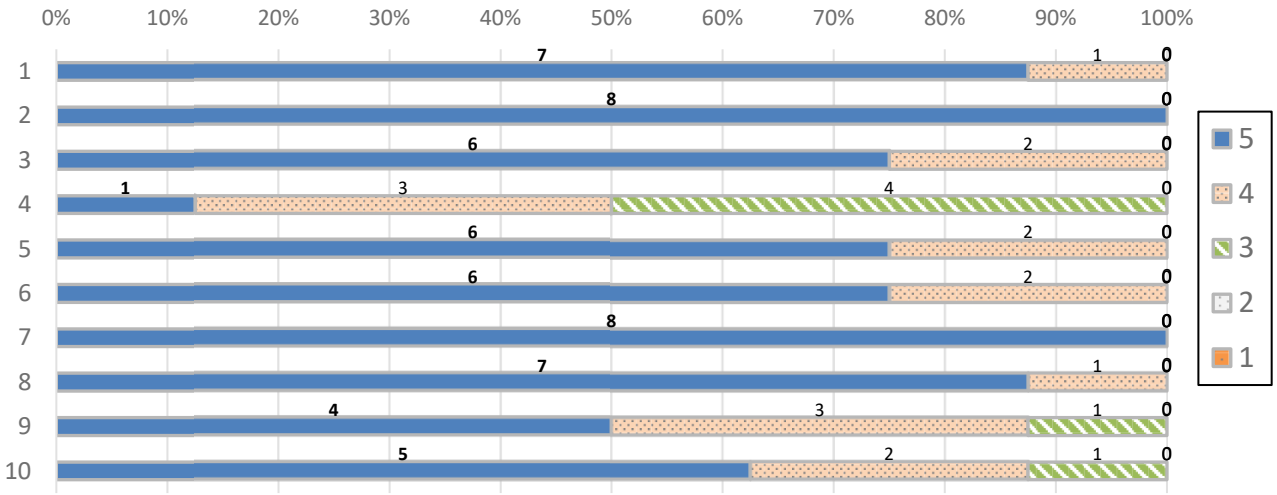
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17143
授業科目名	英語演習A　O組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

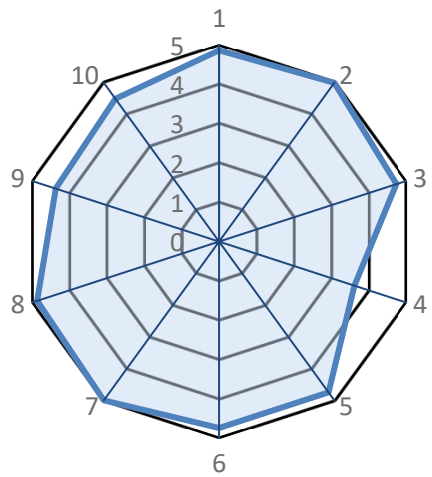
調査実施日	2023年7月
回答者数	8
対象者数	10

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

演習を多く取り入れた英語の講義ということもあって、序盤は戸惑いがちであった。特に英語の資料を読み、要点を掴んだり、自分の欲しい情報だけを抽出し、プレゼンの作成まで行う部分はたどたどしさがあったが、終盤にかけて劇的に変化があり、インプット、アウトプットと2年生としては十分なスキルを得るまでに至ったことは良かった。

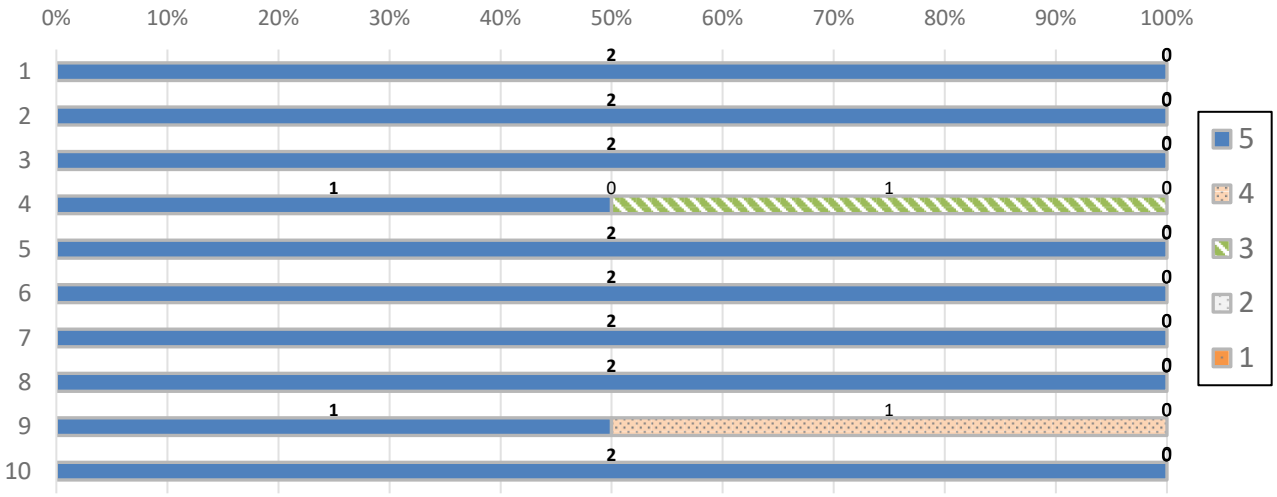
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17125
授業科目名	基礎英語ⅡA【再】
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

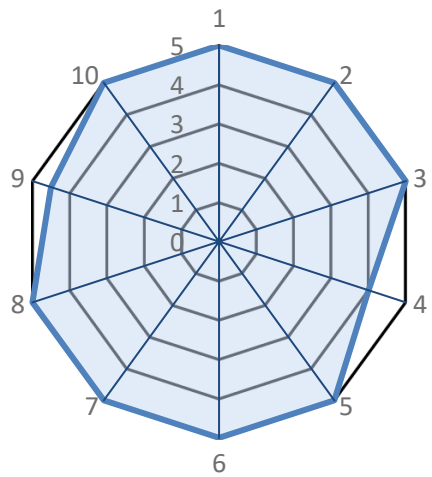
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	7

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

このクラスは、最終的に2名の受講者しか残らなかったので、全員の回答を得られたことになる。受講者数も少ないという点で言うと、かれらの習熟度に合わせて講義を行えた。不得意な部分を隅々まで見ることができ、臨機応変に講義を進めることができたので、その点が良かったところである。

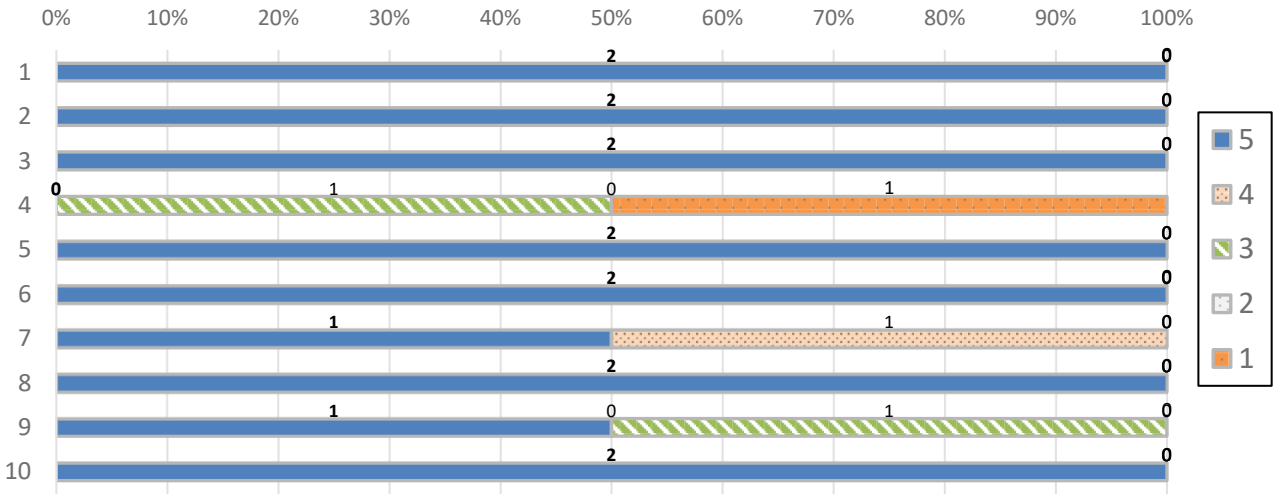
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16263
授業科目名	保健体育実技Ba
担当者	岡　茂行
所属	共通教育

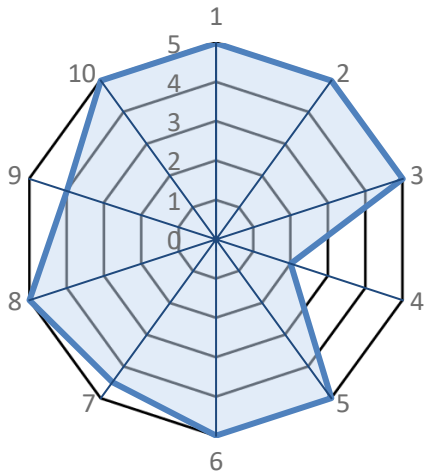
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	20

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね良好と思われる。2年生後期の授業で健康管理・体力向上といった、これから社会に出ていく学生に意識を持たせ自分自身で体の健康（身体的・精神的）に留意させることを考えながら授業に取り組んでいけたらと思います。

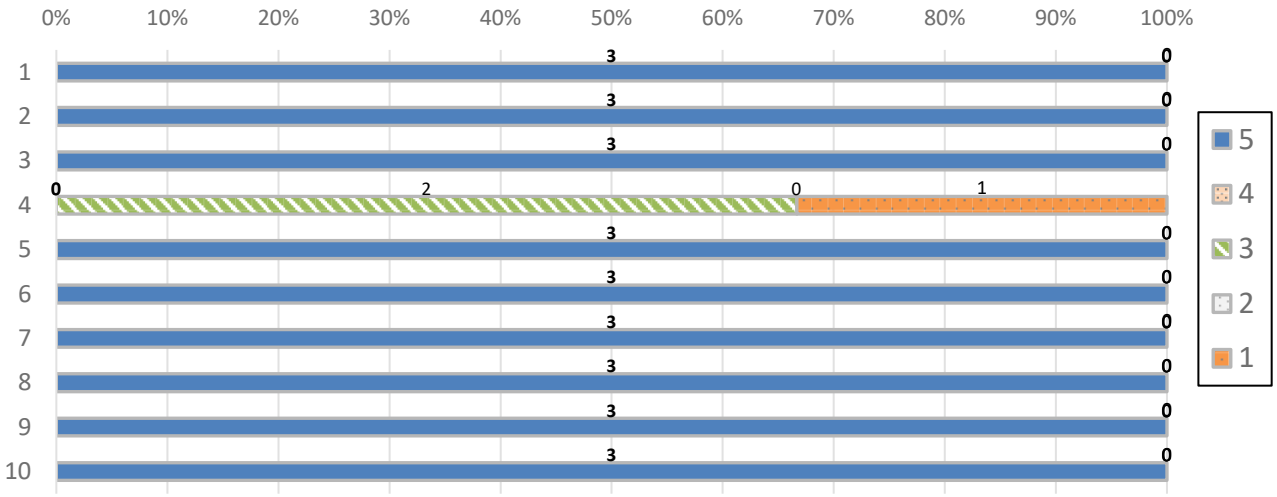
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16266
授業科目名	保健体育実技Bb
担当者	岡　茂行
所属	共通教育

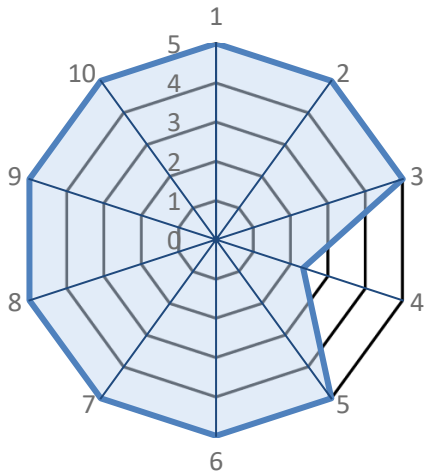
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね良好と思われる。2年生後期の授業で健康管理・体力向上といった、これから社会に出ていく学生に意識を持たせ自分自身で体の健康（身体的・精神的）に留意させることを考えながら授業に取り組んでいけたらと思います。

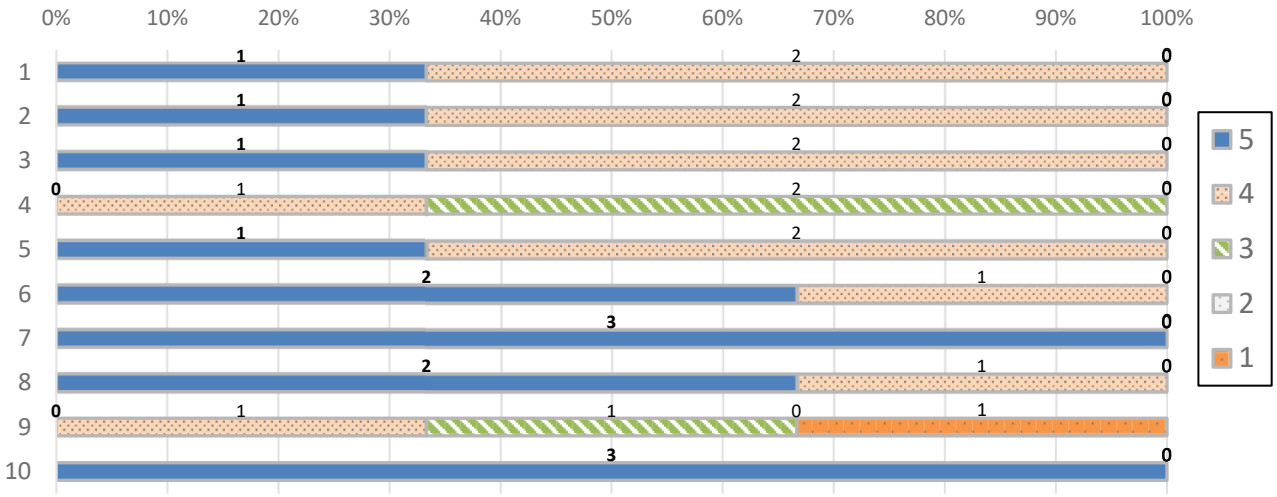
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16270
授業科目名	保健体育実技Bc
担当者	岡　茂行
所属	共通教育

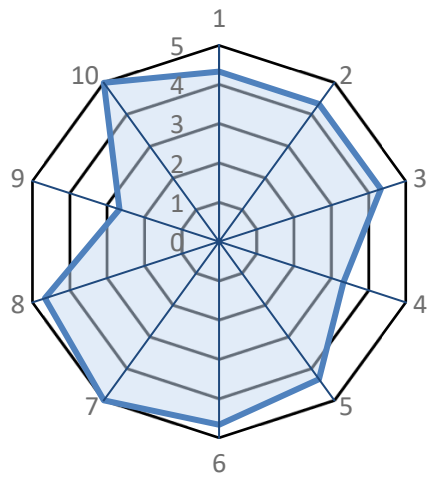
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	41

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね良好と思われる。2年生後期の授業で健康管理・体力向上といった、これから社会に出ていく学生に意識を持たせ自分自身で体の健康（身体的・精神的）に留意させることを考えながら授業に取り組んでいけたらと思います。

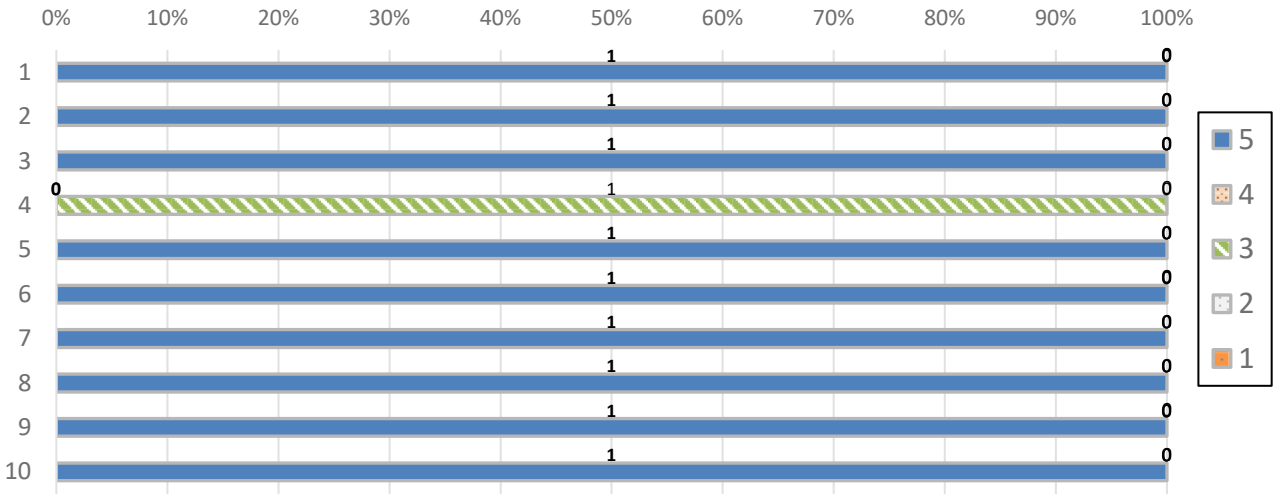
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17262
授業科目名	日本語ⅡA
担当者	桑戸　孝子
所属	共通教育

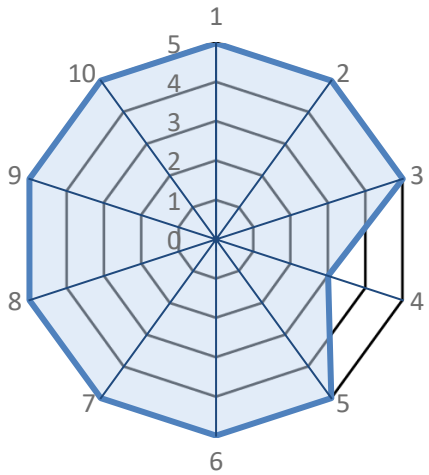
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	16

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

16名の受講者のうち、回答者は1名である。この1名については、全ての設問において肯定的な評価であった。本科目の中で高い評価を得にくい設問4の難易度および設問9の予習復習についても最も高い評価となっている。

しかしながら、回答者は1名であるため、本科目全体の評価については全くわからない。今後は、より多くの学生から回答が得られるようにアンケート調査への声掛けを行っていきたい。

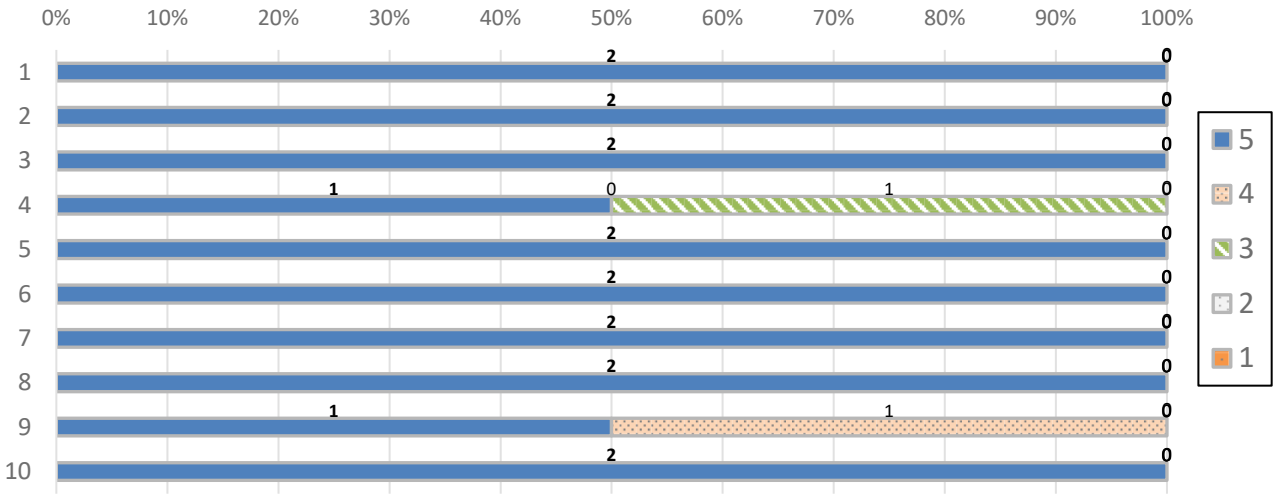
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17267
授業科目名	日本語Ⅳ
担当者	桑戸　孝子
所属	共通教育

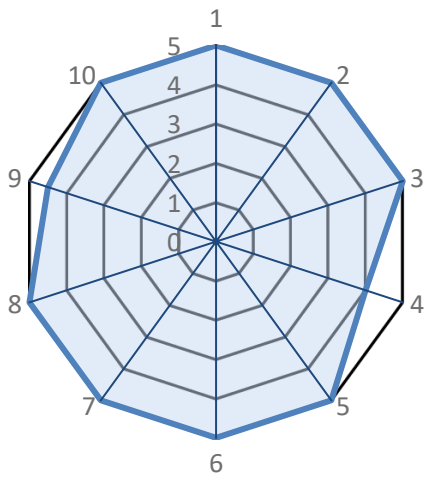
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	10

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者10名中、回答者は2名であった。この2名については、概ね肯定的に評価していることがわかる。

数値が低いのは、設問4の難易度と設問9の自己学習である。設問4では、1名が難しいと回答している。また、設問9では1名が4の「まあよい・まあできた」という評価であった。

本科目はN1レベルの日本語を学習内容としているため、そのレベルに達していない学生には難しく感じると思われる。また、自己学習ができるように、アプリを使った予習・復習と毎回の小テストを取り入れているが、1名は最も高い評価とはなっていない。

今後は、難しいと感じる学生への声掛けと個別ケアなども行っていきたい。

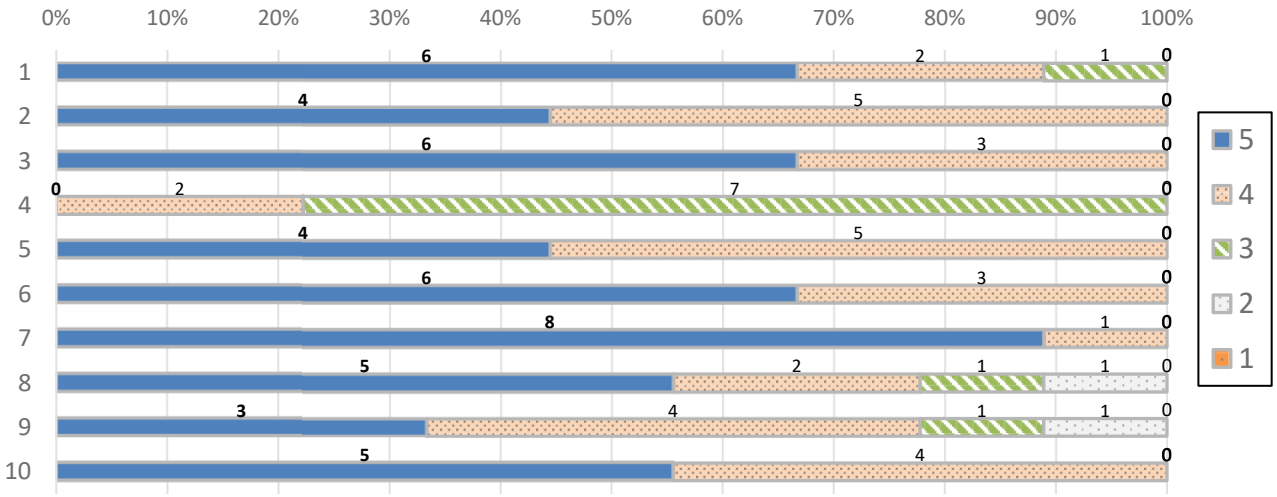
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16117
授業科目名	平和を学ぶ
担当者	古川　直子
所属	共通教育

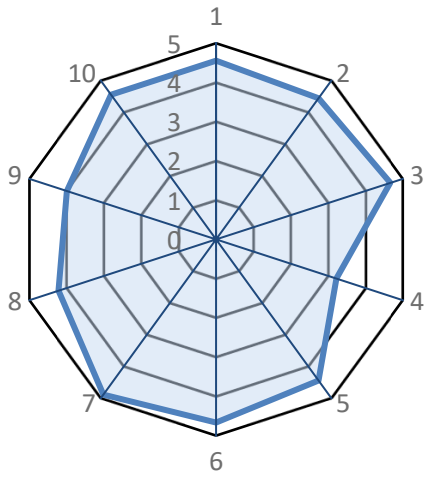
調査実施日	2024年2月
回答者数	9
対象者数	89

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「問9」の自己学修が、他の項目に比べて少し点数が低いため、もう少し課題を増やしてもよいかもしれない。

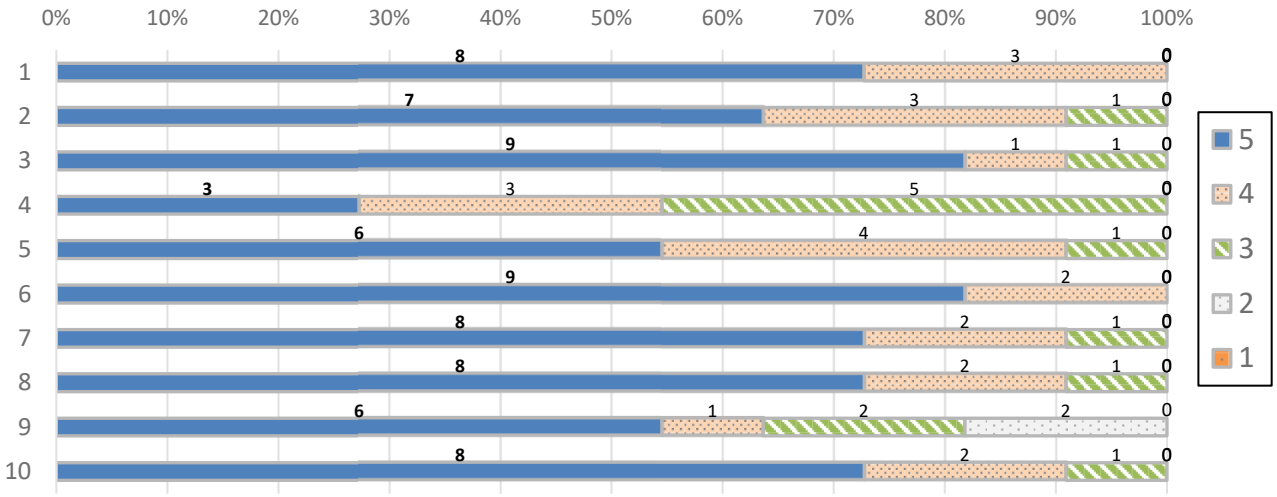
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16255
授業科目名	哲学
担当者	古川　直子
所属	共通教育

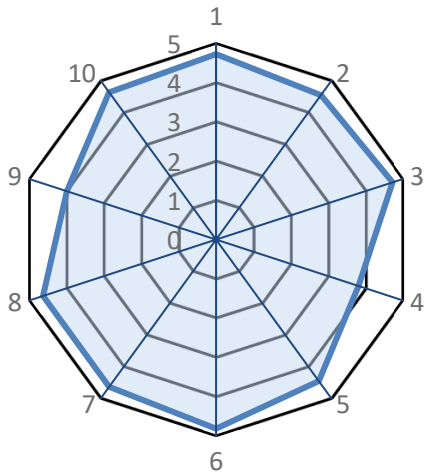
調査実施日	2024年2月
回答者数	11
対象者数	41

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「問9」の自己学修が、他の項目に比べて少し点数が低いため、もう少し課題を増やしてもよいかもしれない。

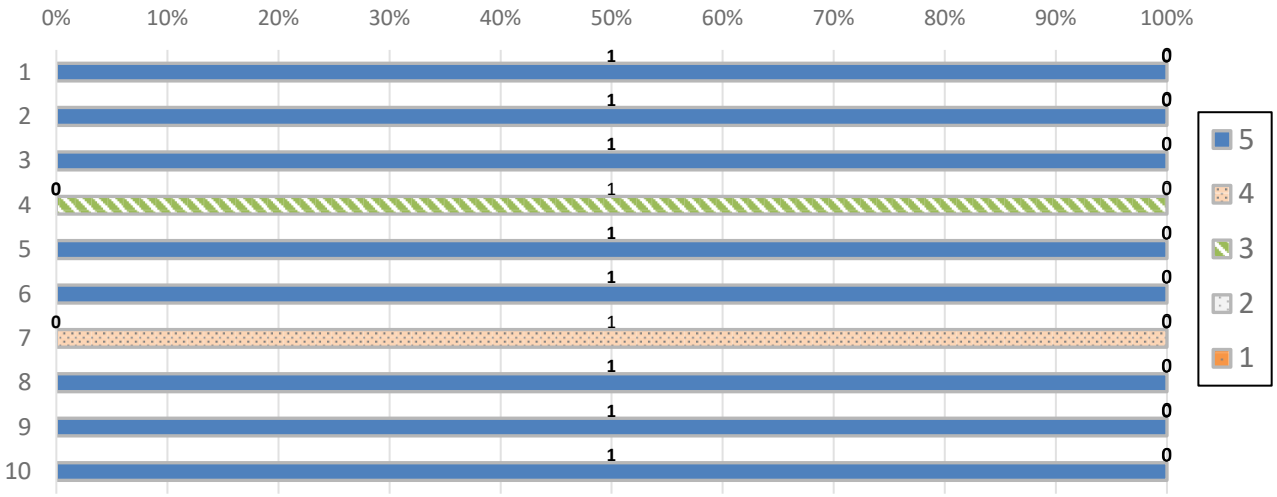
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16274
授業科目名	社会科学ゼミⅡｂ
担当者	古川　直子
所属	共通教育

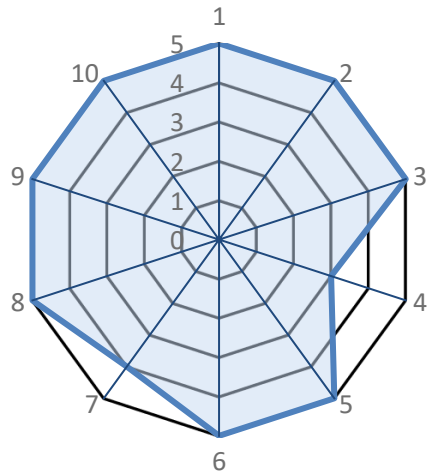
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	3

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね問題はないように思われる。

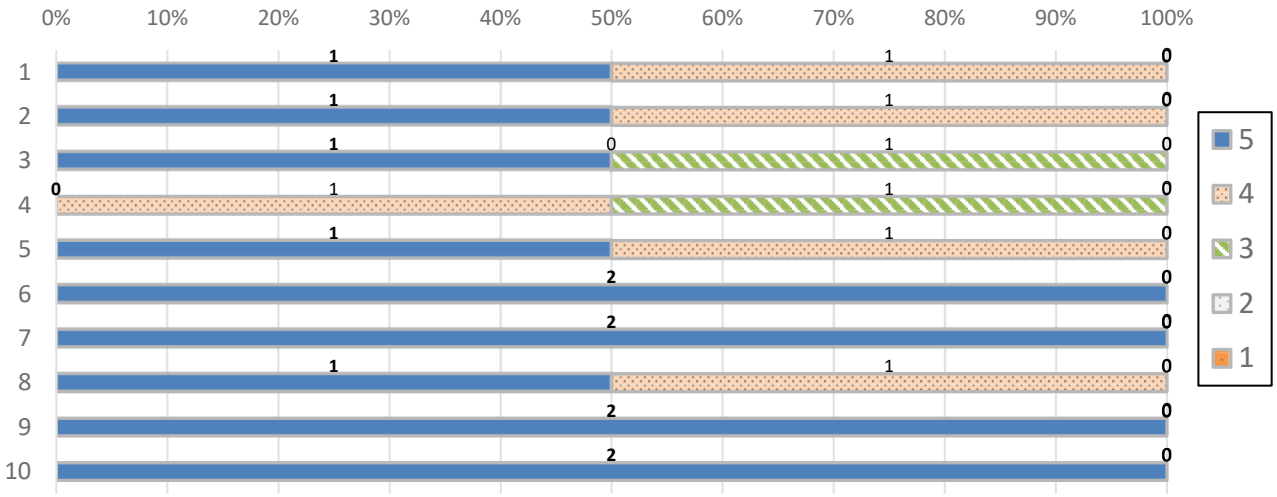
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16278
授業科目名	社会学Ⅱ
担当者	古川　直子
所属	共通教育

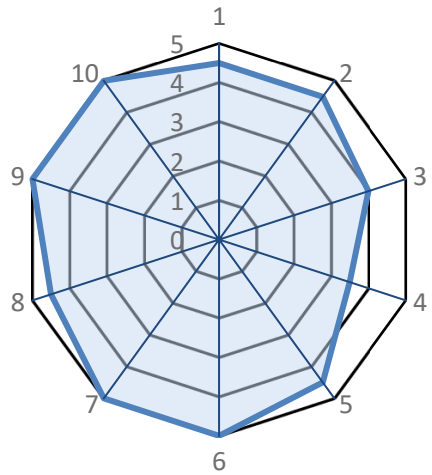
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	42

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「問3」の授業計画の項目が、他に比べて点数が低めであるため、十分な説明を行いたい。

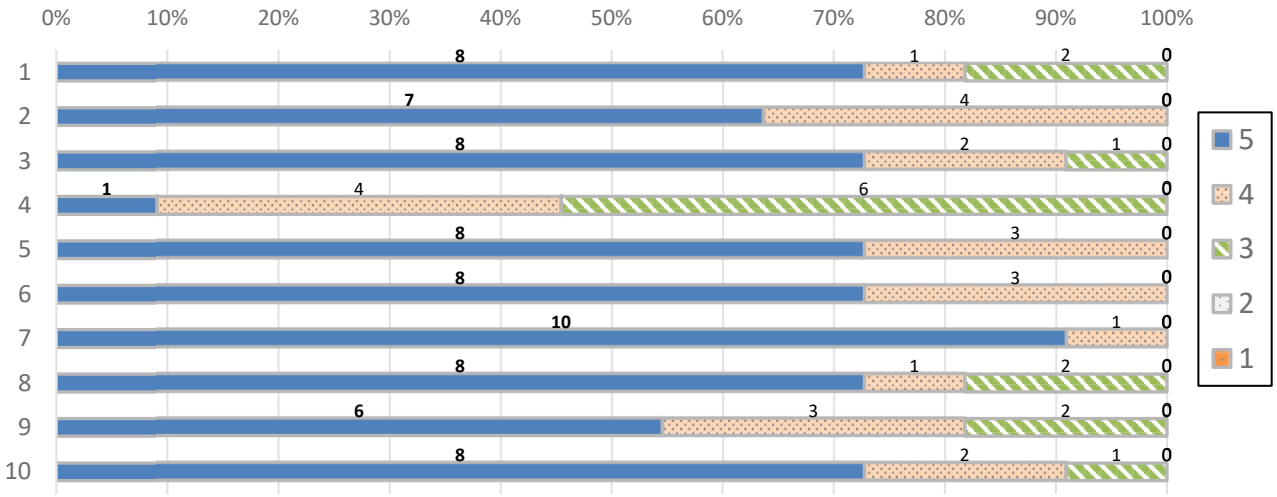
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15270
授業科目名	ﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀの基礎
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

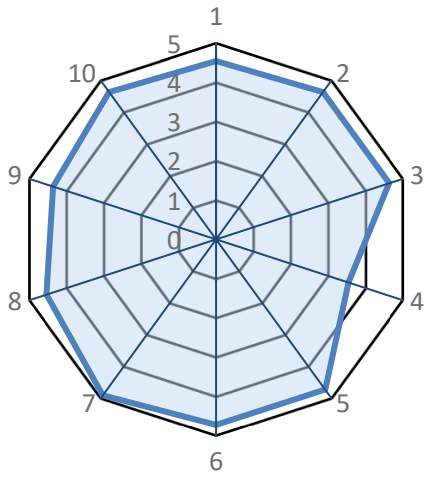
調査実施日	2024年2月
回答者数	11
対象者数	76

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・現状でも特段の問題はないように見える。
・そろそろ教材の大幅改訂が必要である。

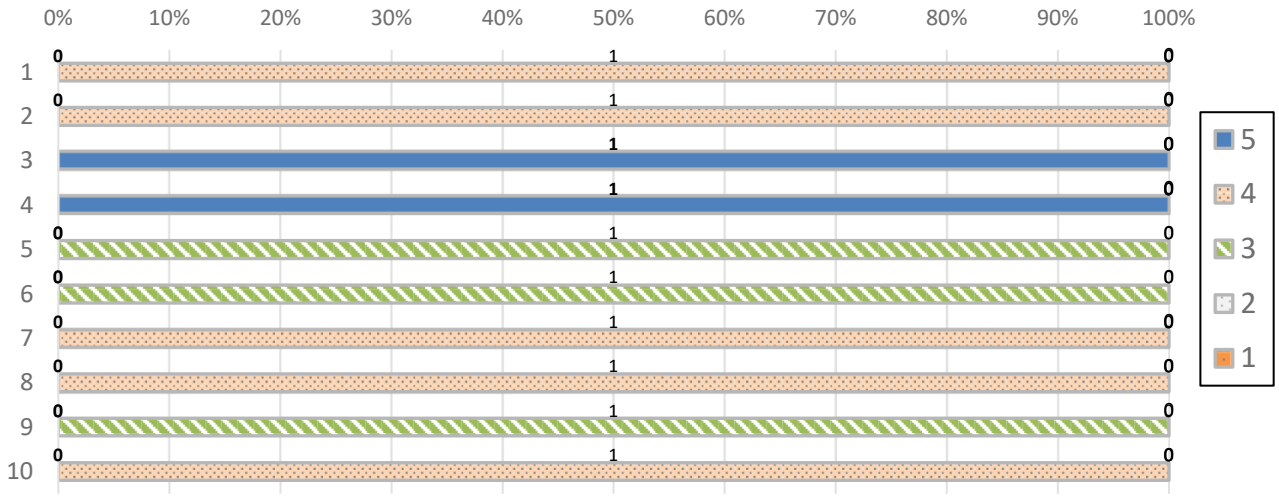
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15271
授業科目名	情報基礎【再】b
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

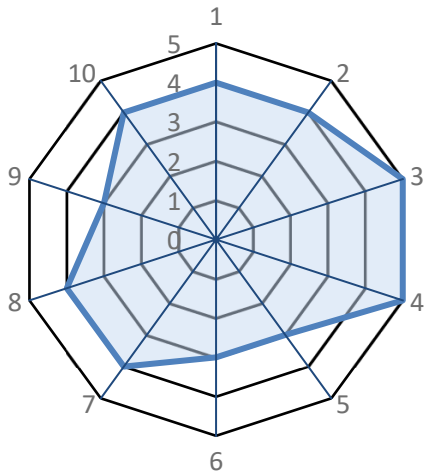
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・受講者数23に対して回答数1 である。1名の回答では傾向がまったく出てこないので、分析することができない。

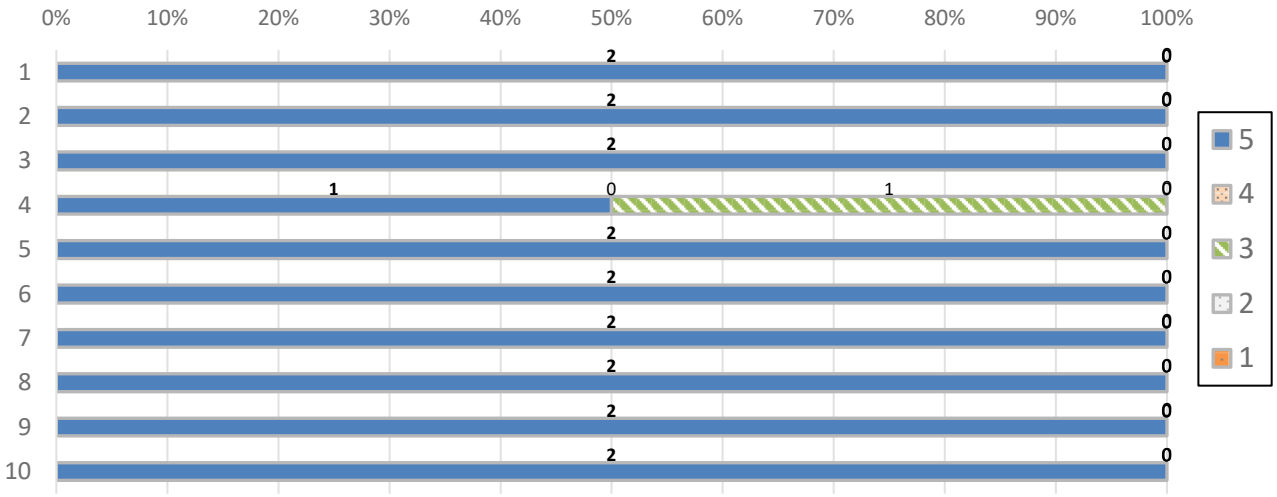
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15279
授業科目名	情報基礎【再】c
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

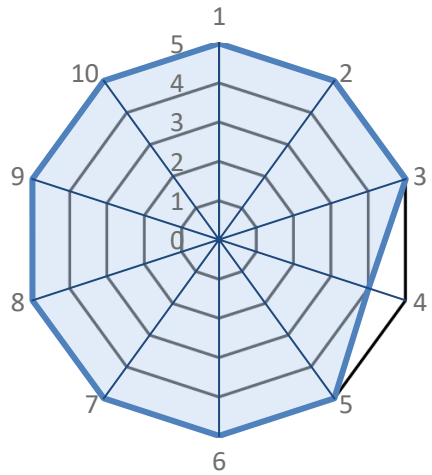
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	2

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

このクラスは「前期開始時点で講義開始に間に合わなかった者」向けである。前期のクラスと同じ傾向が出ており、特段の問題はないと思われる。

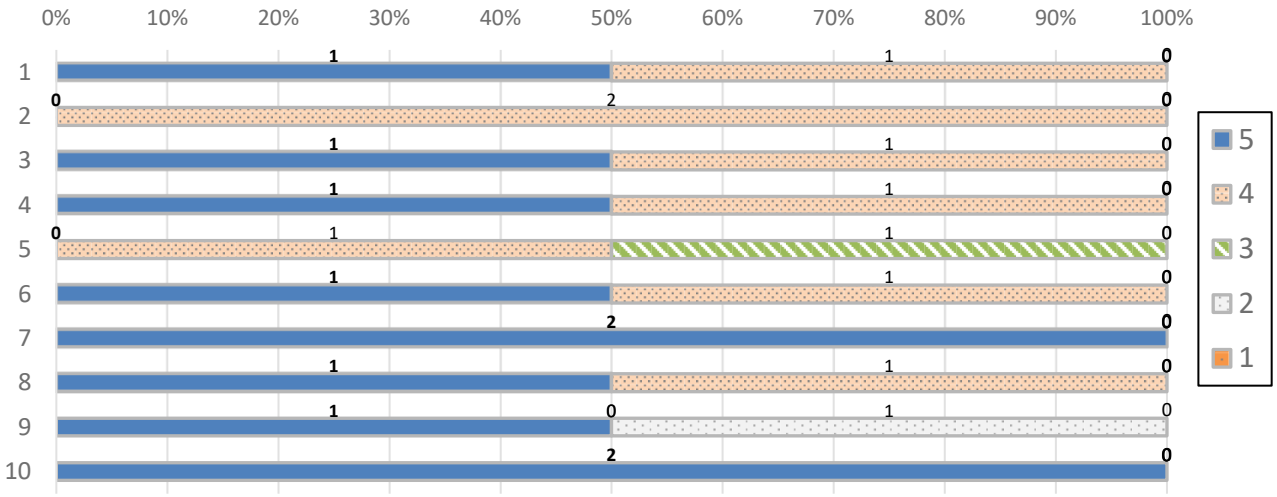
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18254
授業科目名	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎（VBA） ⑪
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

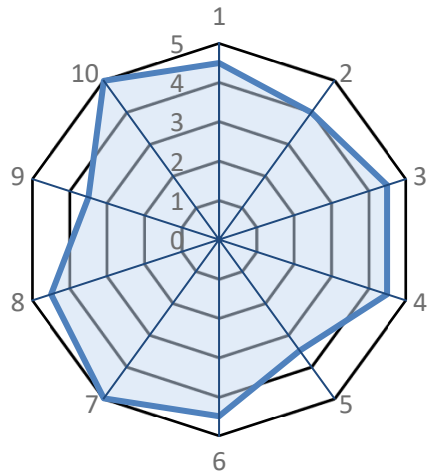
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	17

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2,3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・回答数2であるために相当の偏りが出るはず。プログラミングは向き・不向きがあり、同一時間の学修を行っても理解できる者とそうでない者が分かれてしまう。
・講義時間外の学修活動があまりできなかったという回答があるが、講義には積極的に出席し、主体的に参加したとのことであり、問題はない。
・評価基準のなる数値について、学生によってバラツキが出ていないか。事務局にてどのように基準値を示しているのか、学生が理解できているのか、検証が必要なのではないか。

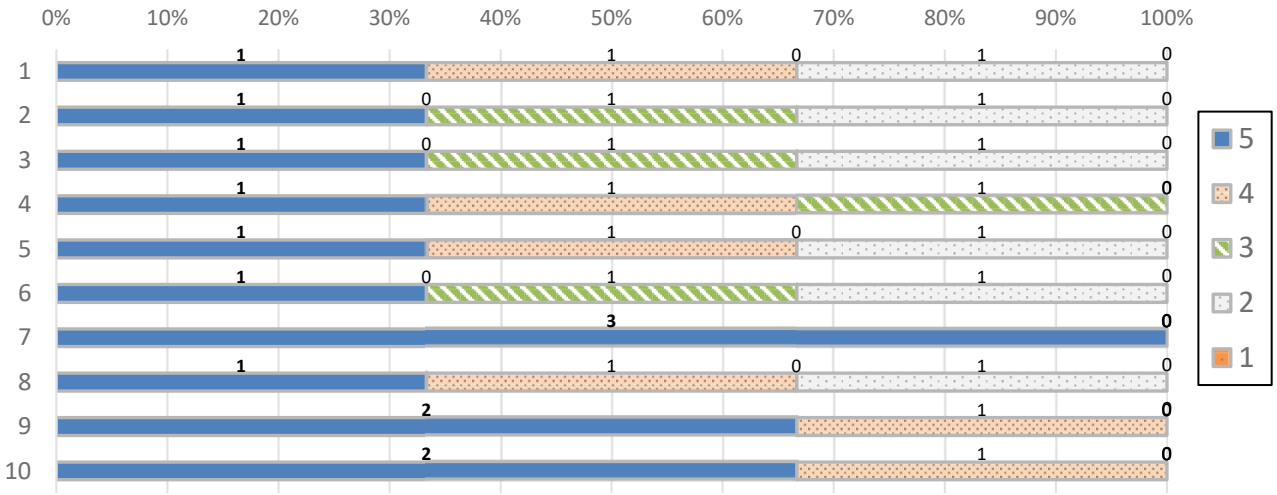
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18266
授業科目名	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎Ⅰ（VBA） ⑫
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

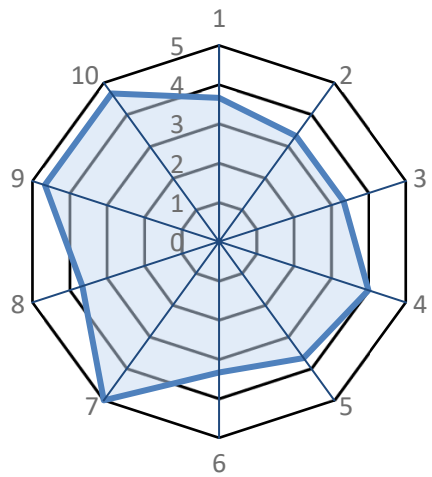
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	7

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・こちらのクラスについては、かなりの反省点がある。
・真面目ではあるのだが、全体として「継続した学修」が苦手であり、前回以前の内容を忘れてしまう学生が多い傾向が見られた。　・途中で生成AIを利用し始めた学生がいる。利用自体は何も問題が無いのだが、その回の課題の提出のみに重点を置き、プログラムの読解が不十分である点に気がつくのが遅れた。結果として「その回の課題は提出できたが、内容を理解していない」ことになった。
・この講義は各回が独立したものではなく、各回の内容を積み重ねて最終課題が解けるようになっている。読解不十分な部分がある時点で、最終課題は解けないものと考えなければならない。
・次年度以降は少しハードルが上がるが、プログラム各行の意味をコメントとして記させ、内容の読解に穴が空かないように注意するようにしたい。

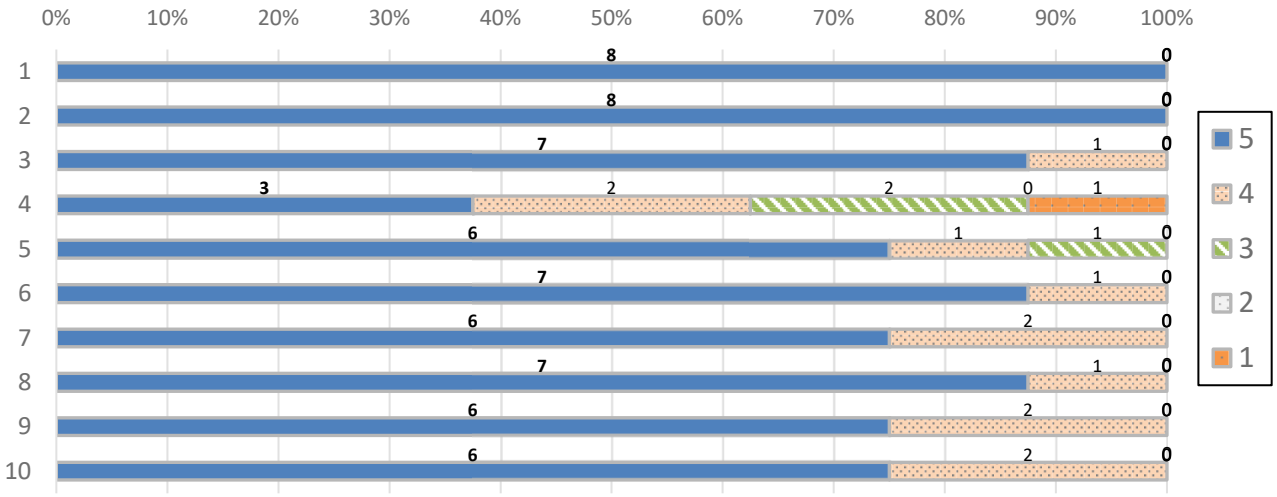
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	72257
授業科目名	情報と社会
担当者	三田　淳司
所属	共通教育

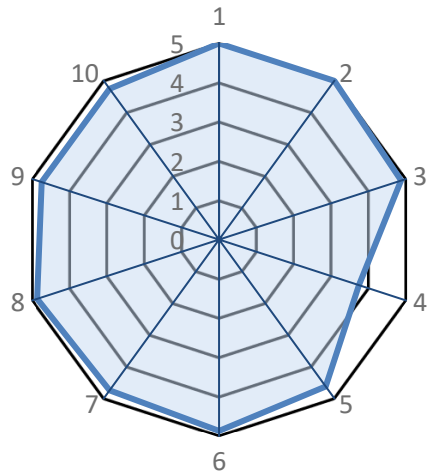
調査実施日	2024年2月
回答者数	8
対象者数	79

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・現状でも特段の問題はないように見える。
・この講義では、教員都合の休講は一度もしていない。基準点がどこなのか、明示していないことが誤解を招く結果になっているのではないか？

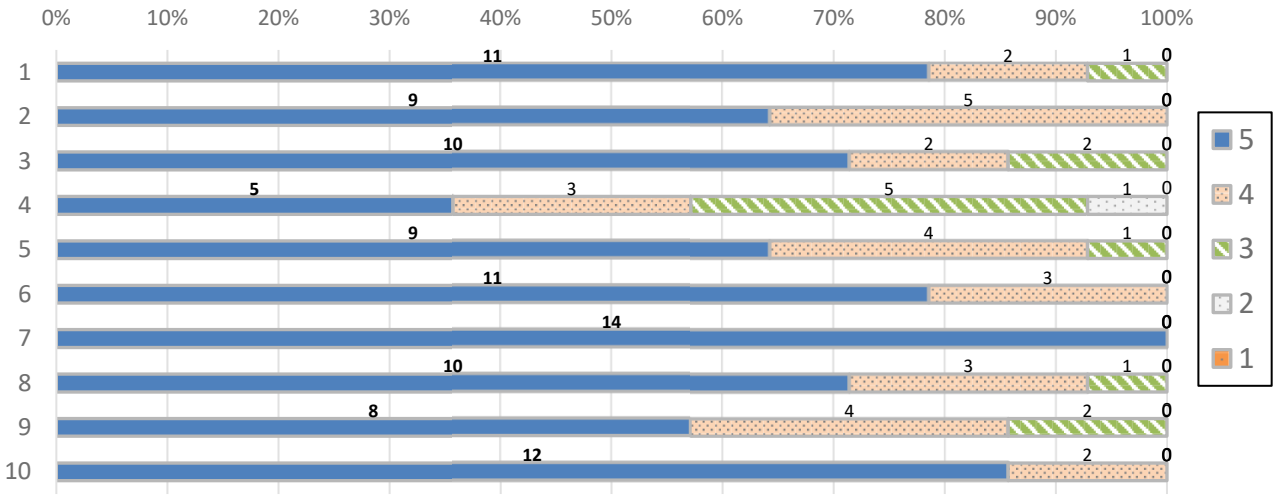
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	16250
授業科目名	憲法Ⅱ
担当者	西津　佐和子
所属	共通教育

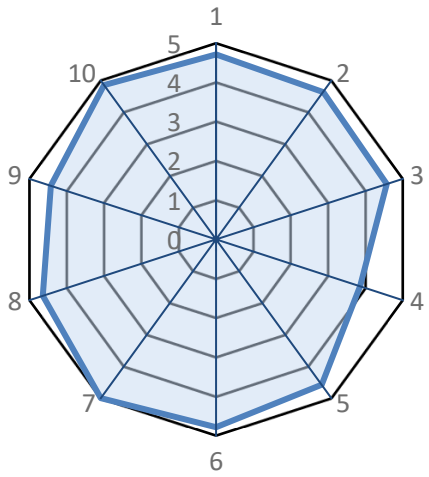
調査実施日	2024年2月
回答者数	14
対象者数	56

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

本学での初めての講義を前期に終え、その反省点をふまえて分量や教授方法を改善した。しかしながら、後期の授業内容は前期と異なるため、実際に講義をするなかで学生の反応を見る必要があった。今後、大学教育としての質を落とすことなく、学生の理解力に合わせて、さらなる分量の調整を行いたいと考えている。

授業評価アンケート（集計表）

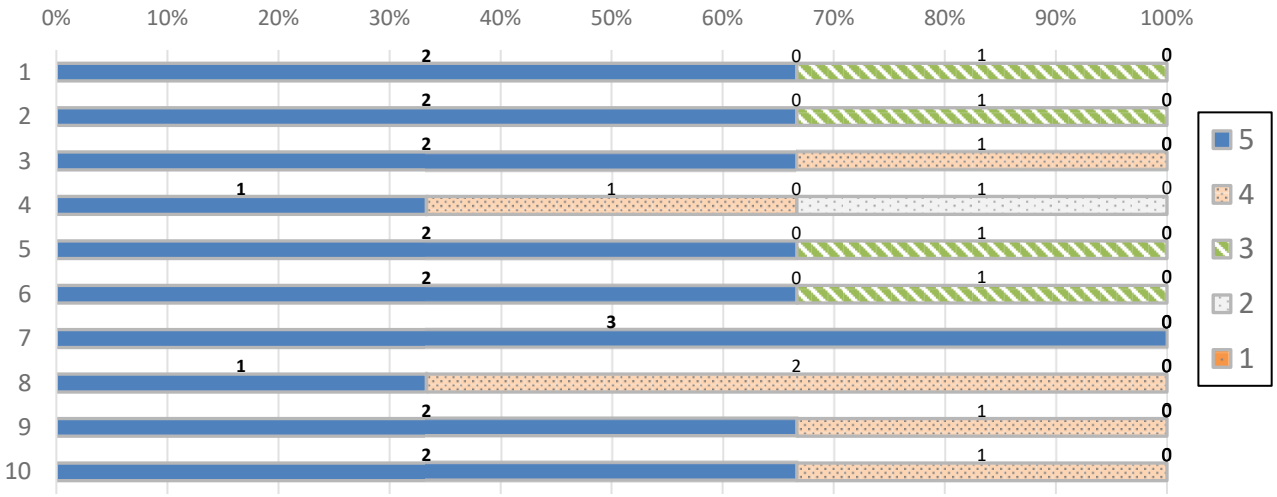
時間割コード	17152
授業科目名	基礎英語ⅡＢ　3組
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	21

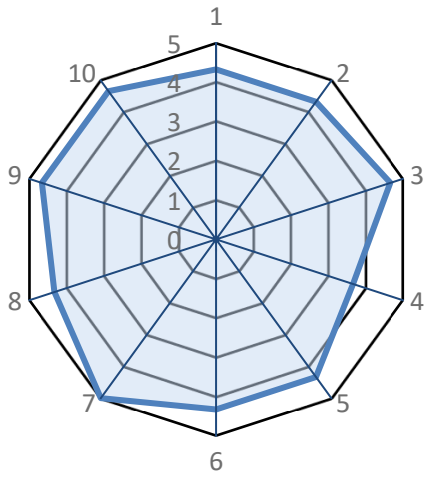
1

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、回答での評価のバラつきが目立つ。現在の教科書を用いるなかで、クラスの各学生の習熟度に目配りしながら、授業内容を工夫して進めたい。

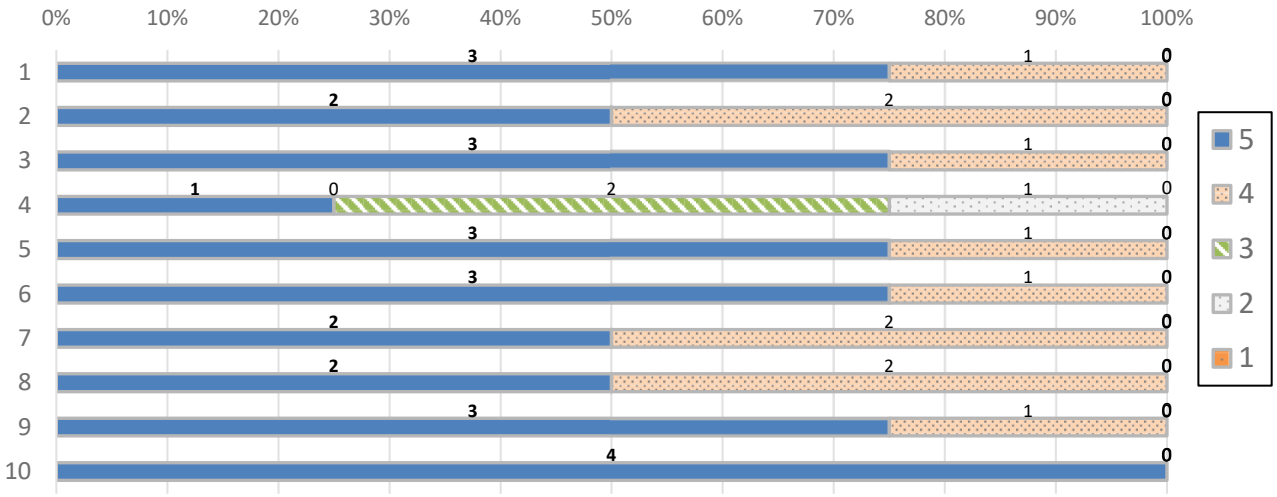
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17254
授業科目名	基礎英語ⅡA　3組
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

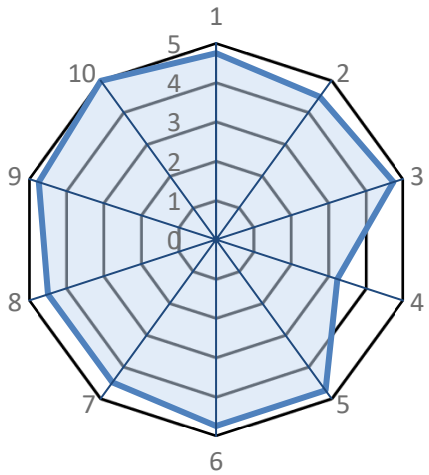
調査実施日	2024年2月
回答者数	4
対象者数	21

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、回答での評価のバラつきが目立つ。現在の教科書を用いるなかで、クラスの各学生の習熟度に目配りしながら、授業内容を工夫して進めたい。

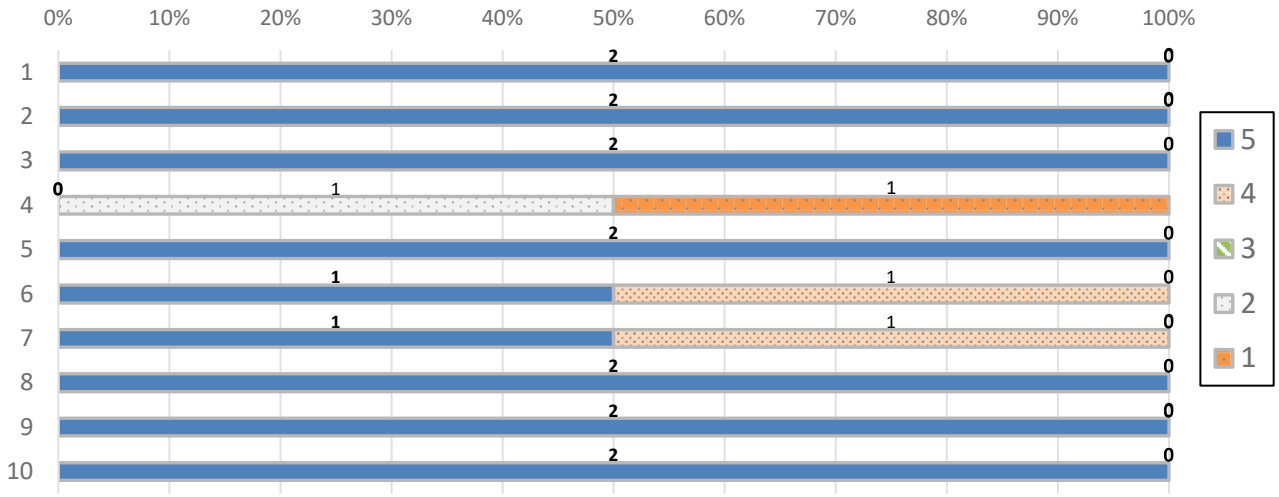
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17268
授業科目名	英語ＩＢ【再】
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

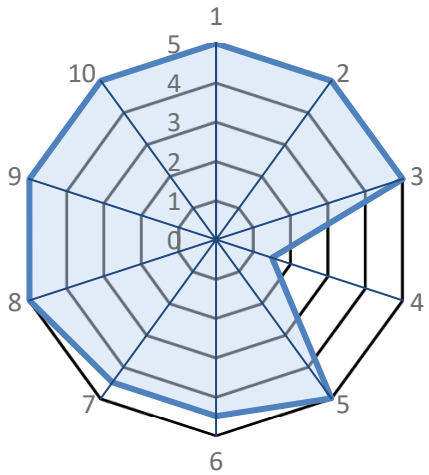
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	13

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

2名のみの回答だが、Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、「易しい」「やや難しい」と相反する評価が見られる。再履修クラスはさまざまな習熟度の学生が混在し授業内容に悩ましい面があるが、教員としては「再履修」クラスであることから、基礎的英語力の確認と補強に重点を置きながら授業を進め、自由記述に見られるような学生の理解と自信を促進する力としたい。

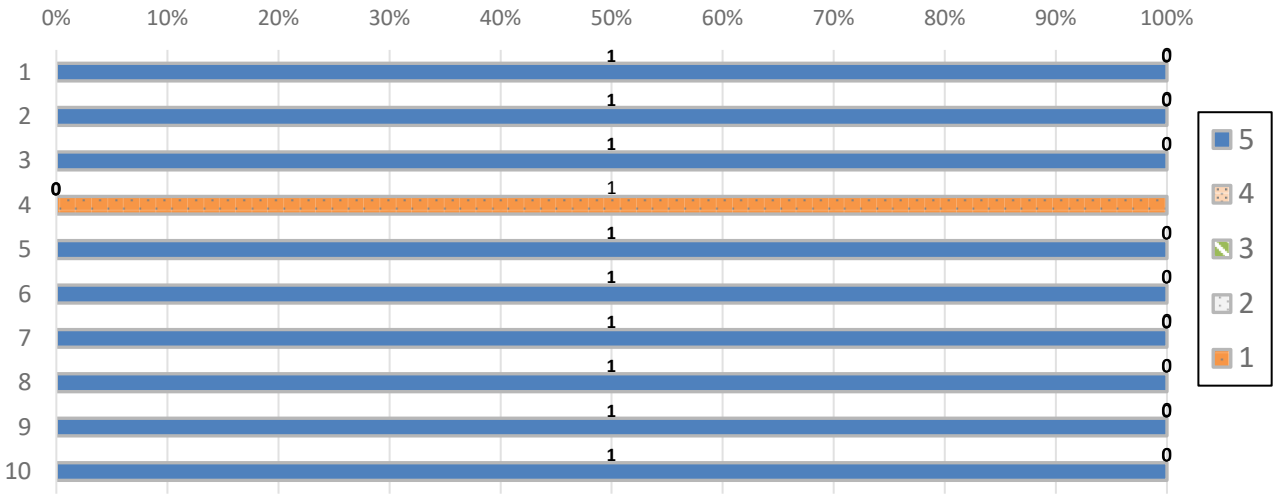
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17283
授業科目名	英語ＩＡ【再】
担当者	中島　恭子
所属	共通教育

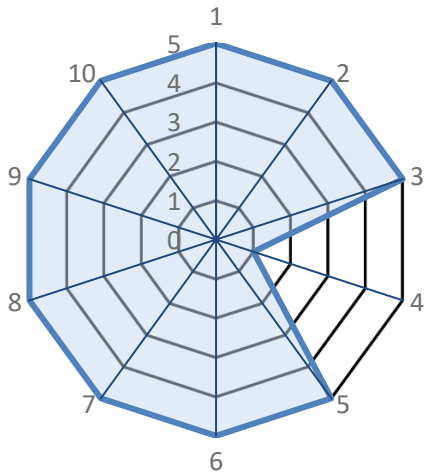
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	11

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

1名のみの回答だが、Q4「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。」の質問に対し、「易しい」という低い評価が目立つ。再履修クラスはさまざまな習熟度の学生が混在し授業内容に悩ましい面があるが、教員としては「再履修」クラスであることから、基礎的英語力の確認と補強に重点を置きながら授業を進め、学生の理解と自信を促進する力としたい。

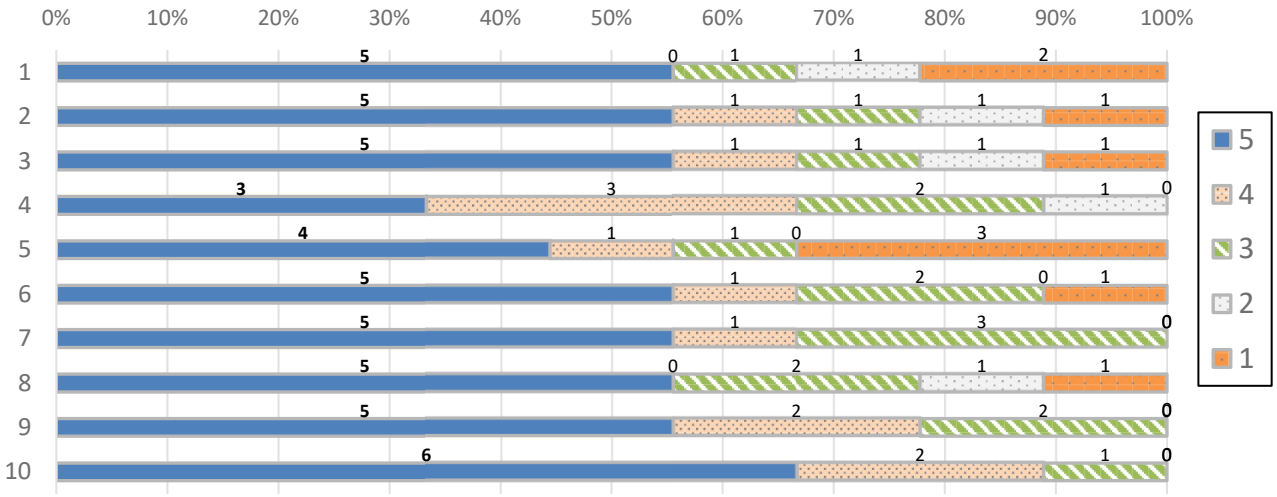
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18253
授業科目名	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎（C） ①
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

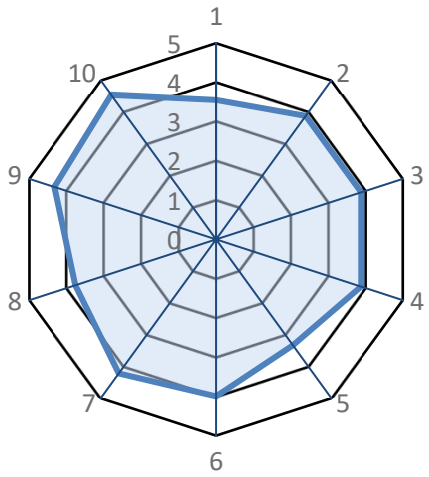
調査実施日	2024年2月
回答者数	9
対象者数	26

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

この科目は，演習を通じて初めて理解できる科目であるから，多少難しい部分はあるが，工夫しながらやってきたつもりである．答えだけを知りたい学生には不満もあるだろうが，そうではないことを全学的に一致して教育することが必要であろう．

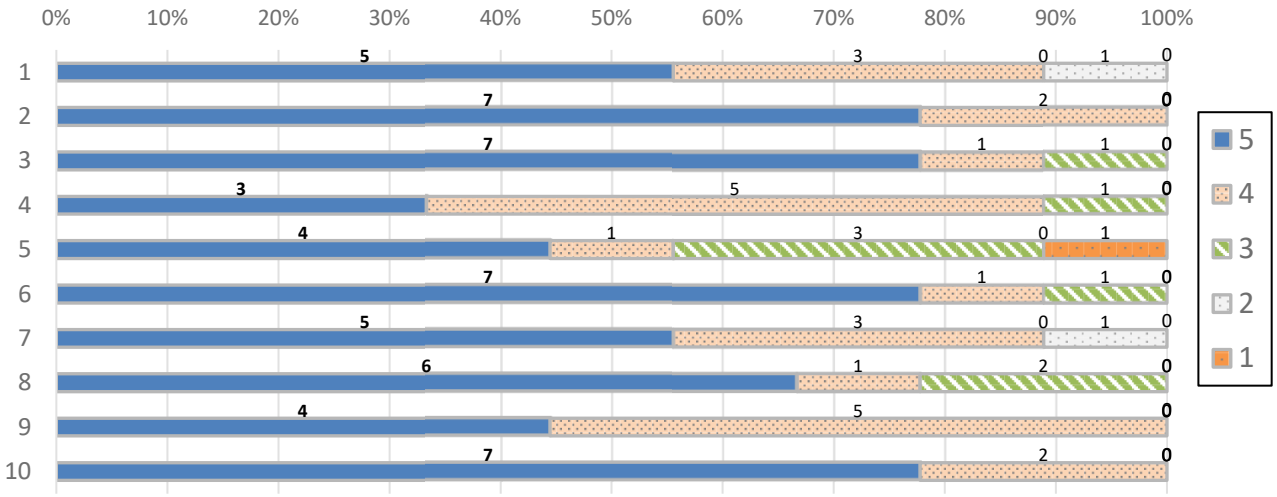
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18265
授業科目名	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎Ⅰ（C） ③
担当者	田中　賢一
所属	共通教育

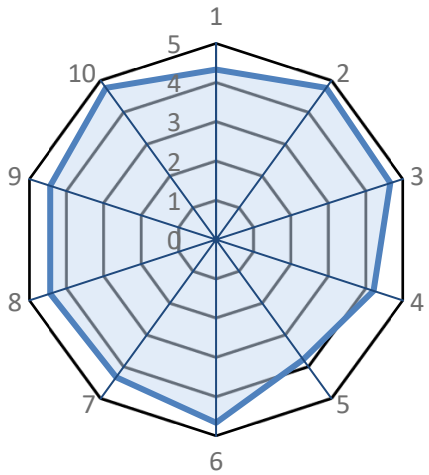
調査実施日	2024年2月
回答者数	9
対象者数	52

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

この科目は，演習を通じて初めて理解できる科目であるから，多少難しい部分はあるが，工夫しながらやってきたつもりである．答えだけを知りたい学生には不満もあるだろうが，そうではないことを全学的に一致して教育することが必要であろう．

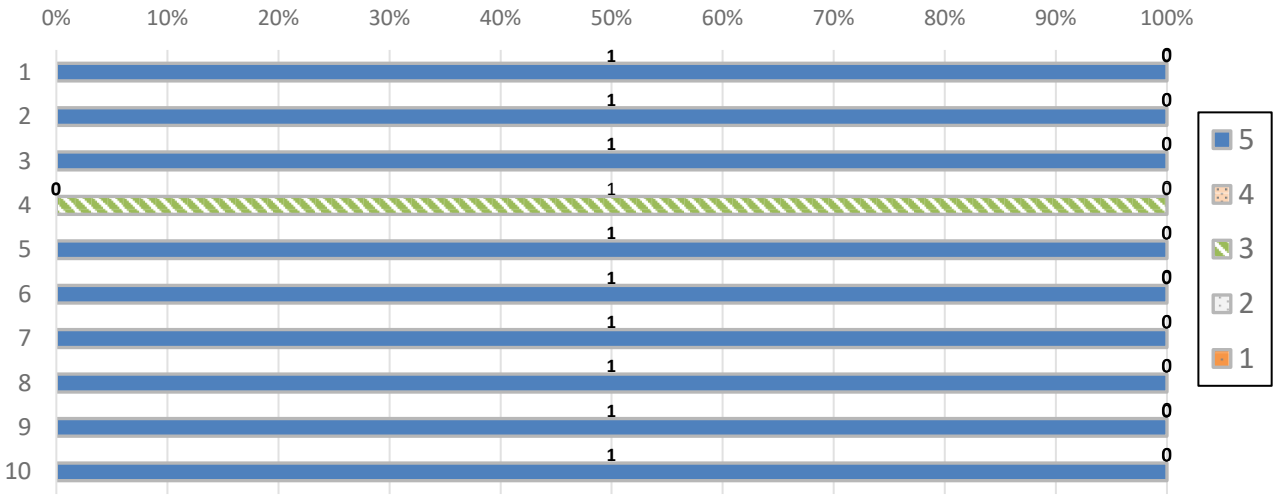
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17274
授業科目名	日本語ⅡB
担当者	田島　紀子
所属	共通教育

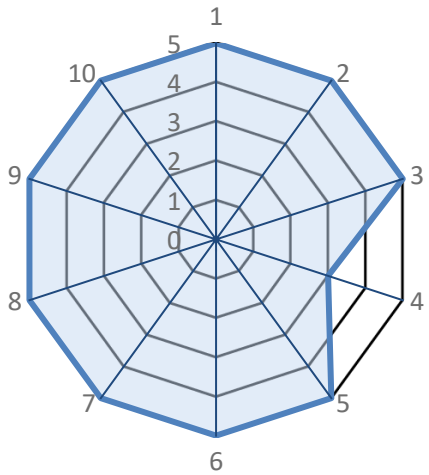
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	16

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が1名ということでこの結果だけでは分析しかねるが、この授業の受講生は全員前期と同じ学生だったので授業の難易度について評価が分かれるのは納得できる。今後はより多くの受講生が満足できる授業づくりに尽力したい。

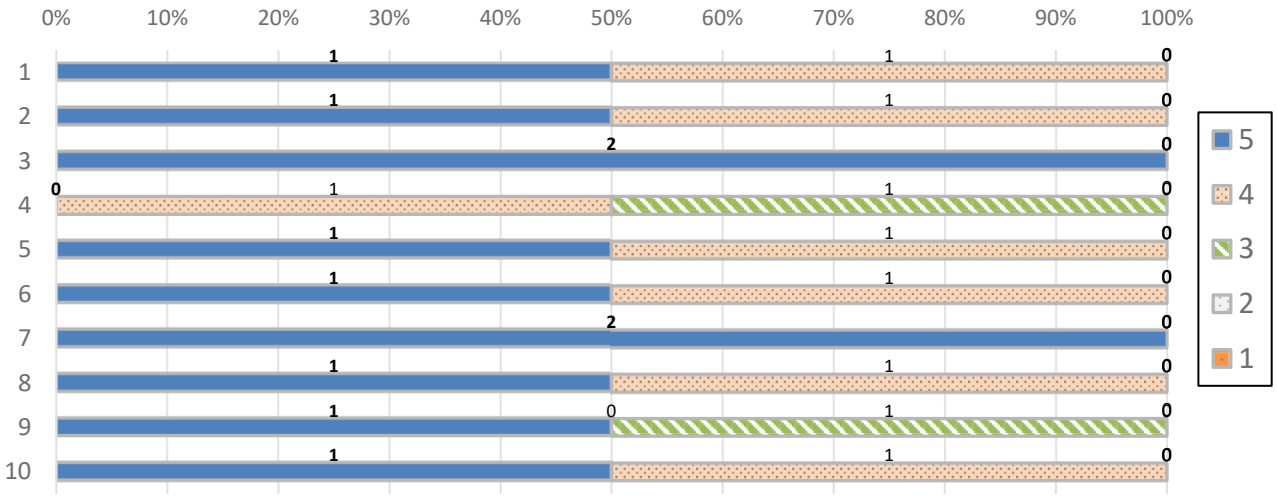
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15251
授業科目名	線形代数学Ⅱ　2組
担当者	板倉　数記
所属	知能情報

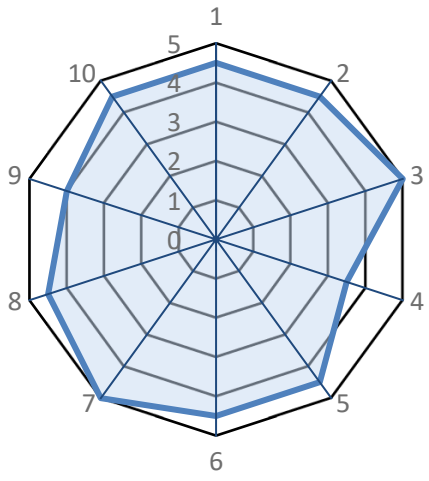
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数2名なので判断できない。

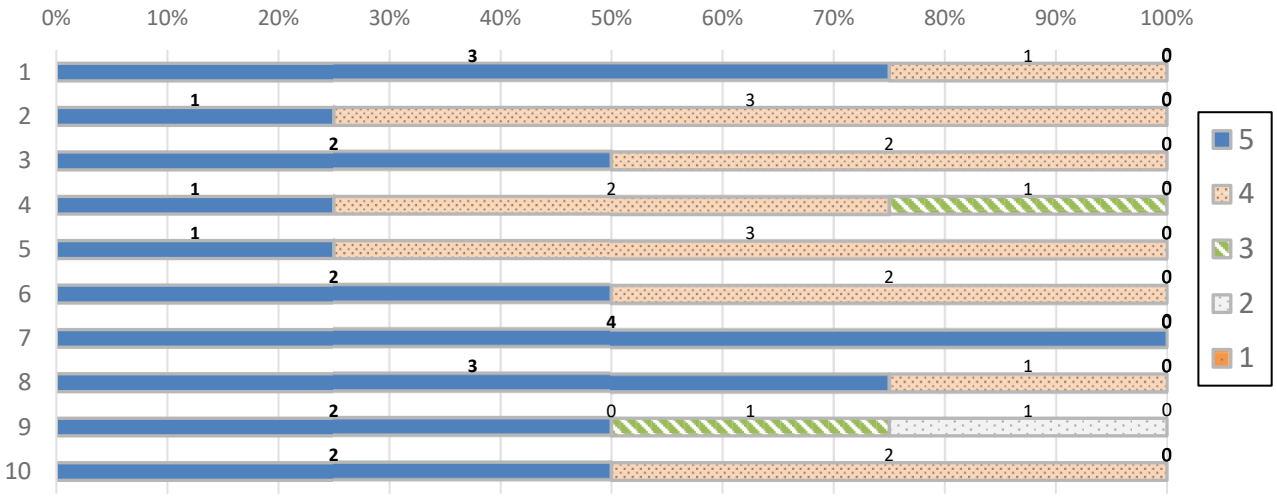
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15264
授業科目名	力学Ⅱ
担当者	板倉　数記
所属	知能情報

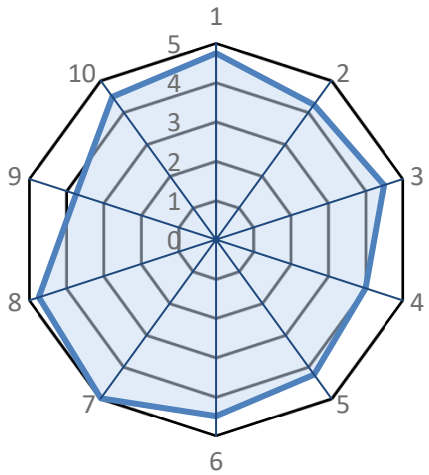
調査実施日	2024年2月
回答者数	4
対象者数	10

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数4名。この講義は毎年工夫を重ね、学ぶことが如何にして専門で必要になるかなどを盛り込むようにしている。

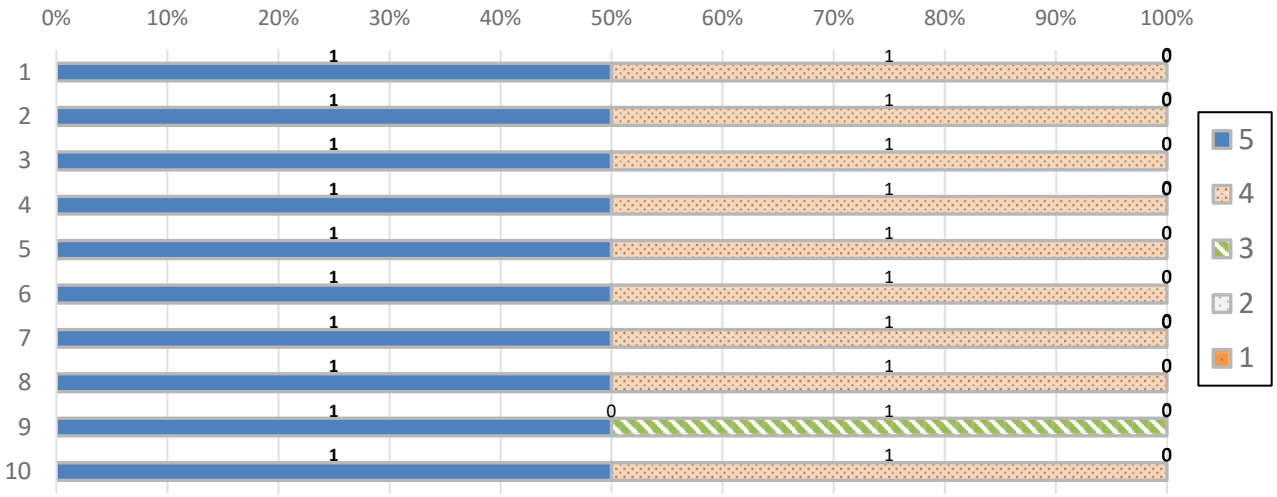
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15268
授業科目名	微分積分学Ⅱ　2組
担当者	板倉　数記
所属	知能情報

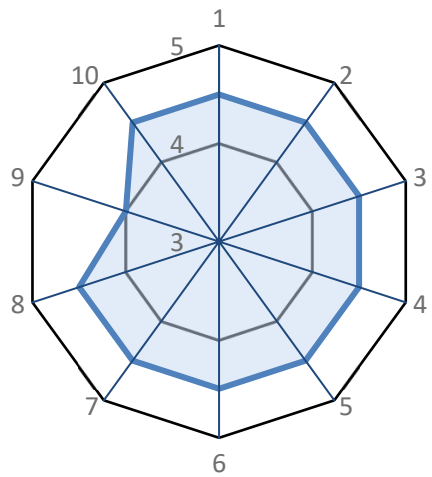
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	24

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数2名なので判断できない。

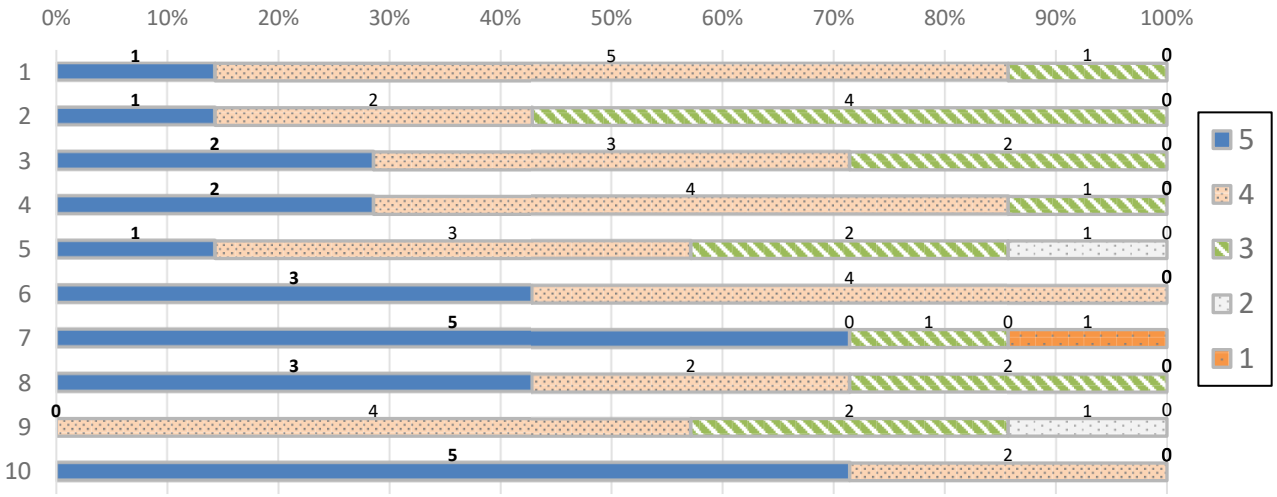
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15252
授業科目名	線形代数学Ⅱ　3組
担当者	林田　滋
所属	共通教育

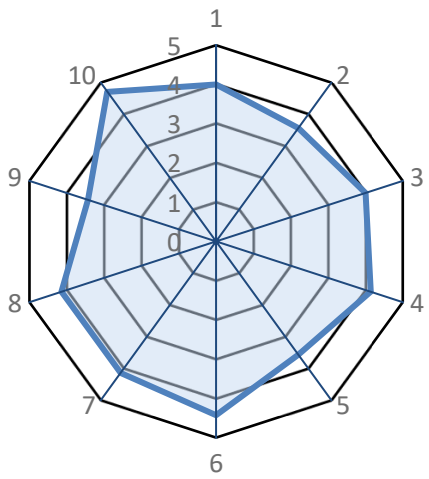
調査実施日	2024年2月
回答者数	7
対象者数	30

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

（線形代数学Ⅰよりの続き）

テキストには、読んで分かるものを選んだと先に述べたが、学生にとって文章をじっくりと読んで理解することは、意外と苦手であったようです。さらに問題としている事柄がどこに書いてあるのかを索引を使って調べることなども結構手間取っていた。ネットで調べることが多いからかもしれない。

あることを勉強するには、色んな本をつまみ食い（ネットもこれに近い）するのではなく、一冊の本のじっくり読み、理解するすることが必要だと思う。そのためには、本（専門書とは限りません）を読んで読解力をつけることも大切であろう。

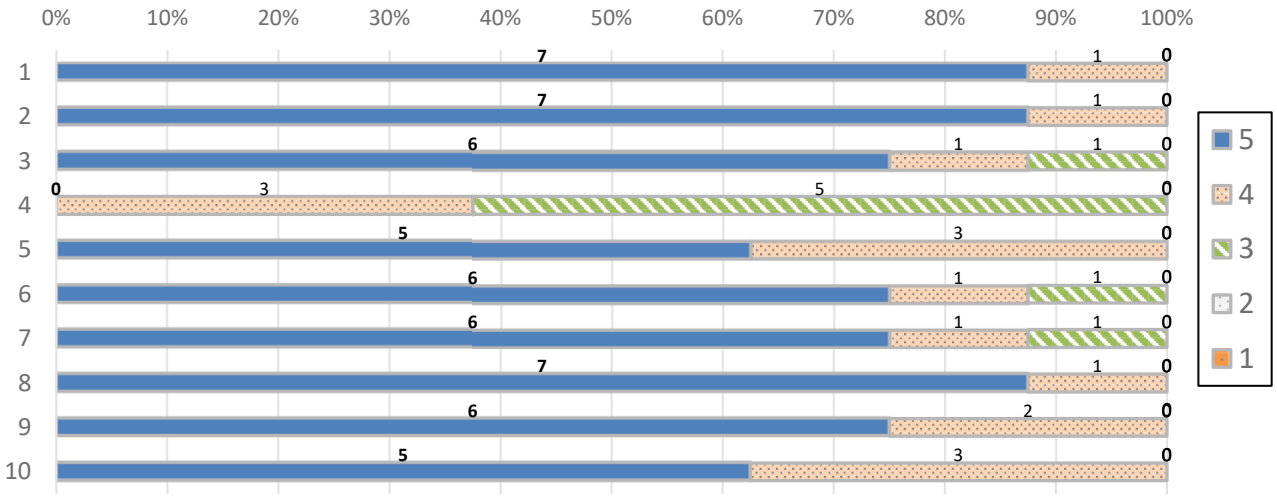
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15254
授業科目名	線形代数学Ⅱ　5組
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

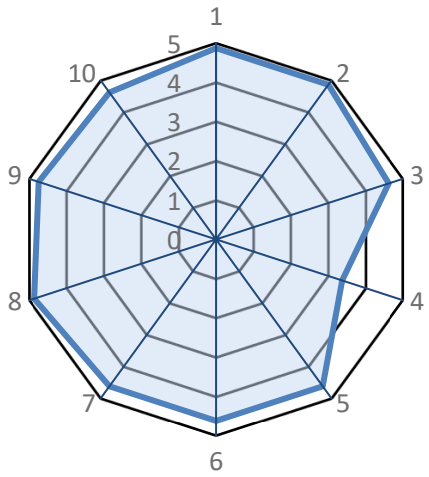
調査実施日	2024年2月
回答者数	8
対象者数	60

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が少ないため、良好な評価が多いと考えられる。実際には未回答に不満がある可能性が高いため、アンケートに答えていただけるようにコミュニケーションをとっていく。

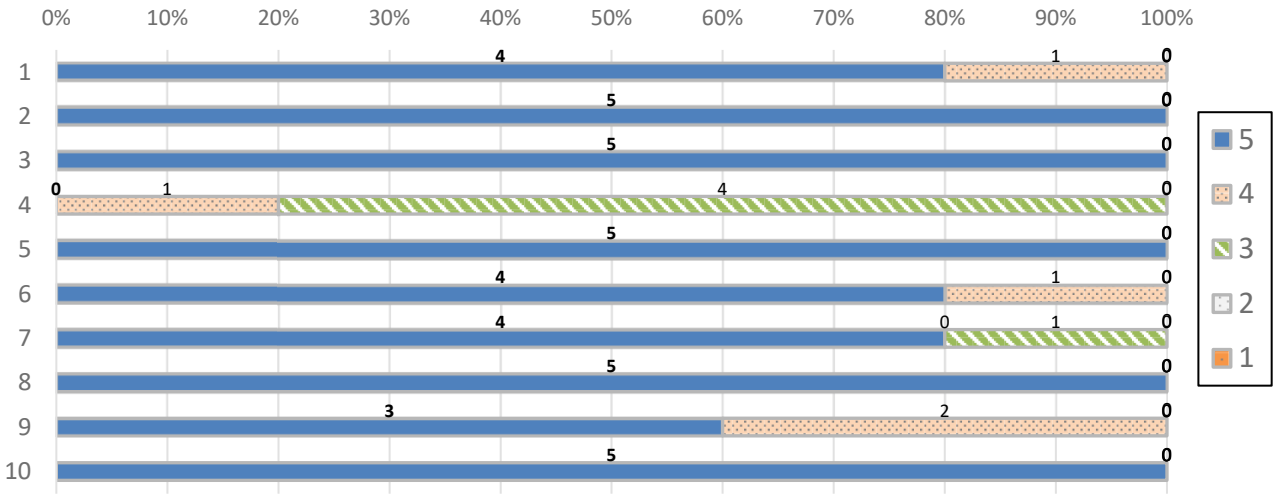
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15260
授業科目名	微分積分学Ⅱ　5組
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

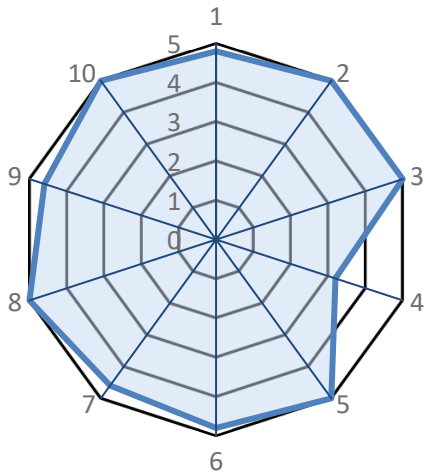
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	50

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

線形代数学IIとほぼ同じ学生であり、その科目と同様回答数が少ないため、良好な評価が多いと考えられる。ただ、その中でも線形代数学IIよりは良い結果なのは演習などでの理解度チェックが良い影響を及ぼしているのかもしれない。
実際には未回答に不満がある可能性が高いため、アンケートに答えていただけるようにコミュニケーションをとっていく。

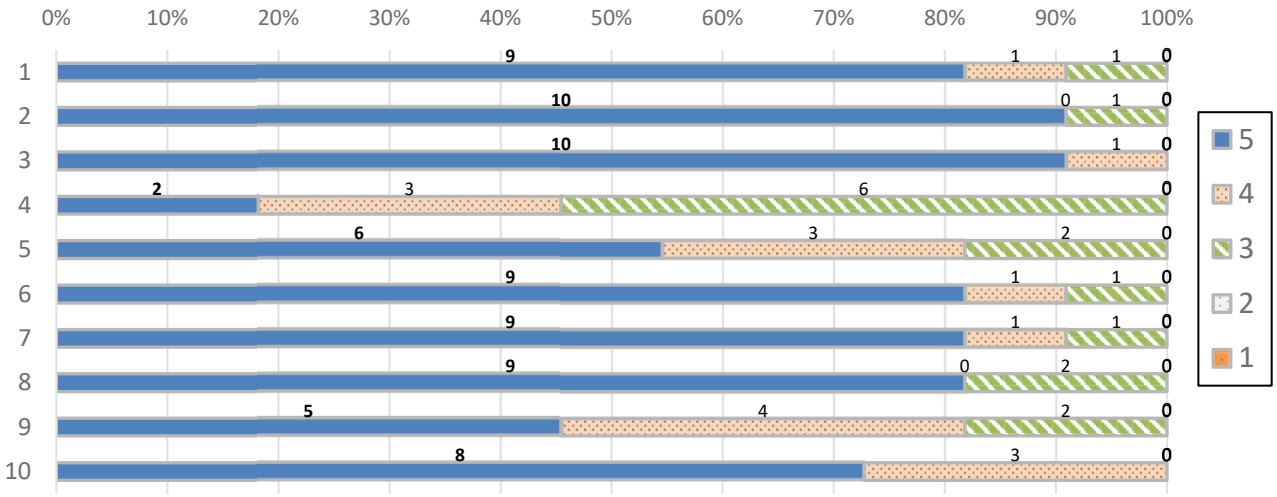
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15262
授業科目名	力学Ⅱ
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

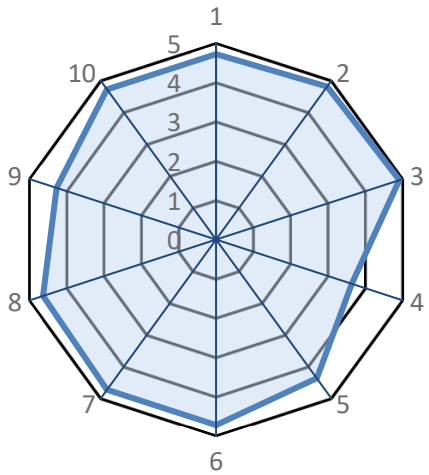
調査実施日	2024年2月
回答者数	11
対象者数	33

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

自由記載でも肯定的な記述が多く、上の結果も含めて、方向性は間違っていないと考えられる。
今後も精進していく。

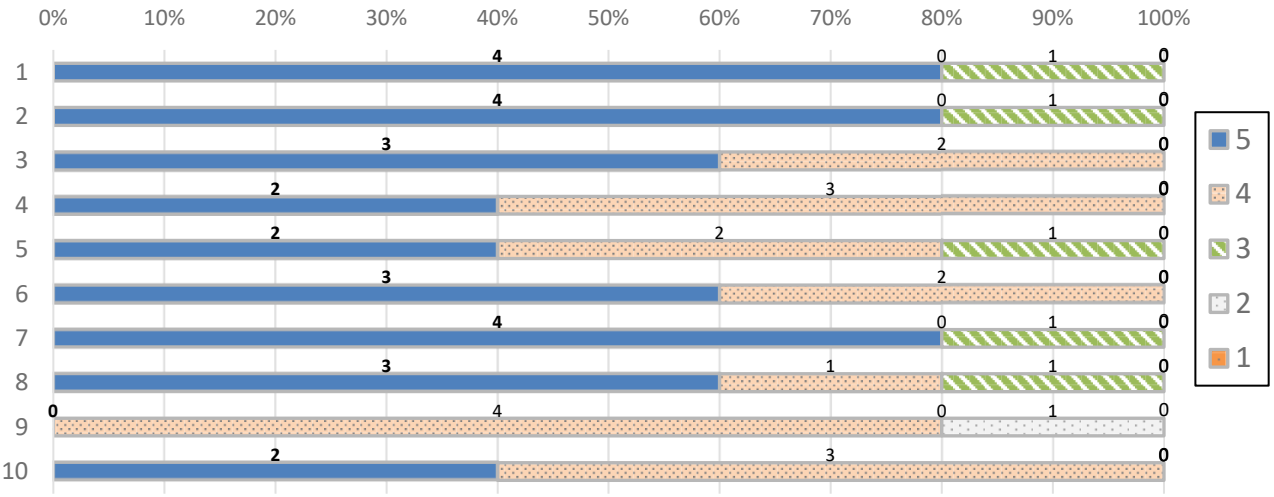
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15266
授業科目名	電磁気学
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

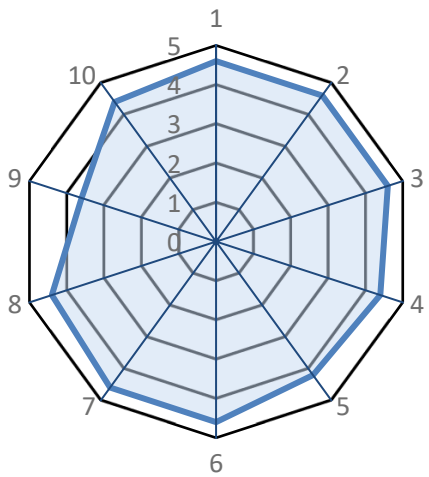
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	26

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q9の結果があまりよくない。実際には課題も数を出しているはずだが、あまりうまくいっていないのかもしれない。課題の出し方、フィードバックなどを改善していく。

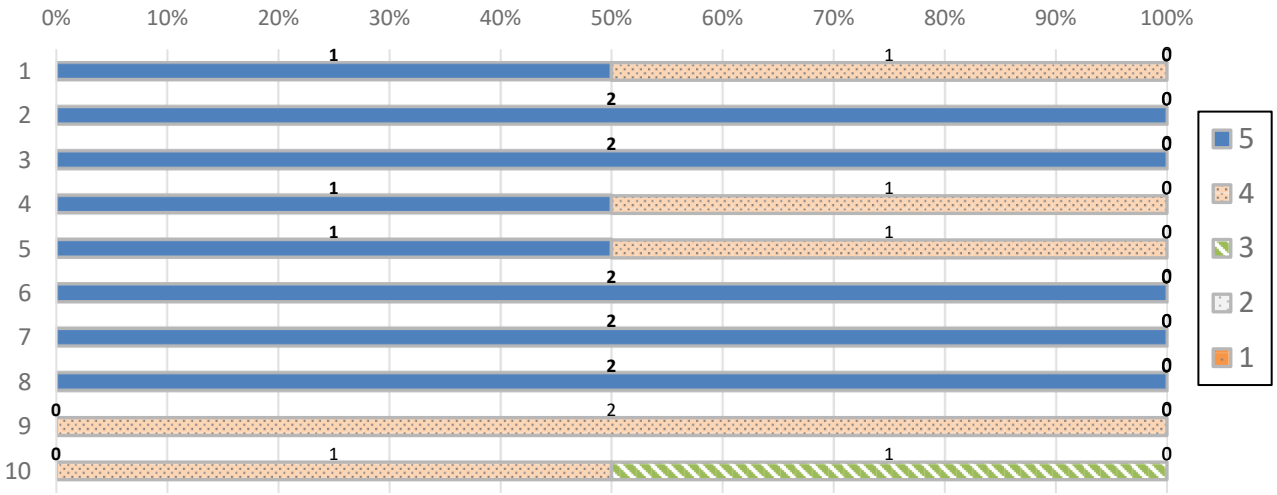
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18250
授業科目名	代数学B
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

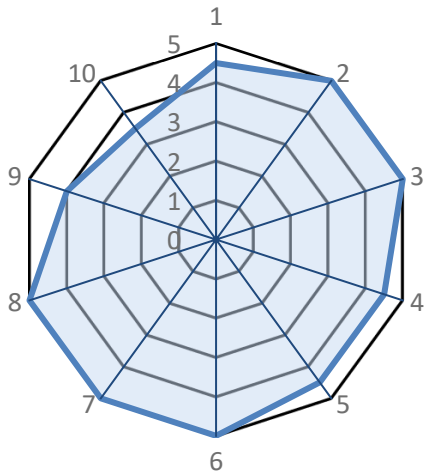
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	11

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が少ない。コミュニケーションが不十分と考えられる。質問などしやすい環境の構築を目指す。

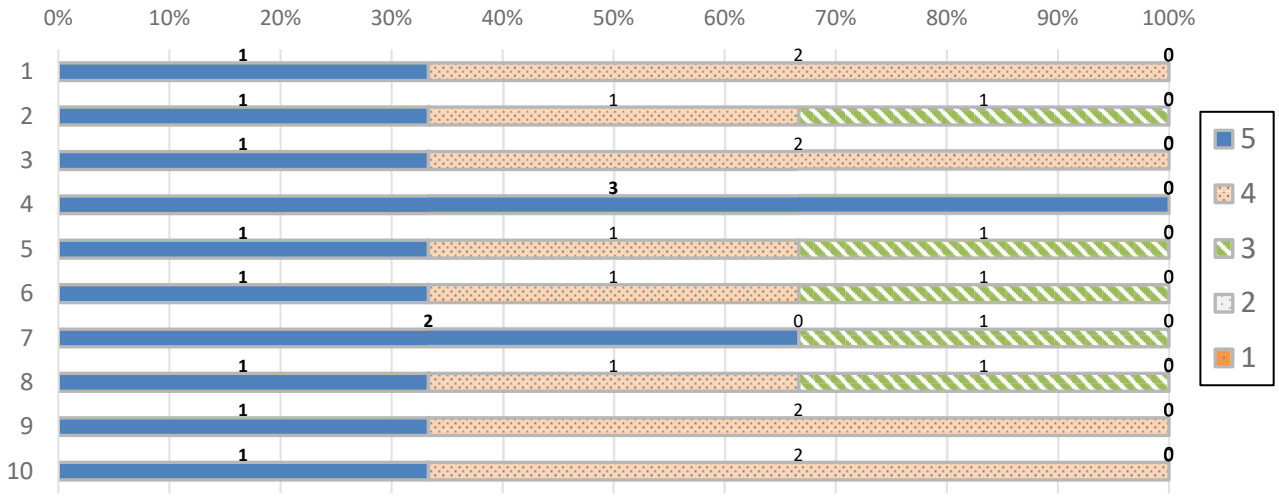
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18256
授業科目名	ﾌｰﾘｴ変換ﾗﾌﾟﾗｽ変換
担当者	澁佐　雄一郎
所属	共通教育

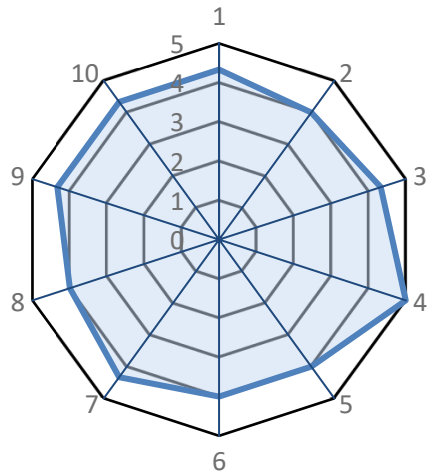
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	30

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

この科目も回答数が少ない。コミュニケーションが不十分と考えられる。質問などしやすい環境の構築を目指す。

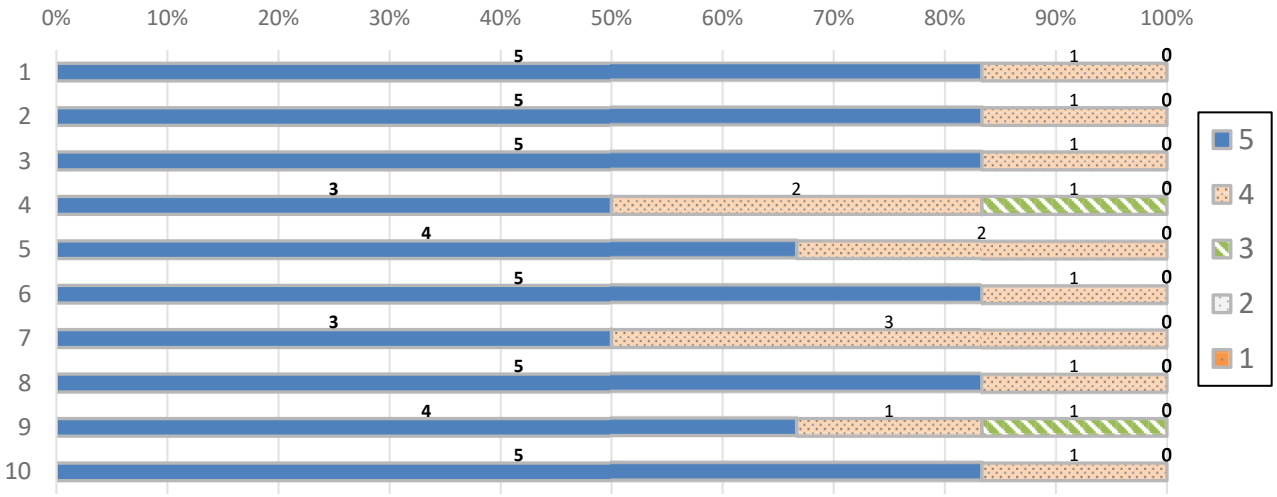
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17255
授業科目名	基礎英語ⅡA　5組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

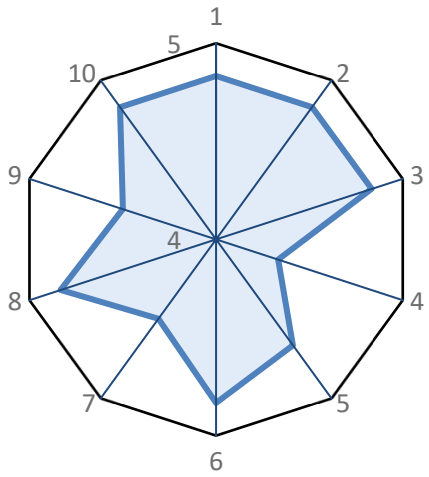
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

まず、今回の反省点は回答者数が少なかったことである。MS Teamsを使っての周知、連絡して回答をお願いしたのだが、残念な結果になってしまった。前期はこの方法でうまくいったので、油断していた。回答者数が少ない中での分析になるが、基礎英語ⅡBと比較すると休講や補講の周知に問題があったようなので、MS Teamsのスマホアプリを導入してもらい、通知設定までできるように講義で行いたい。そうすることで、現状でも行なっているMS Teamsでの周知が気づかないままになることを防げると思う。

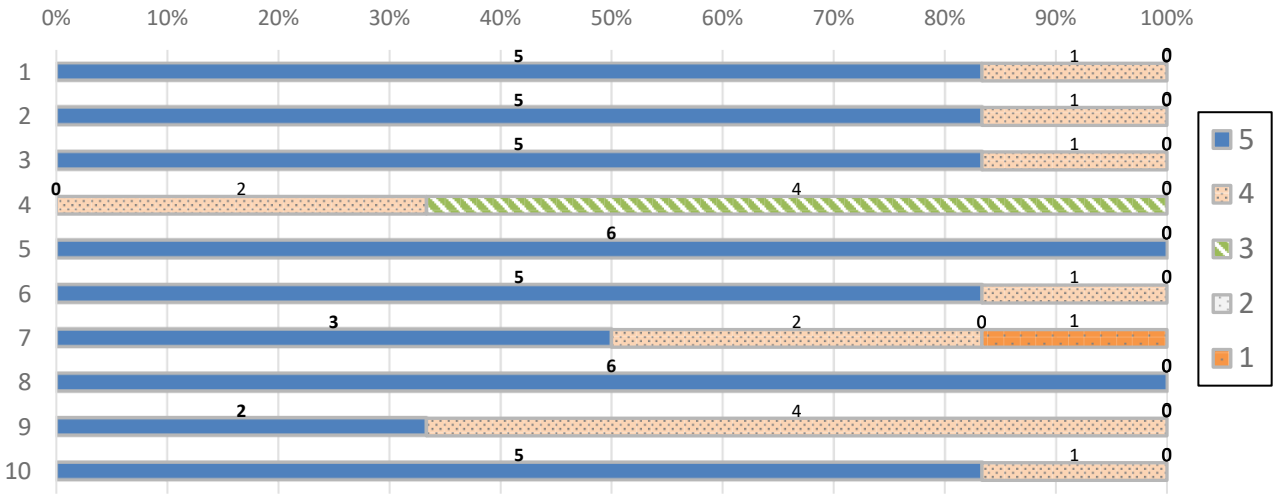
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17154
授業科目名	基礎英語ⅡＢ　5組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

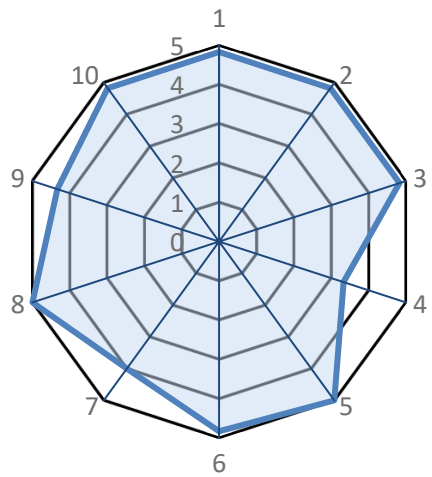
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

まず、今回の反省点は回答者数が少なかったことである。MS Teamsを使っての周知、連絡して回答をお願いしたのだが、残念な結果になってしまった。前期はこの方法でうまくいったので油断していた。回答者数が少ない中での分析になるが、基礎英語ⅡAと比較するとBのクラスでも同様に講義の進行に問題があったようなので、授業の進行は随時、キレの良いところで止まり質問を出しやすい間を作り、不明確なまま進まないようにする。

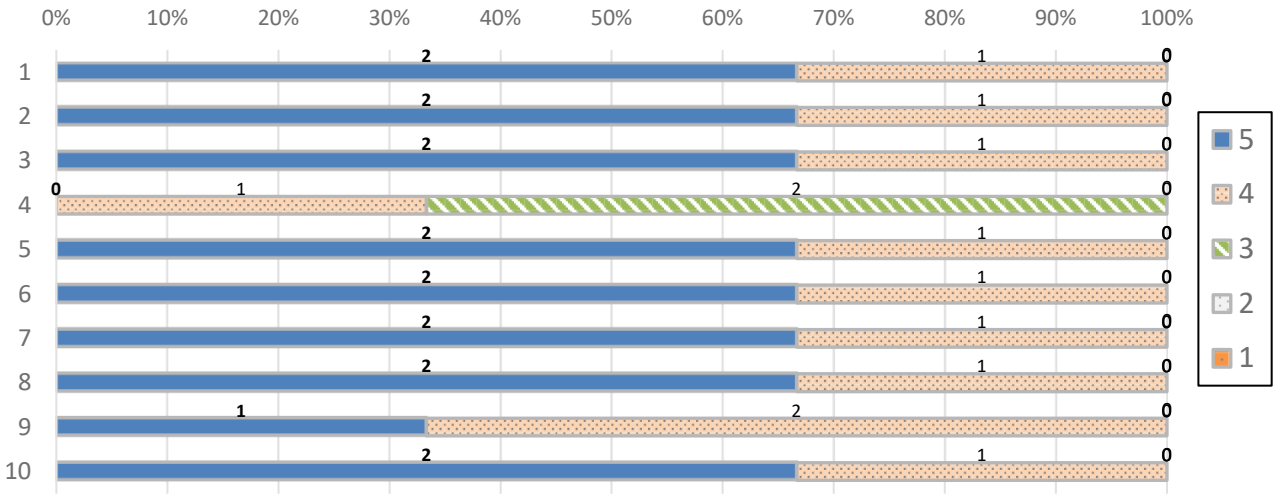
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17157
授業科目名	英語Ⅲ　O組
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

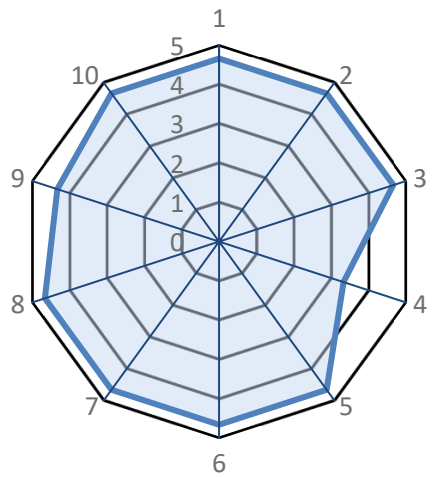
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	11

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

まず、今回の反省点は回答者数が少なかったことである。MS Teamsを使っての周知、連絡して回答をお願いしたのだが、残念な結果になってしまった。前期はこの方法でうまくいったこと、さらにアッパークラスの学生は比較的回答率が高いので油断してしまっていた。回答者数が少ない中での分析になるが、このクラスは、習熟度アッパークラス、自立してできる英語学修が目標であった。ただ、前期同様に主体的な学修、学外での学修を促すと、その量が大きくなるため、適切な量を考えてあげる必要があると感じた。学生と話し合いながら、負担にならない量を決めていきたい。

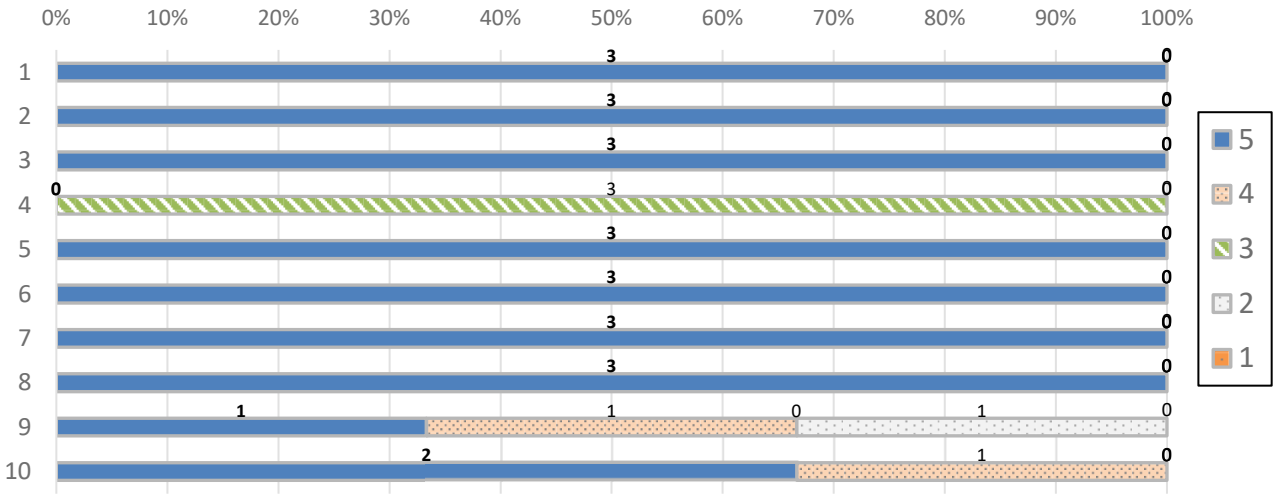
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	17253
授業科目名	英語演習B
担当者	濵﨑　大
所属	共通教育

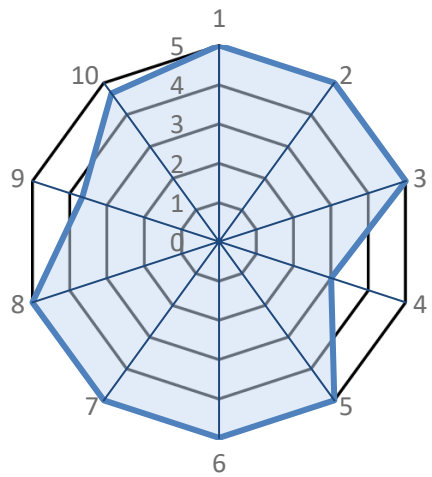
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	7

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

このクラスは、習熟度アッパークラス、そして2年生ということもあって、自立してできる英語学修が目標であった。コロナ禍を経験して逞しくなった学生たちは、遠隔授業の際でも対応力が高く、目指してきたものを具体化できていた。たとえば、調べ学修のアウトプット（アウトライン、プレゼン）はよくできていた。さらに、遠隔でそれぞれがプレゼンを行うことができたため、将来的な実践力をつけることができたことは大きかった。ただ、前期同様に主体的な学修、学外での学修を促すと、その量が大きくなるため、適切な量を考えてあげる必要があると感じた。学生と話し合いながら、負担にならない量を決めていきたい。

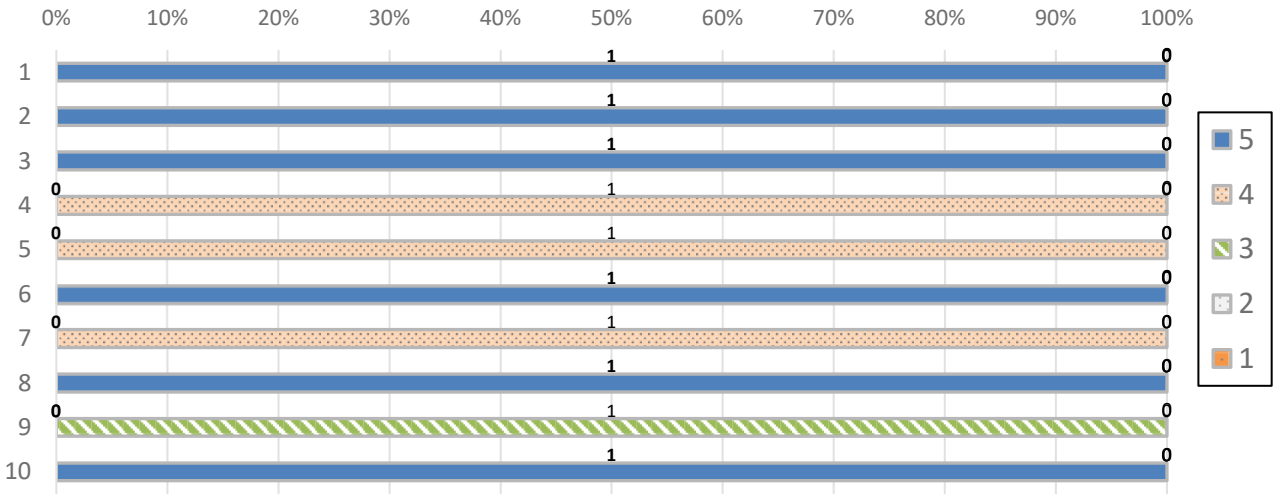
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23102
授業科目名	構造力学
担当者	古野　弘志
所属	船舶工学

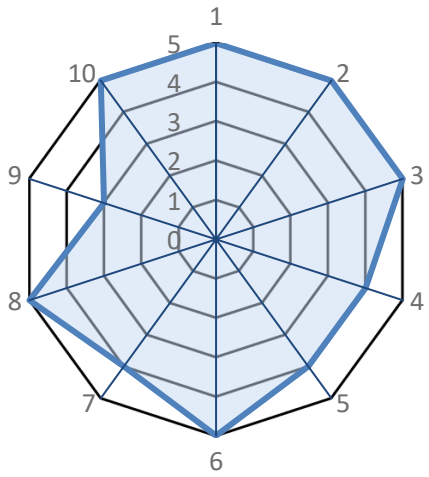
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	18

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が1名しかいないので評価しがたいが、難易度設定も含め好評を頂いたようである。次年度以降は、予習・復習などの自己学修の呼びかけをしっかりと行いたい。

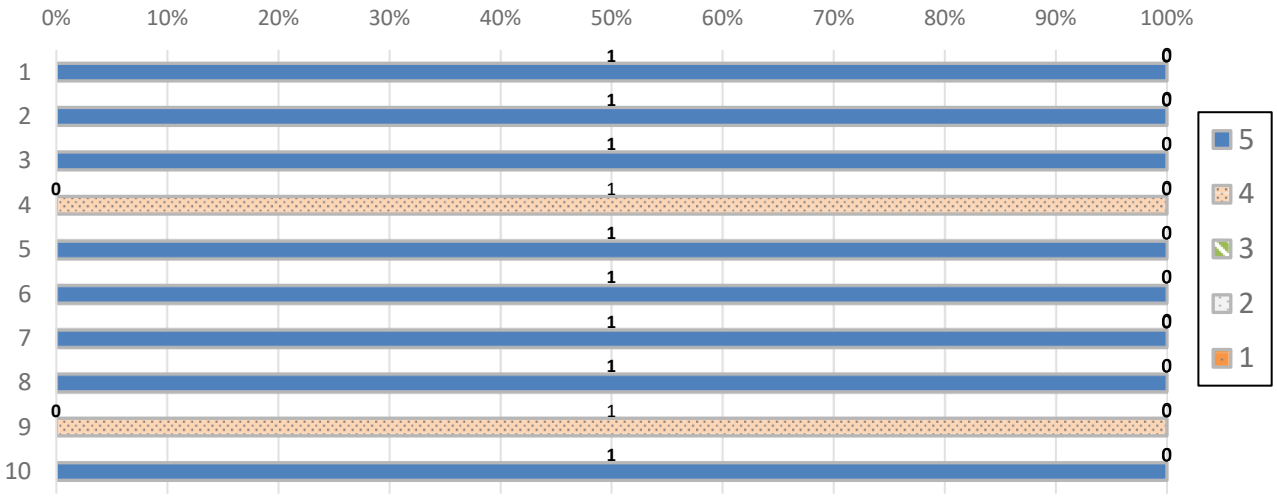
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23103
授業科目名	船体強度論Ⅰ
担当者	古野　弘志
所属	船舶工学

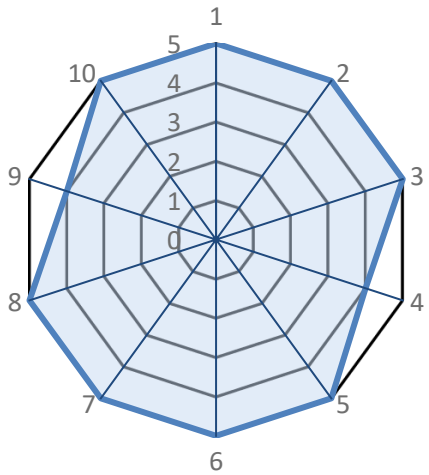
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	18

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が1名しかいないので評価しがたいが、難易度設定も含め好評を頂いたようである。改善点は特に無し。

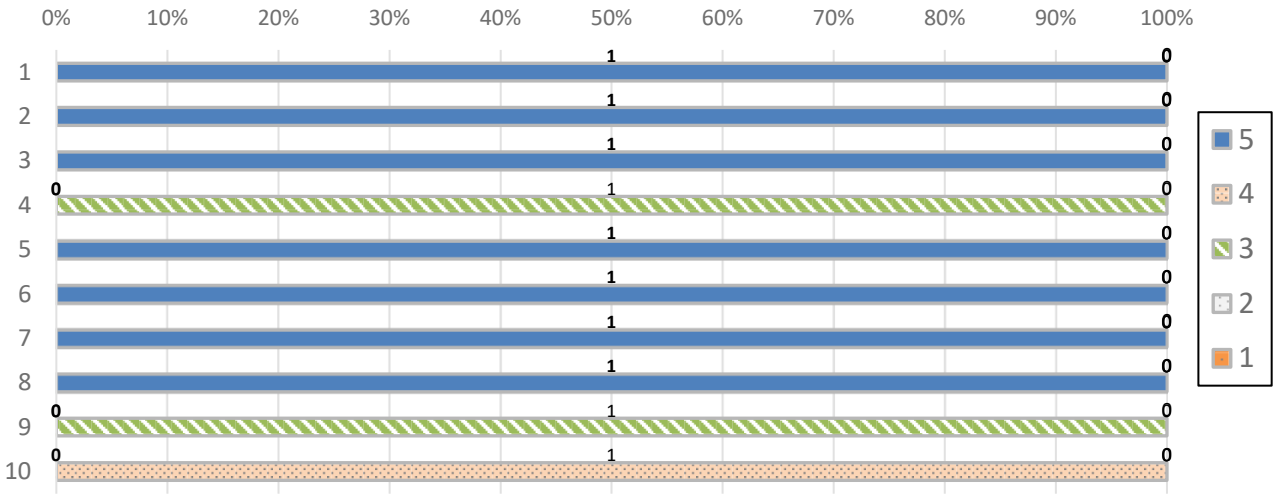
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23108
授業科目名	海洋生物と環境
担当者	古野　弘志
所属	船舶工学

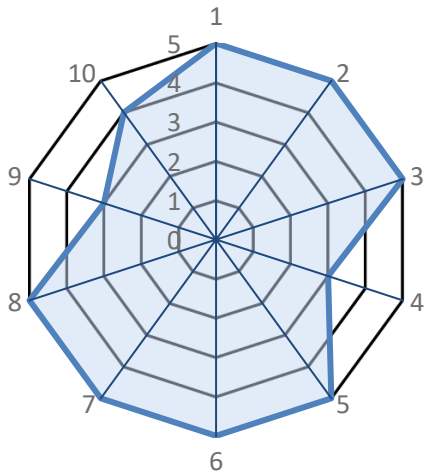
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

本年度、海洋工学プログラム向けに初めて開講した科目であったが、概ね好評を頂いたようである。第12回講義から第15回講義の海洋フィールドワークの実施時期が真夏の炎天下での作業となったので、2024年度は6月頃に移す予定である。

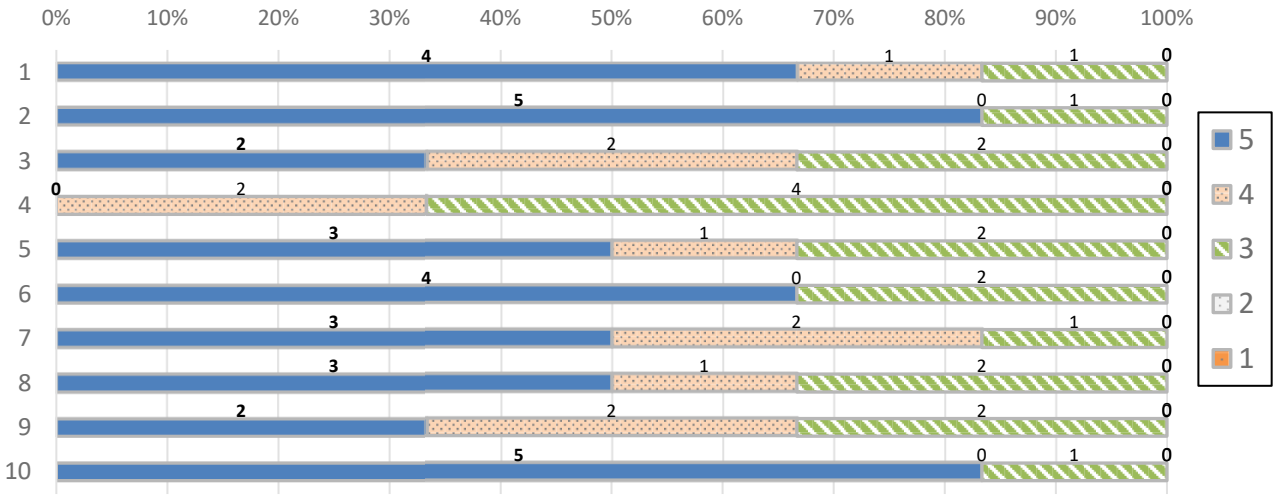
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	21102
授業科目名	造船幾何
担当者	石川　暁
所属	船舶工学

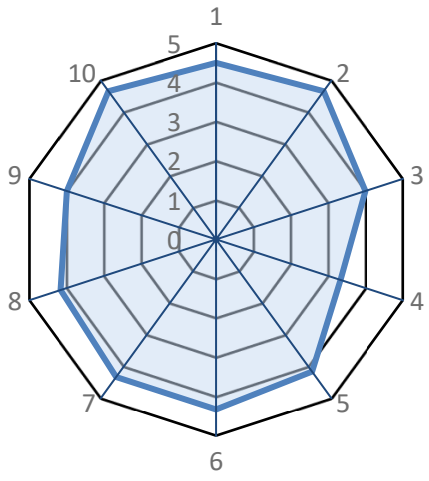
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

概ね良好な評価が得られた。

本講義は、船舶1年生を対象とした必修科目で、船舶の幾何形状に関する船特有の事項について理解を深めていただくために実施している船舶全ての専門科目の基礎となる講義である。したがって、講義内容については全ての内容を全員に理解してもらうよう配慮して実施している。しかし、Q4を見ると、「やや難しい」と感じている学生がいるようなので、来年度は「分かりやすさ」を重視し、説明方法を工夫していきたい。

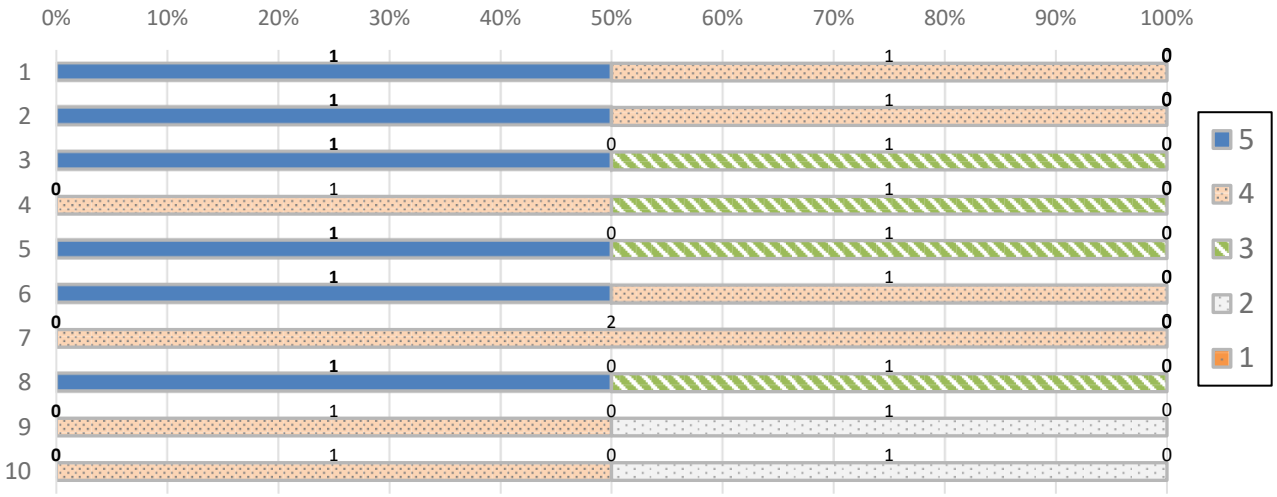
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	22105
授業科目名	流体力学Ⅰ
担当者	石川　暁
所属	船舶工学

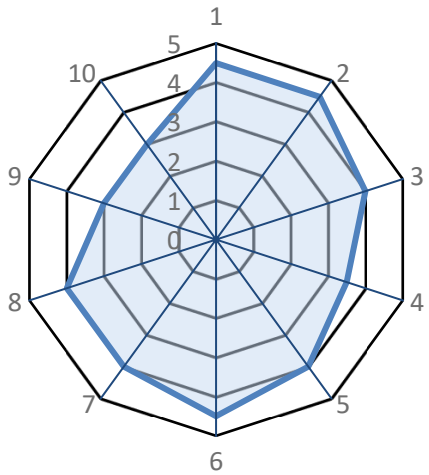
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	12

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が2名と少なく実態がどこまで反映されているかは不明であるが、概ね良好な評価が得られている。

Q4の「講義内容の量および難易度」は適切とのの評価であり、内容を理解してもらうことは出来ていると思われる。しかし、Q9の自己学習およびQ10の授業出席に関する積極性の評価が低い結果となっている。学生が積極的に学べるよう、さらに工夫をしていきたい。

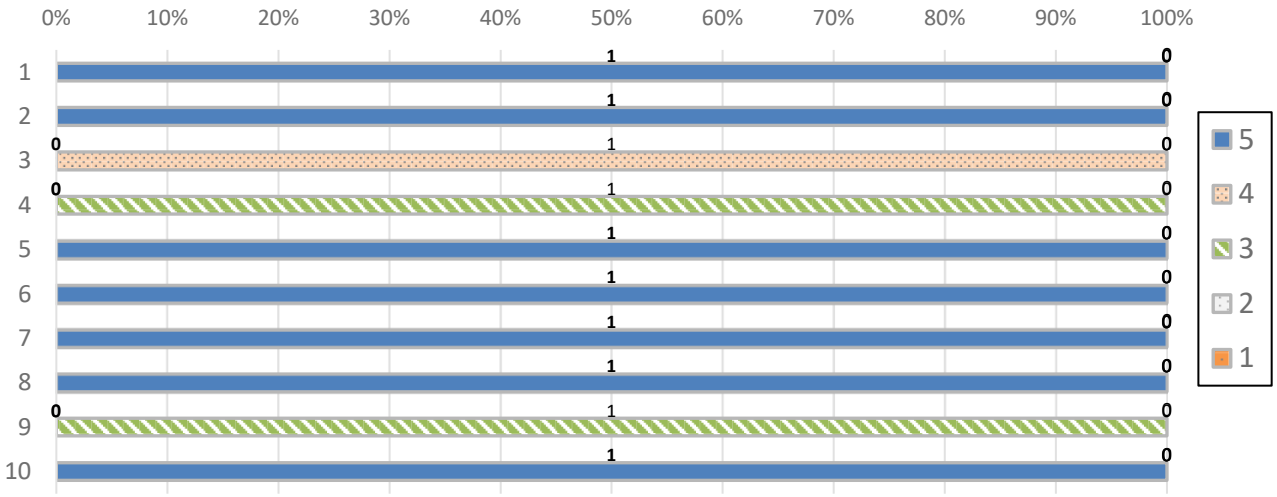
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23101
授業科目名	船体抵抗推進論
担当者	石川　暁
所属	船舶工学

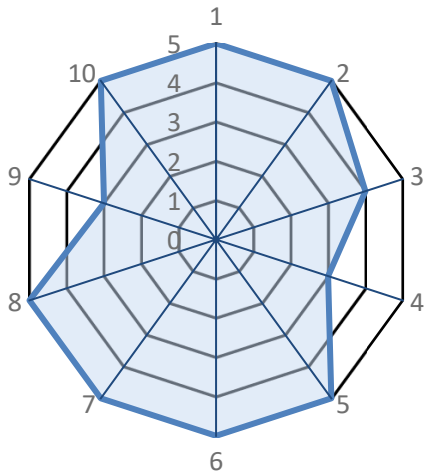
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	11

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が一人なので、評価としての妥当性を判断するのは難しいが、概ね良い評価だった。
学生にとっては本講義で初めて聞く「船体抵抗や推進効率の関する造船特有の考え方」に関し、これまでの授業評価から、理解度が足りない学生に対するケアーの対応が課題だった、
今回のアンケートで、授業内容のQ4は平均的には適切の「3」の評価となっているが、一方で、Q9の自己学習も「3」となっていて、実際の理解度がどの程度得られたかはわからない。次年度も、引き続き改善策を考えていきたい。

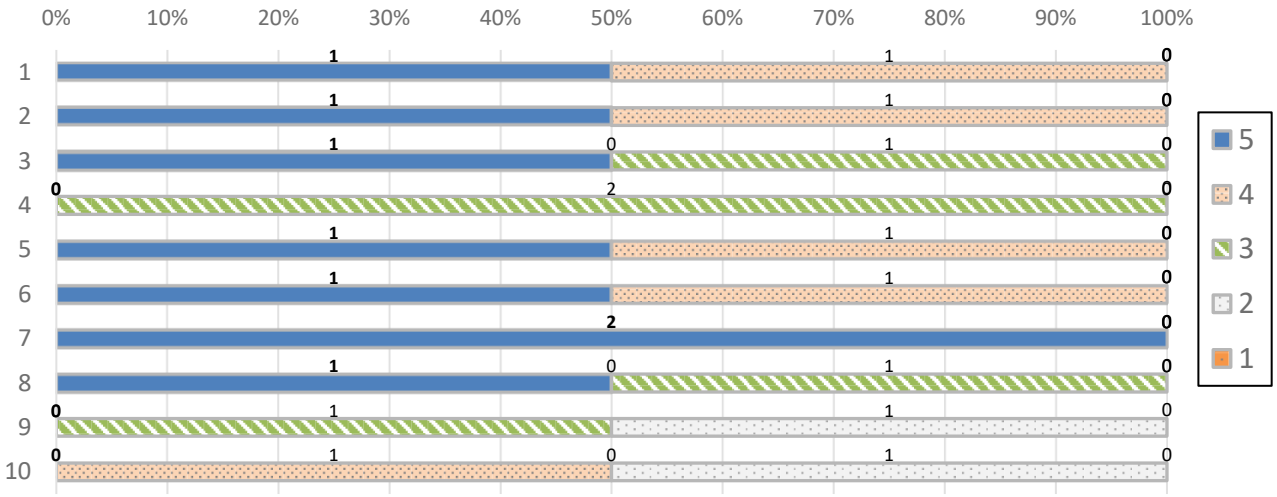
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	22104
授業科目名	浮体静力学
担当者	堀　勉
所属	船舶工学

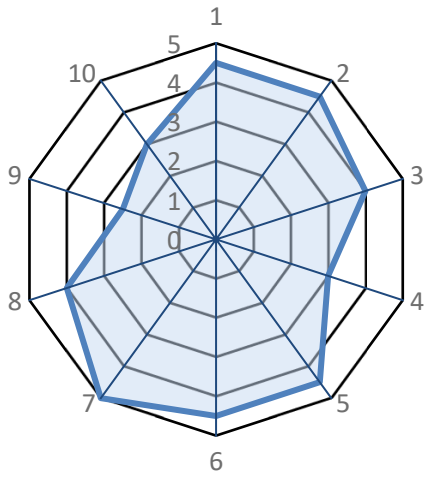
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者14名中，僅か2名の回答ですが，良い評価を頂いたので，次年度も，この調子で，熱意を持って，講義していきたい。

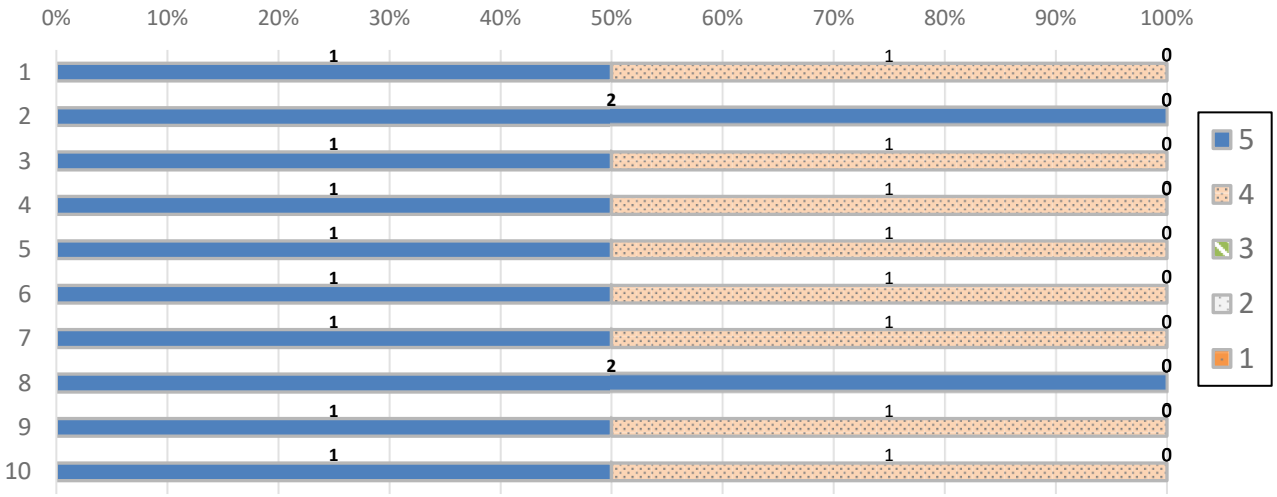
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23253
授業科目名	船体強度論Ⅱ
担当者	古野　弘志
所属	船舶工学

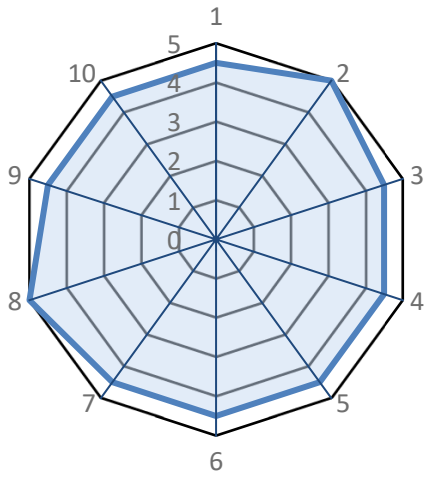
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	11

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が2名と少なく評価しがたいが、概ね好評を頂いたようである。本科目は、船舶工学コースのカリキュラムの中でも構造系最後に位置する科目であり難易度は高めである。今後もどのようにすれば分かり易く伝えることができるか思考して行きたい。

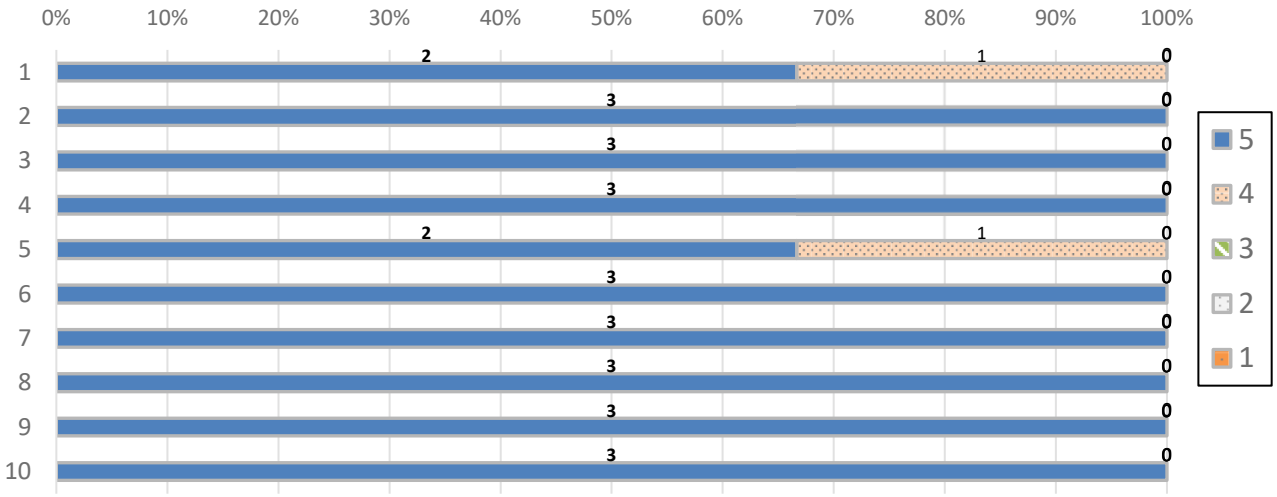
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23254
授業科目名	造船設計Ⅳ
担当者	古野　弘志
所属	船舶工学

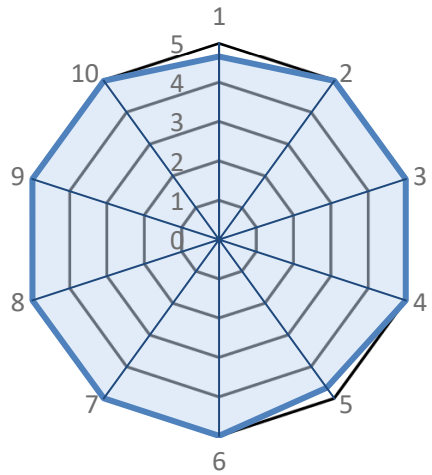
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	16

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が3名と少なく評価しがたいが、概ね好評を頂いたようである。改善点は特に無し。

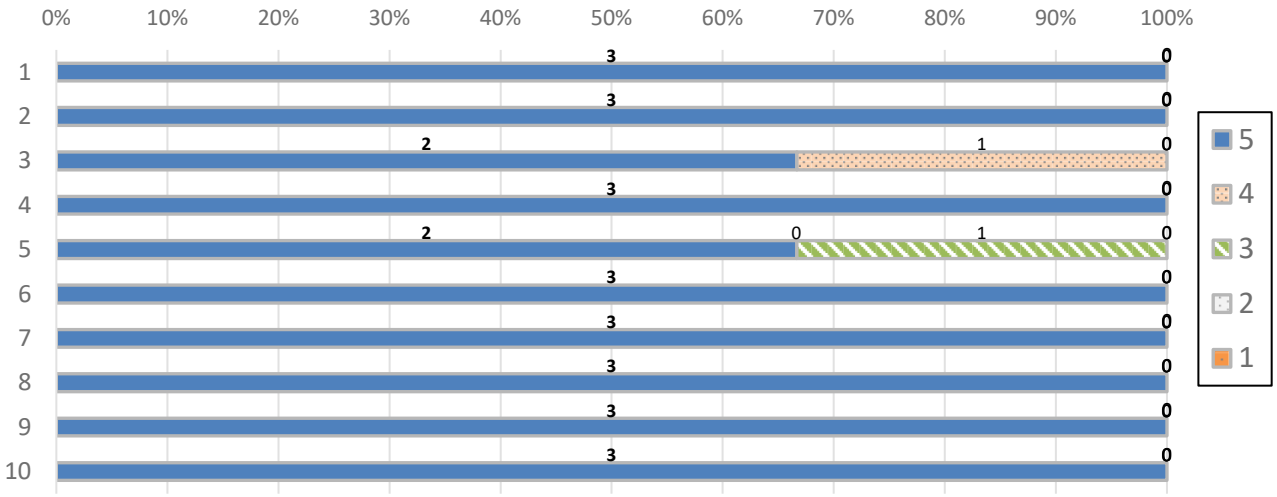
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23255
授業科目名	造船設計Ⅳ演習
担当者	古野　弘志
所属	船舶工学

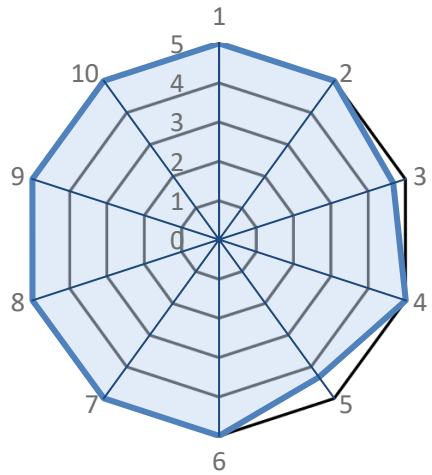
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	16

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が3名と少なく評価しがたいが、概ね好評を頂いたようである。改善点は特に無し。

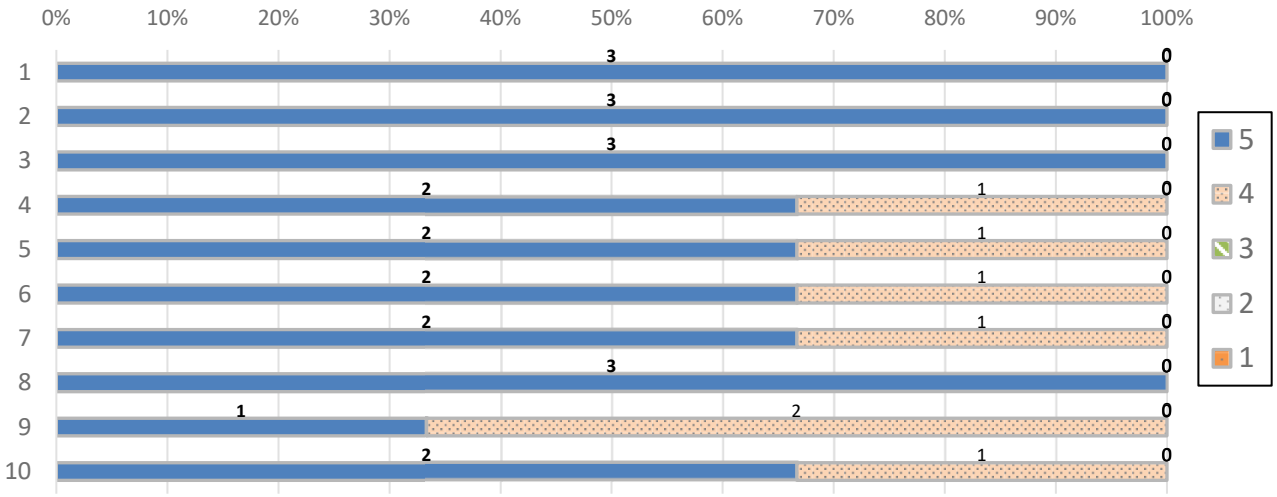
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	24101
授業科目名	船舶設計論
担当者	古野　弘志
所属	船舶工学

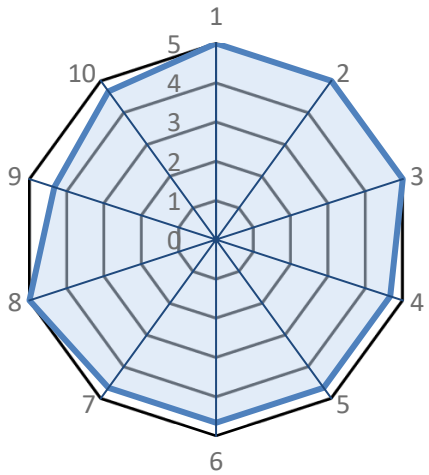
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	17

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が3名と少なく評価しがたいが、概ね好評を頂いたようである。次年度以降は、予習・復習などの自己学修の呼びかけをしっかりと行いたい。

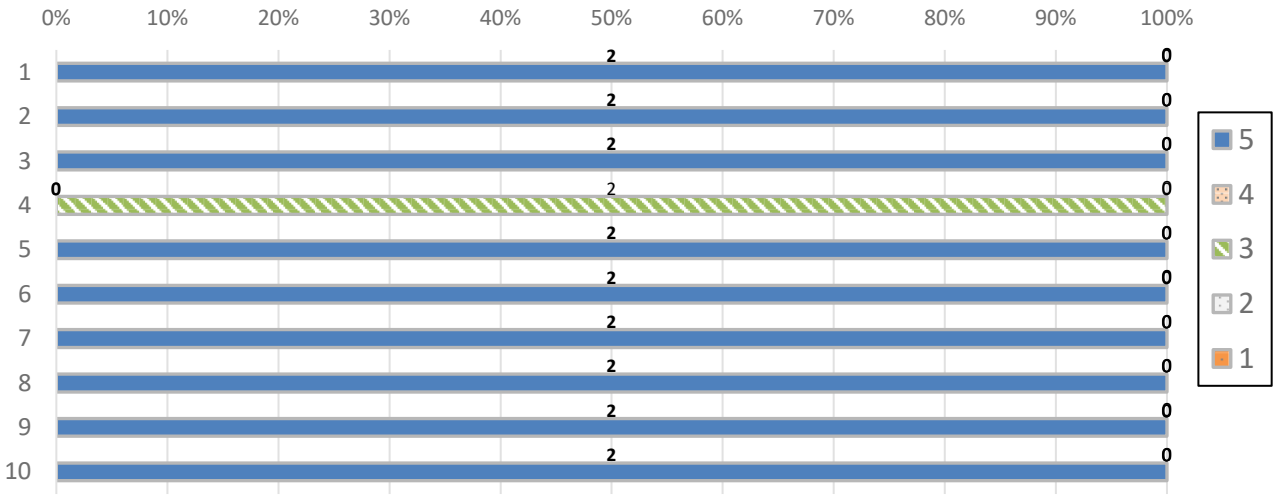
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	22255
授業科目名	流体力学Ⅱ
担当者	石川　暁
所属	船舶工学

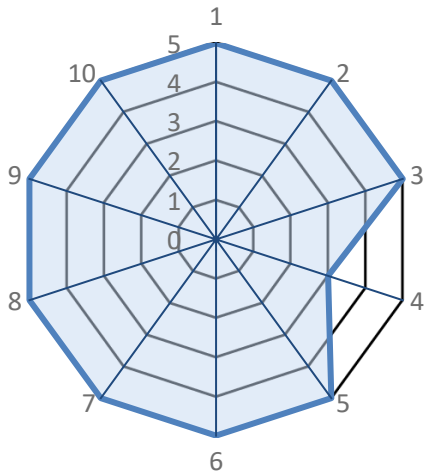
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	13

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が2名と少なく実態がどこまで反映されているかは不明であるが、概ね良好な評価が得られている。

この講義では、実際の設計の現場での応用が見えるような内容を追加して興味を持ってもらえるよう工夫したが、理解度をある程度深めることが出来たと思われる。来年度も引き続き実施していきたい。

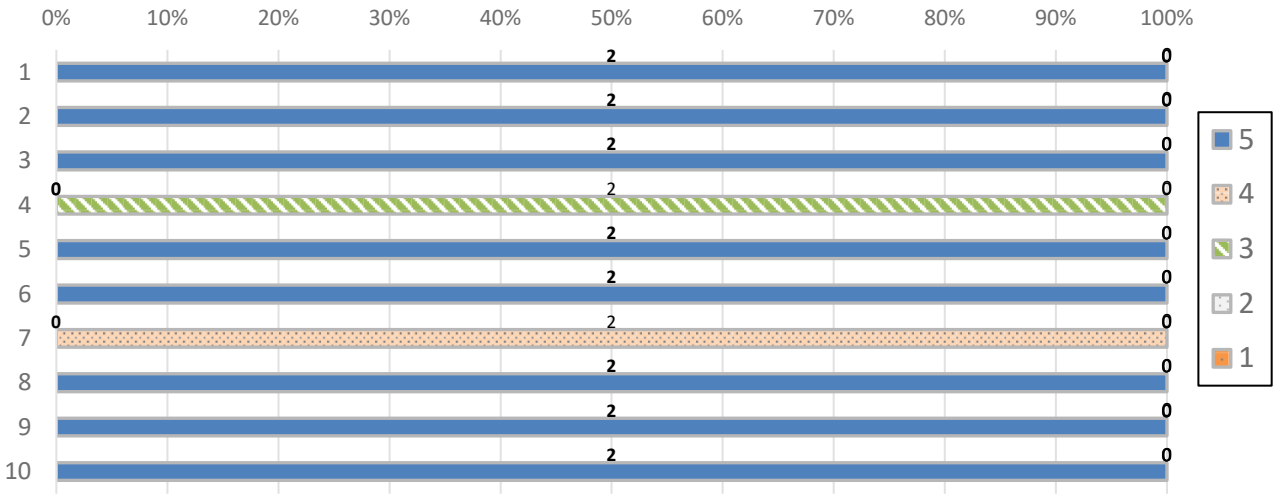
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	22257
授業科目名	造船設計Ⅱ
担当者	石川　暁
所属	船舶工学

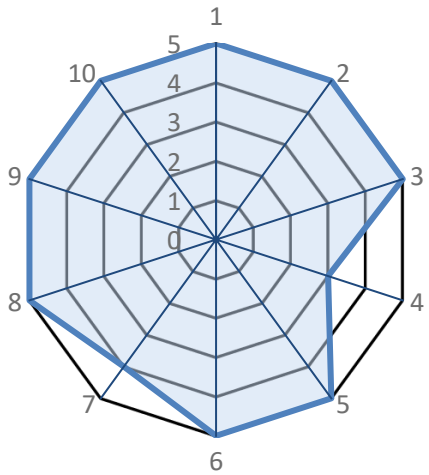
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が2名と少なく実態がどこまで反映されているかは不明だが、概ね良好な評価が得られている。

この講義は、自由曲面となる船体表面の形状を図面として表現する方法を学ぶ講義である。「自由曲面」を頭の中で具体的にイメージするのが困難なため、模型の船を使っ具体的な形状を示すことで理解るなどの工夫を行った。

単に作図の手順だけをマスターすれば良いということではなく、本質的なところを理解を得られるよう、引き続き工夫していく。

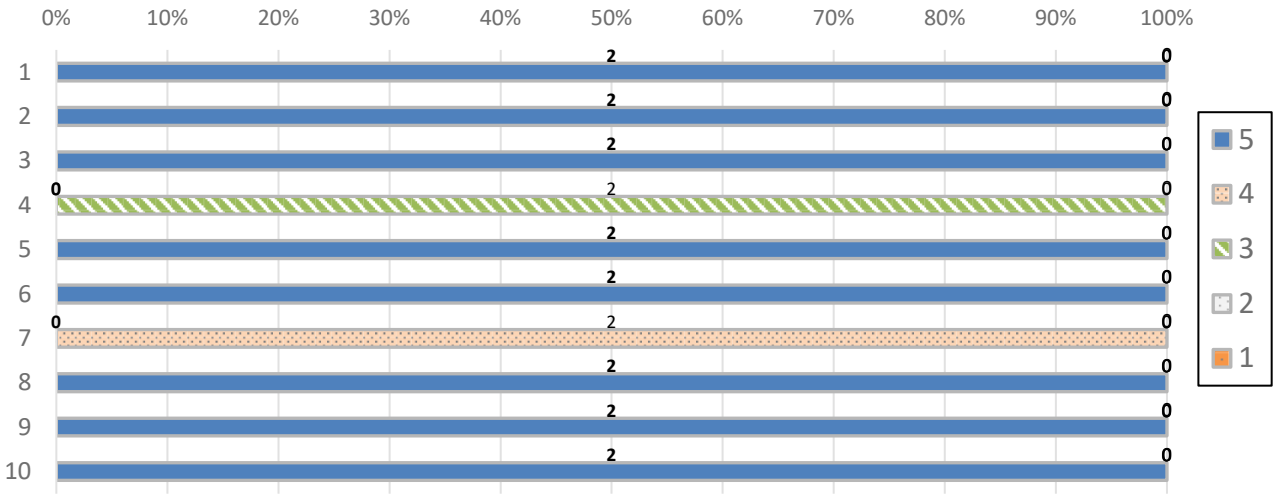
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	22258
授業科目名	造船設計Ⅱ演習
担当者	石川　暁
所属	船舶工学

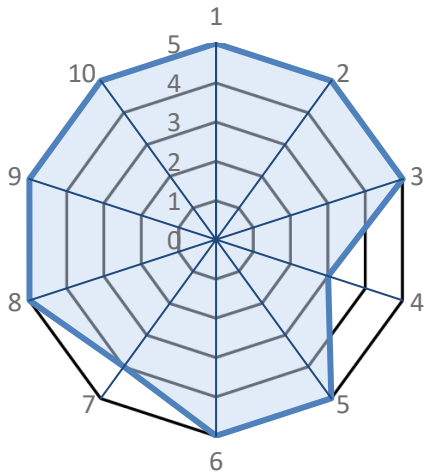
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が2名と少なく実態がどこまで反映されているかは不明だが、概ね良好な評価が得られている。

この講義は、「造船設計Ⅱ」で学んだ自由曲面となる船体表面の形状を図面として表現する方法を用いて実際に図面を作成する講義である。滑らかな船体表面を図面化するためには、「バッテン」と呼ばれる曲線を作図するための船独特の道具を駆使する必要がある。

講義では、「バッテン」の使い方について、個々の学生に対して、それぞれ手本を示しながら説明を行い、具体的な作図要領について理解を深めてもらった。

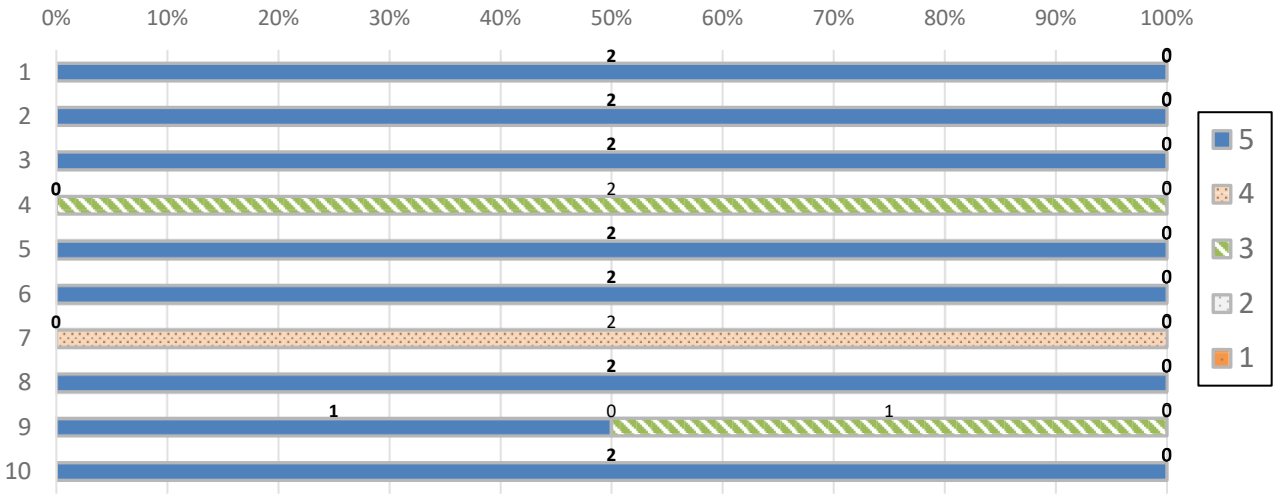
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	22259
授業科目名	船舶海洋工学基礎実験
担当者	石川　暁
所属	船舶工学

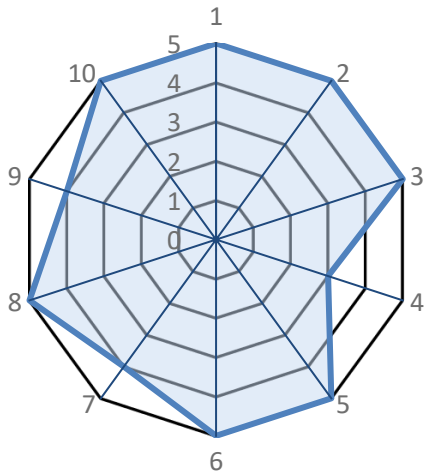
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	9

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が2名と少なく実態がどこまで反映されているかは不明だが、概ね良好な評価が得られている。

実験結果をレポートにまとめる課題を課したが、工学部としての初めてレポート作成であり苦労している学生が多かった。そこで、レポートの内容を3つの部分に分割して3回に分けて提出させるようにし、各回ごとに必要なコメントを記載して返却する方法を採用した。
このようにして、やり取りを繰り返すことで、レポートの書き方についての理解を深めることができた。

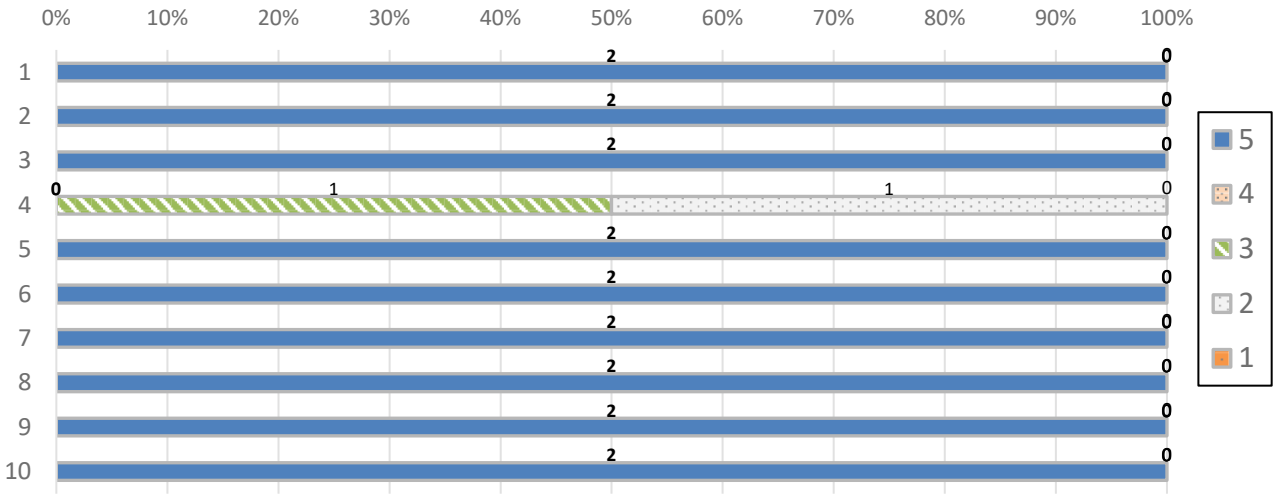
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	22256
授業科目名	船体復原論
担当者	堀　勉
所属	船舶工学

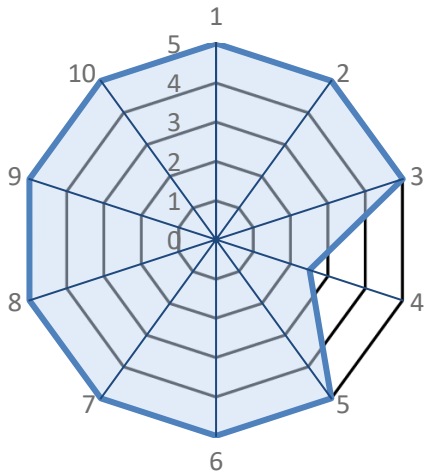
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	11

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者11名中，僅か2名の回答ですが，とても良い評価や嬉しいコメントも頂いたので，次年度も，この調子で，熱意を持って，講義していきたい。

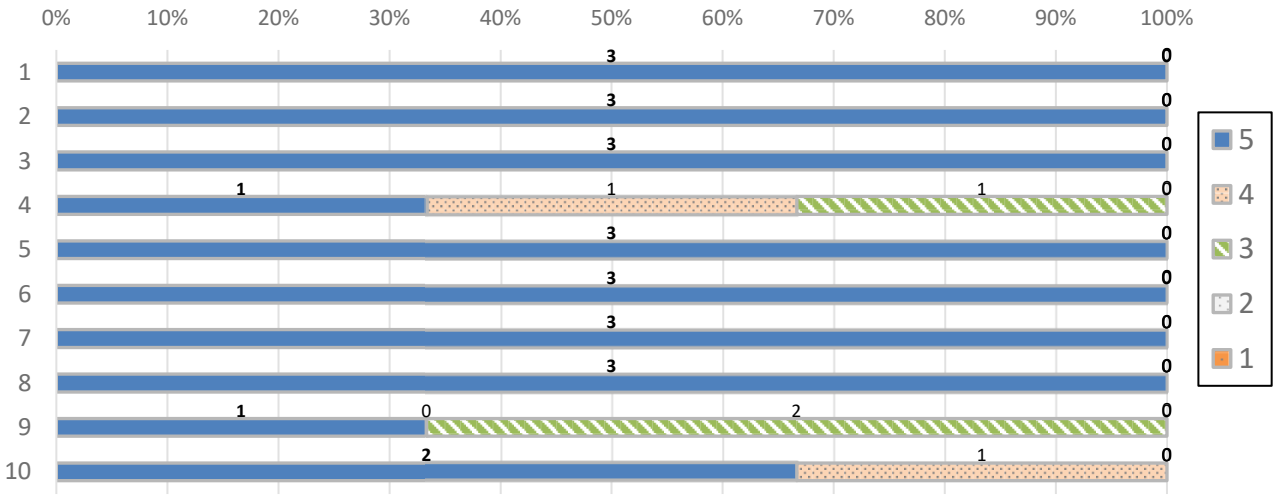
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	23252
授業科目名	数値計算法
担当者	堀　勉
所属	船舶工学

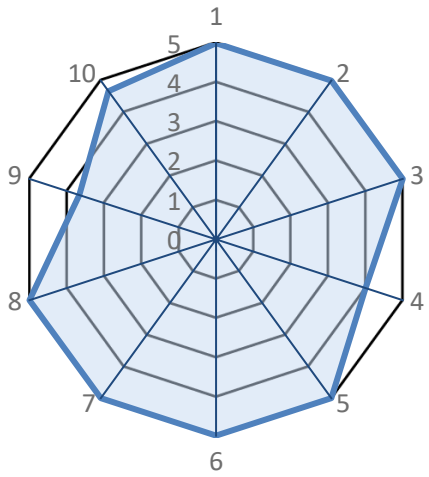
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	22

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者22名中，僅か3名の回答ですが，とても良い評価を頂いたので，次年度も，この調子で，熱意を持って，講義していきたい。

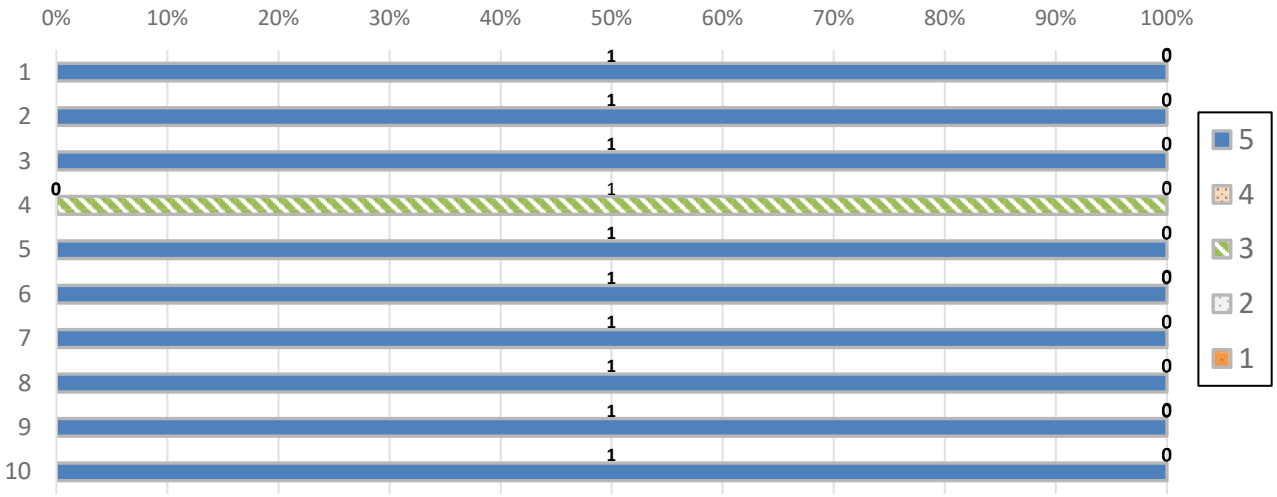
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32103
授業科目名	材料力学Ⅰ
担当者	岡田　公一
所属	機械工学

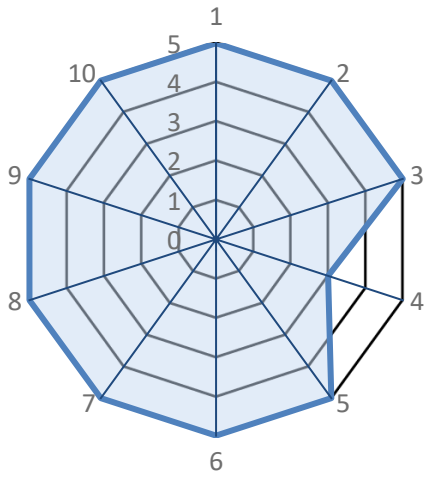
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が少なすぎて分析もできないが，この結果は良かった．どうしても”説明”中心の授業になりがちだが，もっと学生に積極的に授業に参加させたり，演習問題等に時間を割けるようにしたい．

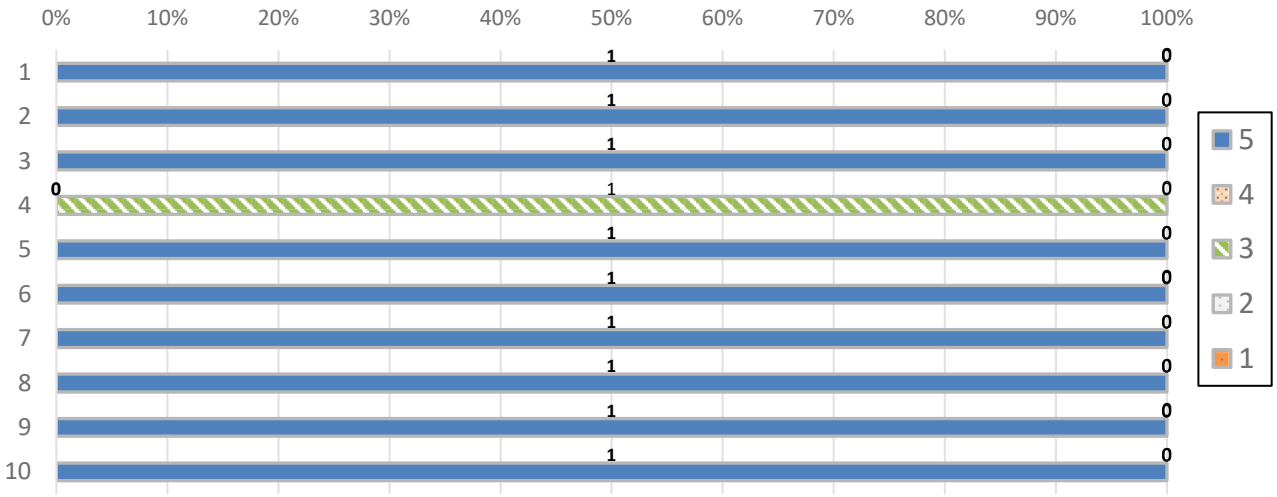
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32104
授業科目名	機械力学Ⅰ
担当者	黒田　勝彦
所属	機械工学

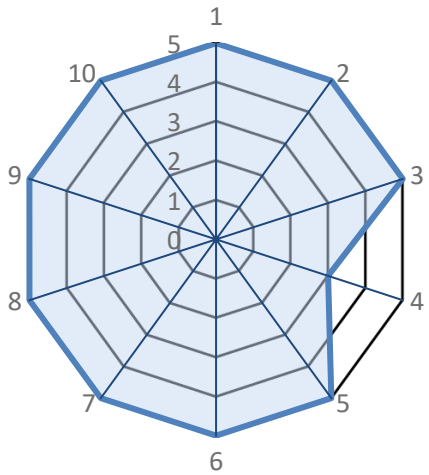
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	26

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

1名からの回答であり，答えようがない．前のように協力学生に紙媒体で書かせた方がいいのでは？もしくは教務課職員が行うとか義務化もしくは参加すると何かもらえるとかしないと一向に回答者数が改善されることはありません．

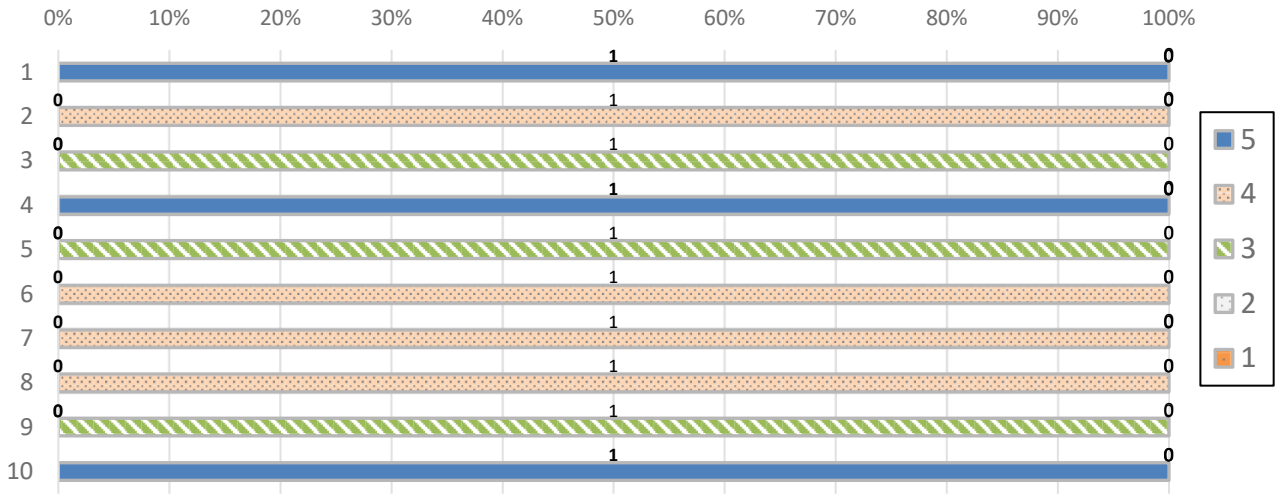
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32108
授業科目名	機構学
担当者	黒田　勝彦
所属	機械工学

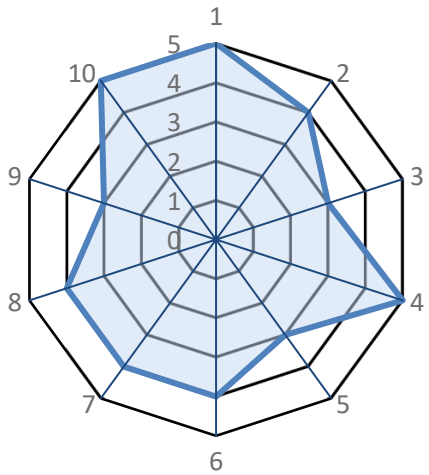
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	8

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

1名からの回答ではあるが，ランダムに点数をつけてくれているために，信頼性のある回答かもしれない．

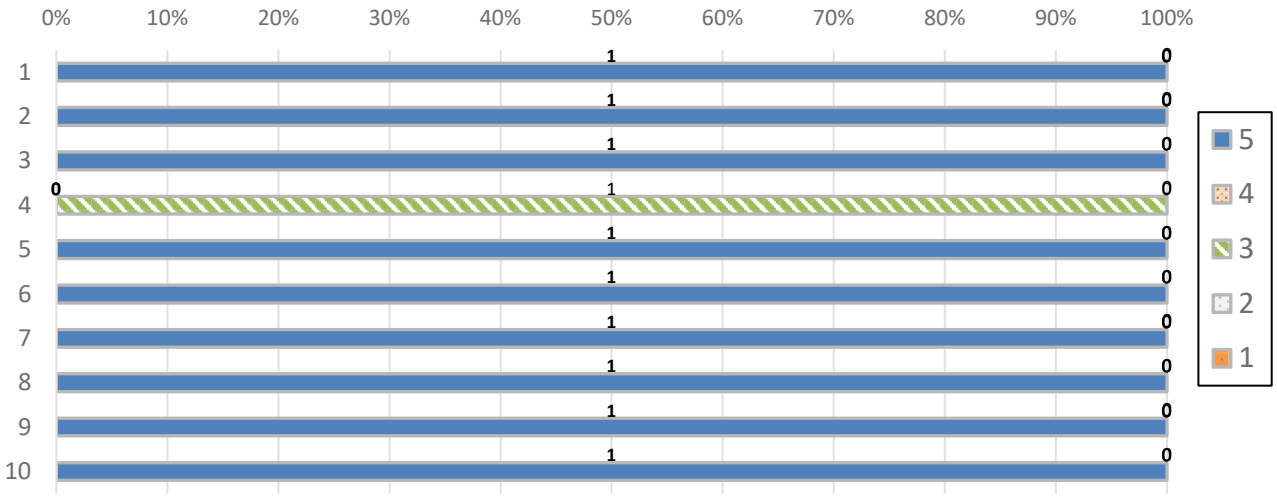
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	33104
授業科目名	機械工学実験Ⅱ
担当者	黒田　勝彦
所属	機械工学

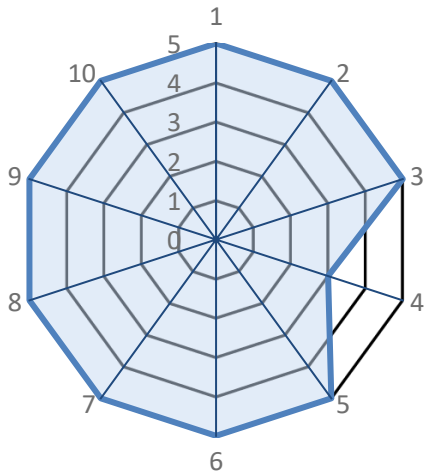
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	18

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

機械力学Ⅰと同じ回答内容であり，なんとも言えない．

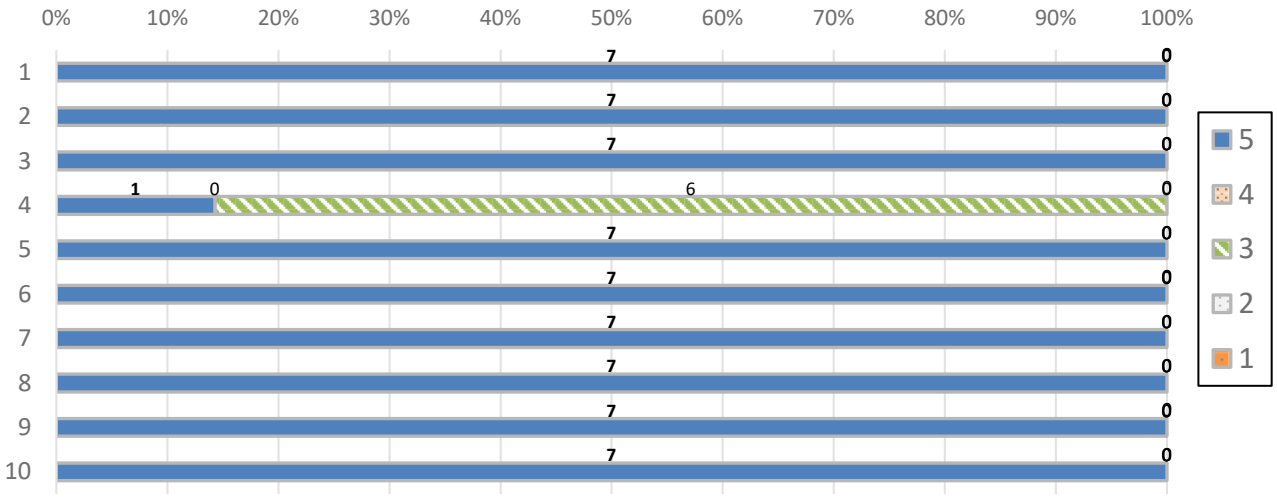
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	31102
授業科目名	工学フォーラム（機）
担当者	松川　豊
所属	機械工学

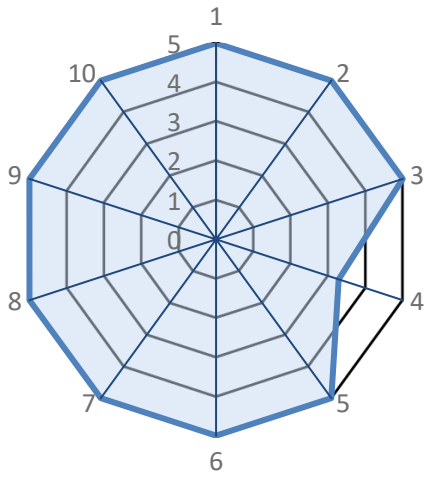
調査実施日	2023年7月
回答者数	7
対象者数	12

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的にかなり良い評価だったもようです。

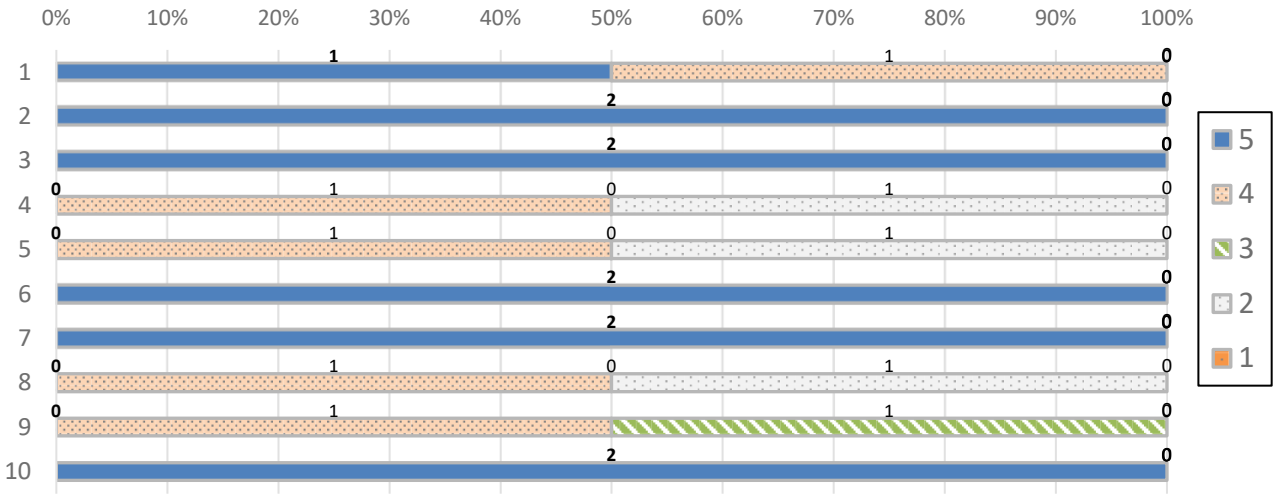
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32105
授業科目名	流体工学Ⅰ
担当者	松川　豊
所属	機械工学

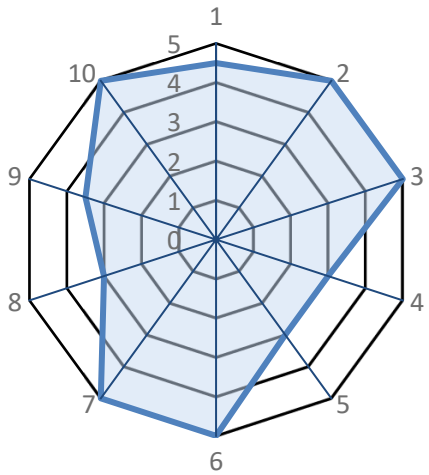
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	15

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が少ないですが、全体的には良い評価だったもようです。説明をより分かりやすくしたいと思います。

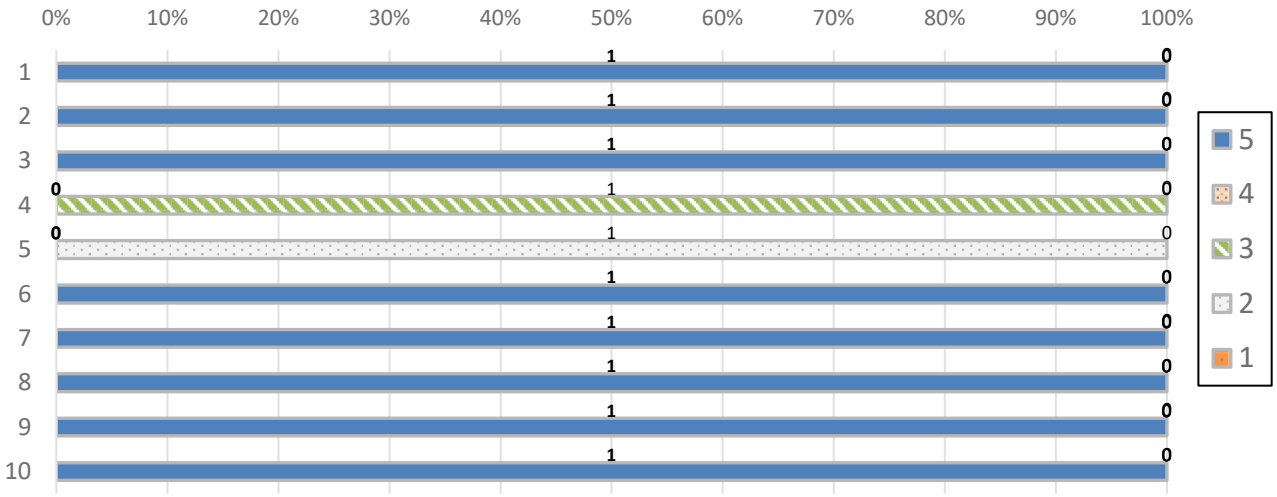
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	33112
授業科目名	エネルギー工学
担当者	松川　豊
所属	機械工学

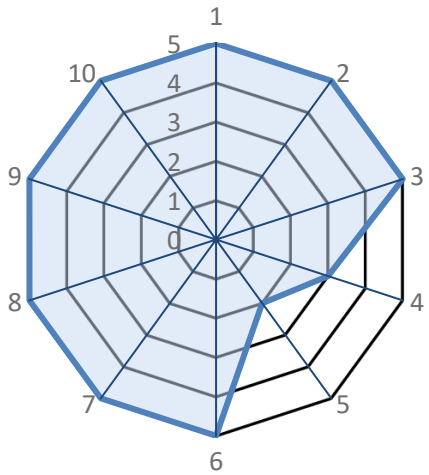
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	12

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が少ないですが、全体的には良い評価だったもようです。説明をより分かりやすくしたいと思います。

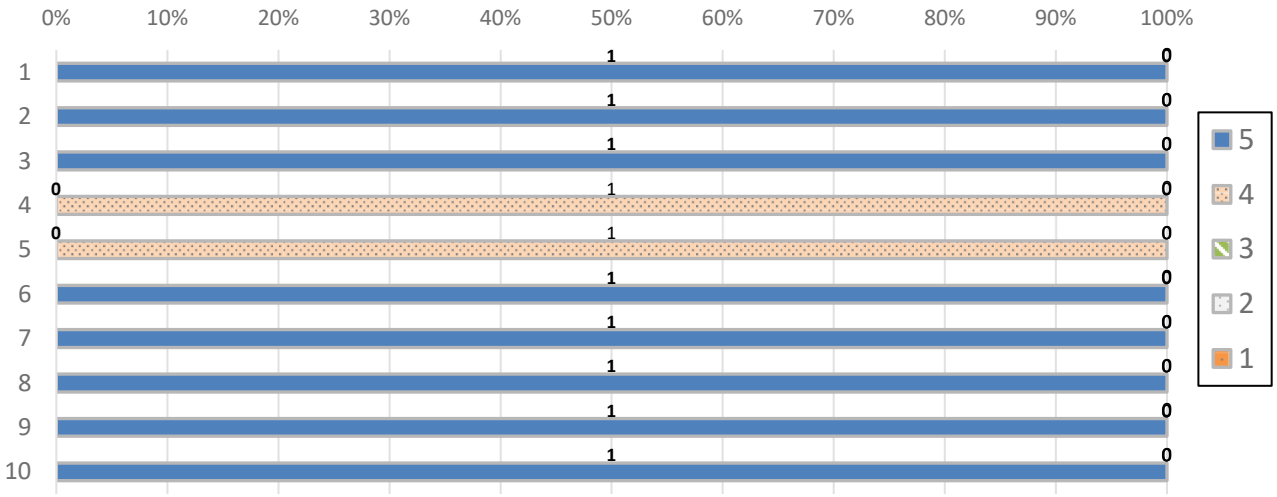
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32254
授業科目名	材料力学Ⅱ
担当者	岡田　公一
所属	機械工学

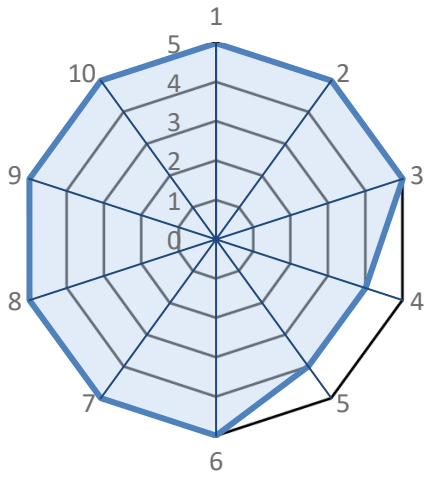
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	7

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が少なすぎて分析もできないが，この結果は良かった．Q4の難易度がやや難しいとなっているが，授業内容の難易度を下げるのは難しいので，説明等で工夫して学生が理解しやすいように努めたい．

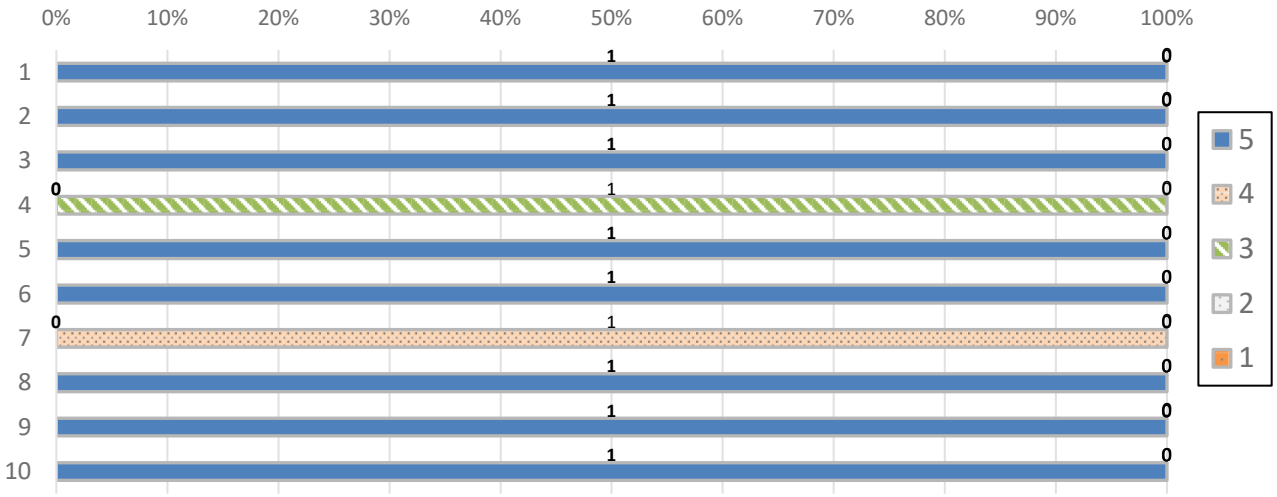
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32255
授業科目名	機械工学演習 I
担当者	岡田　公一
所属	機械工学

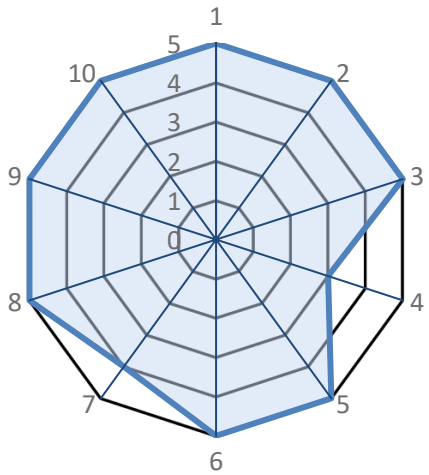
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	10

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が少なすぎて分析もできないが，この結果は良かった．基本的に演習問題を解かせてその解答・解説をするスタイルだが，もう少し学生が積極的に発言や質問をできるようにしたい．

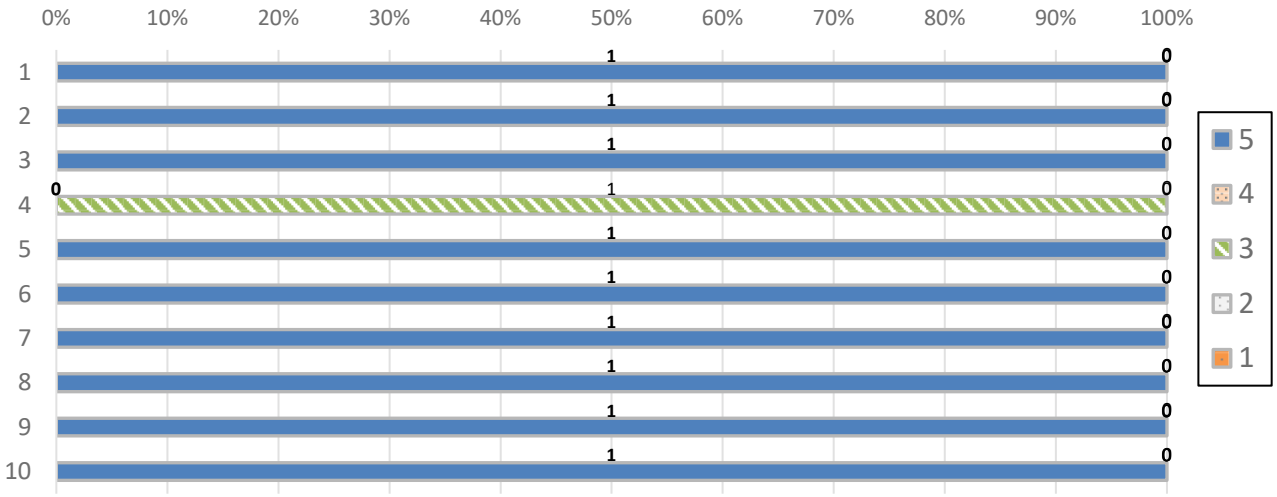
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	33257
授業科目名	材料強度学
担当者	岡田　公一
所属	機械工学

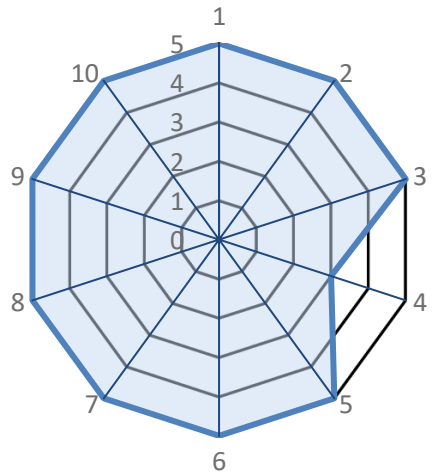
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	12

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が少なすぎて分析もできないが，この結果は良かった．どうしても”説明”中心の授業になりがちだが，もっと学生に積極的に授業に参加させたり，演習問題等に時間を割けるようにしたい．

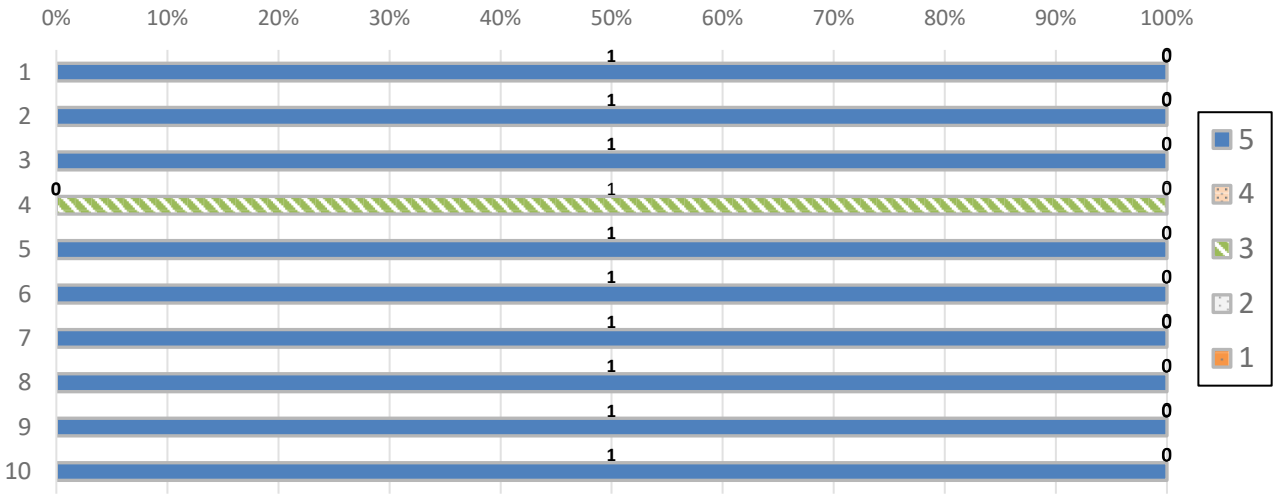
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	33260
授業科目名	機械工学演習Ⅱ
担当者	岡田　公一
所属	機械工学

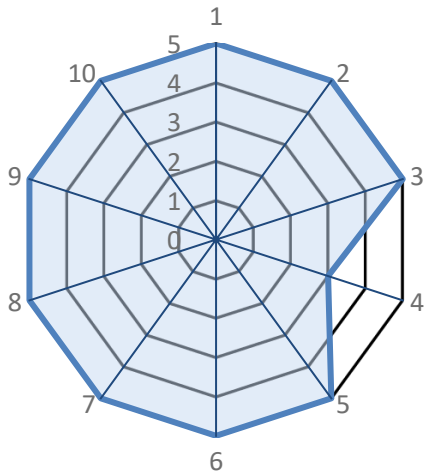
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	10

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が少なすぎて分析もできないが，この結果は良かった．この科目はキャリア教育の側面もあるので，キャリアセンターとの連携等も考えたい．

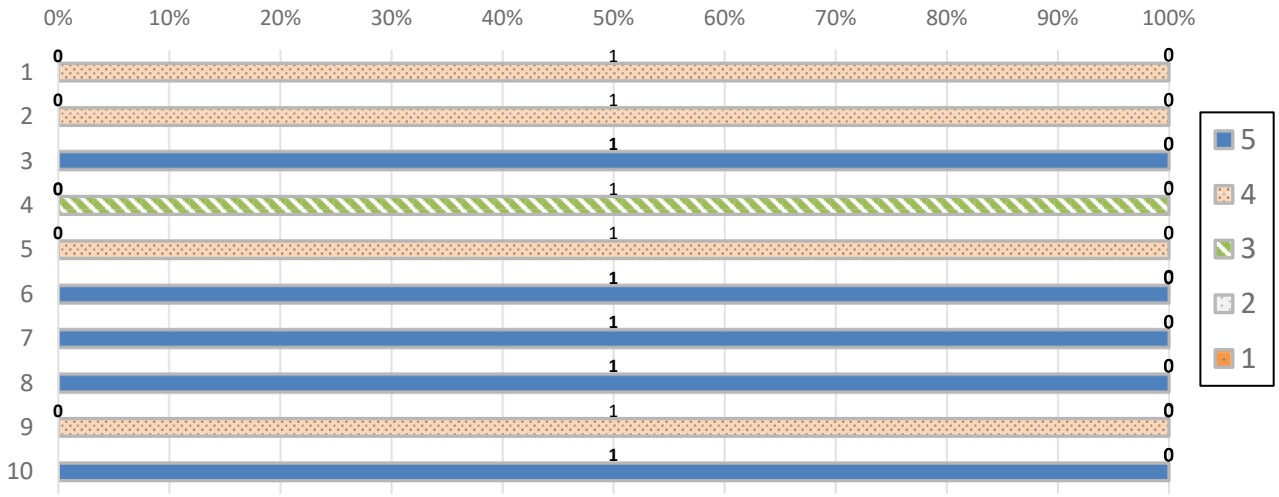
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32257
授業科目名	工業熱力学
担当者	松川　豊
所属	機械工学

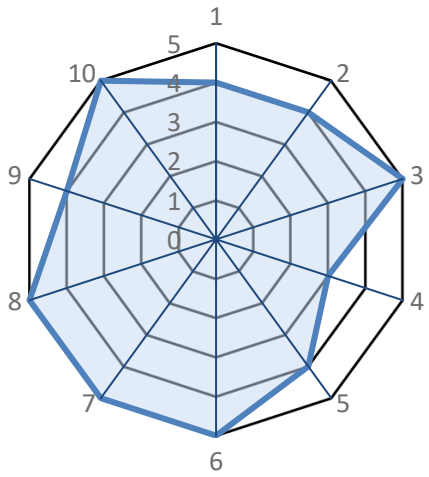
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が少ないですが、全体的には良い評価だったもようです。

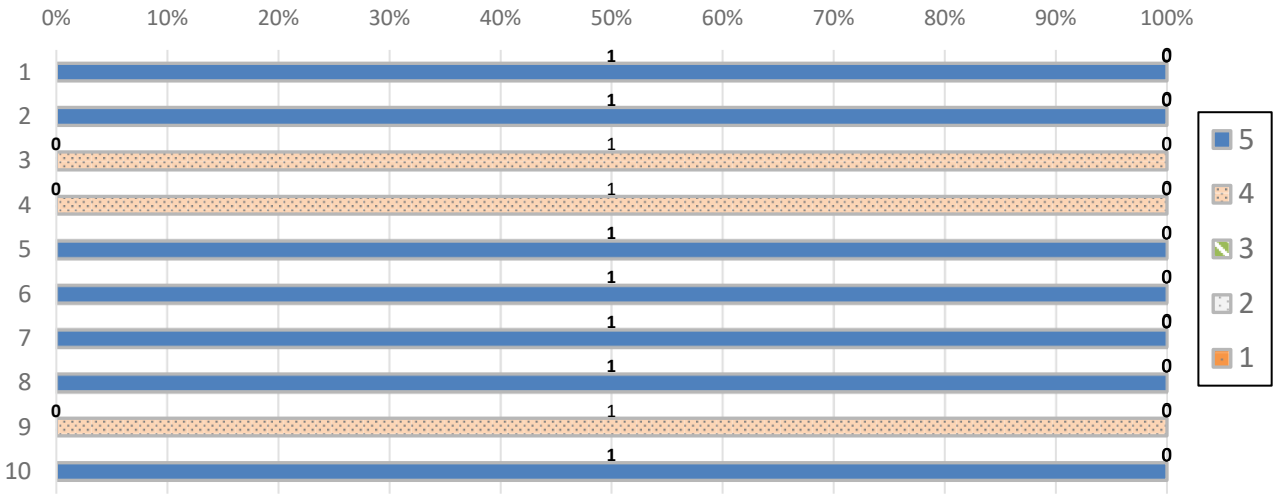
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	32655
授業科目名	流体工学Ⅱ
担当者	松川　豊
所属	機械工学

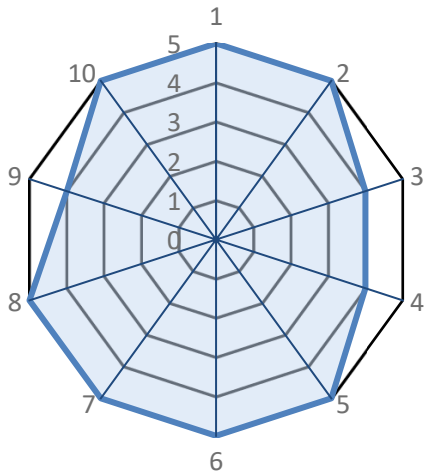
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	8

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が少ないですが、全体的には良い評価だったもようです。

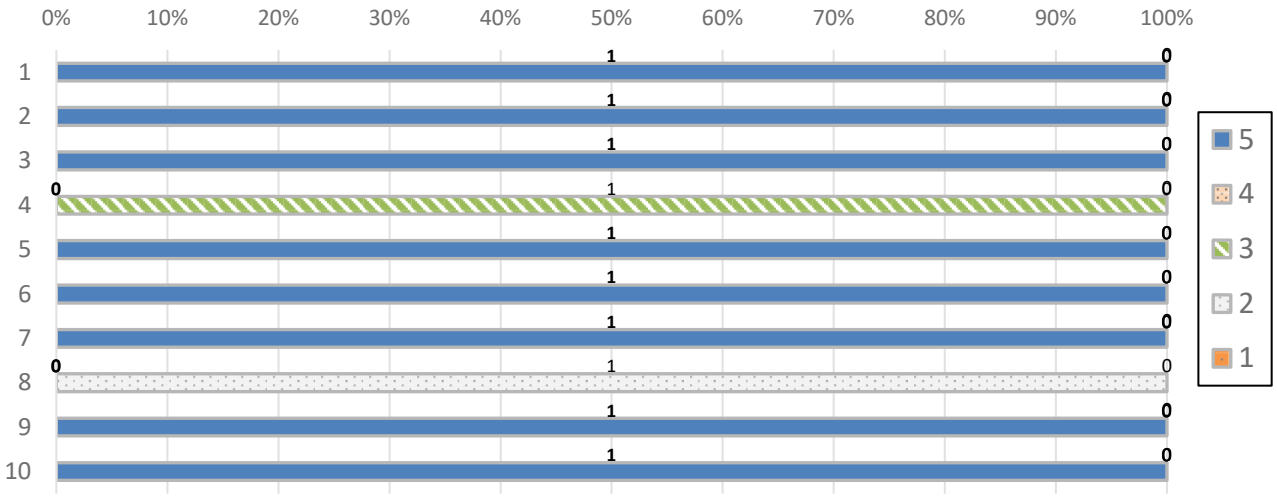
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	33252
授業科目名	伝熱工学
担当者	松川　豊
所属	機械工学

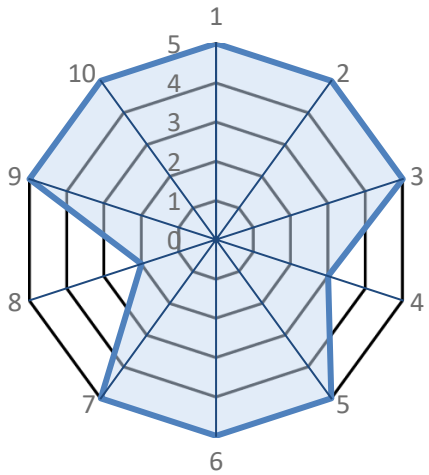
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	10

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が少ないですが、全体的には良い評価だったもようです。Q8で私語の制止・静穏の確保・質問を促すは実施していましたので、何か別のことだと思われますが、不明です。

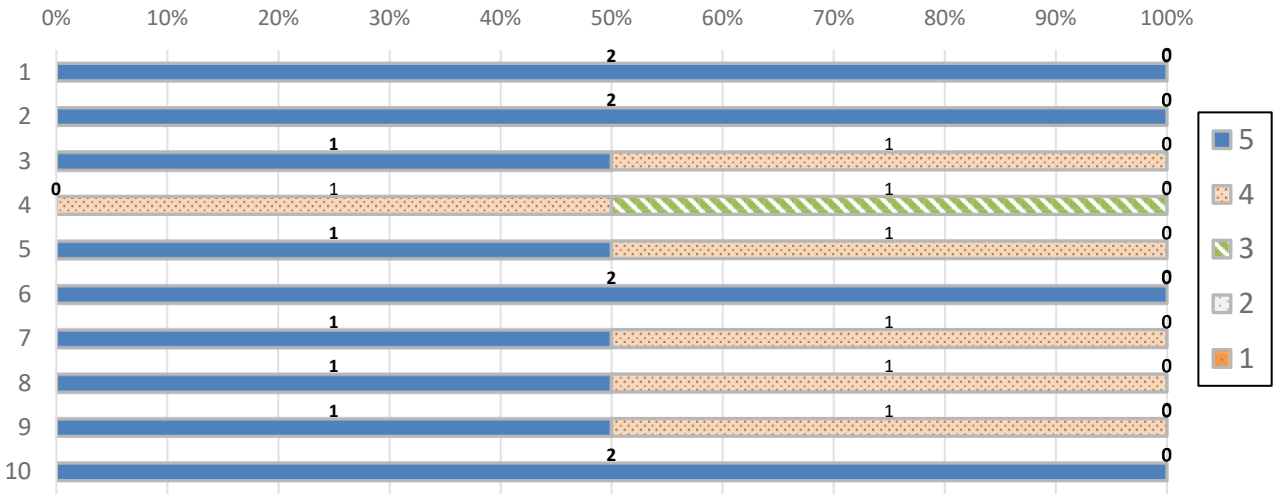
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43108
授業科目名	建築計画B
担当者	橋本　彼路子
所属	建築学

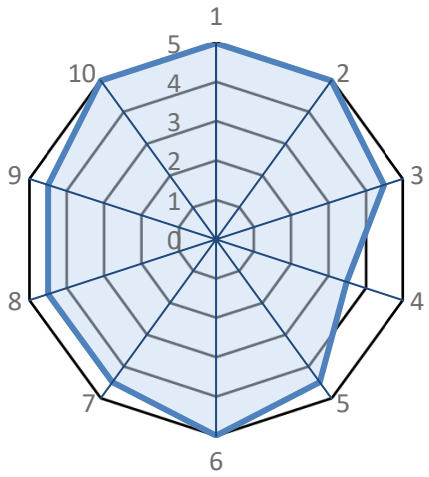
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	31

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

建築計画は広範にわたり、ある意味では深い建築の知識を教えるので、2年生にとって難解な部分も多い。馴染みの薄い建築用語などを丁寧に説明し難易度を下げる工夫をしている。今後も注意を怠らず、授業を進めるつもりである。

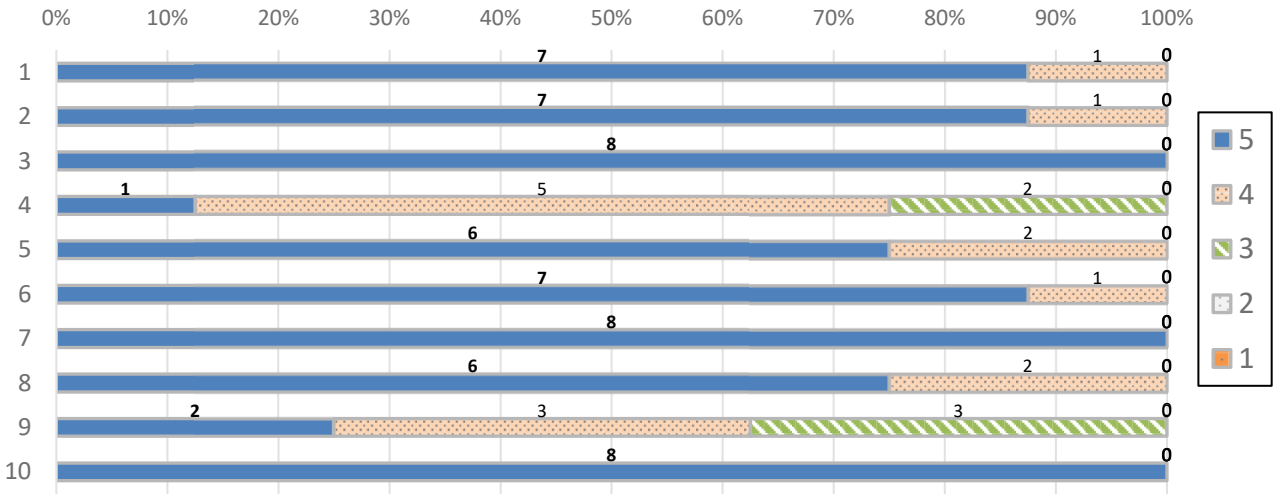
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	41102
授業科目名	建築製図A
担当者	山田　由香里
所属	建築学

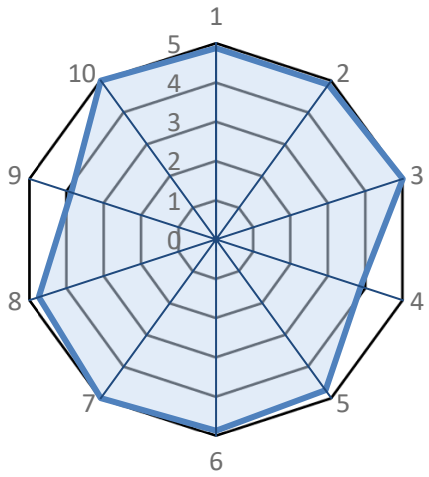
調査実施日	2023年7月
回答者数	8
対象者数	31

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が受講者の1／4で、講義に熱心な学生ほど回答してくれていると考える。その中で、どの項目も平均4.0以上の回答を得たので、学生の満足度は80%は得ていたとして及第と評価する。

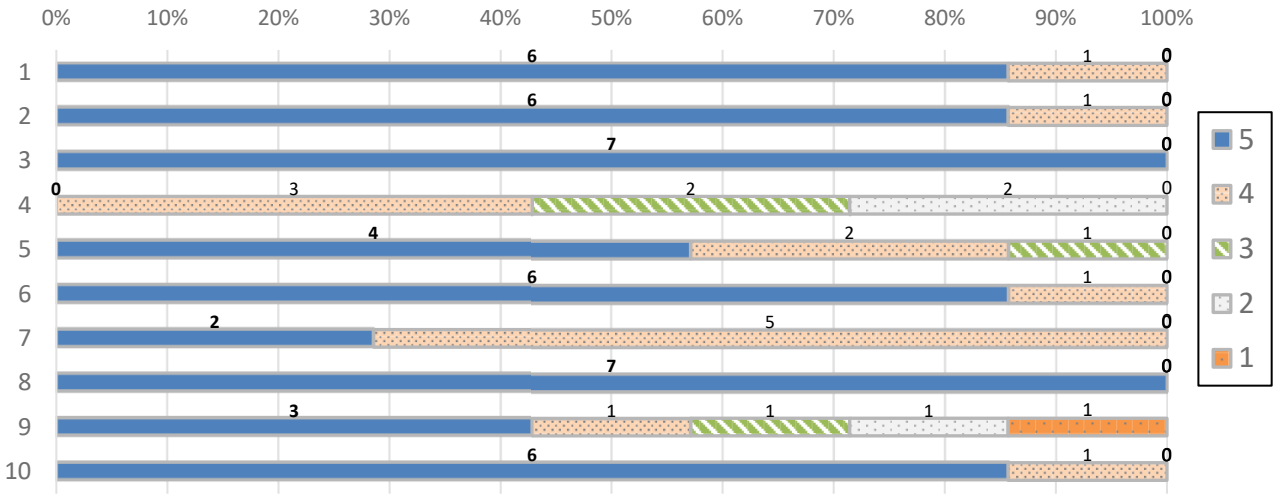
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	41103
授業科目名	建築概論
担当者	山田　由香里
所属	建築学

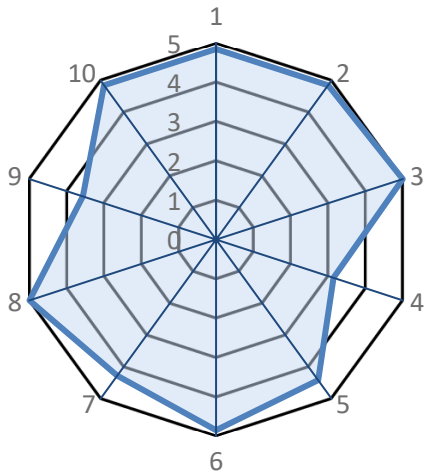
調査実施日	2023年7月
回答者数	7
対象者数	33

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が受講者の1／5で、講義に熱心な学生ほど回答してくれていると考える。その中で、どの項目も平均以上の回答を得たので、学生の満足度は70%は得ていたとして及第と評価する。

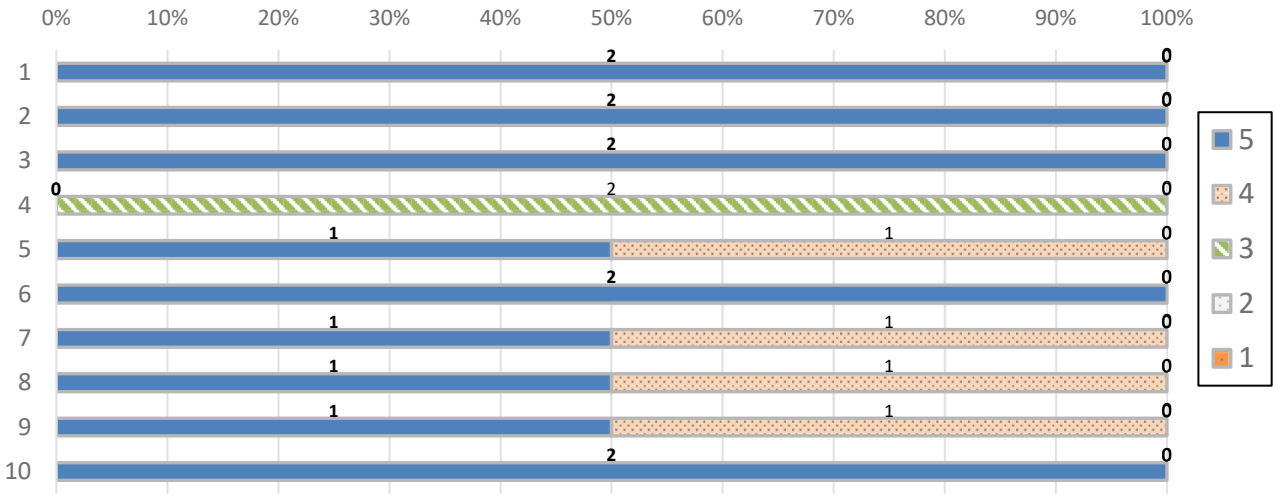
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42103
授業科目名	建築材料
担当者	山田　由香里
所属	建築学

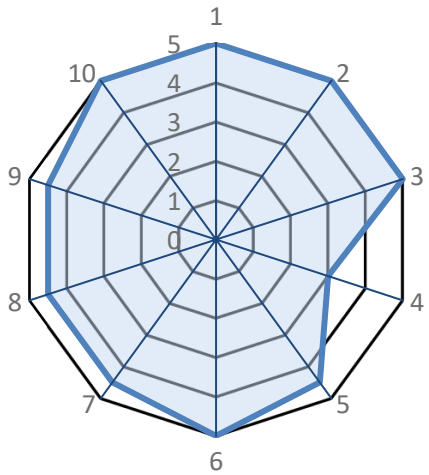
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	31

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者2名なので、評価の学生には感謝したい。2人満足度は80%は得ていたとして及第と評価する。

建築材料は、前任者から5年前に引き継いだ講義で、どの教科書がよいかと手探りが続いていたが、ようやく講義スタイルとして一応の姿が整ったと考える。

本来ならば、建築材料実験の講義と一緒に進行できるとよいのだが、教員数の削減とともに建築材料実験の講義も廃講になった。材料実験動画などを入手し、動画で実験の様子を見せている。理解が進んだと考える。

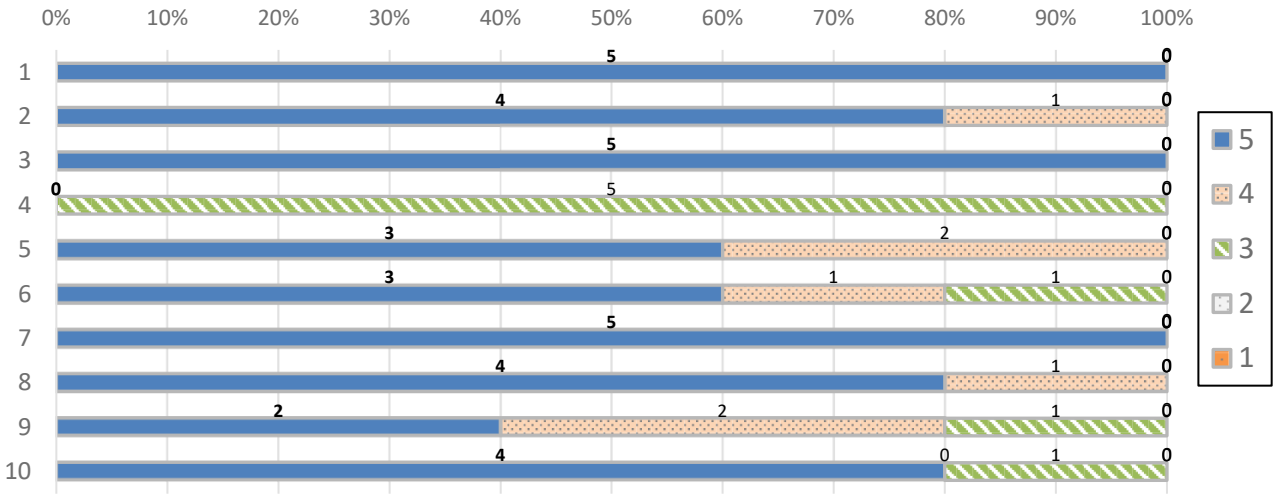
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43103
授業科目名	住生活文化論
担当者	山田　由香里
所属	建築学

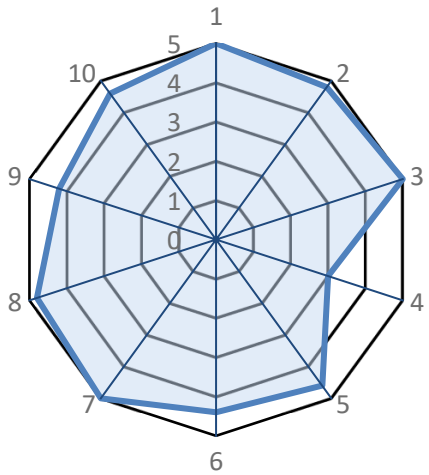
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	17

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が5名で、受講者の1／3である。
今年度の住生活文化論は、長崎の近世から近代の5テーマの建築を見学し、それをもとにリノベーション案立案を実施した。実際に町に出て、学生と建築を見ることは大変楽しかった。

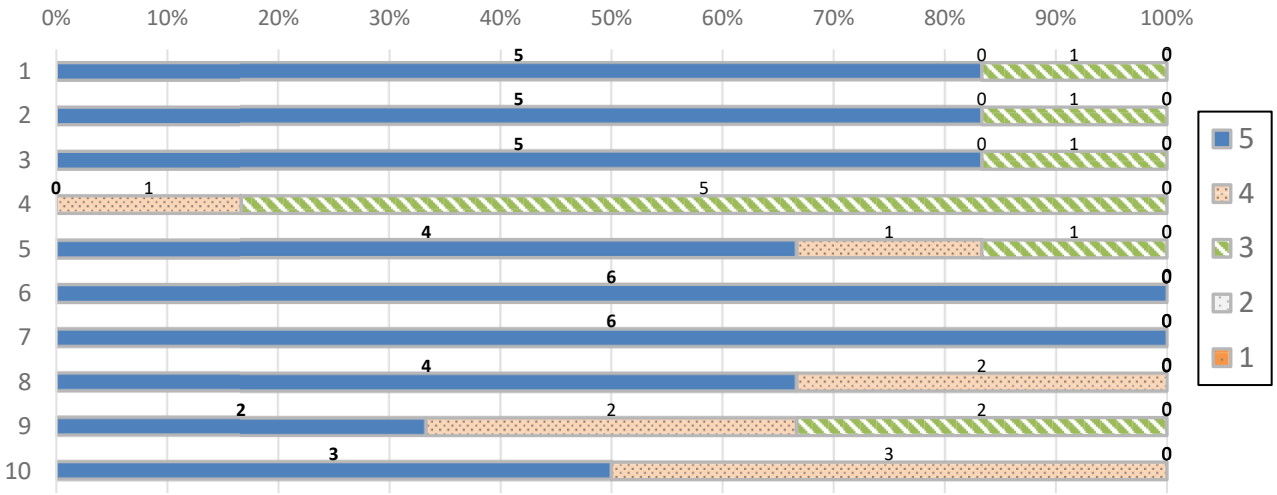
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43106
授業科目名	西洋建築史
担当者	山田　由香里
所属	建築学

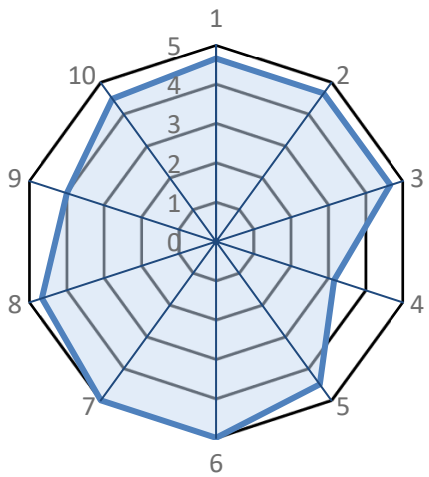
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	31

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者の1／5の回答であった。ほぼ高評価を得た。

コロナ禍以降、見学旅行が難しいからこそ、講義を大切にしたいと、スライド内容や話す内容を見直した。しかし、国外に出られない期間が長くなり、円安も進む中で、学生と海外の乖離を感じ、海外の話をすることが空虚に感じた。それでも、西洋建築史を学ぶことに価値はあると思う。

実際それが、自由記述に出ていると思う。コロナ禍の影響と、学生も教員もしょうがないと思う。

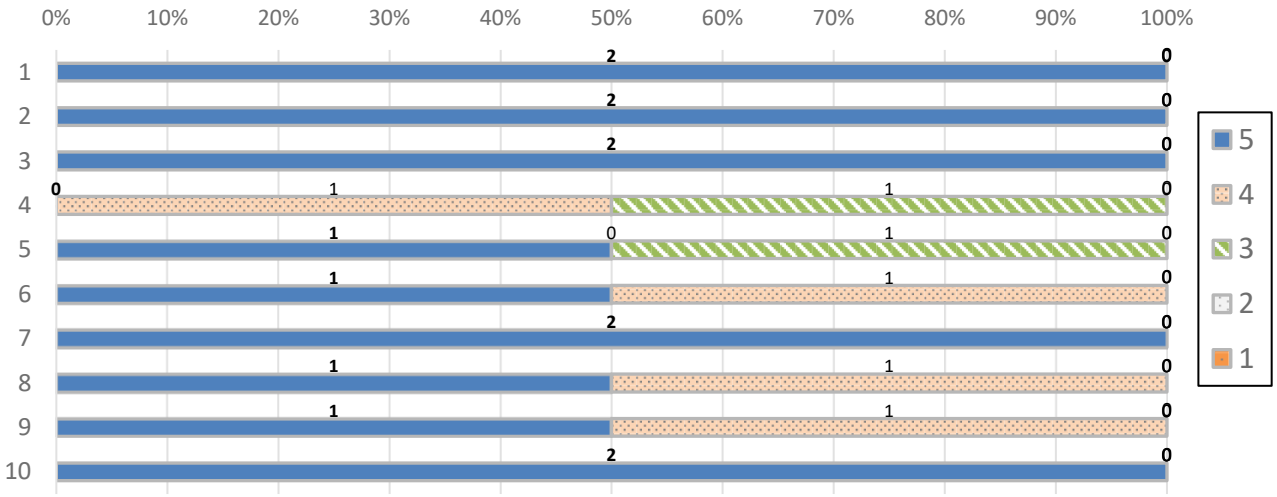
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42101
授業科目名	環境工学Ⅰ
担当者	田中　翔大
所属	建築学

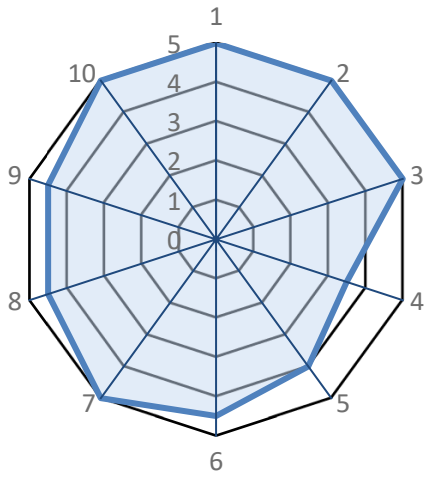
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	37

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4の授業内容の難易度に関して、アンケート評価が他の項目と比較し若干低い傾向がある。一級建築士の試験での出題に関して、どうしても数式や多数の専門用語を取扱うため、難易度が上がるのは仕方ないことだと考える。
今年度授業では、このような部分に関して、時間をかけかみ砕いて丁寧に伝えるように改善する。

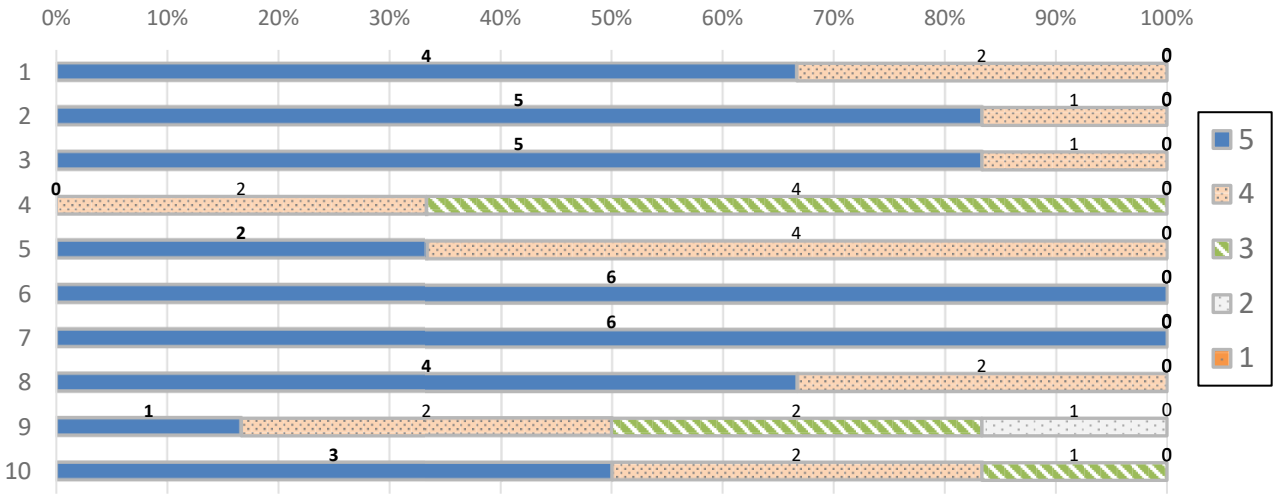
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43105
授業科目名	建築設備基礎
担当者	田中　翔大
所属	建築学

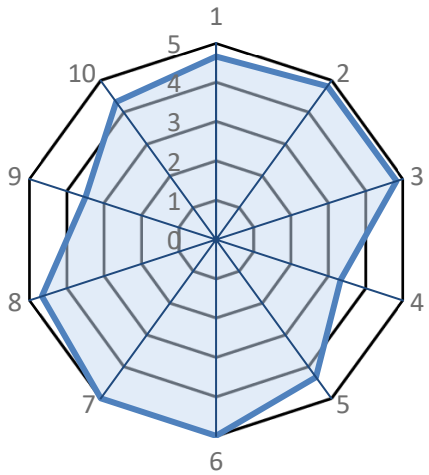
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	32

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4の授業内容の難易度に関して、アンケート評価が他の項目と比較し若干低い傾向がある。一級建築士の試験での出題に関して、どうしても数式や多数の専門用語を取扱うため、難易度が上がるのは仕方ないことだと考える。特に、空気調和設備の根幹となるヒートポンプのサイクルに関して、理解しきれないといった回答をもらった。
今年度授業では、このような部分に関して、時間をかけかみ砕いて丁寧に伝えるように改善する。
また、Q9より、自己学習がで来ていない学生がいるとのことなので、課題として何を勉強すればいいのか明確に指示するように改善する。

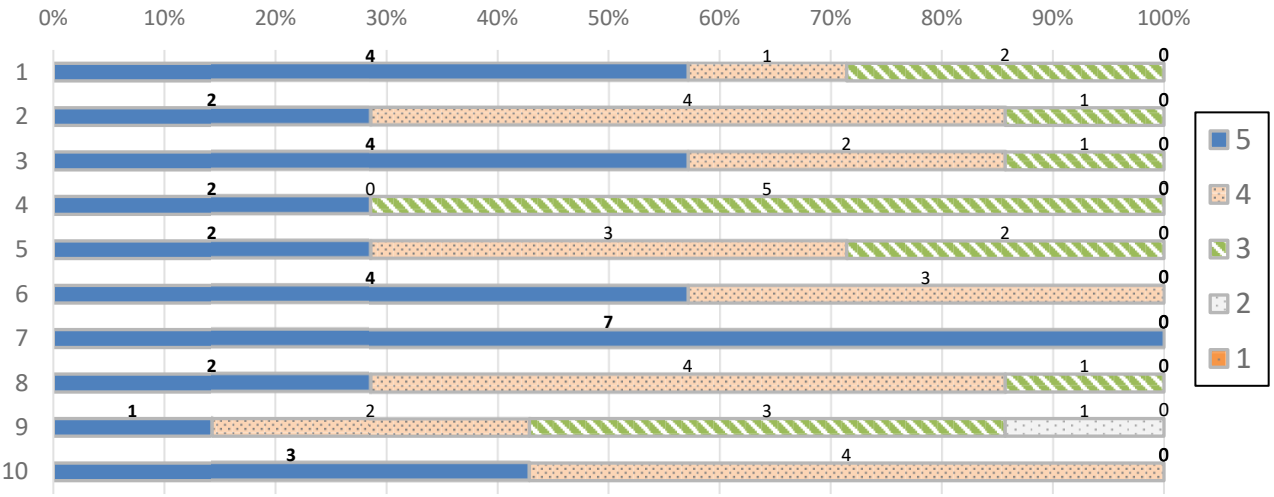
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42106
授業科目名	構造力学ⅡA
担当者	藤田　謙一
所属	建築学

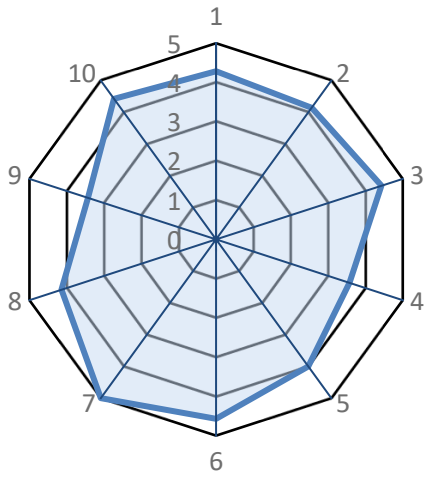
調査実施日	2023年7月
回答者数	7
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が半数に満たない状態ではあるが，普通以上であるため，今年度も質と量を落とさず講義を行いたい。ただし，Q4の授業の難易度は高いと評価した学生が相対的に多いため，難しいと感じられる内容については内容をさらに咀嚼して説明をしていきたい。

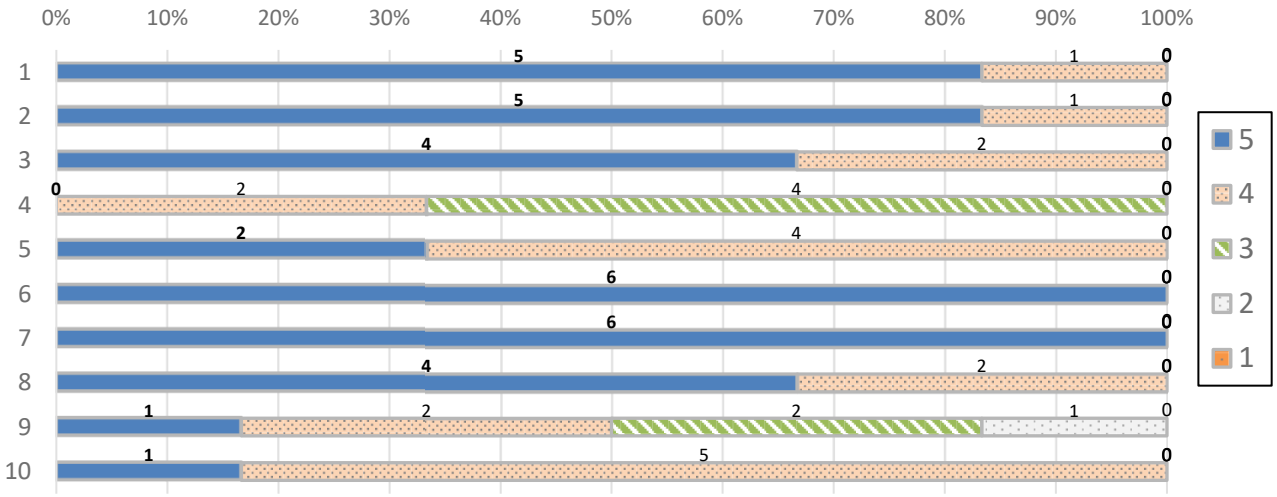
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43107
授業科目名	鉄筋コンクリート構造
担当者	藤田　謙一
所属	建築学

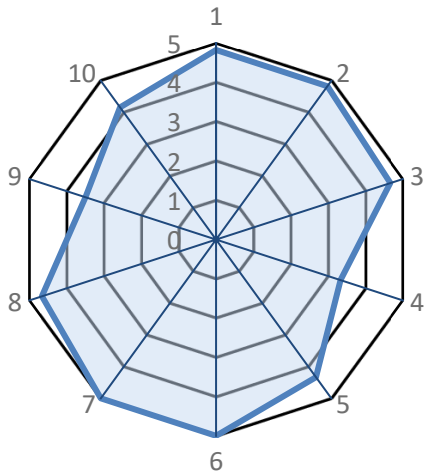
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	33

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が半数に満たない状態ではあるが，普通以上であるため，今年度も質と量を落とさず講義を行いたい。ただし，Q4の授業の難易度はやや難しいと評価した学生が相対的に多いため，難しいと感じられる内容については内容をさらに咀嚼して説明をしていきたい。

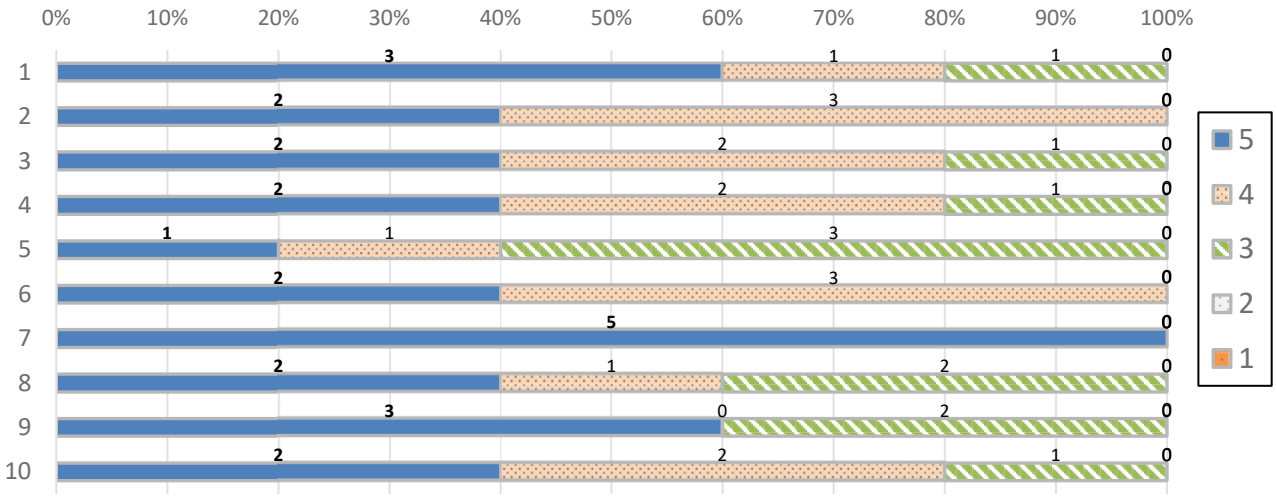
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43110
授業科目名	建築設計製図SA
担当者	福島　智子
所属	建築学

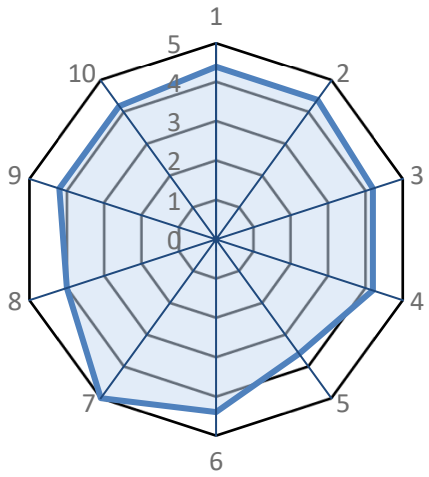
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	20

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

少数回答の為、結果からの現状分析がしにくいので自己判断を含めて記載致します。設計製図Sは学生が持つ創造性を高める為の講義であり、決まった答えがある科目ではないので、どうしても学生本人のやる気に頼るところが多くあります。実践で設計業務を生業としている講師の立場から、社会に出てからも通用できる創造力や設計スキルを多く吸収して貰えるように、引き続き努力していきたいと考えます。

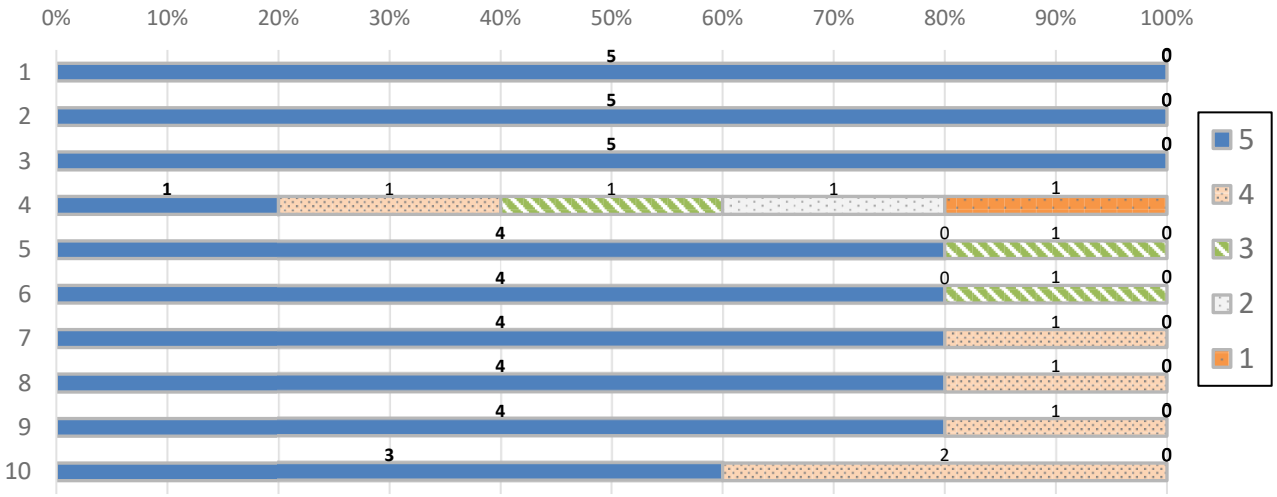
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42255
授業科目名	建築CAD
担当者	橋本　彼路子
所属	建築学

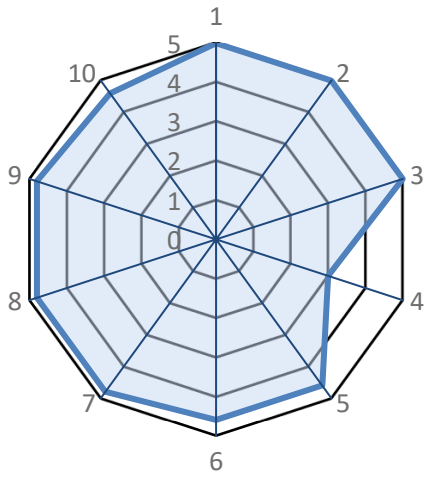
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	26

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

CADの授業は工業高校などでCADを習っている学生も多く技術の習得度が様々であることから、PCの作業に慣れていない学生を待って授業を進めているので、作業の早い学生はやや手持ち無沙汰になる。全員の満足を得るのが、なかなか困難でなる。しかし、工業高校卒業の学生にでも、正しい図面の描き方というのは完璧に理解しているわけでないので、作業するだけでなく何を描いているか考えながら描くという導きをしている。今年度（2024年度）は3DCADの分量を増やしたいと思うので、TAとともに授業効率をあげて取り組むつもりである。

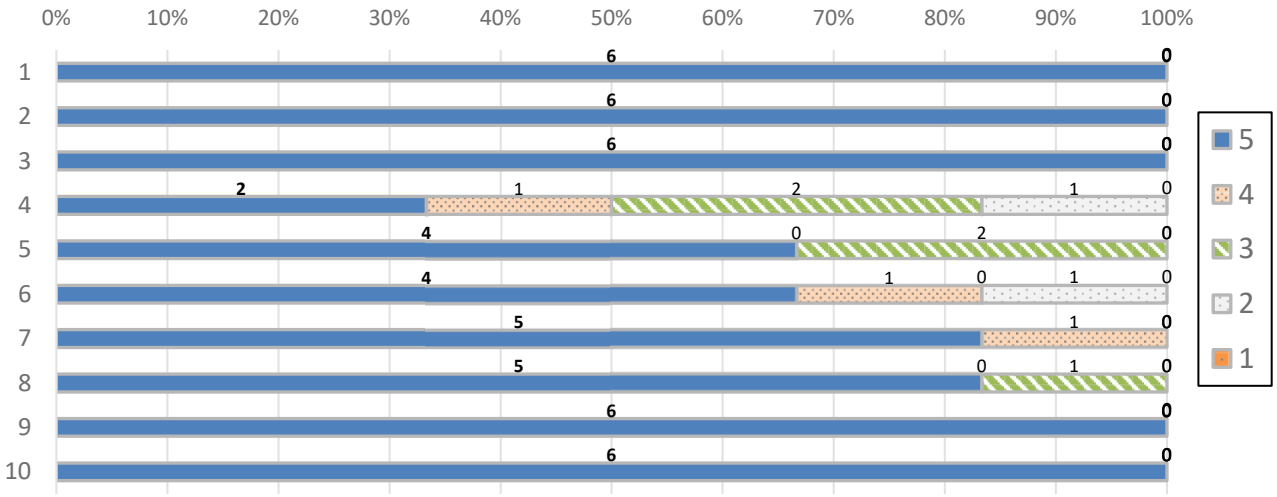
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42254
授業科目名	建築設計製図ＩＢ
担当者	山田　由香里
所属	建築学

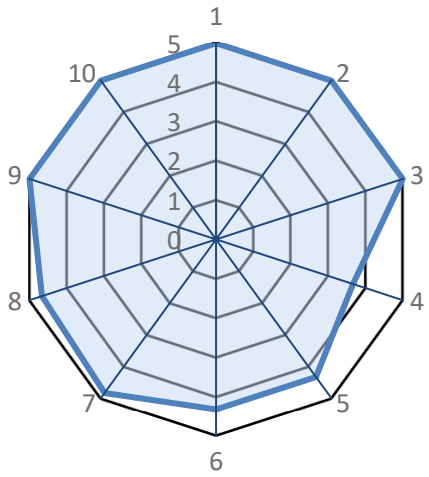
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2,3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が6名なので考察しにくいが、回答してくれたのは、熱心に取組む学生だろう。

設計の講義は、学生自身が建築雑誌発表作品などを10作品ほどみて取り組んでくれると、本人の設計力も伸びる。

自由回答で、気分を害したと書いた学生にはお詫びする。

マスコミ、SNS、webで叩くことが当たり前になって、同様の評価が学生と教員の間にも見られるようになった。もう少しこうすればよい設計になるのにと思うが、私自身いろいろは言わなくなった。ハラスメントと捉えられるとこちらもリスクなので、注意している。そういう時代なのだと思う。

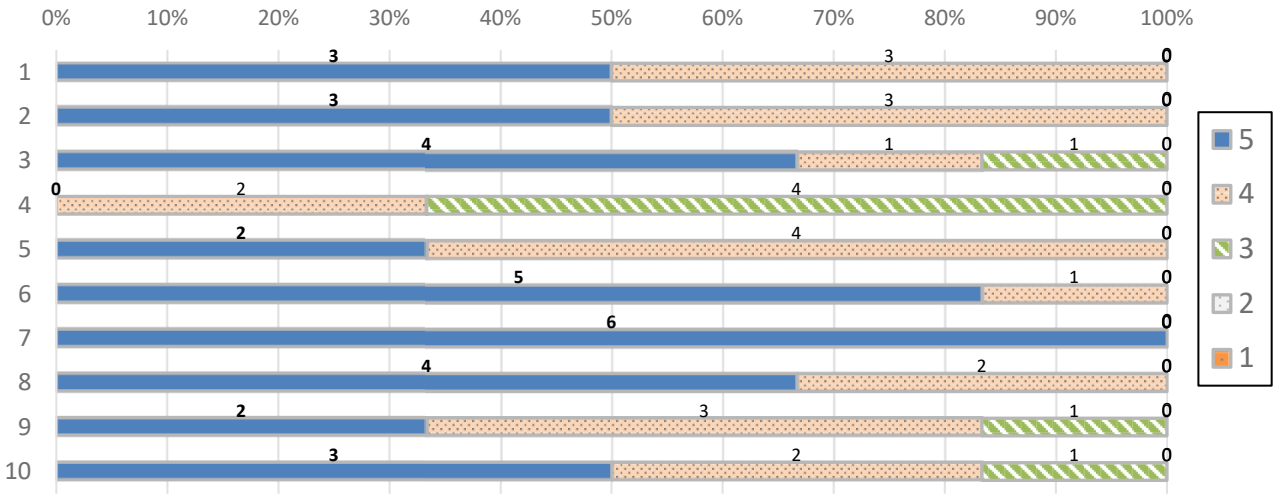
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43258
授業科目名	日本建築史
担当者	山田　由香里
所属	建築学

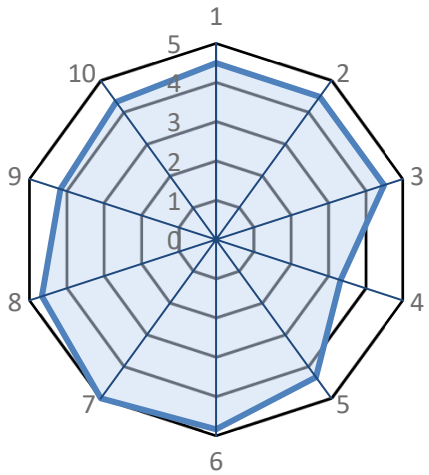
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	31

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が6名。全体の1／5。高評価を得た。
コロナ禍以降、見学旅行が難しいからこそ、講義を大切にしたいと、スライド内容や話す内容を見直した。それが評価を得たと考える。

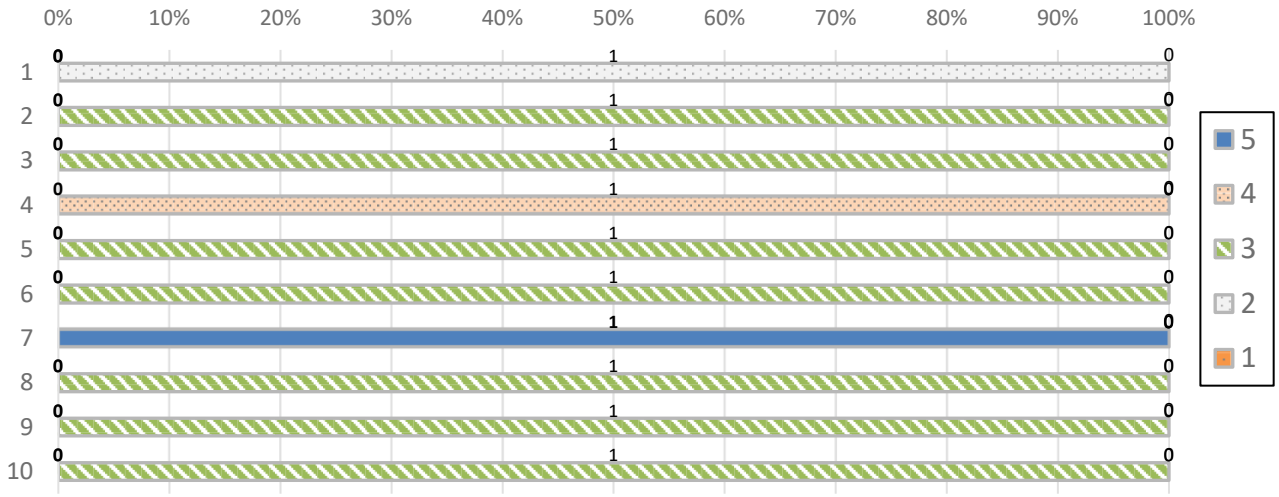
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43261
授業科目名	建築学演習
担当者	山田　由香里
所属	建築学

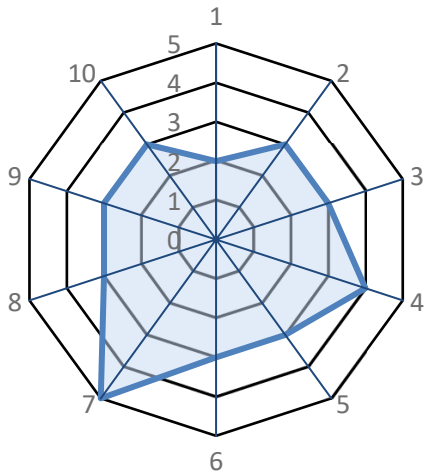
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	3

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

本来はコース長が担う授業だが、年度末の１月になって、受講者３名がいることが明らかになった。それから連絡を取って、提出物を出してもらったので、学生には不十分な対応だったと思う。

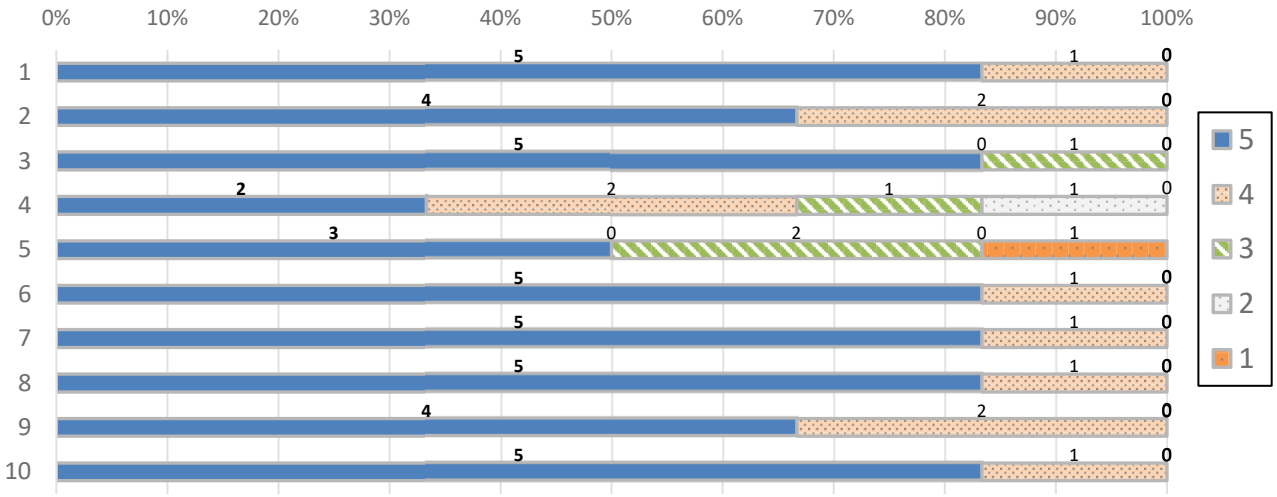
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42250
授業科目名	環境工学Ⅱ
担当者	田中　翔大
所属	建築学

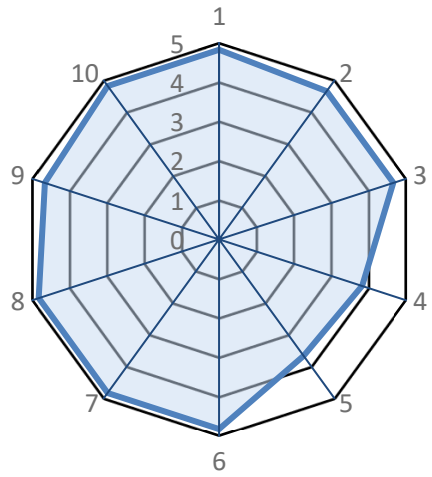
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	33

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4の授業内容の難易度に関して、アンケート評価が他の項目と比較し若干低い傾向がある。一級建築士の試験での出題に関して、どうしても数式や多数の専門用語を取扱うため、難易度が上がるのは仕方ないことだと考える。
今年度授業では、このような部分に関して、時間をかけかみ砕いて丁寧に伝えるように改善する。
また、Q5において、黒板の字が見えづらい等の意見も見られたため、今年度では雑な板書にならないように改善する。

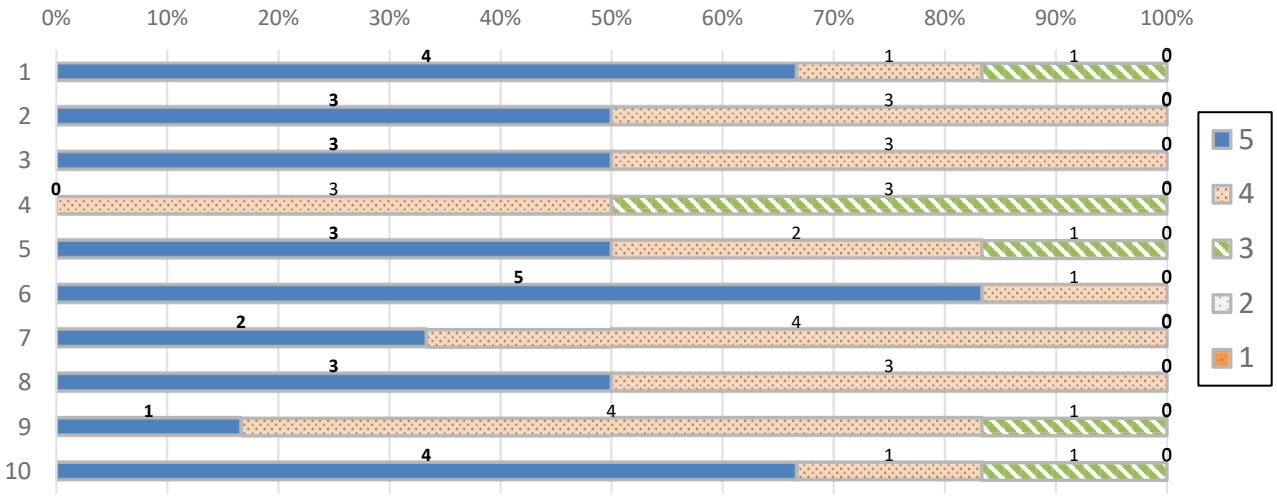
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43250
授業科目名	建築設備計画
担当者	田中　翔大
所属	建築学

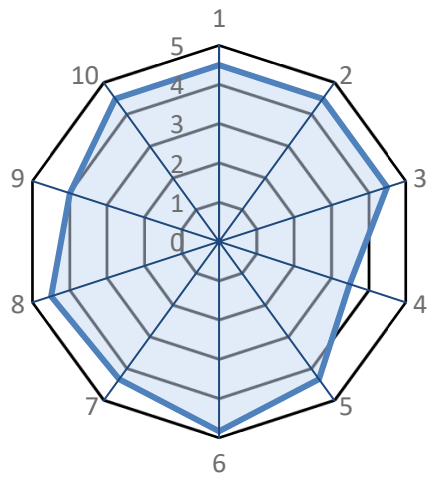
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	31

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4の授業内容の難易度に関して、アンケート評価が他の項目と比較し若干低い傾向がある。一級建築士の試験での出題に関して、どうしても数式や多数の専門用語を取扱うため、難易度が上がるのは仕方ないことだと考える。特に本授業では、部屋の空調負荷の計算において、複数の専門用語の内容を理解する必要がある。
今年度授業では、このような部分に関して、時間をかけかみ砕いて丁寧に伝えるように改善する。
また、Q9において、授業外での学習時間を確保できていない学生が見られたので、明確に課題などを指定することで改善する。

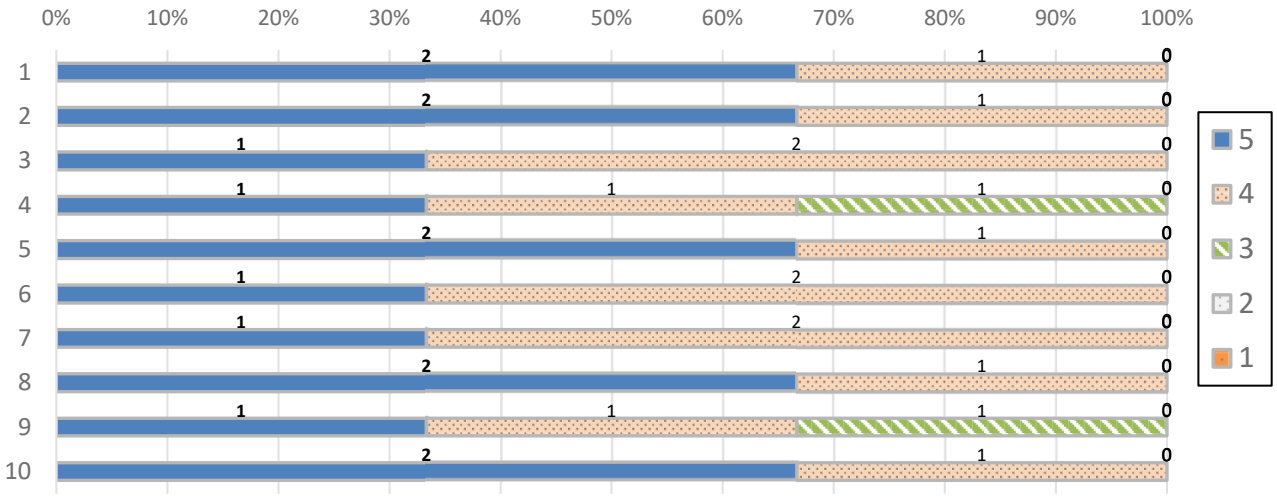
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43263
授業科目名	環境工学実験
担当者	田中　翔大
所属	建築学

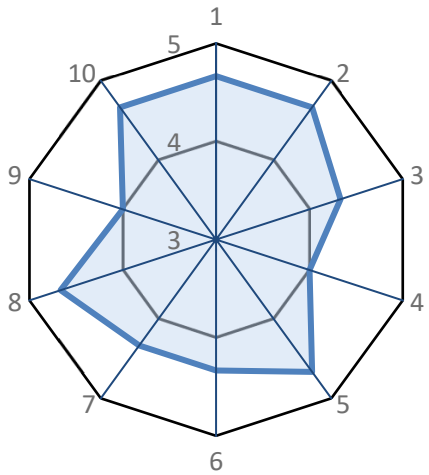
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	11

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

実験の授業だが、ある程度高水準での評価を得らえていると考える。
実験が楽しかったとの声も届いているので、今年度も工夫して授業に望みたいと考える。

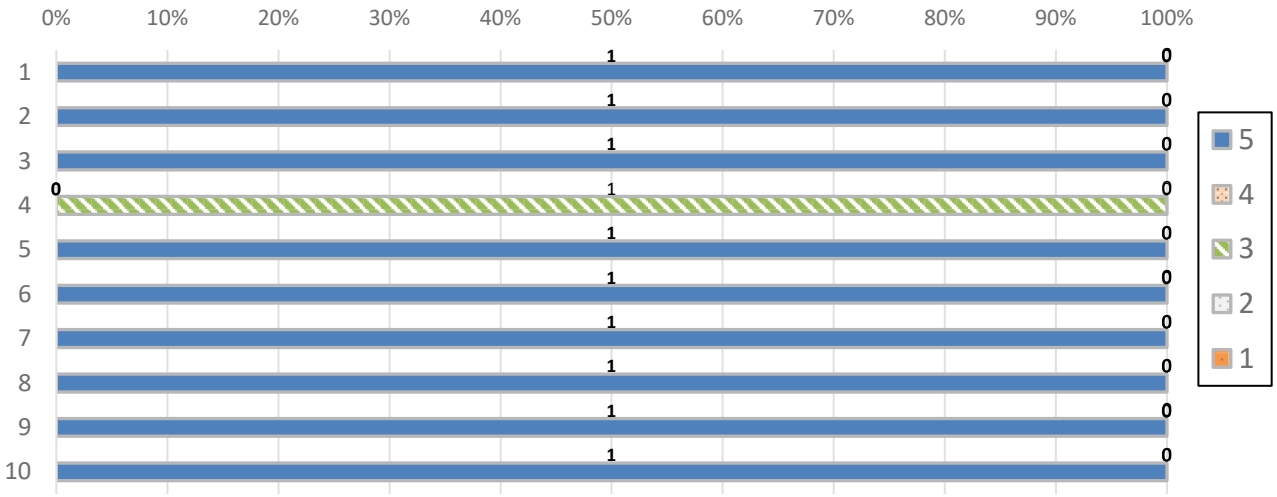
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42105
授業科目名	建築一般構造
担当者	藤田　謙一
所属	建築学

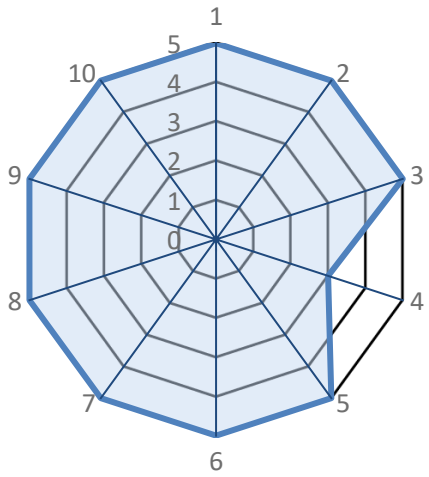
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	33

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数1名のため，現状分析は困難です。しかし，高評価であるため今年度も質と量を変化せることなく講義を実施することとします。

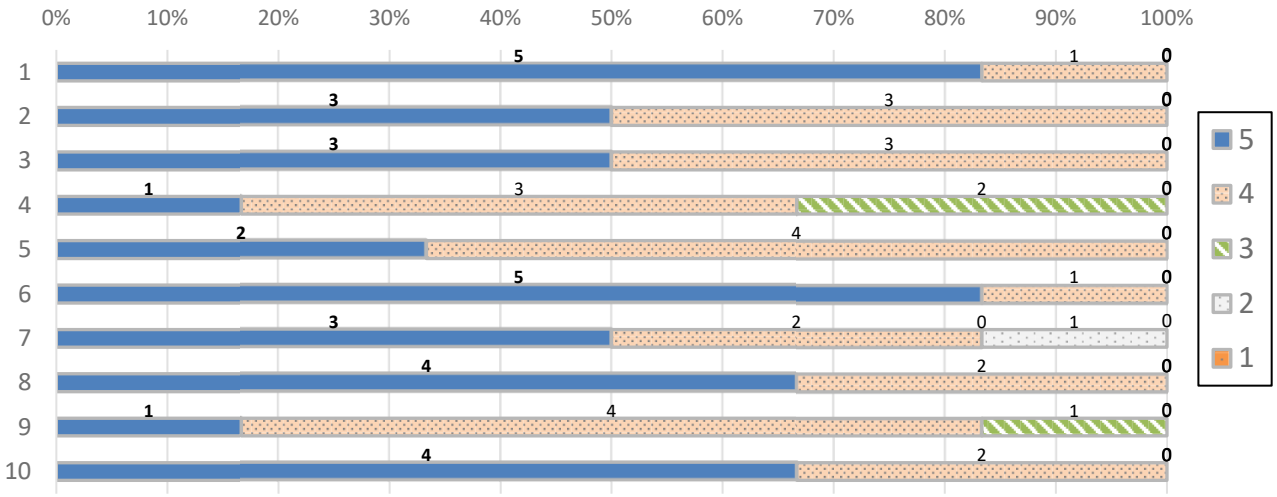
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	42251
授業科目名	構造力学ⅡB
担当者	藤田　謙一
所属	建築学

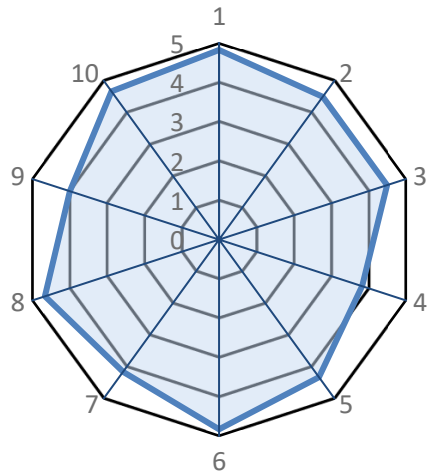
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2,3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が半数に満たない状態ですが，普通以上であるため，今年度も質と量を落とさず講義を実施することとします。ただし，Q4の授業の難易度はやや難しいと評価した学生が相対的に多いため，難しいと感じられる内容については内容をさらに咀嚼して説明をしていきます。

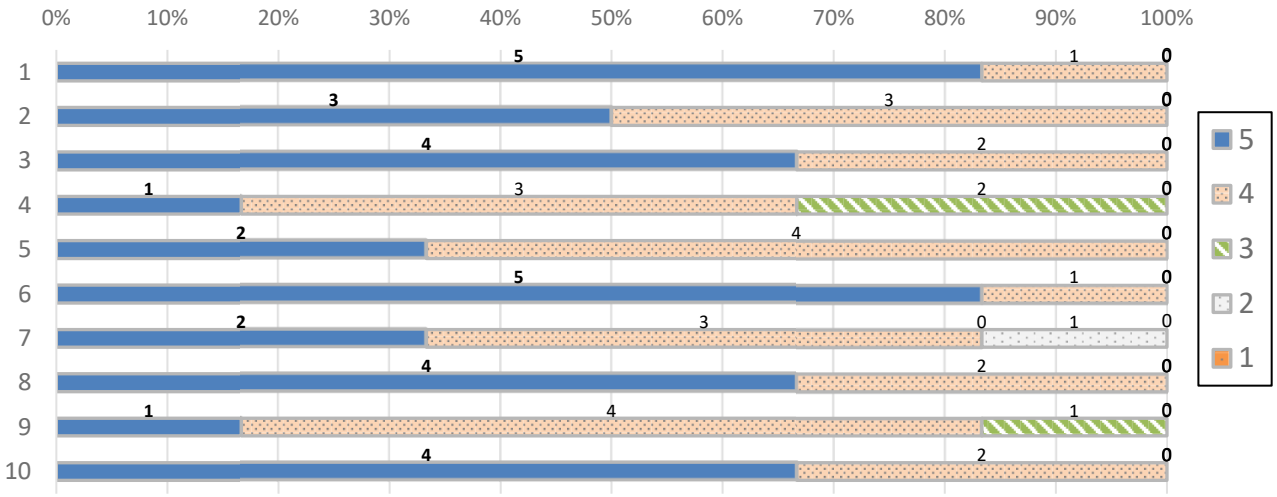
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	43113
授業科目名	鋼構造
担当者	藤田　謙一
所属	建築学

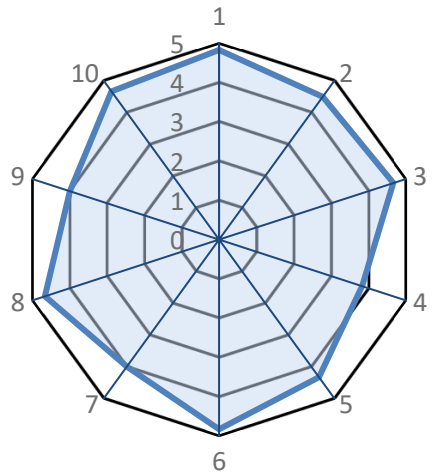
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が半数に満たない状態ですが，普通以上であるため，今年度も質と量を落とさず講義を実施することとします。ただし，Q4の授業の難易度はやや難しいと評価した学生が相対的に多いため，難しいと感じられる内容については内容をさらに咀嚼して説明をしていきます。

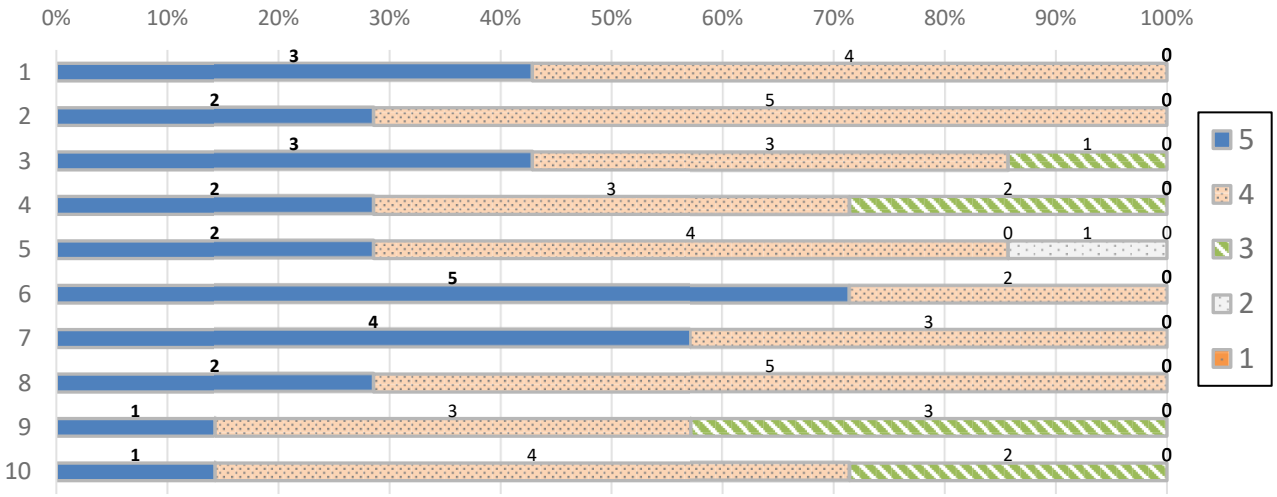
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	52104
授業科目名	電子工学基礎
担当者	清山　浩司
所属	電気電子

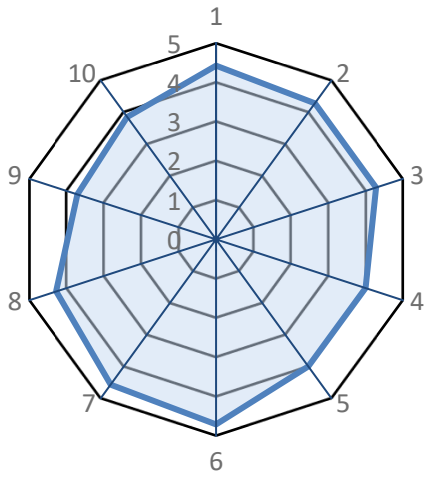
調査実施日	2023年7月
回答者数	7
対象者数	58

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

解答を行った受講生は、おおむね質問に対して良好な結果を回答している。しかし、Q5は5段階評価で2がある。受講生が講義内容の理解が深まるよう私自身の説明の仕方に加えオンデマンド教材なども利用した実施を検討する。

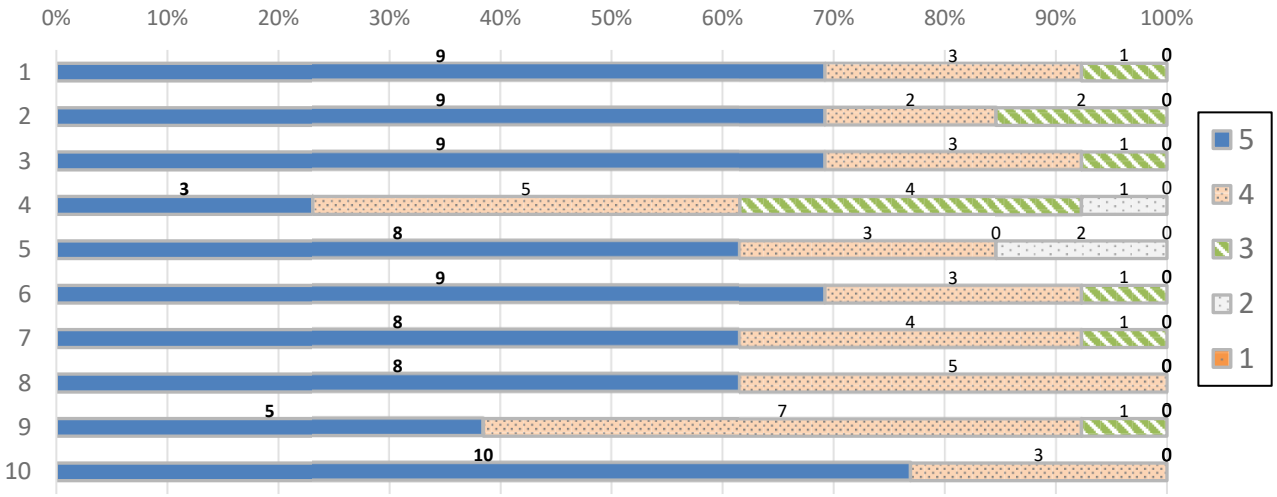
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	51250
授業科目名	電気工学基礎Ⅱ
担当者	清山　浩司
所属	電気電子

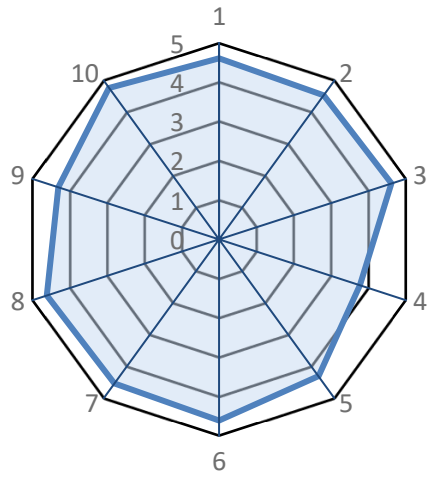
調査実施日	2024年2月
回答者数	13
対象者数	48

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答は、おおむね普通以上の回答であった。
自由記述に「出席を確認する毎回の課題は自宅からでも提出できてしまうため、きちんと出席している人からすると不平等に感じました。」があった。授業では、受講生が持参した端末でも設問が確認出来るようにプロジェクタ投影画面に加えGoogleクラスルームに課題を掲載しており、この様な指摘があったと考えられる。課題問題の表示を投稿可能時間外にアップロードするなど、学生の意見を反映させた実施を検討する。

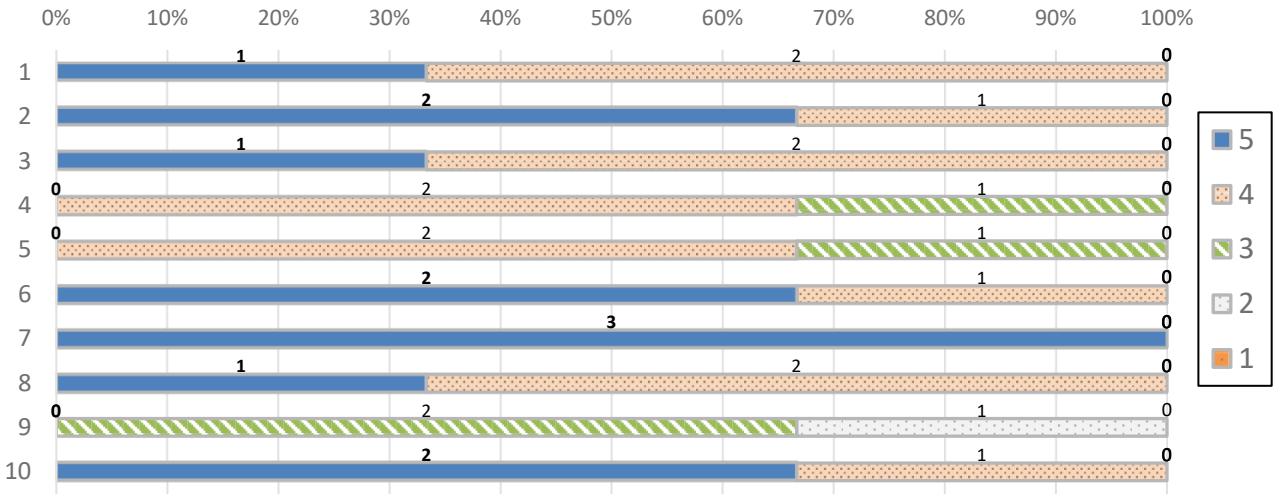
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62104
授業科目名	医用材料工学
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

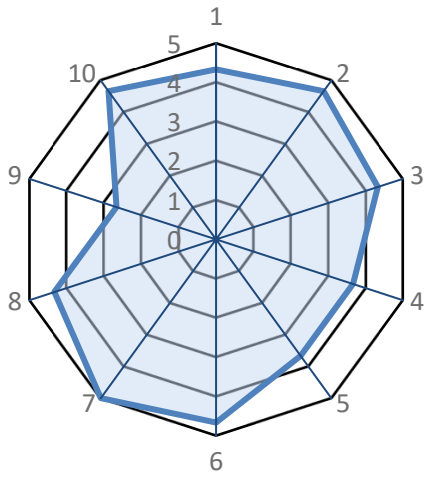
調査実施日	2023年7月
回答者数	3
対象者数	24

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、講義内容の難易度や量、説明、に関しては改善していきながら、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

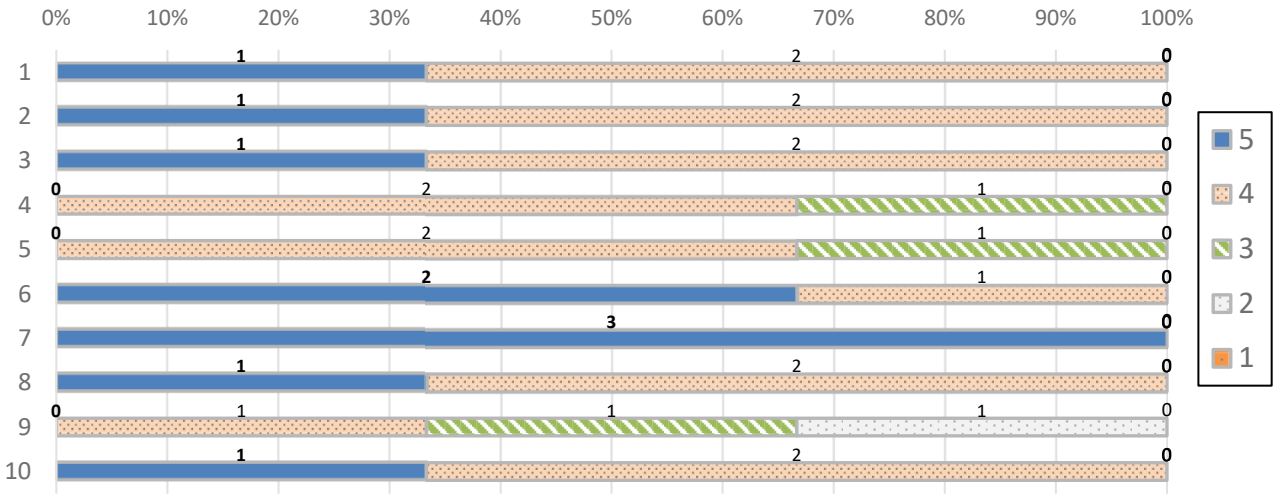
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62105
授業科目名	情報工学
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

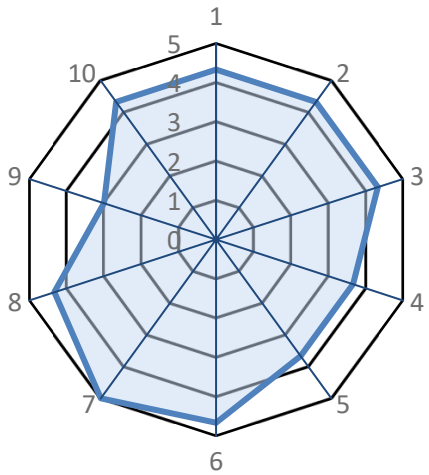
調査実施日	2023年7月
回答者数	3
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、講義内容の難易度や量、説明、に関しては改善していきながら、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

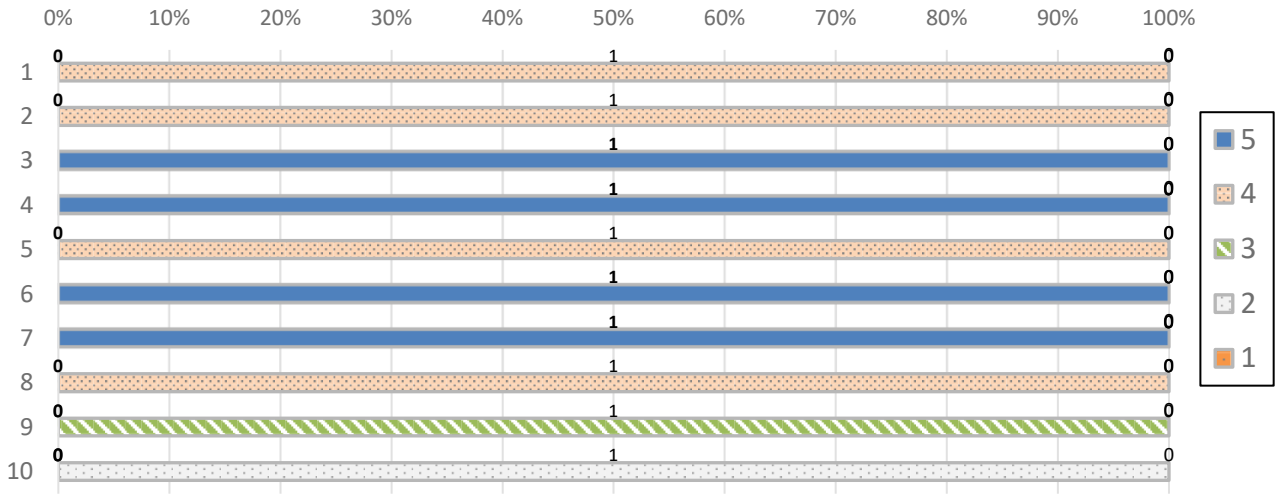
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62253
授業科目名	電気電子基礎実験（医療）
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

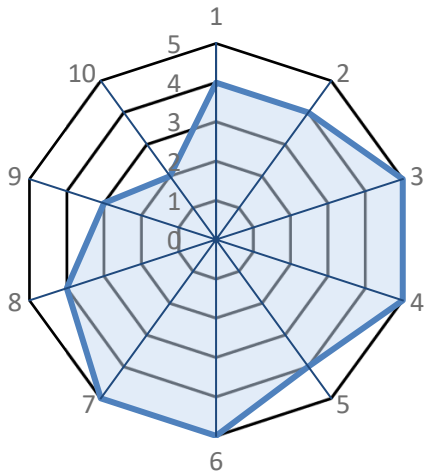
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、学生の勉学に対するモチベーションを保ち、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

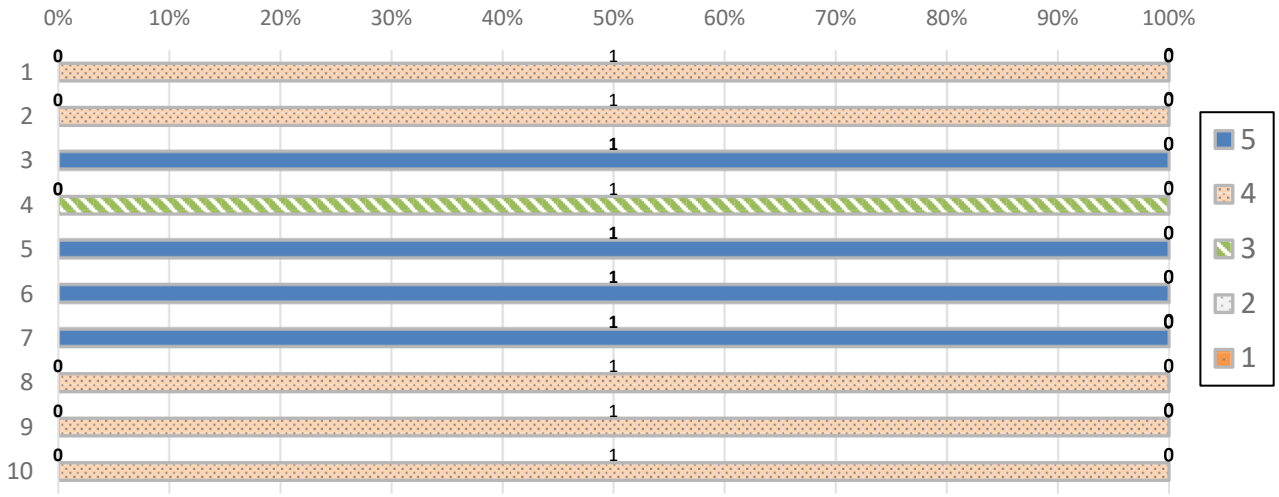
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	63104
授業科目名	システム工学
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

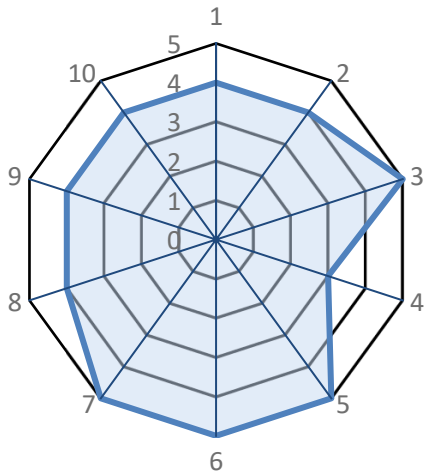
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	18

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、講義の説明に関しては改善していきながら、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

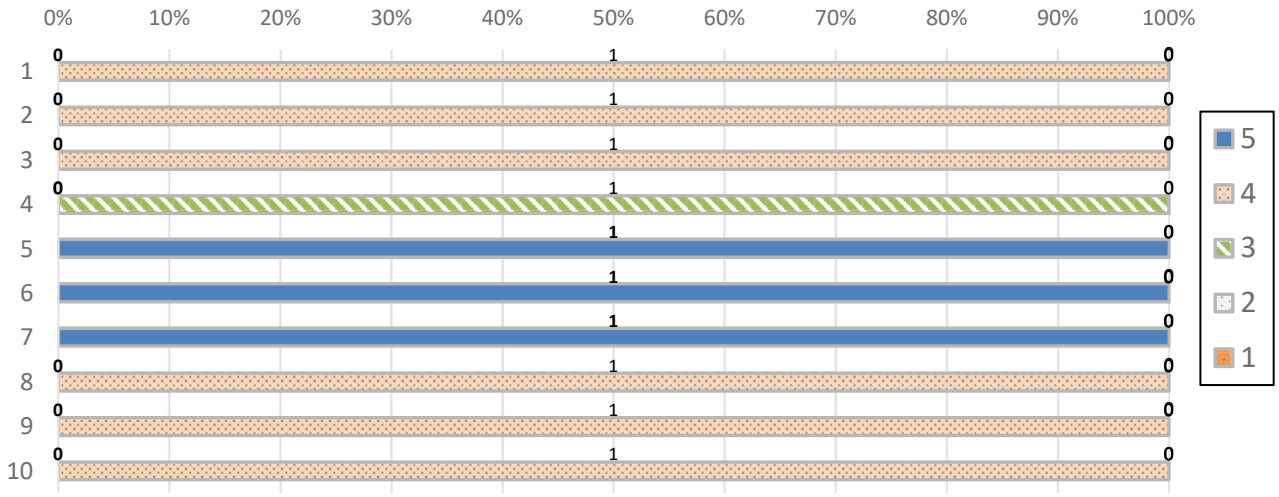
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	63108
授業科目名	医用機器特別演習
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

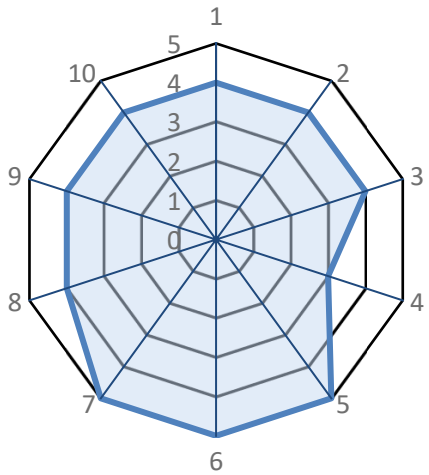
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、講義の説明に関しては改善していきながら、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

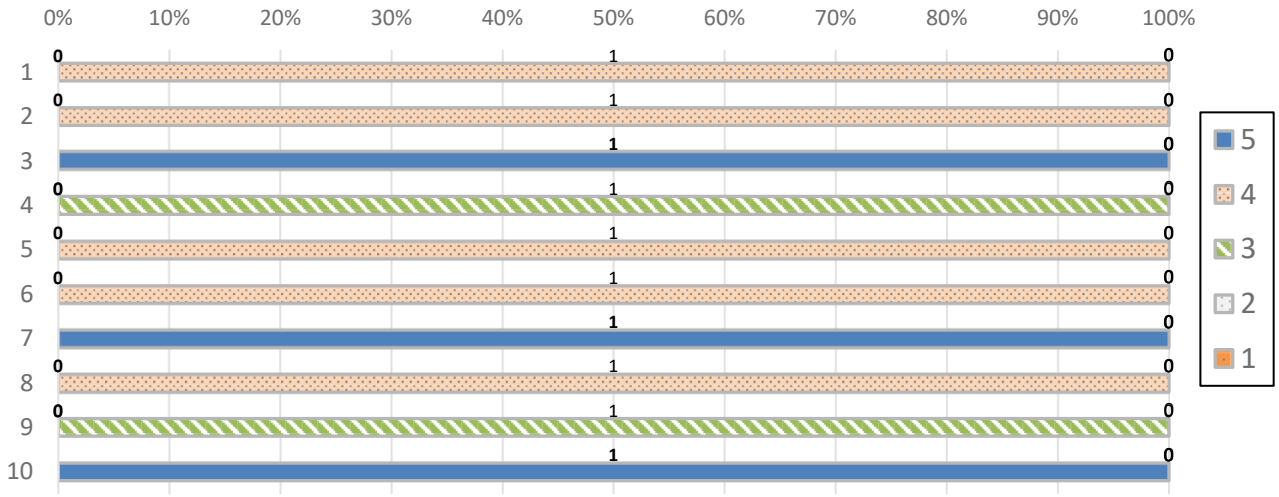
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	63101
授業科目名	呼吸療法装置
担当者	池　浩司
所属	医療工学

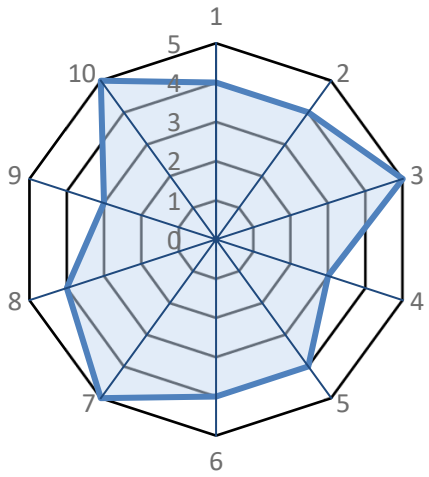
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートに回答いただいた学生の評価は概ね高評価であった。回答数が少なく全体の評価がわからないが、学生からの講義に対する意見等はいただいていないため、引き続きこの講義形式で進める予定である。改善点としては、ME2種の受験を控えた学生が多く受講するため、国家試験の問題だけでなくME2種の過去問題も多く演習問題として取り入れたい。

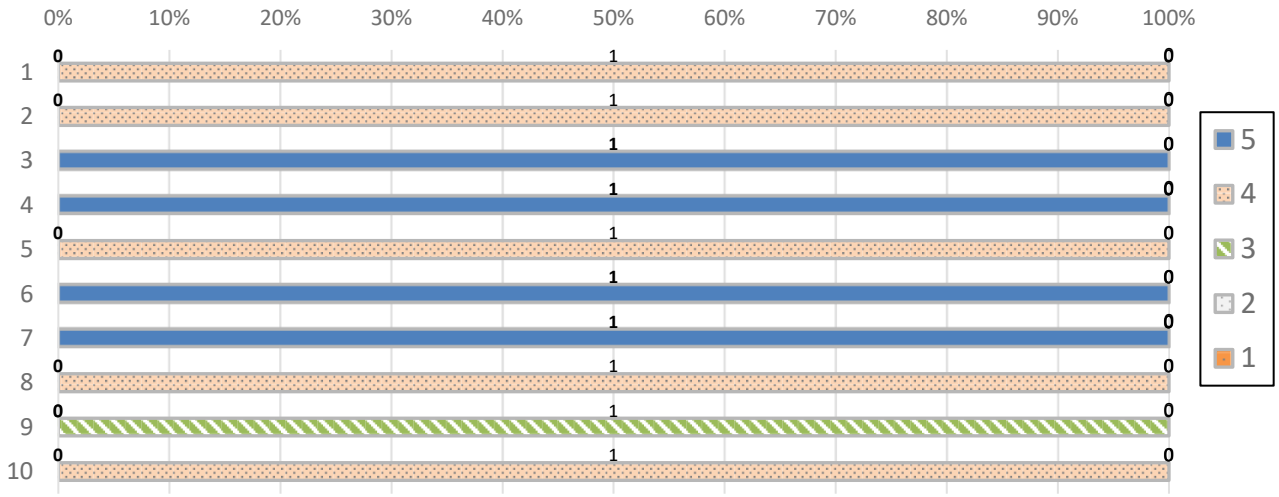
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	63102
授業科目名	呼吸療法装置実習
担当者	池　浩司
所属	医療工学

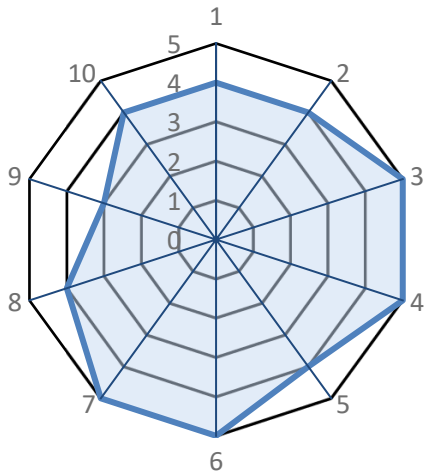
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートに回答いただいた学生からの評価は概ね高評であった。回答数が少ないため、全体の評価はわからないが本講義（実習）に対する意見等もないため、現在の実習形式で進めたいと考えている。改善点としては、グループで実習を実施しているが、グループ内で実習に積極的に取り組む学生とそうでない学生が分かれるため、実習中は全員が装置に触れることができるよう促すことはもちろん、実習資料も工夫したいと考えている。

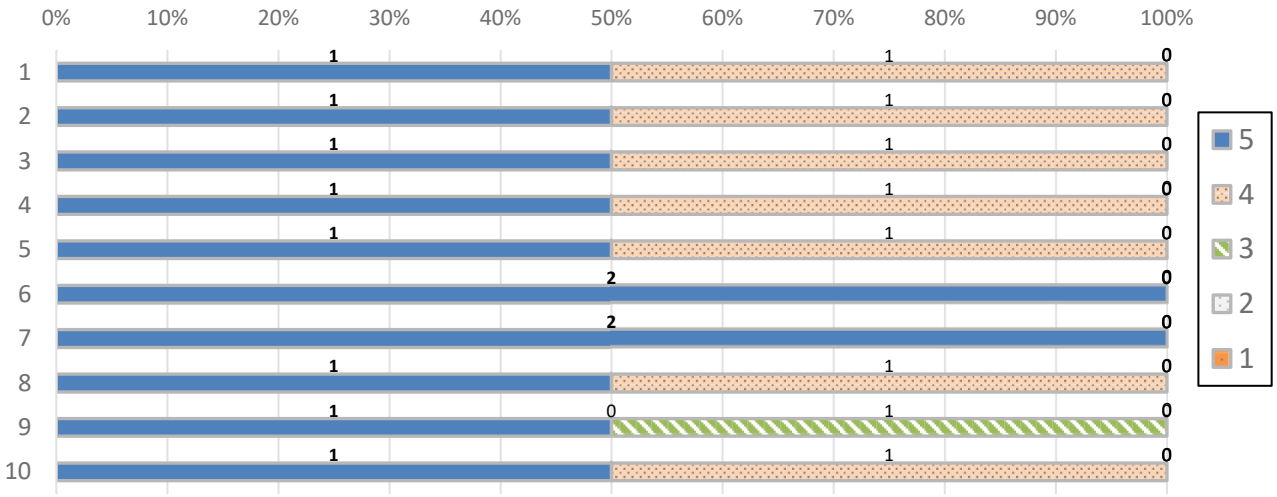
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62109
授業科目名	生体物性工学
担当者	土居　二人
所属	医療工学

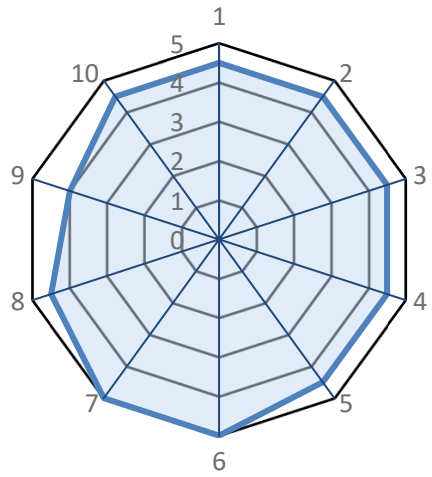
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

現在の講義では、デジタル技術の導入により、オンライン授業や録画講義が普及し、学習の柔軟性が向上しています。しかし、対面での双方向コミュニケーションの不足や、学生の参加意欲の低下が問題となっています。また、講義内容が一方通行になりがちで、学生の理解度や関心に応じた適切なフィードバックが不足していることも課題です。

改善点としては、オンラインと対面授業の効果的な融合を図り、リアルタイムでの質問や討論の機会を増やすことが重要です。さらに、講義の内容を学生の理解度に応じて調整し、インタラクティブな教材やケーススタディを取り入れることで、学生の積極的な参加を促すべきです。また、定期的な理解度チェックやフィードバックを通じて、学習効果を高めることが求められます。これにより、学生の学びの深さと効果が向上すると考えております。

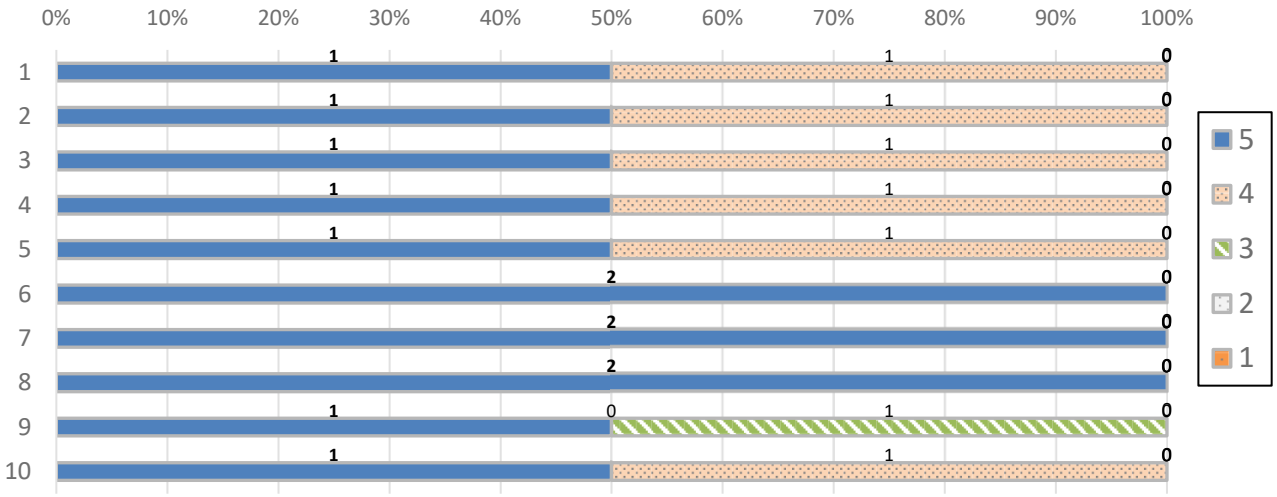
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62508
授業科目名	医用計測工学
担当者	土居　二人
所属	医療工学

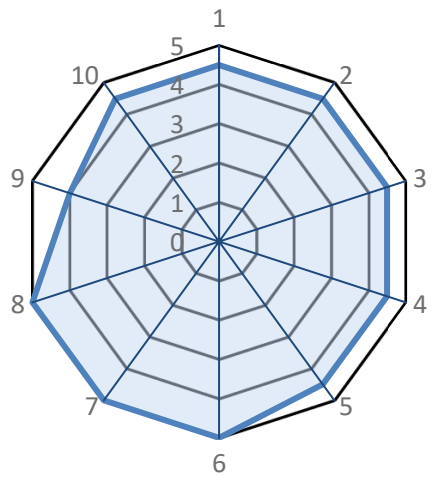
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

講師の専門性と熱意が学生の理解を深め、学習意欲を高めています。講義内容は実践的で具体的な事例を交えたものが多く、学生が現場の状況をリアルにイメージしやすくなっています。また、双方向のコミュニケーションが促進され、質問や意見交換が活発に行われており、学びの深さが向上しています。

しかし、さらに改善の余地もあります。例えば、講義の一部において、個別の進捗や理解度に応じたフォローが不足している場合があります。これにより、全ての学生が均等に学びを得られない可能性があります。また、講義の内容が豊富すぎるあまり、情報の整理や要点の明確化が不十分で、学生が重要なポイントを見失うこともあります。

改善点としては、学生一人ひとりの理解度を把握し、必要に応じた個別のサポートを提供することが重要です。また、講義の要点を明確にし、情報を整理して提供することで、学生が重要な知識をしっかりと習得できるようにすることが求められます。

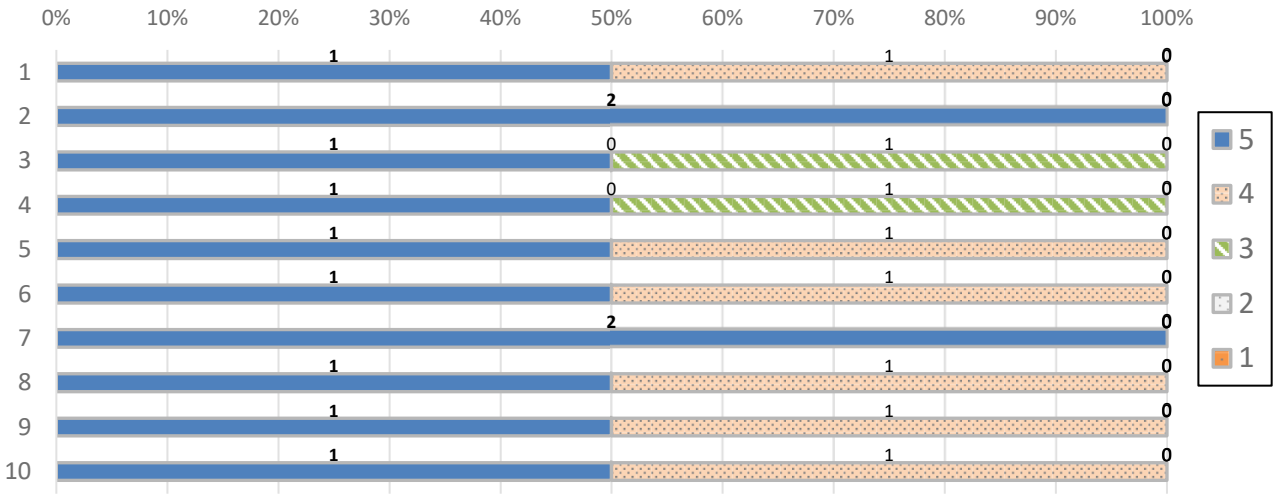
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	63105
授業科目名	生体計測装置学
担当者	土居　二人
所属	医療工学

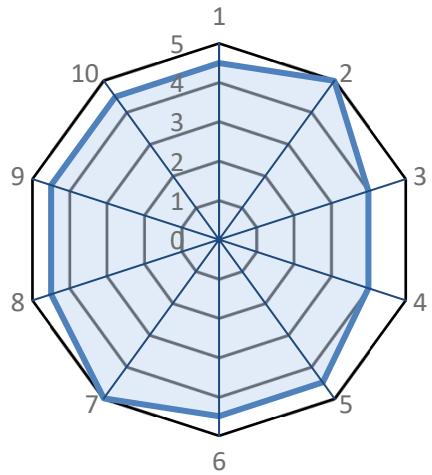
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

専門性が高い講義のため、教科書や参考書では賄えない現状がある。できるだけ最新のトピックスを講義に混ぜて講義をしているが、情報量が多くなり見直しに時間がかかることが予想される。 改善点として、視覚的な図や表を混ぜて講義を行うようにしてみる。情報量の多さを少しでも減らし、学生が学びやすい環境を心がける。

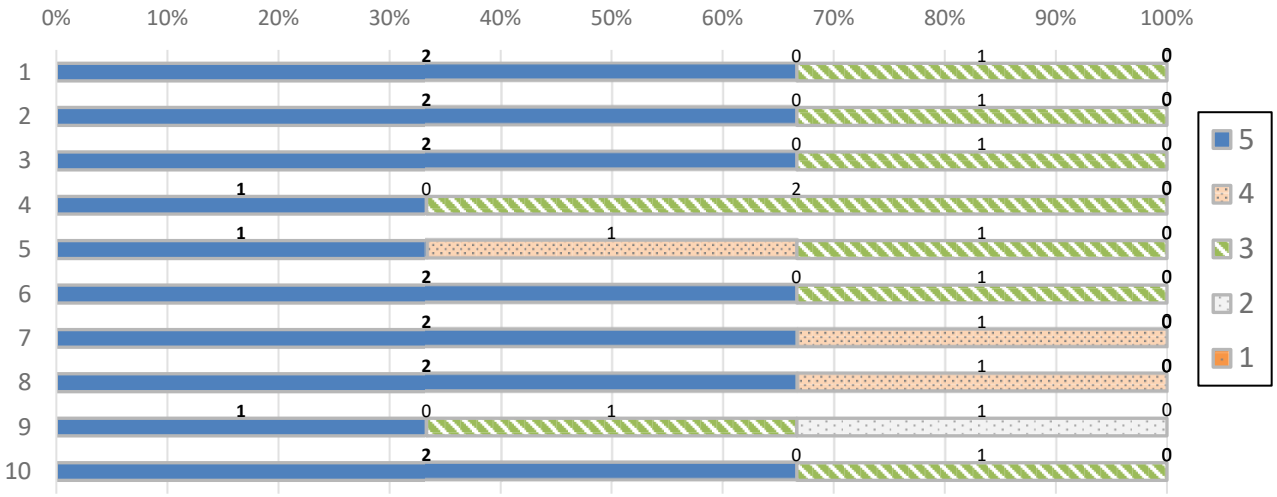
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62106
授業科目名	人の構造及び機能
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

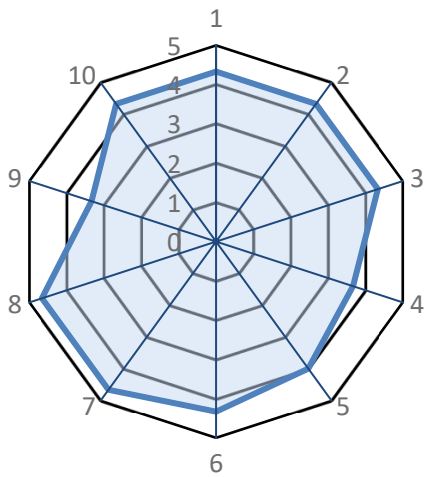
調査実施日	2023年7月
回答者数	3
対象者数	31

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が3/31と少ないものの、この人の構造と機能に対する授業評価（Q1-Q8)は4以上が多った。今後は、Q1からQ4をさらに高い評価になるように努力したい。

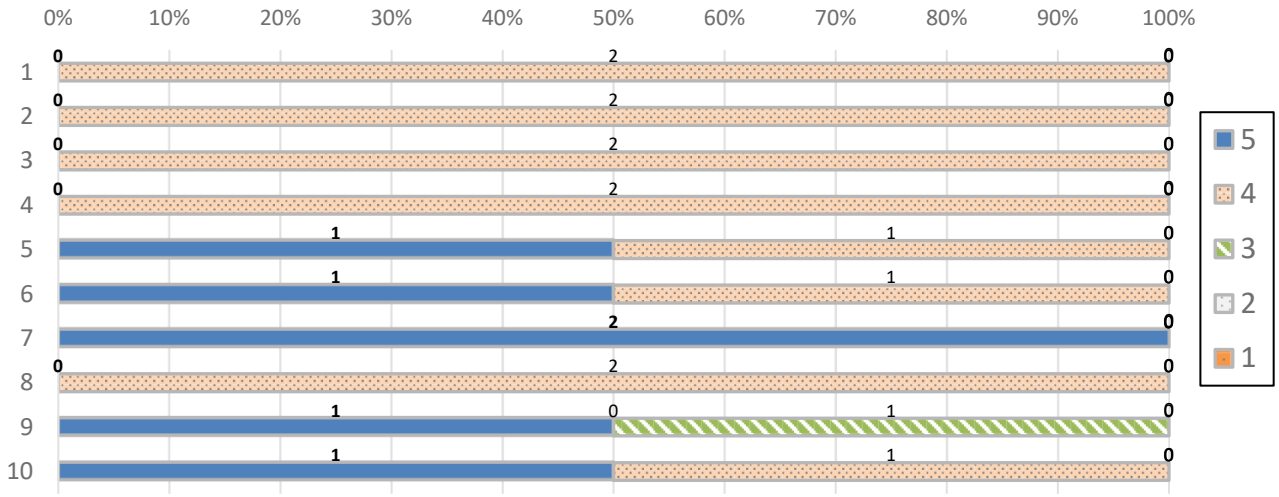
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62108
授業科目名	病理学概論
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

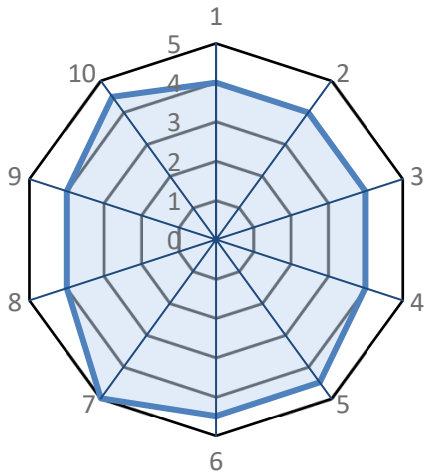
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が2/27と少ないものの、この病理学概論に対する授業評価（Q1-Q8）は平均4以上であった。今後は、Q1からQ4をさらに高い評価になるように努力したい。

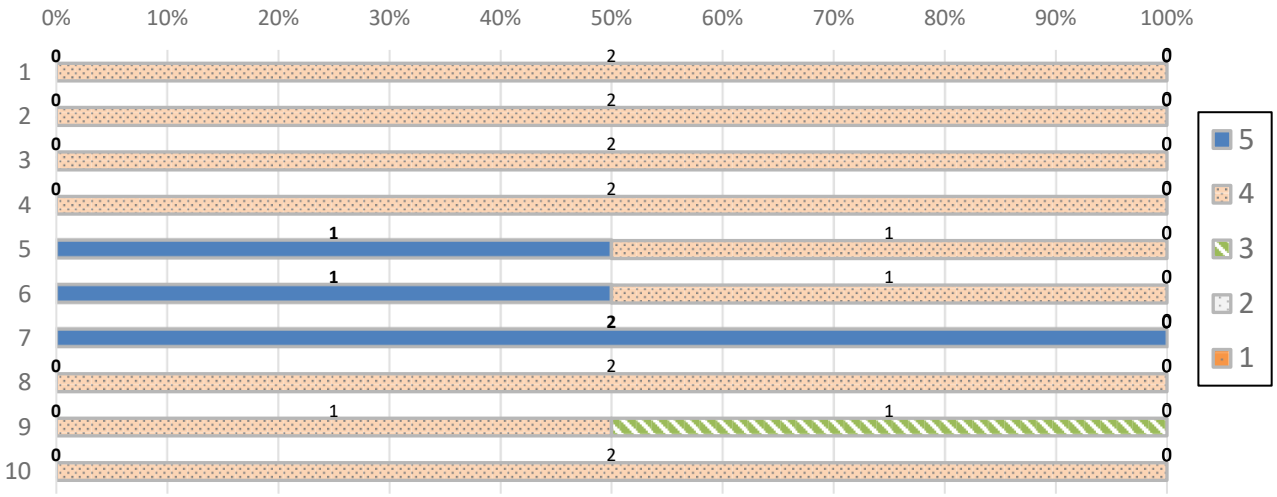
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62110
授業科目名	臨床薬理学
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

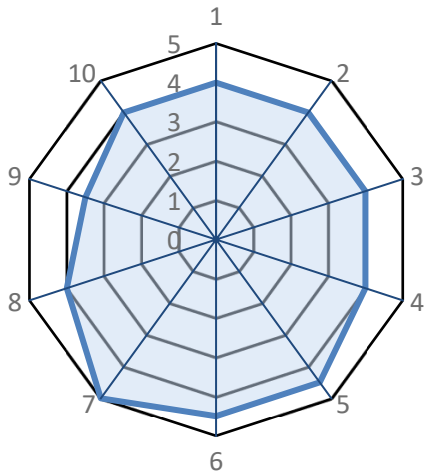
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が2/27と少ないものの、この臨床薬理学に対する授業評価（Q1-Q8)は平均4以上であった。今後は、Q1からQ4をさらに高い評価になるように努力したい。

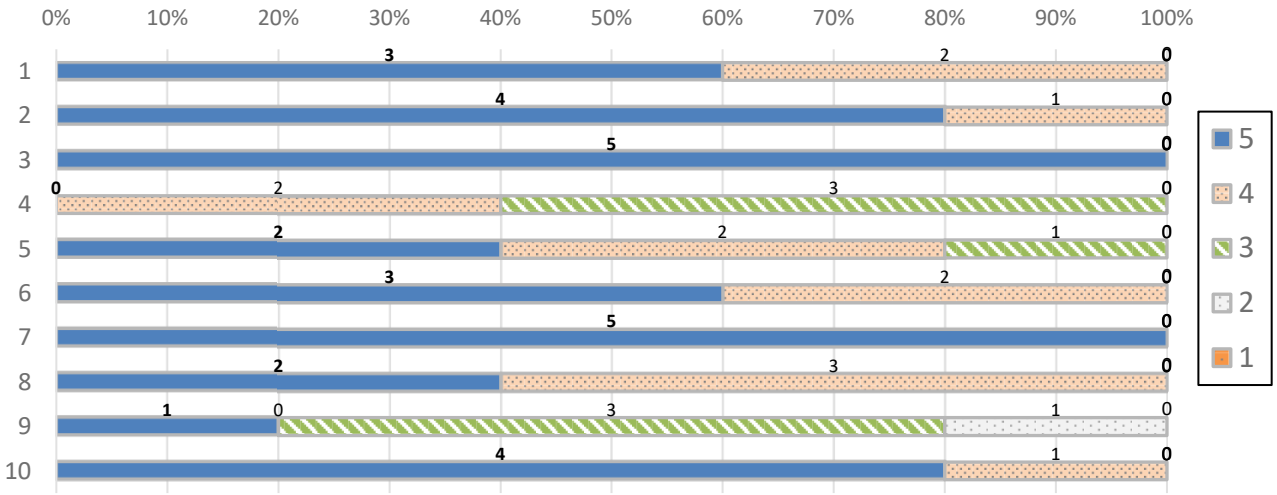
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	61104
授業科目名	工学フォーラム（医）
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

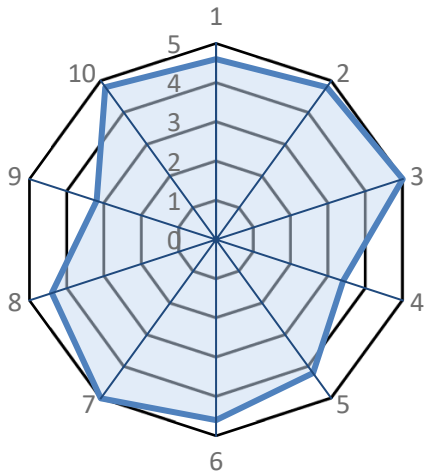
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が5/27と少ないものの、この工学フォーラムに対する授業評価（Q1-Q8）は平均4以上であった。今後は、Q4をさらに高い評価になるように努力したい。

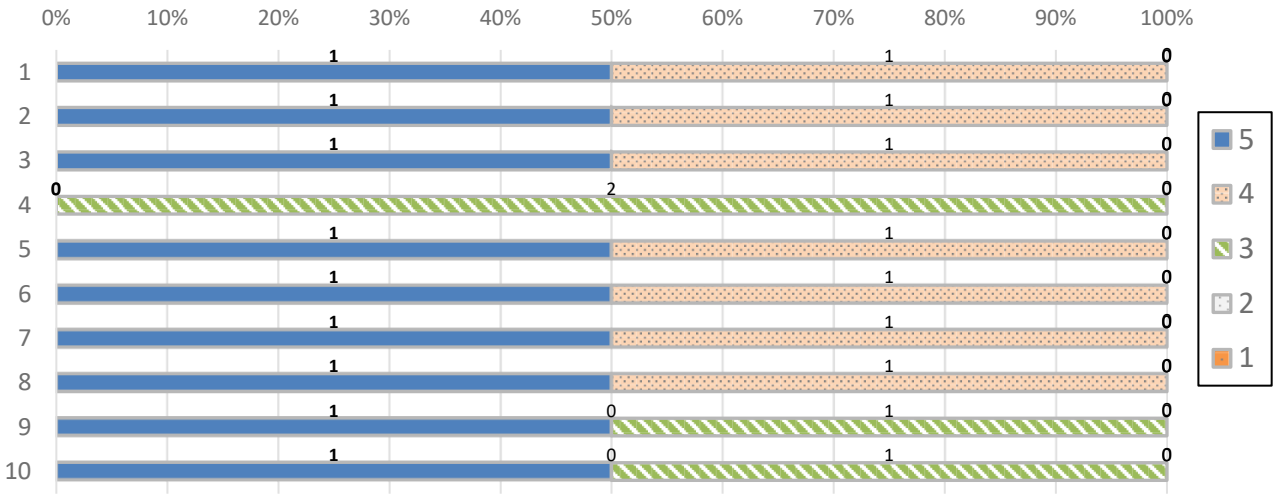
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	52254
授業科目名	アナログ回路Ⅰ
担当者	清山　浩司
所属	電気電子

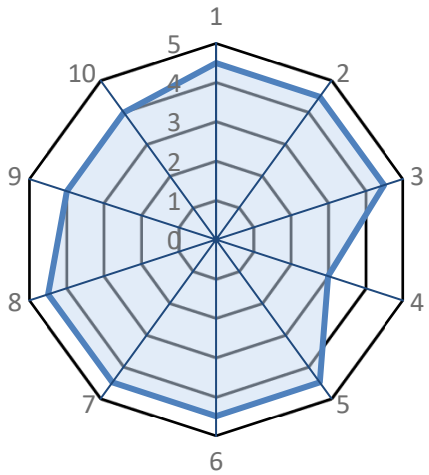
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	33

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

講義実施時の受講生の反応や問いかけに対する受け答えは良い印象があった。今回は回答数が2件であり、この結果からの現状分析が難しいので回答数が増やせるような検討を行う。

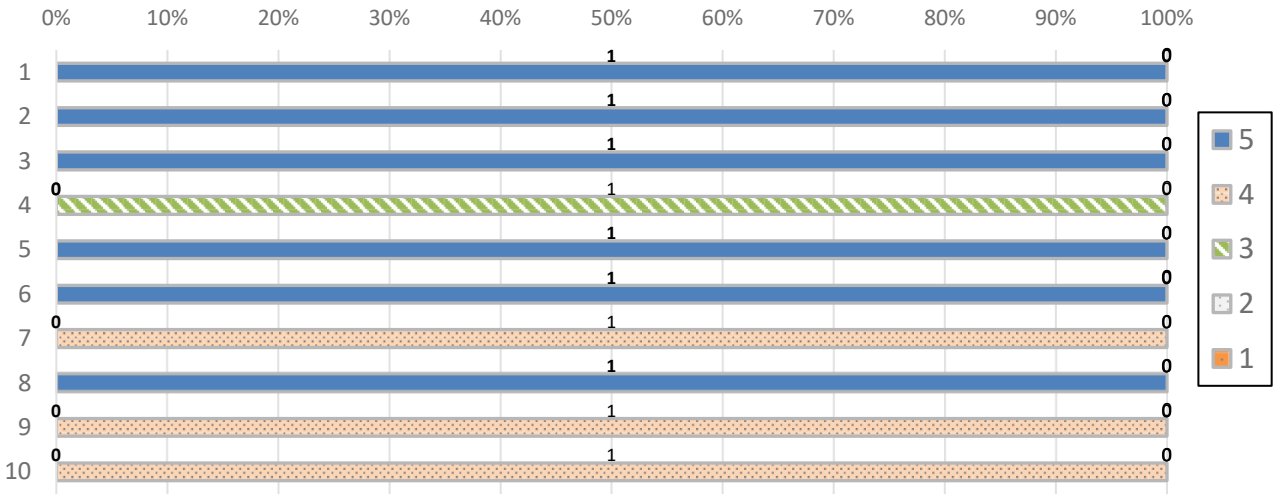
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62250
授業科目名	放射線工学概論
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

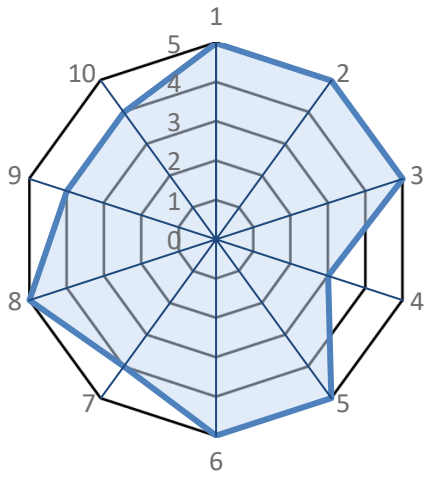
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、講義の説明に関しては改善していきながら、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

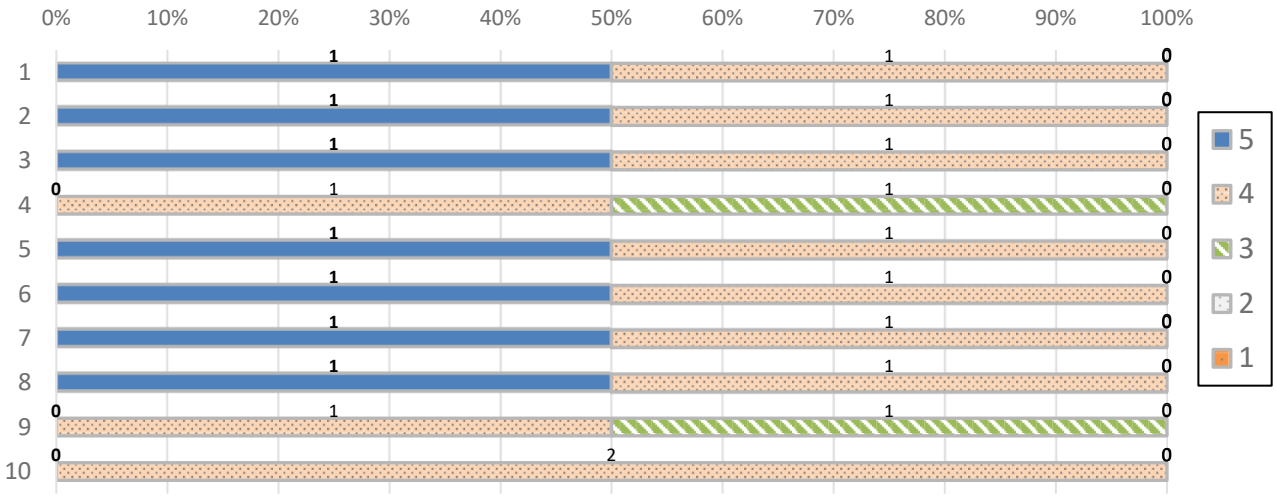
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62257
授業科目名	電子回路
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

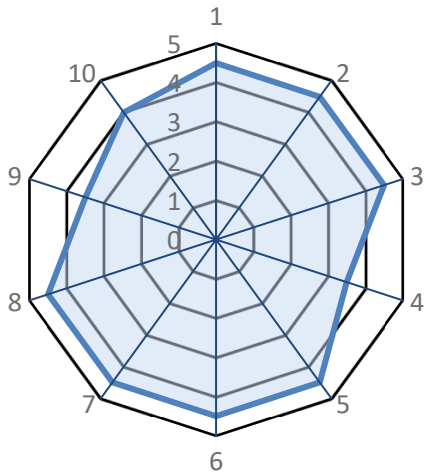
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、講義の説明に関しては改善していきながら、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

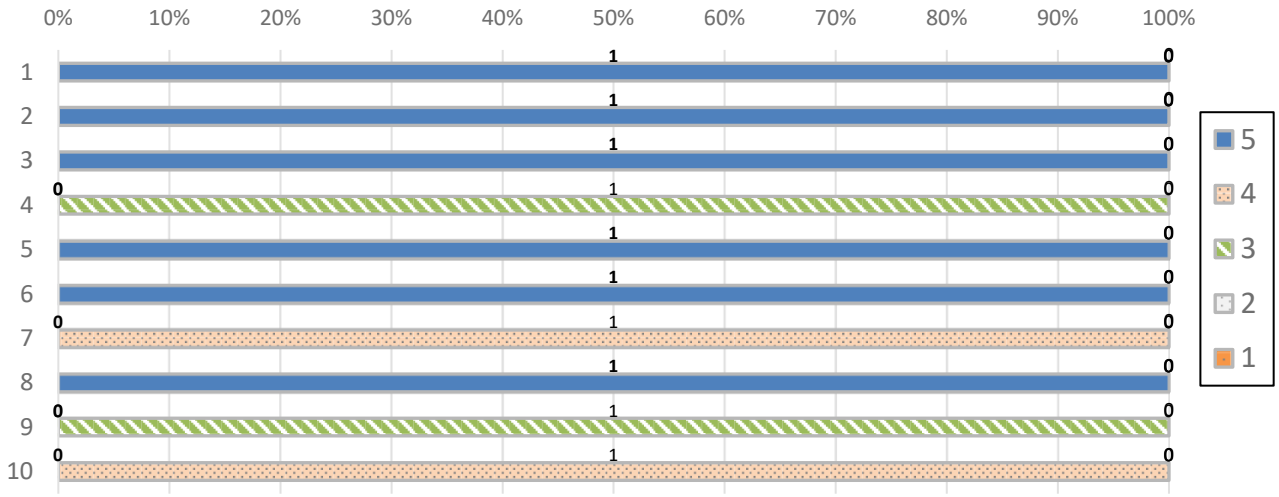
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62259
授業科目名	医療情報工学
担当者	清水　悦郎
所属	医療工学

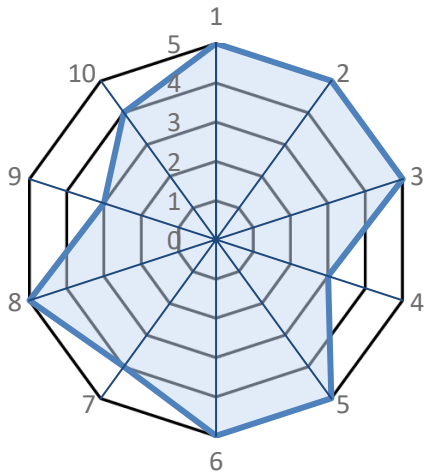
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

全体的には高い評価をして頂けていると思いますが、講義の説明に関しては改善していきながら、学生の勉学に対するモチベーションを保ち、来年はさらにいい評価をして頂ける講義にして行きたいと思います。

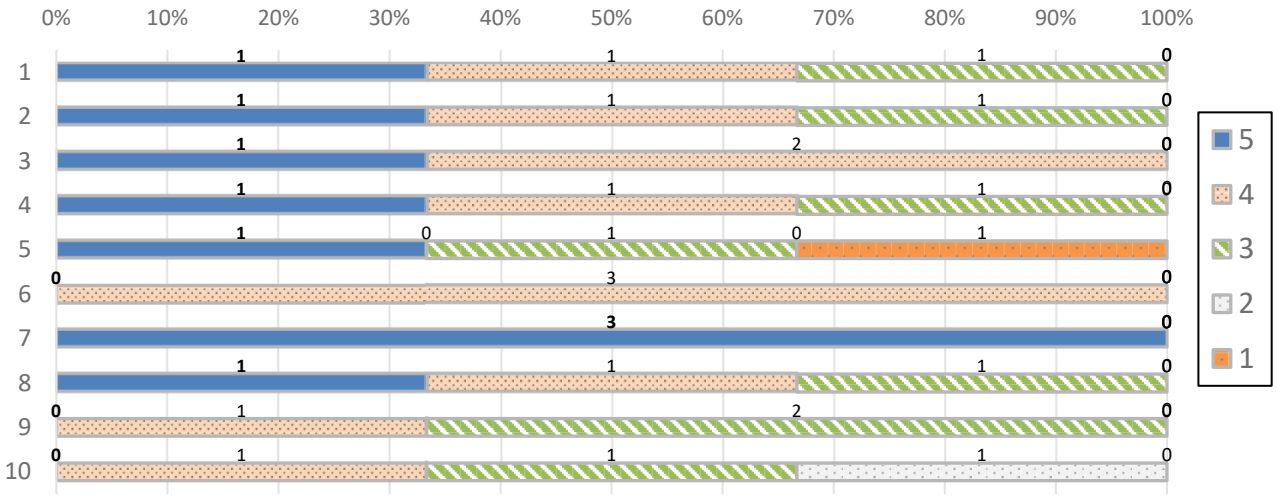
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62252
授業科目名	医用工学概論
担当者	池　浩司
所属	医療工学

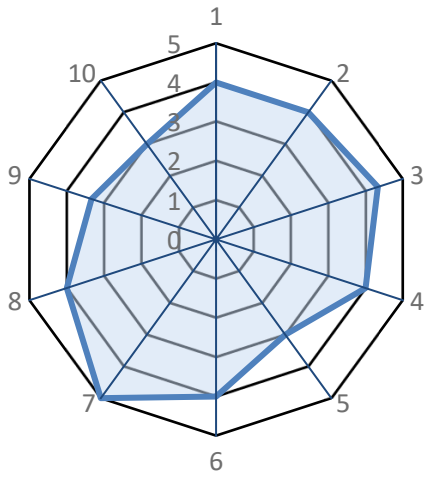
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	24

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートをいただいた学生からは概ね高評であったため、現在の講義形式を継続したいと考えている。一方、講義内容がわかりづらいと回答している学生や、期末試験対策の問題数が多いとの意見もあった。改善点として、講義が2コマとボリュームがあるため、1教科としての勉強量が他の講義と比較し多く感じてしまったことが考えられるため、中間試験などを取り入れることも検討したい。

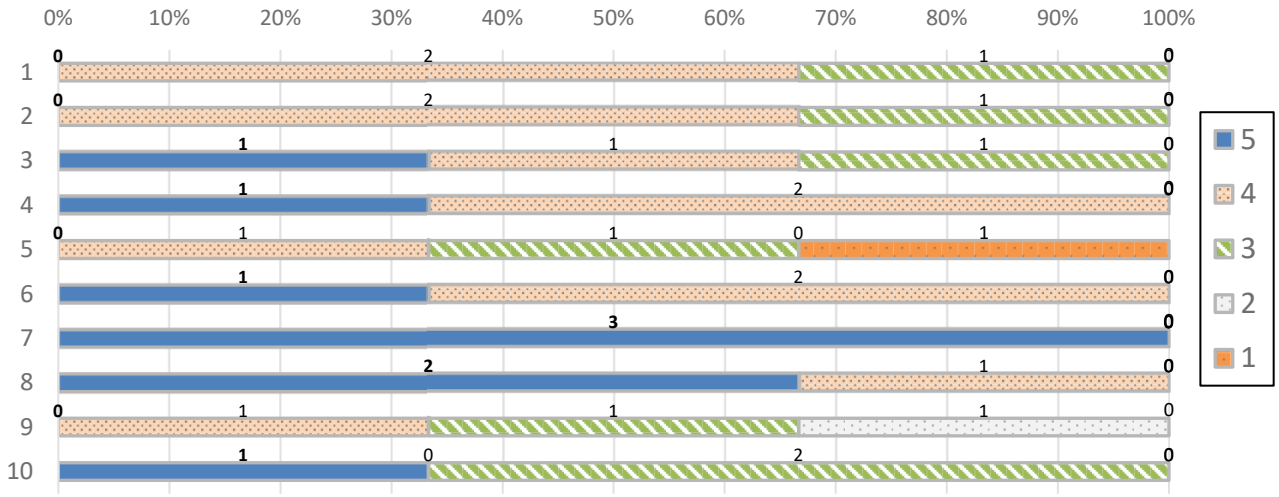
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62254
授業科目名	医用機器安全管理学
担当者	池　浩司
所属	医療工学

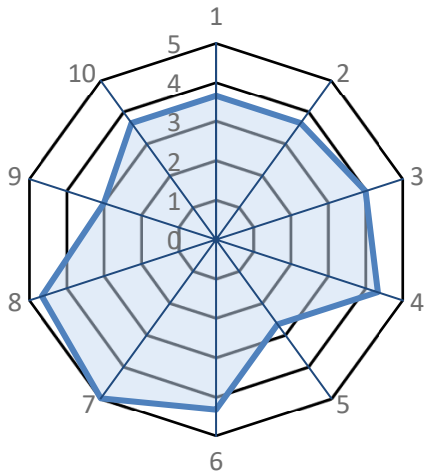
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートをいただいた学生からは概ね高評であった。一方、講義が少しわかりづらいとの意見があった。講義資料や講義のスピードなどを見直し、講義毎に確認テストを実施するなど学生の理解度向上に努めたいと考えている。

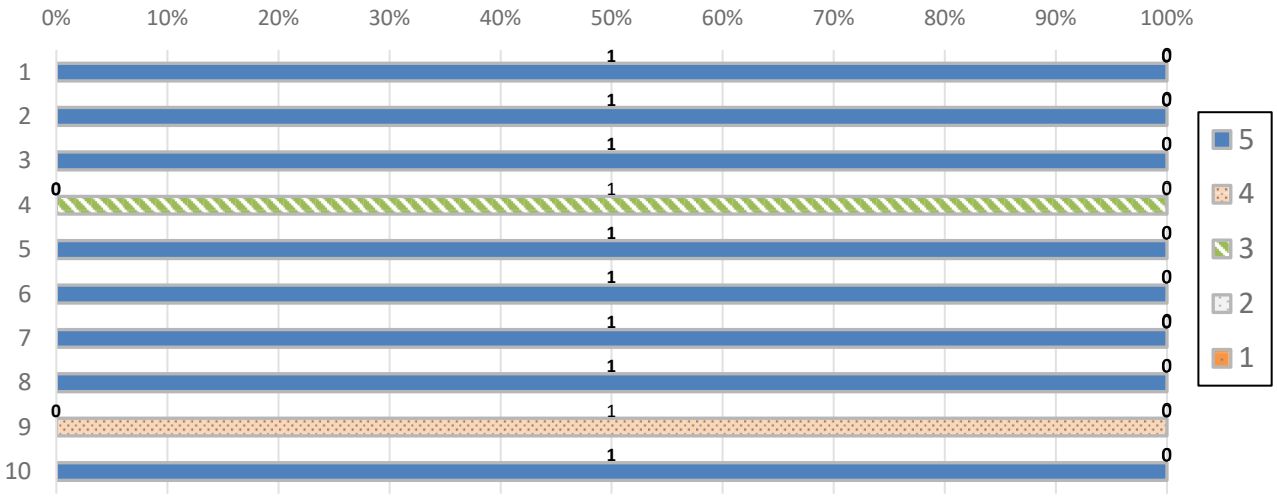
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	63254
授業科目名	血液浄化装置
担当者	池　浩司
所属	医療工学

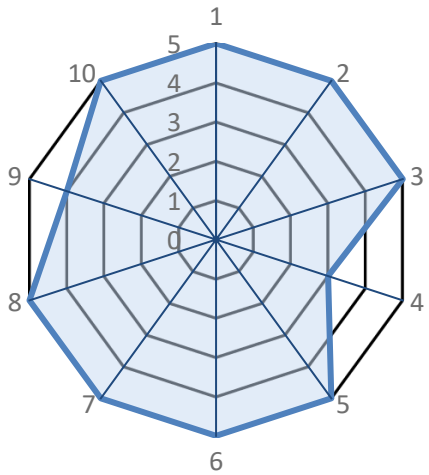
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケートをいただいた学生からは概ね高評であったため、今後も現在の講義形式で進めたいと考えている。回答数が少なかったため、具体的な改善点を挙げるのは難しいが、実習科目（血液浄化装置実習）につながる講義を実施する。

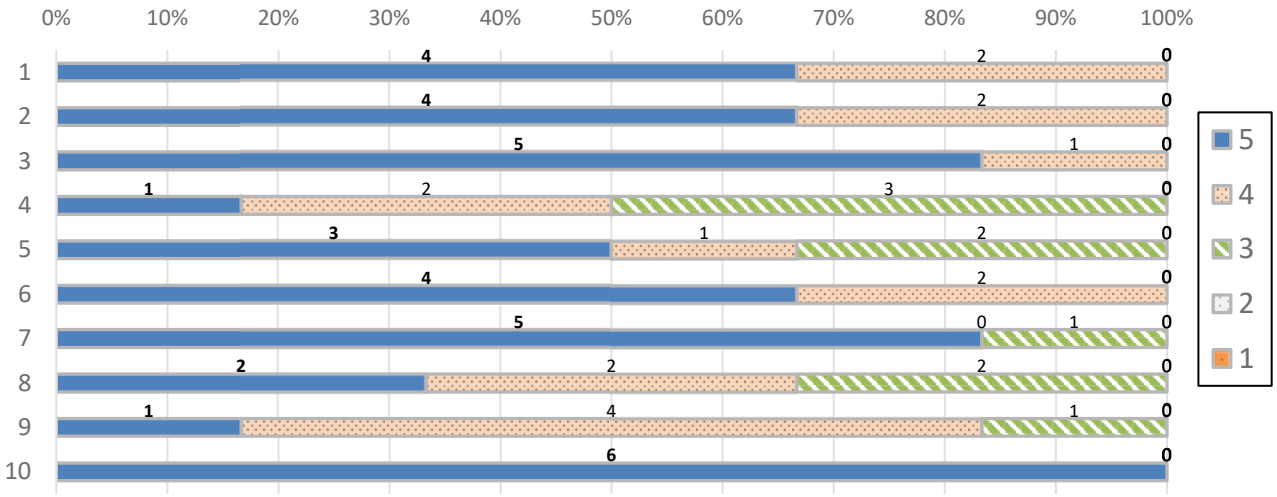
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	61253
授業科目名	臨床免疫学
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

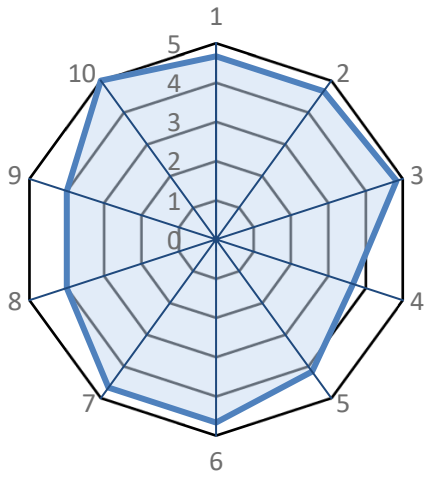
調査実施日	2024年2月
回答者数	6
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が6/27と少ないものの、この臨床免疫学に対する授業評価（Q1-Q8)は平均4以上であった。今後はQ4をさらに高い評価になるように努力したい。

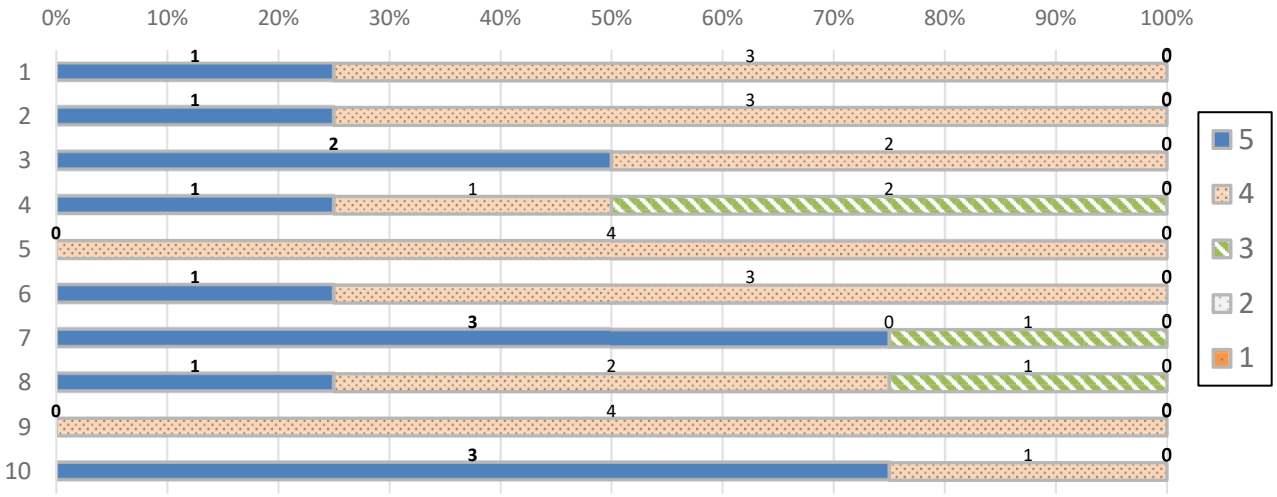
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	61256
授業科目名	臨床生化学Ⅱ
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

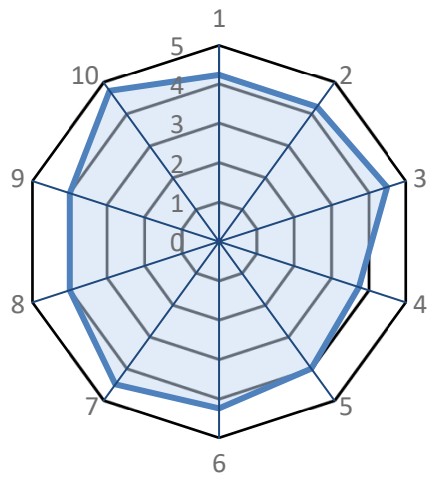
調査実施日	2024年2月
回答者数	4
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が4/23と少ないものの、この臨床生化学IIに対する授業評価（Q1−Q8)は平均4前後であった。今後は、Q4をさらに高い評価になるように努力したい。

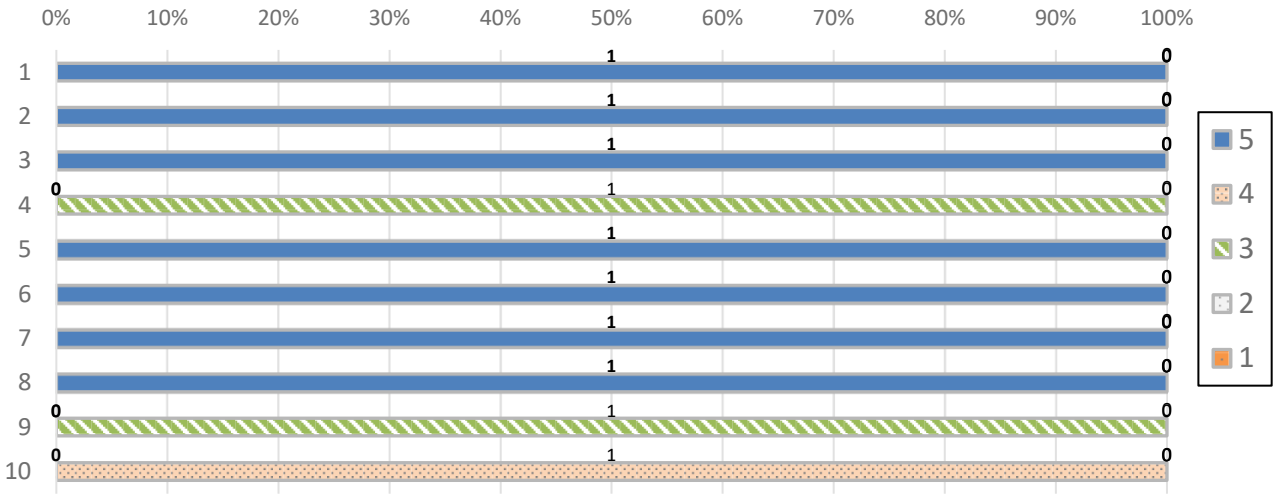
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	62107
授業科目名	基礎医学及び同実習
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

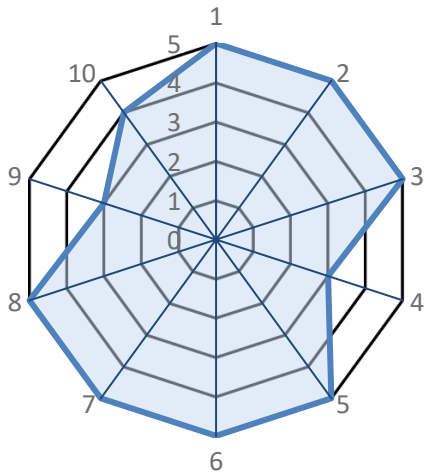
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	23

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が1/23と少ないものの、この基礎医学つ一基礎医学に対する授業評価（Q1-Q8)は平均4以上であった。今後は、Q4をさらに高い評価になるように努力したい。

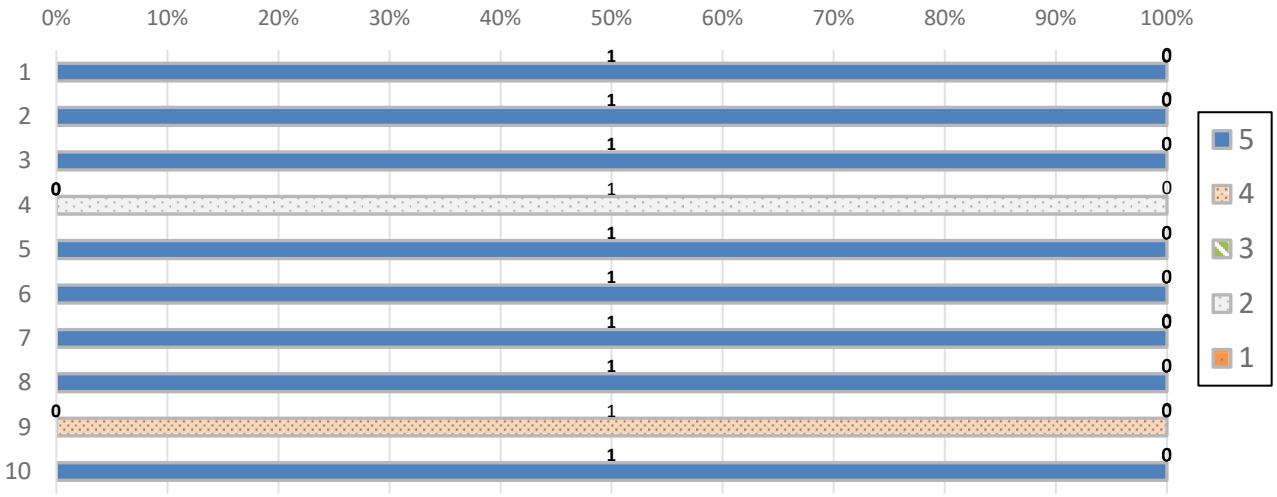
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	63256
授業科目名	医学特別演習Ⅰ
担当者	本村　政勝
所属	医療工学

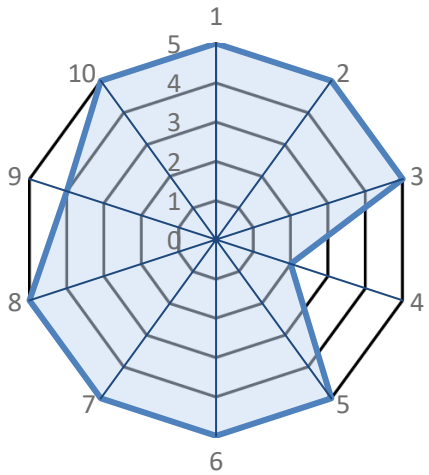
調査実施日	2024年2月
回答者数	1
対象者数	24

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が1/24と少ないものの、この医学特別演習Iに対する授業評価（Q1-Q8)は平均4以上であった。今後は、Q4をさらに高い評価になるように努力したい。

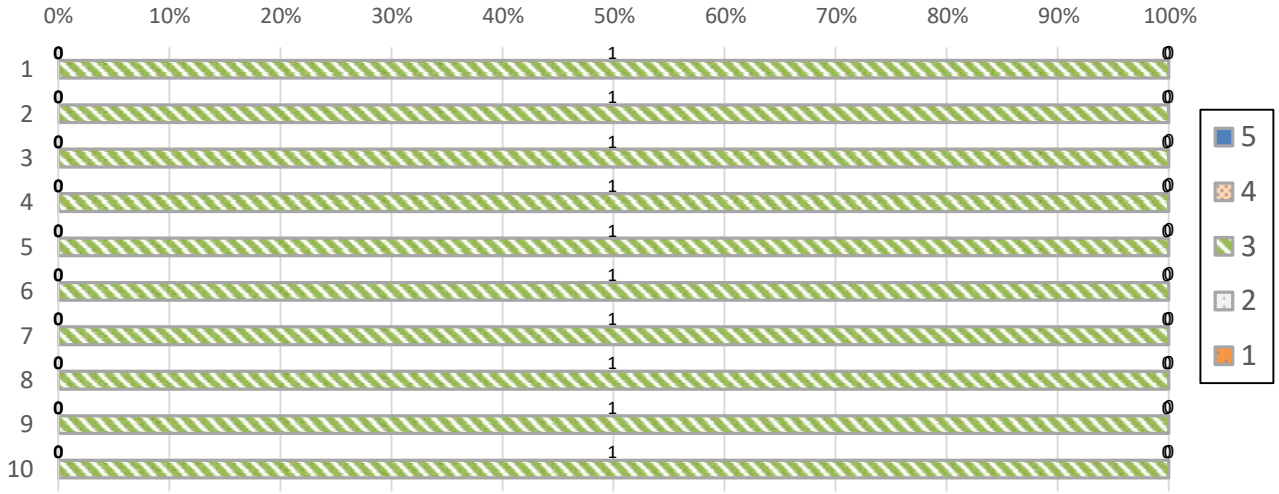
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73110
授業科目名	ソフトウェア設計論
担当者	久住　憲嗣
所属	知能情報

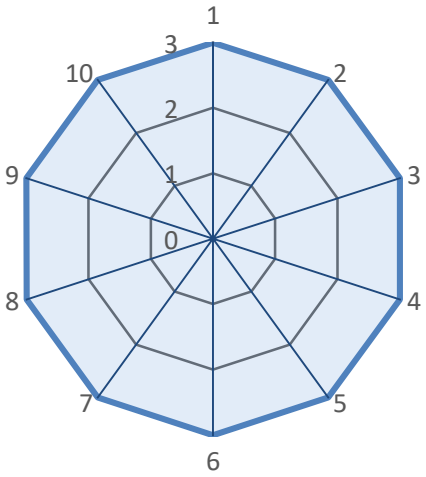
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	13

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

アンケート結果としては回答件数が1件と少なく、また、その1件も真摯に回答したとは思えない結果であるため、現状の分析は難しい。非常勤講師に対して学生のアンケートの回答方法についての案内があれば講義中に記入を促す等の対策も可能であるため、ご一考いただきたい。引き続き貴学学生のスキル向上につながるように工夫をしていきたい。

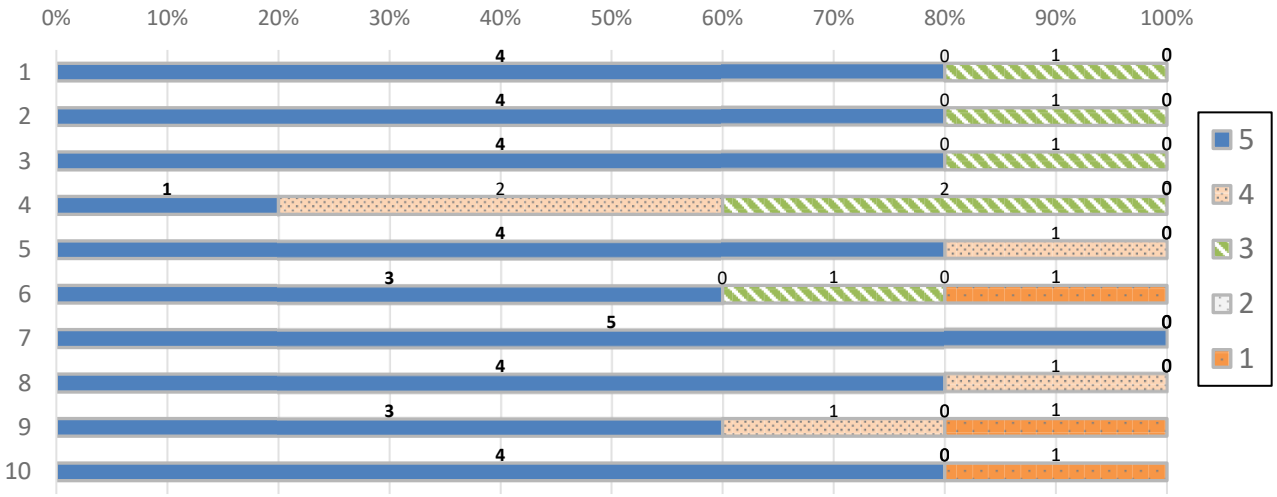
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73102
授業科目名	計測工学
担当者	佐藤　雅紀
所属	知能情報

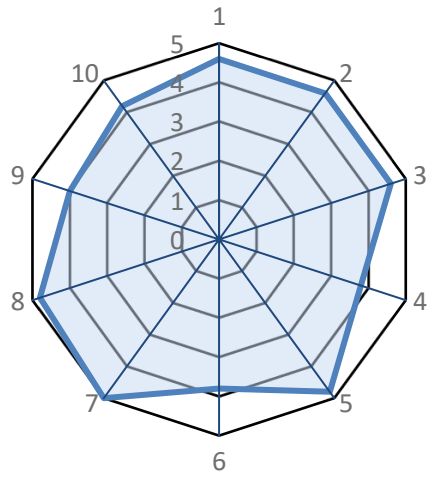
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	38

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が5/38だが、おおむね良好な評価が得られた。

自由記述で、「複雑なものは図や動画などで解説してもらうので分かりやすい」「余談もあって聞きやすい」とコメントをもらった。こちらが意図したとおりになっているので、このまま継続したい。

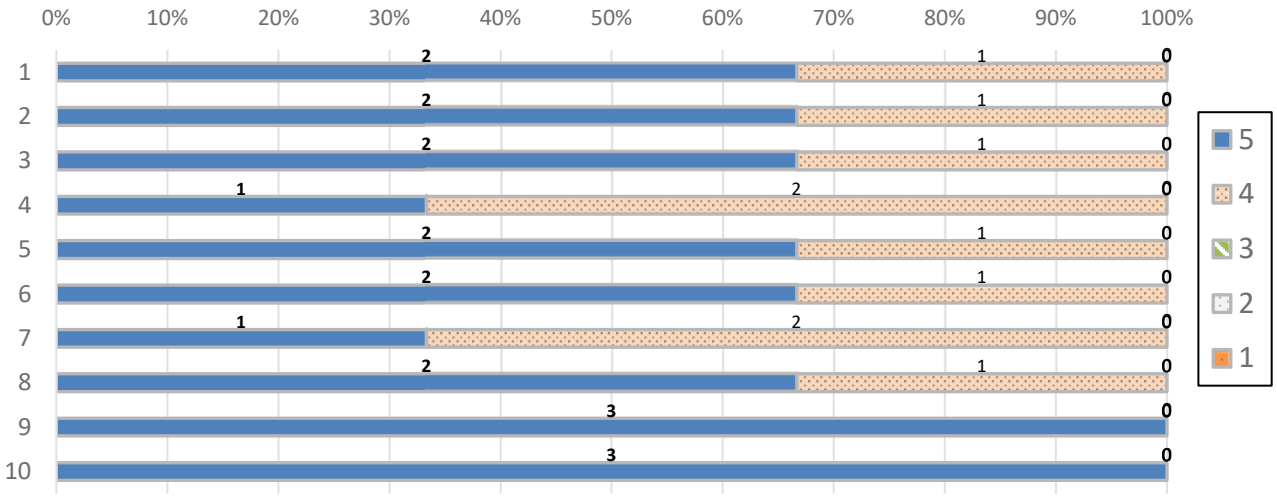
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73103
授業科目名	制御工学
担当者	佐藤　雅紀
所属	知能情報

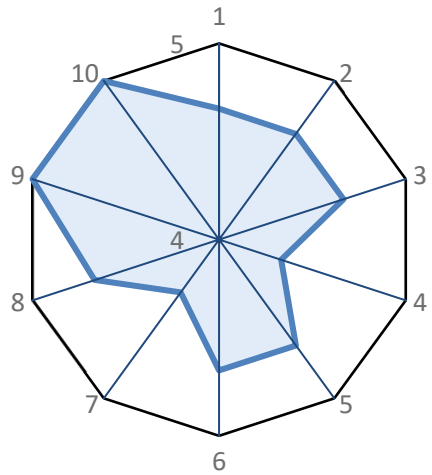
調査実施日	2023年7月
回答者数	3
対象者数	46

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が3/46で、回答が4と5だった。この講義は数学が多くでるため難易度が高いと自覚しているが、実際に評価も難しいとなっている。ただし、期末試験の採点では高得点を取る学生も多数いるため、難しいなりに学んでいると判断している。

自由記述がなかったので、何かコメントがあると改善がしやすい。

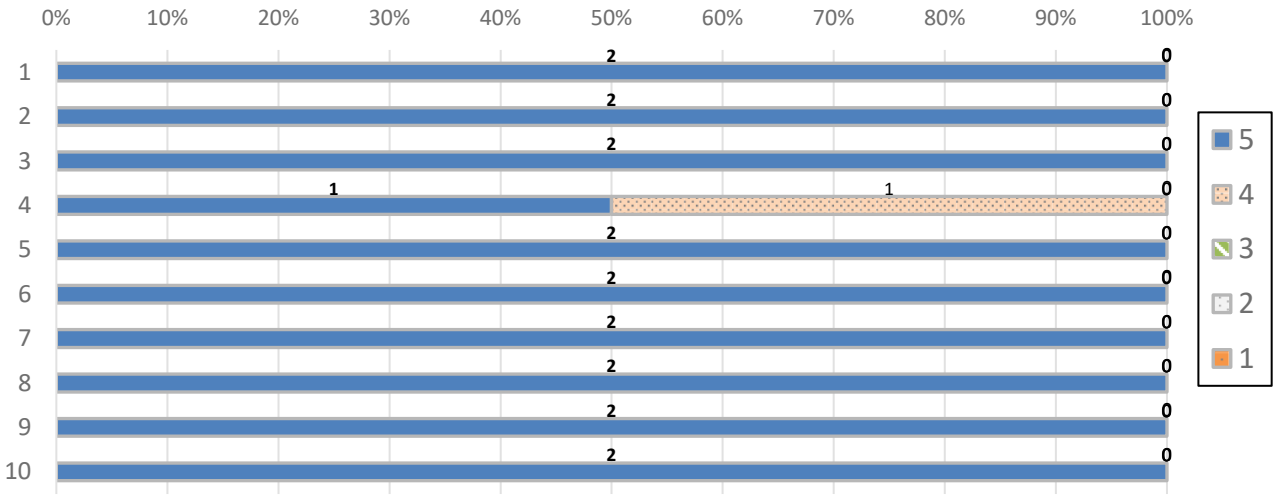
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73116
授業科目名	信号処理
担当者	田中　雅晴
所属	知能情報

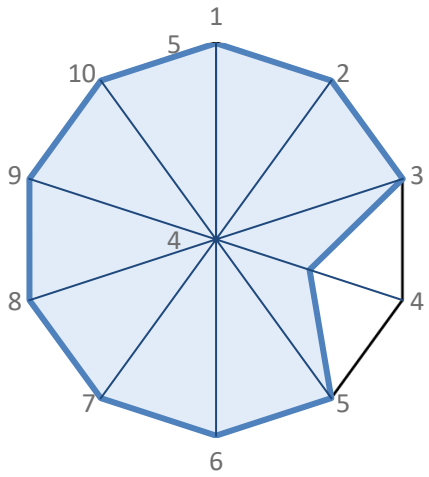
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・回答者数が少ないが、得られた回答は問題ない結果であった。
・本講義は23年度で閉講したので、ここで得られた知見は他の科目に反映したい。

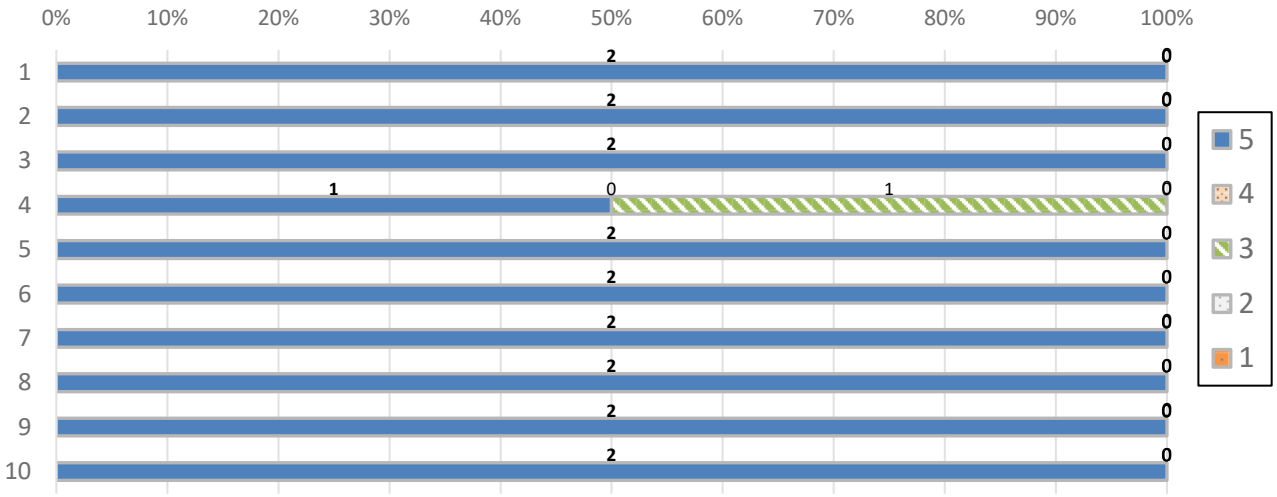
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73117
授業科目名	人工知能応用
担当者	田中　雅晴
所属	知能情報

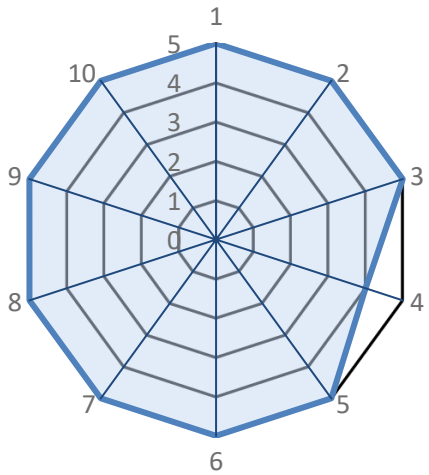
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	28

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・回答者数が少ないが、得られた回答は問題ない結果であった。
・今後は回答者数を増やす努力を行いたい。

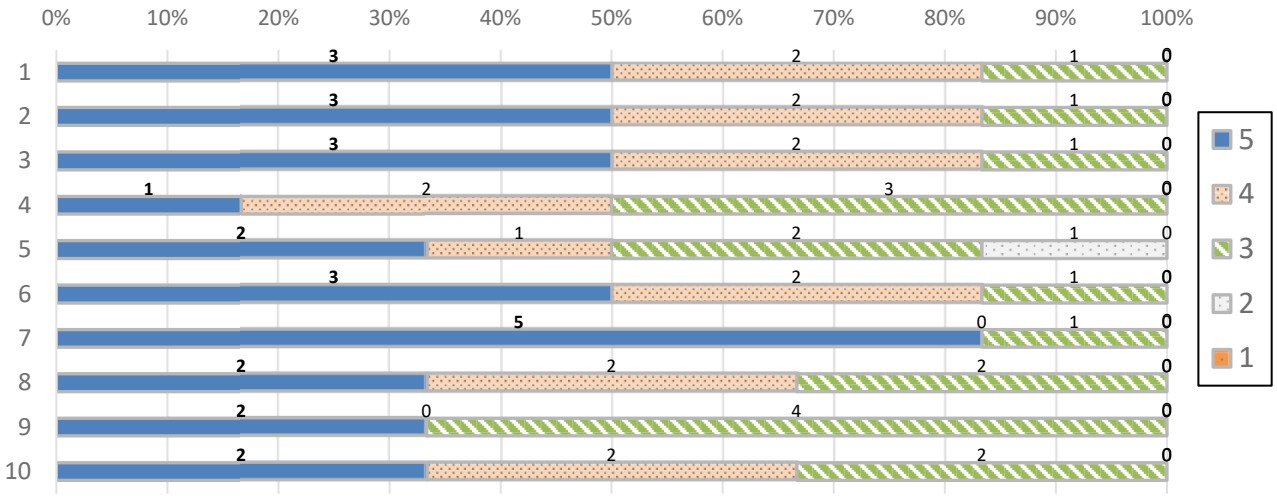
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73257
授業科目名	人工知能基礎
担当者	田中　雅晴
所属	知能情報

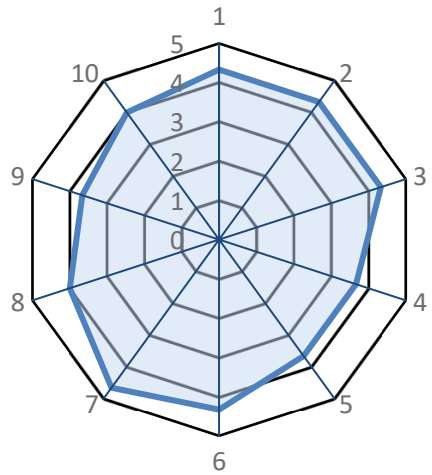
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	46

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・Q4の「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切だったか」、Q5の「授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったか」に比較的低得点が目立つ。
・科目の内容上このような回答が得られるのはある程度は仕方ないと考えられる。
・難易度を下げるとこのようなクレームは少なくなると思われるが、一方で上位層からつまらないとクレームが出ることが想定される。
・そこで、必須科目から選択科目に変更する、あるいは、近年受講者数が増加傾向であることから、上位層と下位層でクラスを分けて難易度を変えるのが得策と思われる。

授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73108
授業科目名	CG映像デザイン
担当者	崔　智英
所属	知能情報

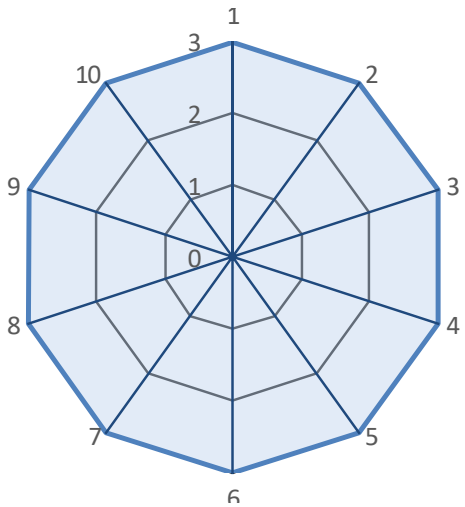
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	22

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者数が1名のため、授業に関する現状分析と評価を行うことができませんでした。回答も全ての設問が「3」であり、設問を読まずに回答したのではないかと思います。Q7の休講に「3（休講はあった）」との回答が行われていますが、「CG映像デザイン」は休講を行なっていません。このことは上記の類推の証左と言えるのではないかと思います。

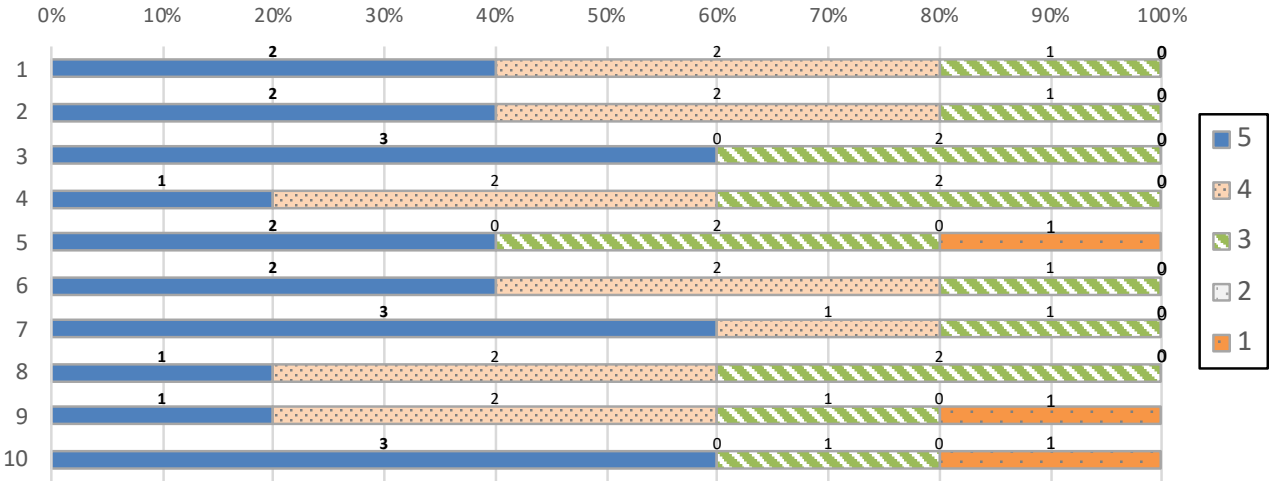
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	72254
授業科目名	情報デザイン論
担当者	崔　智英
所属	知能情報

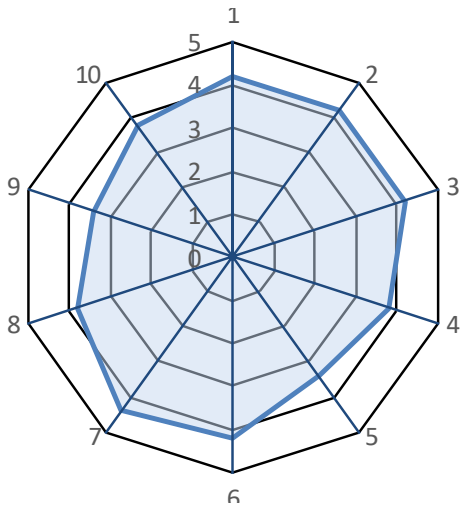
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	32

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「5（授業の方法・説明）」の回答の比率を上昇させたい。Q7の休講に関する回答に「4（休講はあった）」「3（休講はあった）」があったが、「情報デザイン論」は休講を行なっていないため、学生の勘違いによるものだと思います。

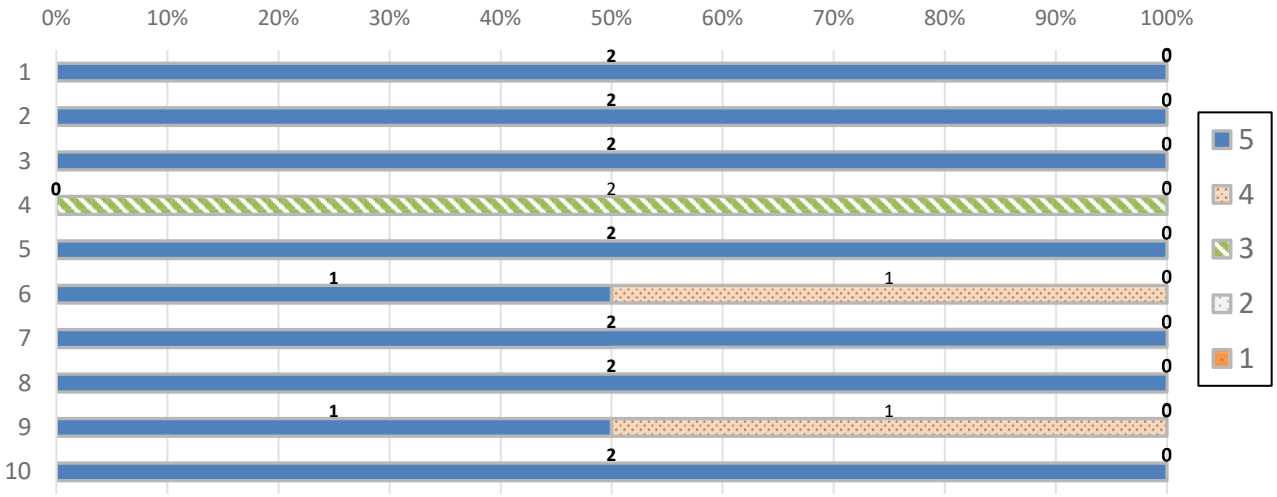
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	31255
授業科目名	ロボット工学概論
担当者	佐藤　雅紀
所属	知能情報

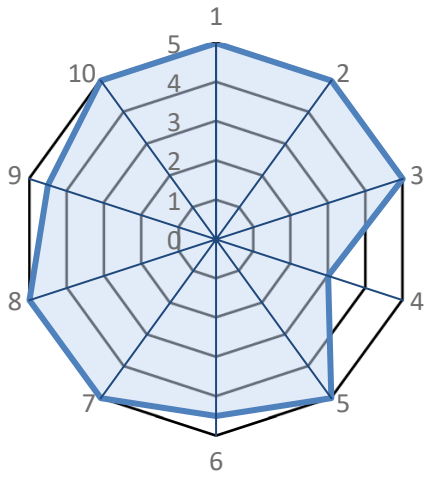
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	9

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が2/9と少ないので判断が難しいが、おおよそ良好な評価が得られた。

難易度についても適切とあり、1年生の入門科目としては合格の評価が得られたと考える。もう少し事前学習を増やしたい。

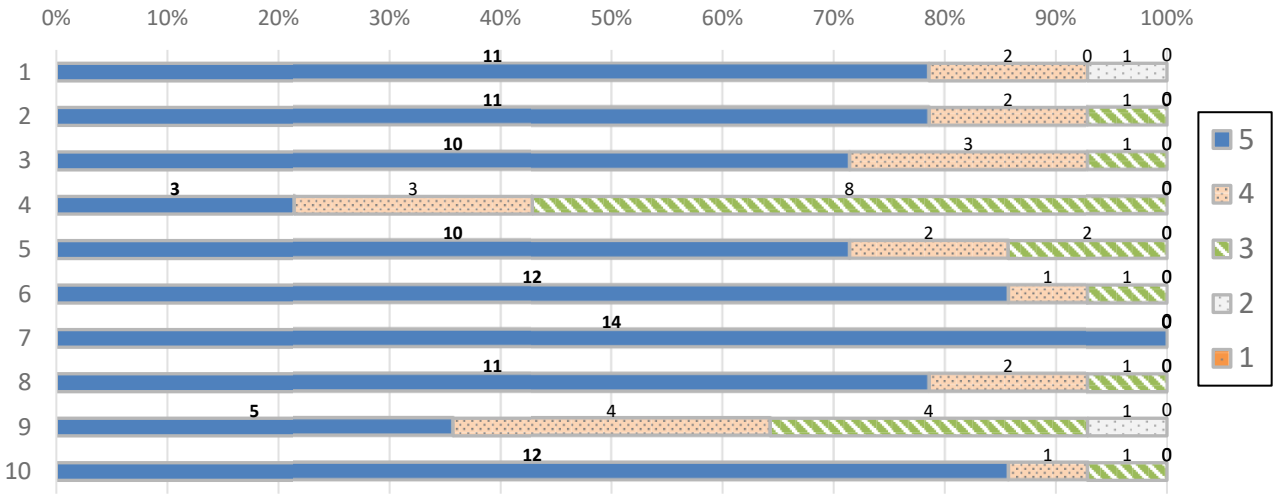
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	71255
授業科目名	知能情報学概論
担当者	佐藤　雅紀
所属	知能情報

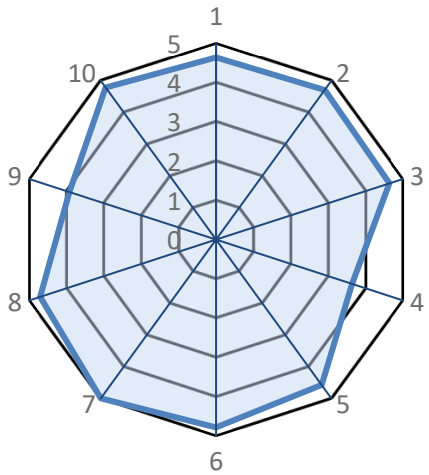
調査実施日	2024年2月
回答者数	14
対象者数	93

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が14/93で、評価はおおむね良好と思われる。
昨年度と比較して評価が良くなっているので継続したい。自己学習の評価が低いので、もう少し高くなる工夫をしたい。
自由記述では、「説明が分かりやすい、不満もなくテストに臨めた、ノートに書いたことが大切と実感した」と評価が得られた。

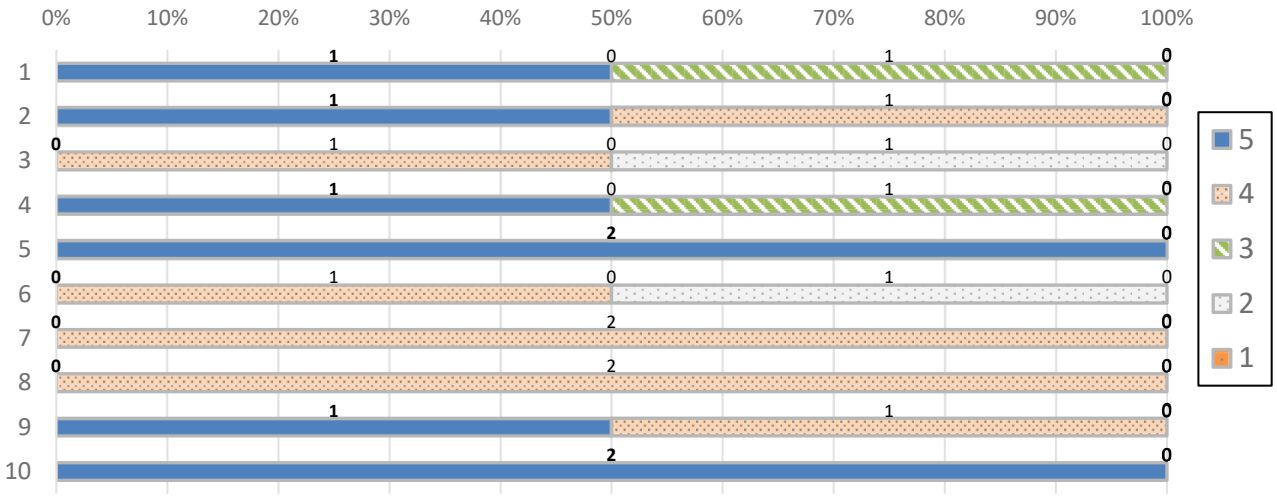
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73255
授業科目名	メカトロニクス
担当者	佐藤　雅紀
所属	知能情報

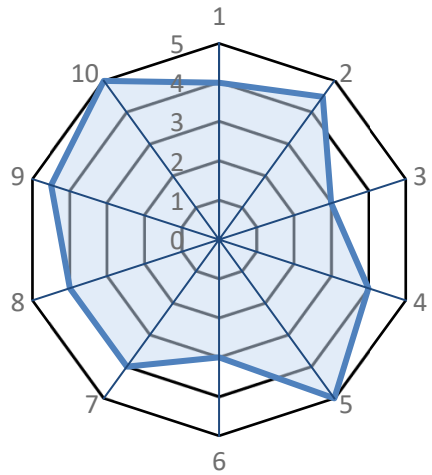
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	37

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答数が2/37と少ないため評価が難しい。昨年度からあまり変化していない。

自由記述で、講義の開始時刻と終了時刻が守られていないことを指摘されているので、他の科目も含めて注意する。

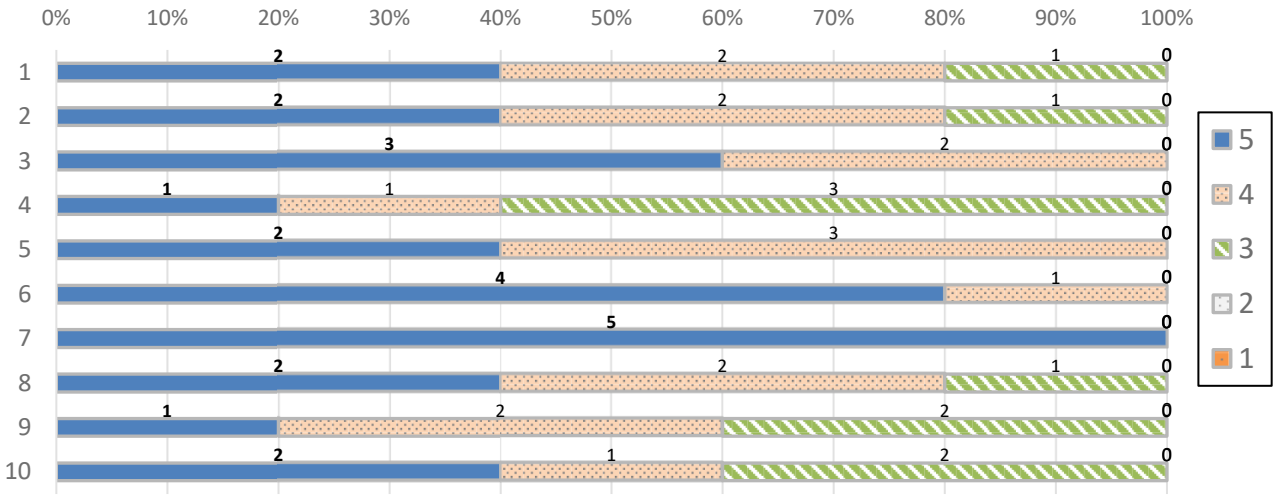
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	72262
授業科目名	情報理論
担当者	田中　雅晴
所属	知能情報

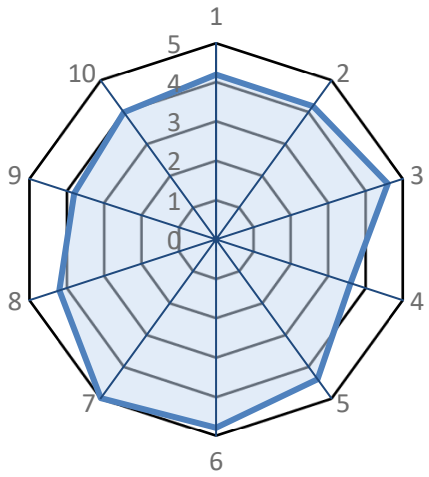
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	44

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・Q4の「授業内容の量や難易度はあなたにとって適切だったか」に比較的低得点が目立つ。
・科目を引き継いだ初年度で難易度の調整中であるため、そのような結果になったものと思われる。
・今後は難易度の調整を適切に行っていく。

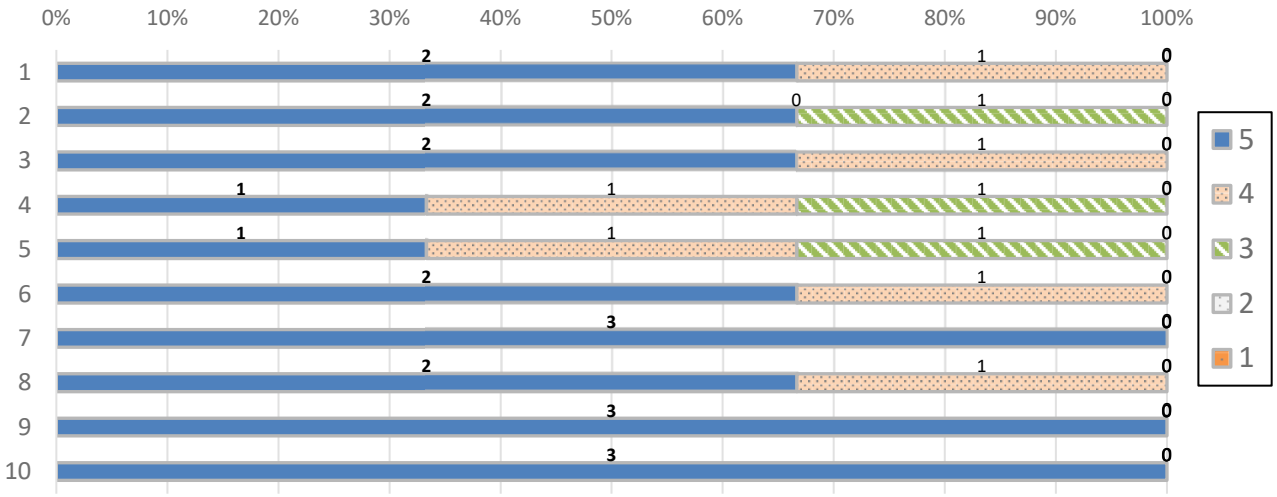
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	73259
授業科目名	AIクラウドシステム
担当者	田中　雅晴
所属	知能情報

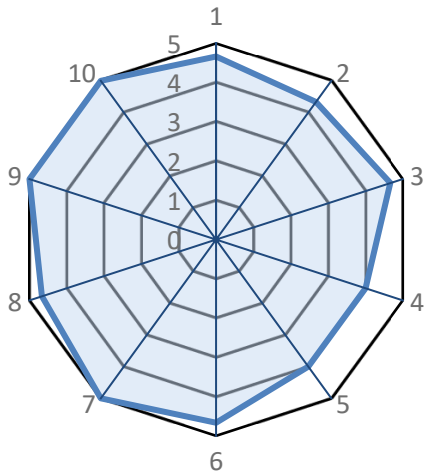
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	36

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

・回答者数が少ないが、得られた回答範囲では概ね問題ない結果であった。
・やや難易度を高いと感じる学生がいるようであるので、より分かりやすくなるようにブラッシュアップを図っていく。
・また回答者数を増やす努力を行いたい。

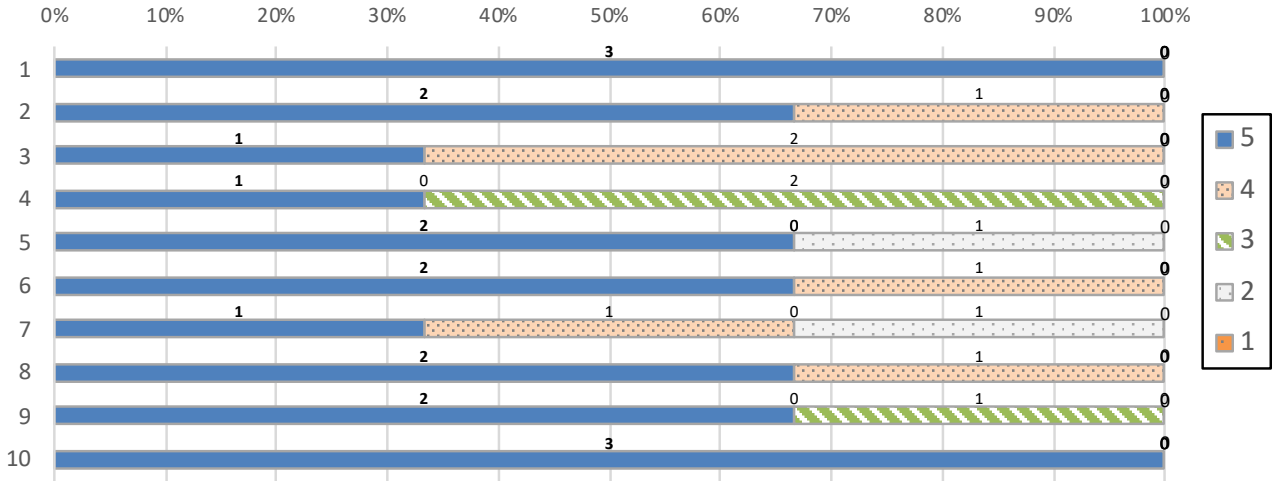
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	71256
授業科目名	視覚伝達デザイン
担当者	崔　智英
所属	知能情報

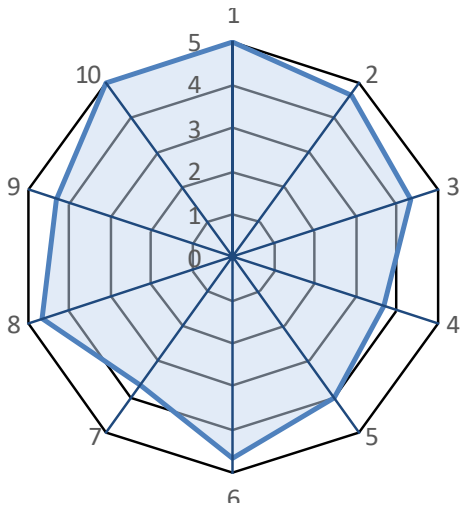
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	21

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

「5（授業の方法・説明）」に「2（あまり良くない）」との回答があった。この科目が商用のソフトを用いて2Dの制作を行なっている。作品の制作と同時にソフトの操作を習得する必要があり、「2」があったからといって到達目標を下げることはできません。到達目標を下げることが難しい科目であるため、アンケート結果にどのように回答するか悩みます。この点は今後の課題にしたいと思います。Q7の休講に関する回答に「4（休講はあった）」「2（休講はあった）」があったが、「視覚伝達デザイン」は休講を行なっていないため、学生の勘違いによるものだと思います。

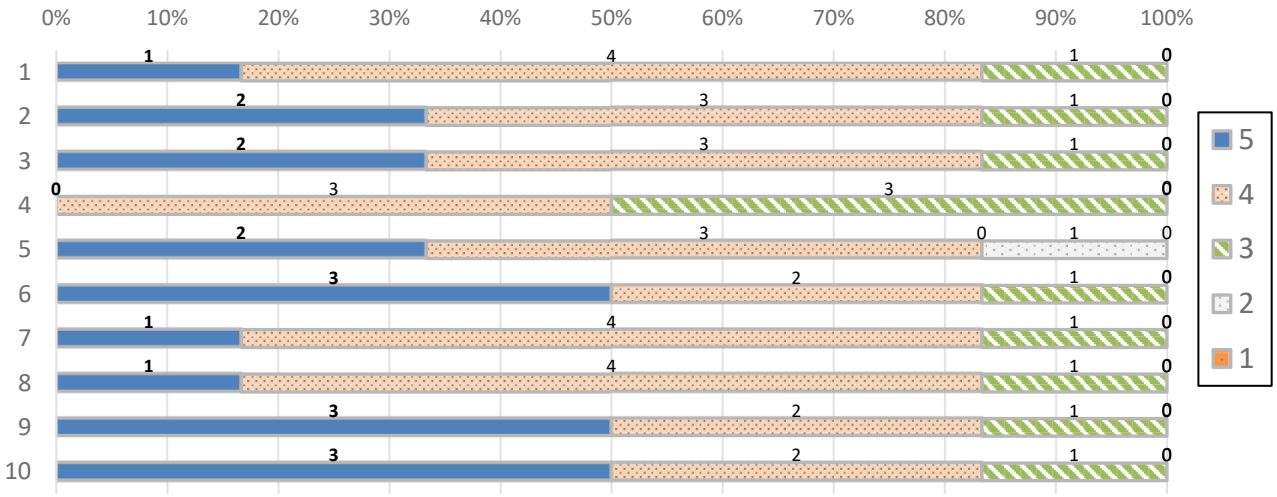
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18114
授業科目名	数理統計学
担当者	王　琦
所属	マネジメント

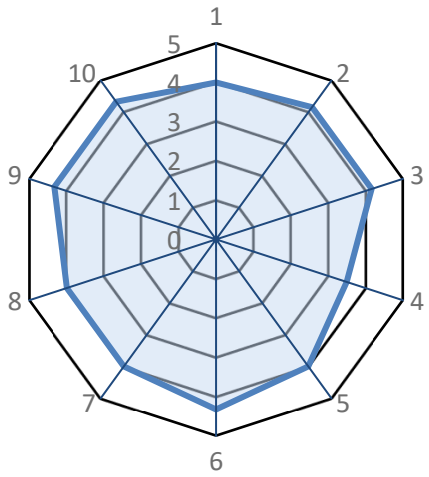
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	35

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

昨年度より全体的な評価が上がっていますが、授業内容の量や難易度について、引き続き修正する必要があります。

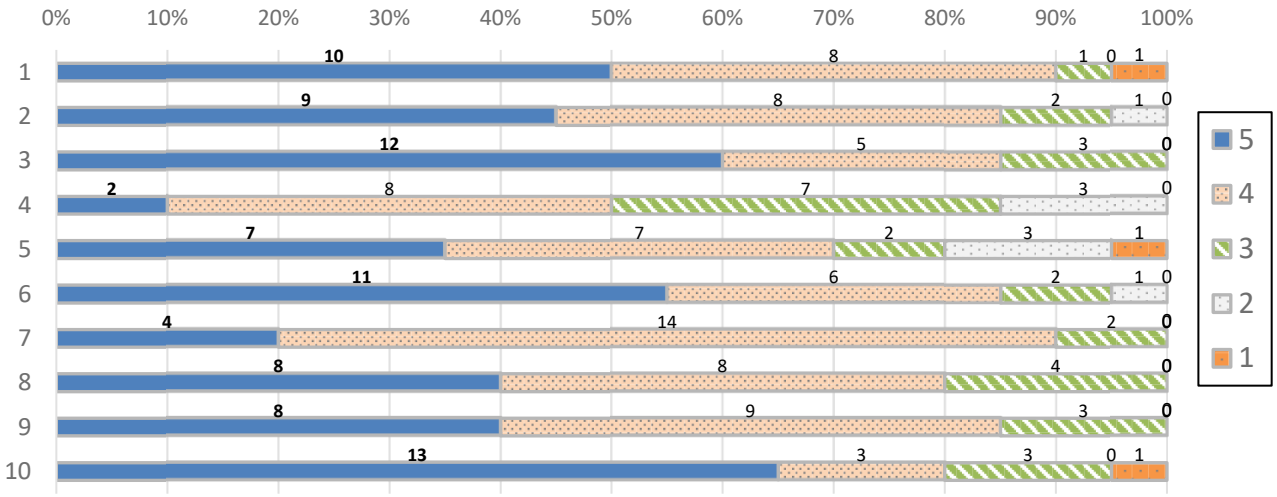
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18260
授業科目名	情報代数学
担当者	王　琦
所属	マネジメント

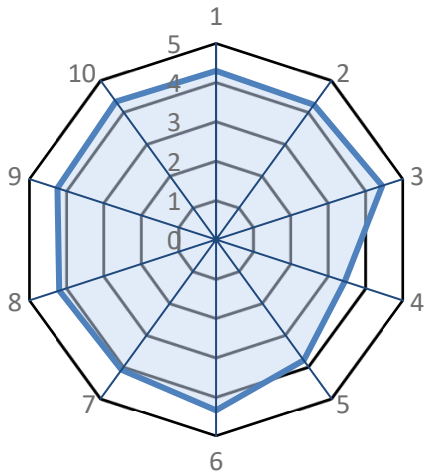
調査実施日	2023年7月
回答者数	20
対象者数	60

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

昨年度より評価が上がっていますが、Q7の休講と補講の説明について疑問があるようです。多分授業以外の個別指導を受ける補講について、説明が不足であります。今後注意します。

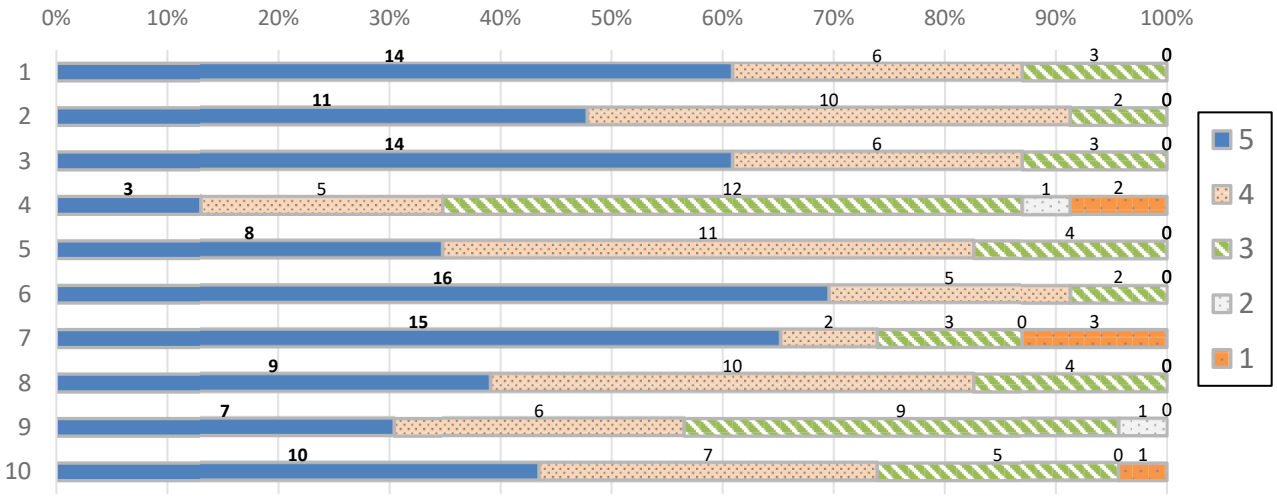
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	81101
授業科目名	マネジメント工学概論
担当者	山路　学
所属	マネジメント

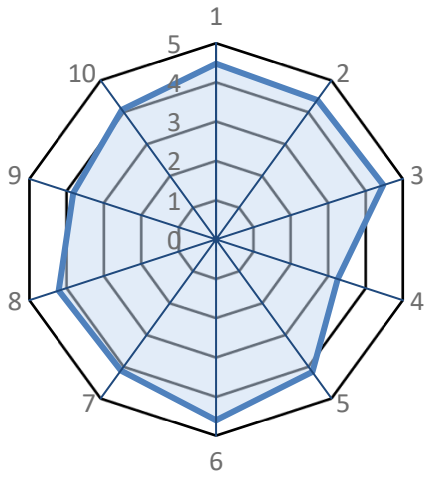
調査実施日	2023年7月
回答者数	23
対象者数	89

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

外部講師の講話をメインに行っていたため、講師によっては内容が理解できなかったと考えられる。
休講に関しては、オンデマンド課題として対応している。

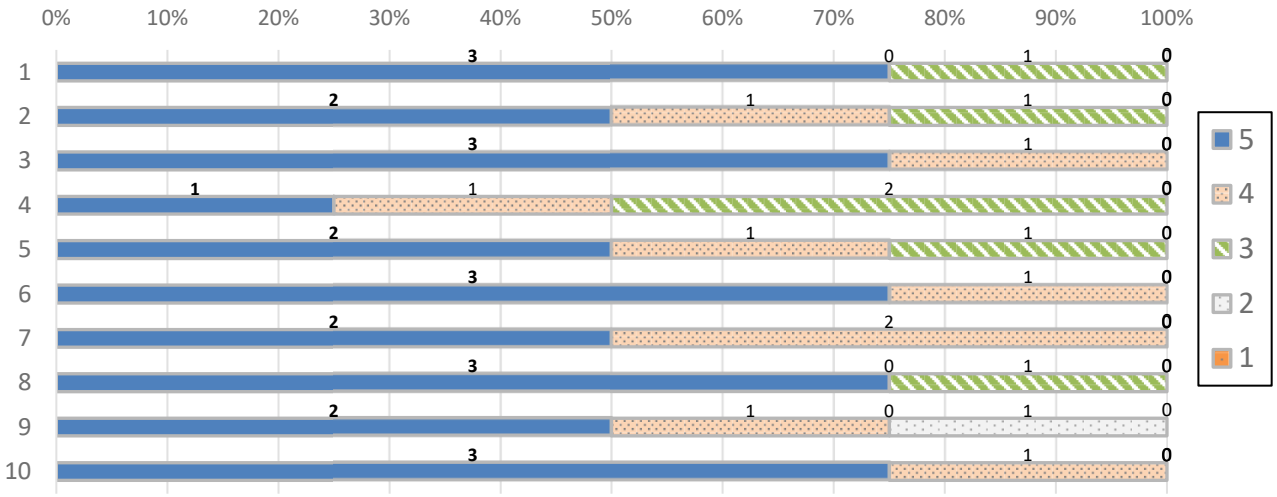
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	82106
授業科目名	生産と品質の管理
担当者	山路　学
所属	マネジメント

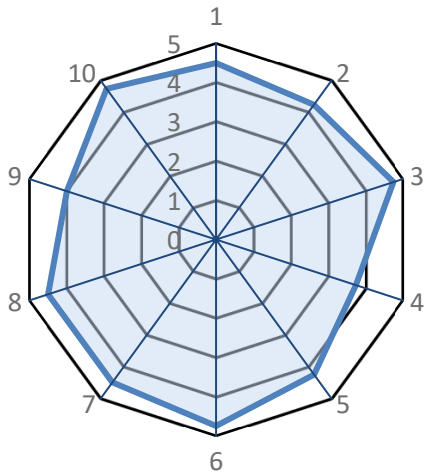
調査実施日	2023年7月
回答者数	4
対象者数	51

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

学生が受けてきたこれまでの授業とは異なり、ほぼ基礎知識のない分野の授業であるため、自己学習をしていない学生は、内容が理解できなかったと考えられる。
休講に関しては、オンデマンド課題として対応している。

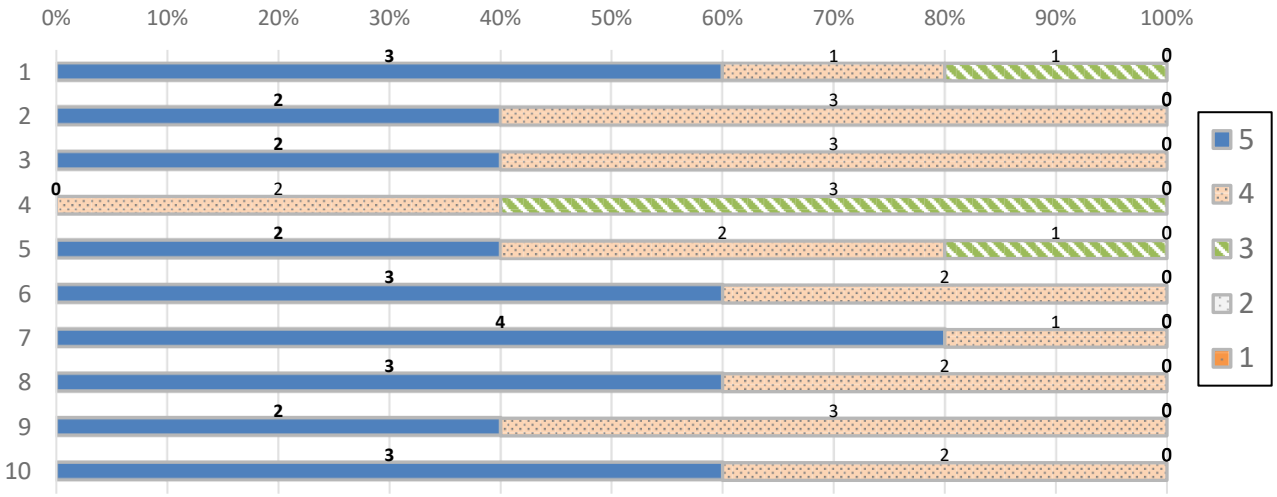
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	82107
授業科目名	データサイエンス実験Ⅰ
担当者	山路　学
所属	マネジメント

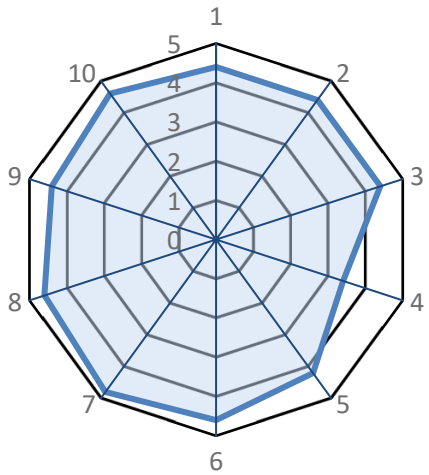
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	36

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

統計や表計算ソフトの知識を前提としているため、この部分を習得していない学生は、多くの努力を必要としていた。
この授業だけの課題ではなく、基礎教育から見直す必要がある。

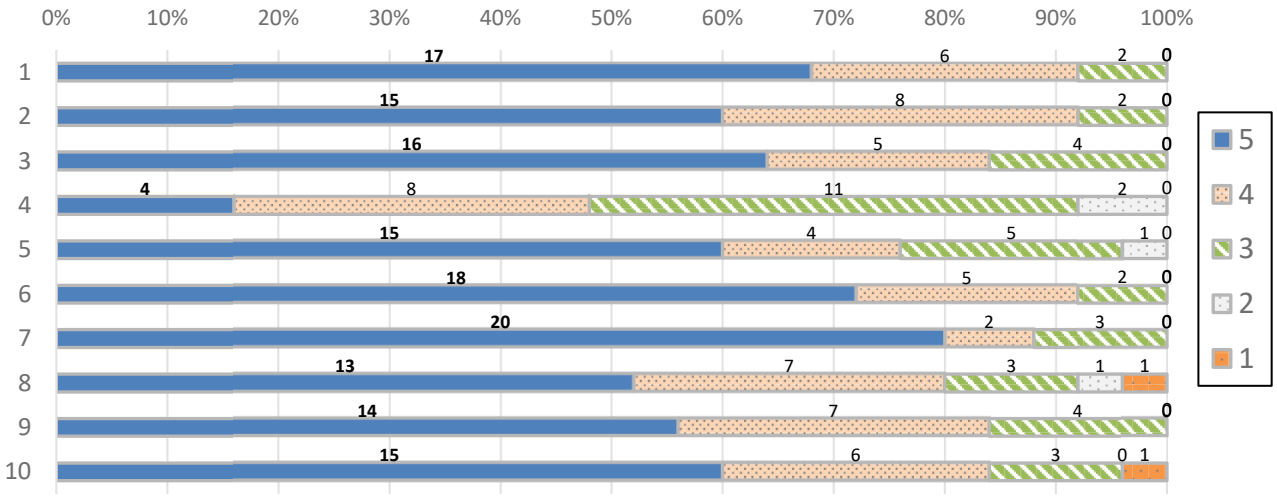
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18113
授業科目名	ﾃﾞｰﾀ構造とｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ
担当者	日當　明男
所属	マネジメント

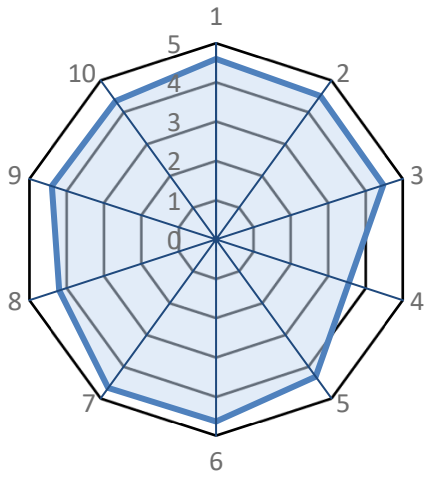
調査実施日	2023年7月
回答者数	25
対象者数	98

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4(授業の難易度)が難しいと感じている学生がそれほど多くない。この授業では、コンピュータの考え方に慣れることを目的にしているので、問題そのものは簡単であり、考え方に慣れれば、すんなり解ける問題ばかりである。しかし、その考え方に慣れる事が出来ずに単位を落とす学生もいる。異なる考え方は、一度聞いただけでできるようになれるものではないため、なかなか慣れない学生向けの対策が必要である。そこで、授業を録画して、Classroomでいつでも見れるようにするのも良いかもしれない。

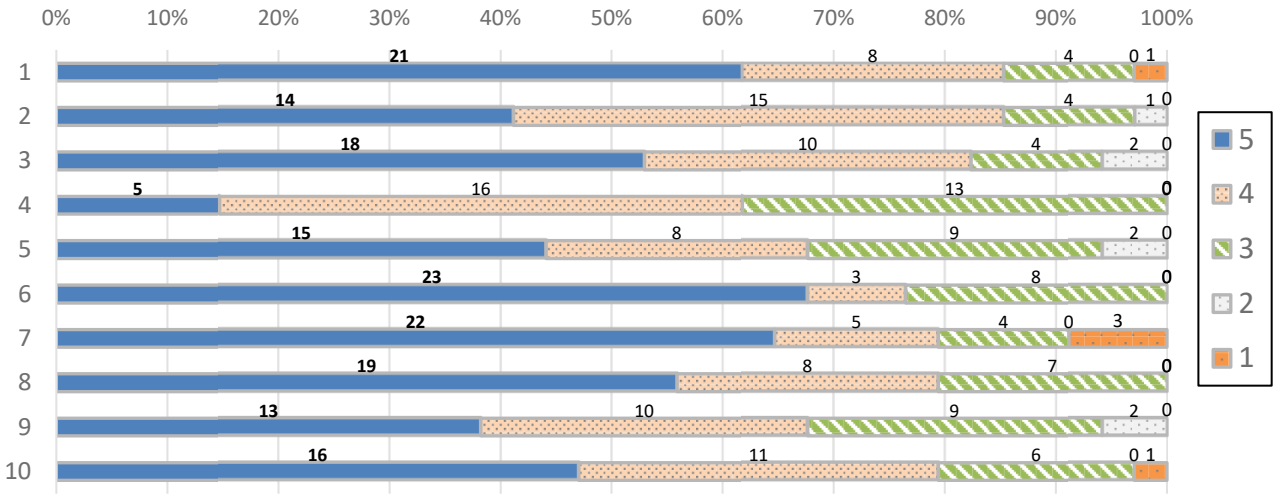
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	71107
授業科目名	データサイエンス入門
担当者	日當　明男
所属	マネジメント

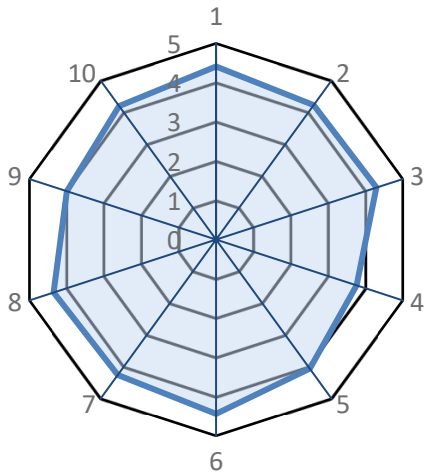
調査実施日	2023年7月
回答者数	34
対象者数	130

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4(授業の難易度)において、優しいとの回答が多い。この科目では、よく聞くけれども内容はよく知らない、という事柄を扱うので、学生の関心も高く、積極的に授業に参加している学生が多い。しかし、単位を落とす学生もいる。新しい知識は一度聞いただけで定着するものでもないので、その辺りの工夫も必要である。そこで、授業を録画して、Classroomでいつでも見れる状況を作れば、その対策になるかもしれない。

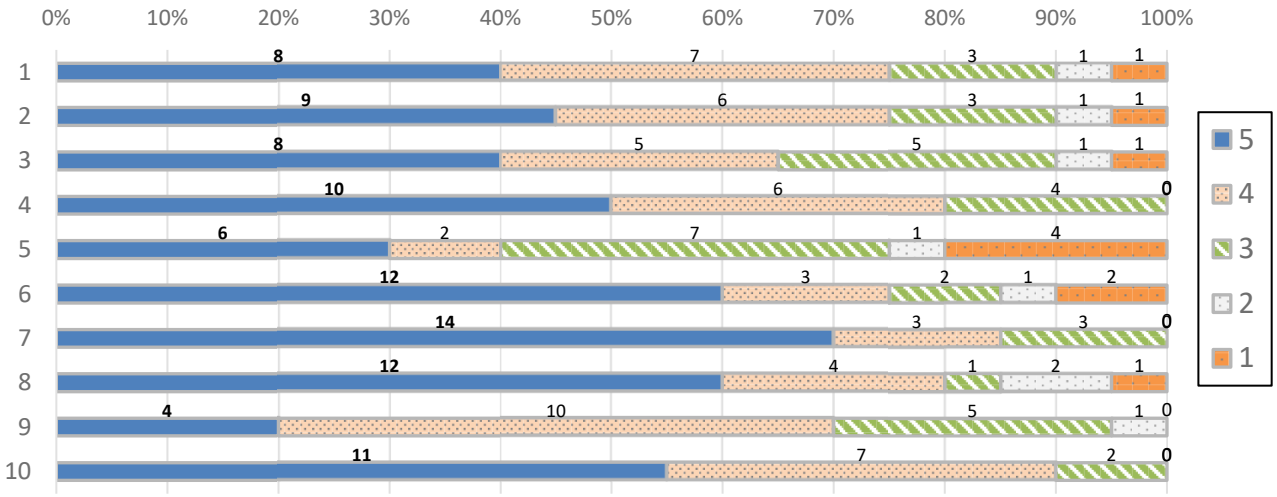
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15116
授業科目名	微分積分学Ⅰ　4組
担当者	日當　明男
所属	マネジメント

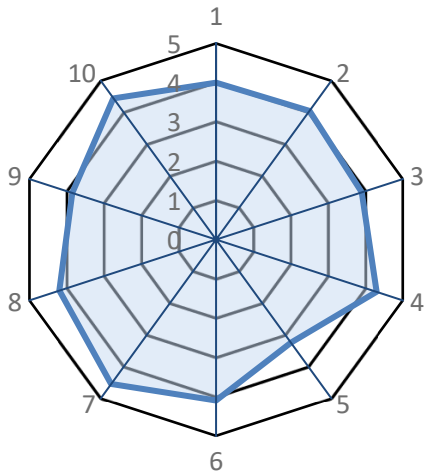
調査実施日	2023年7月
回答者数	20
対象者数	43

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q5(説明の分かりやすさ)において、良くないとの回答が比較的多い。質問を促す環境づくりや毎授業で寄せられる質問に対する回答などを一層充実させるように努める。

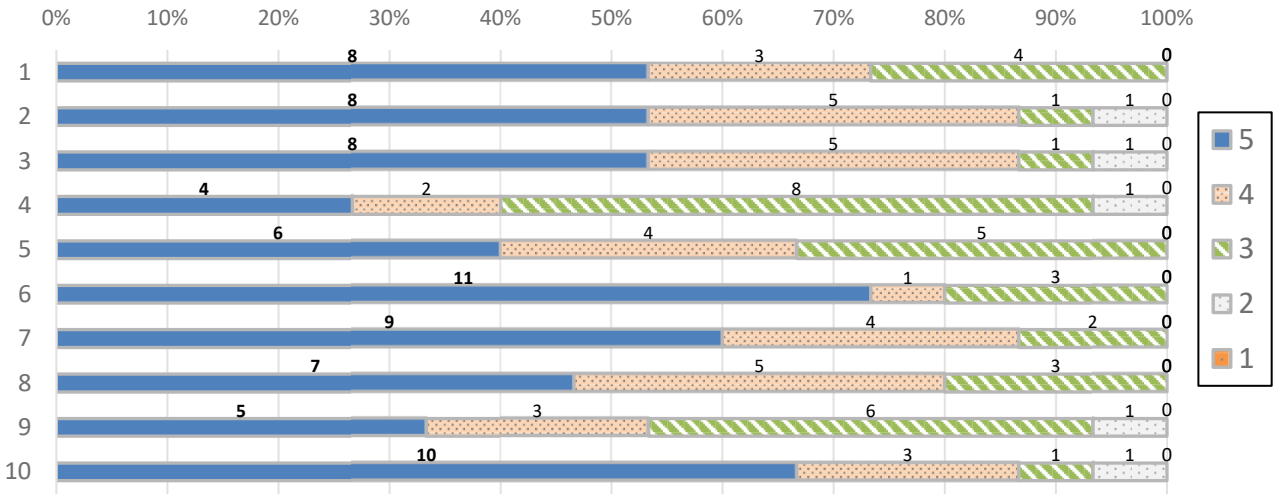
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18108
授業科目名	統計概論
担当者	王　琦
所属	マネジメント

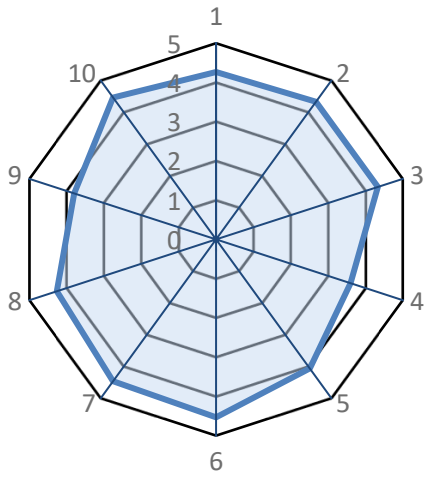
調査実施日	2024年2月
回答者数	15
対象者数	109

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q4は昨年度より評価が上がってきました。このように今後授業内容の難易度をより適切に調整します。また、Q9について、予習復習の部分を考えながら、課題と練習問題の配布を工夫します。

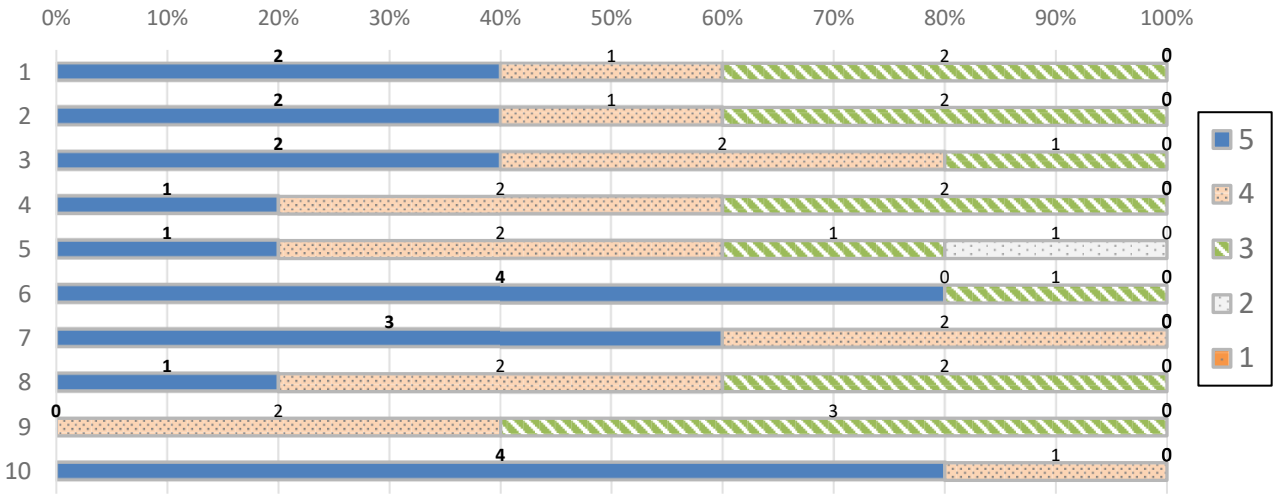
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	82250
授業科目名	数理計画法
担当者	王　琦
所属	マネジメント

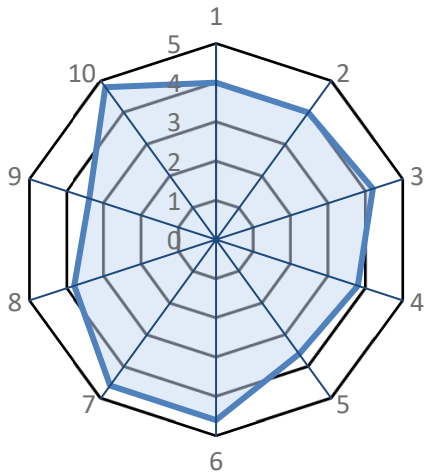
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	68

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q9は積極的または主体的に参加することはあまりよくないようで、今後履修者の様子を確認しながら、授業内容を調整して行きます。

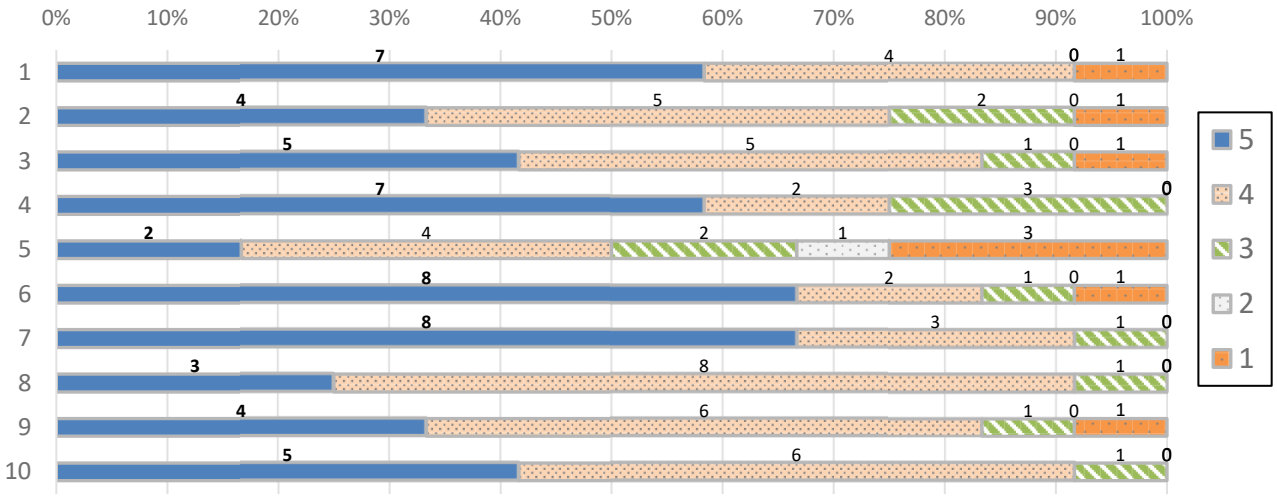
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15259
授業科目名	微分積分学Ⅱ　4組
担当者	日當　明男
所属	マネジメント

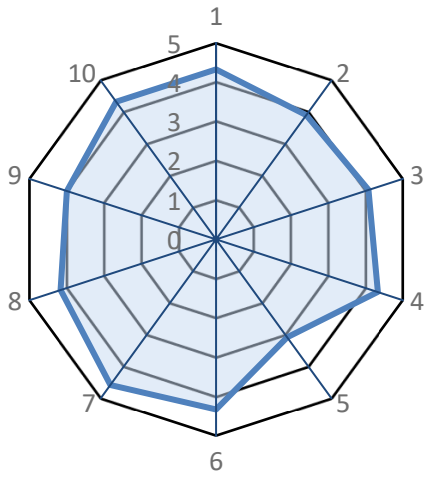
調査実施日	2024年2月
回答者数	12
対象者数	40

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

Q5(説明の分かりやすさ)において、良くないとの回答が比較的多い。質問を促す環境づくりや毎授業で寄せられる質問に対する回答などを一層充実させるように努める。

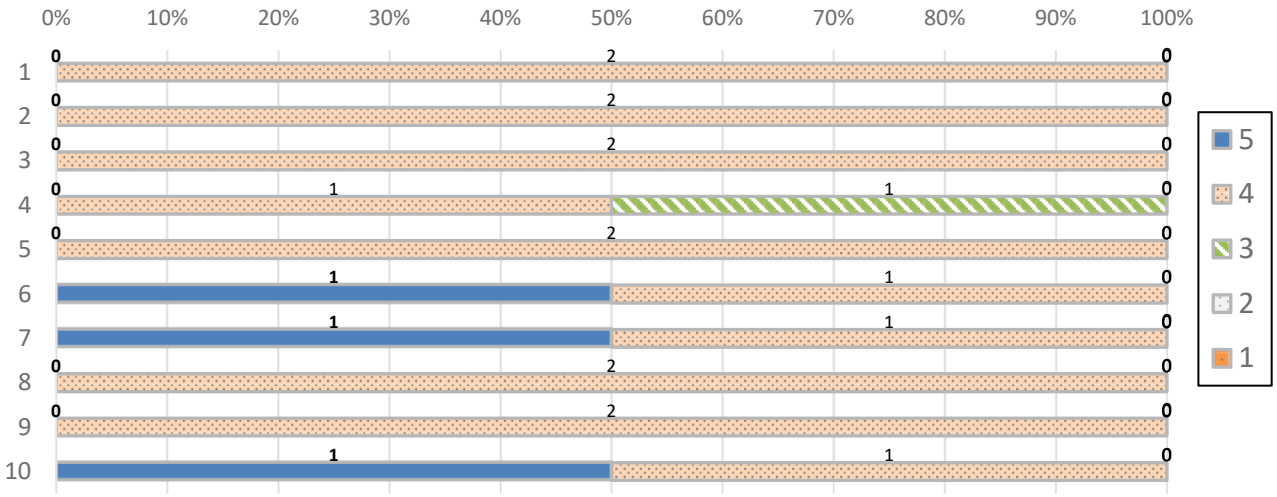
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	15277
授業科目名	情報基礎演習B（教職課程履修者用）
担当者	日當　明男
所属	マネジメント

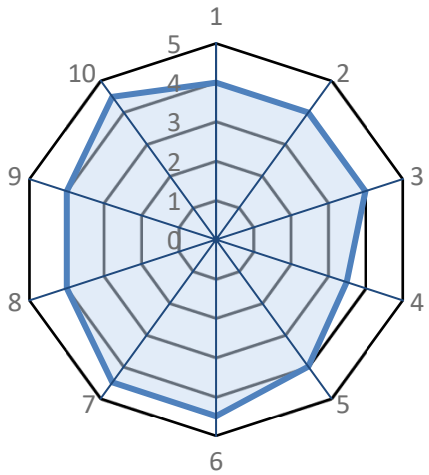
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	12

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

少ない人数による評価なので、受講生全体の評価と解釈することはできないが、この授業では教職の現場を想定したOfficeツールの使い方などを扱っており、授業内での受講生の感想も悪くはなかった。ただ、もう少し歯ごたえのある課題を設ければよかった、との反省もある。

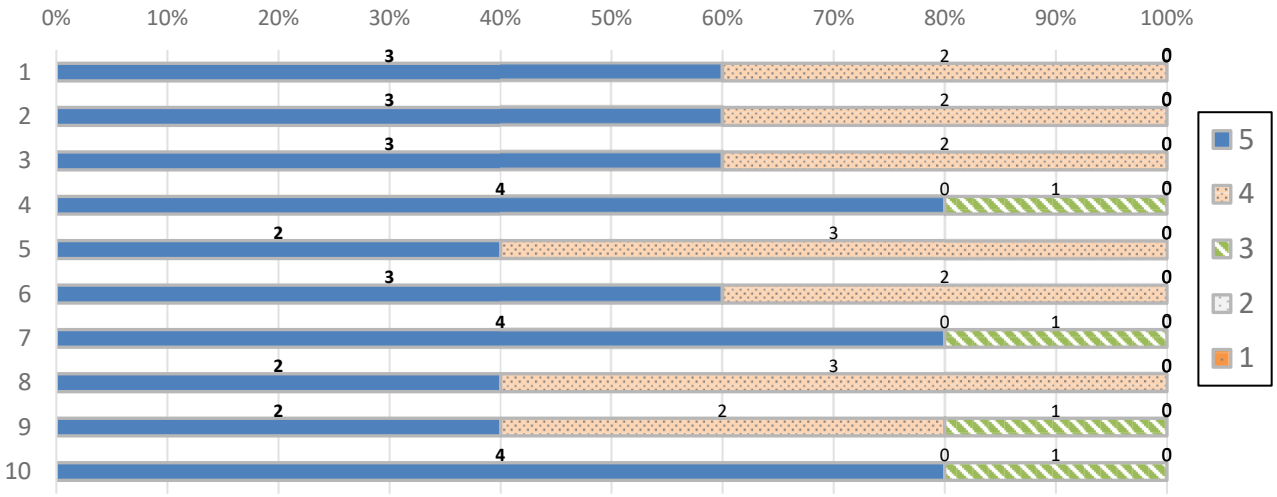
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	72250
授業科目名	WebｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝI
担当者	日當　明男
所属	マネジメント

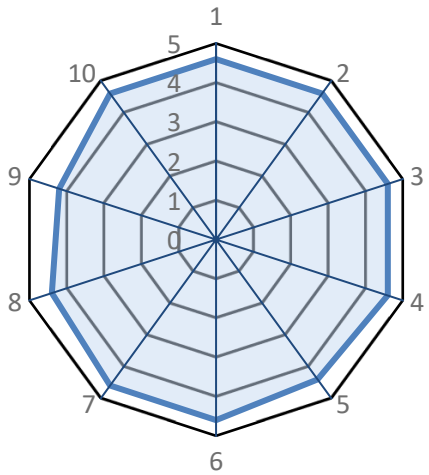
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	50

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

、Q4(内容の難易度)の評価より、授業は決してやさしいものではないが、多くの学生に満足してもらえたと思う。これは、基本的な文法等は外部教材を用いて授業時間外にやってもらい、授業内ではより実践的なプログラミング課題を課したことが良かったかもしれない。今後は、外部教材を授業内容により近いもの補足的なものにすべく、自作することも検討したい。

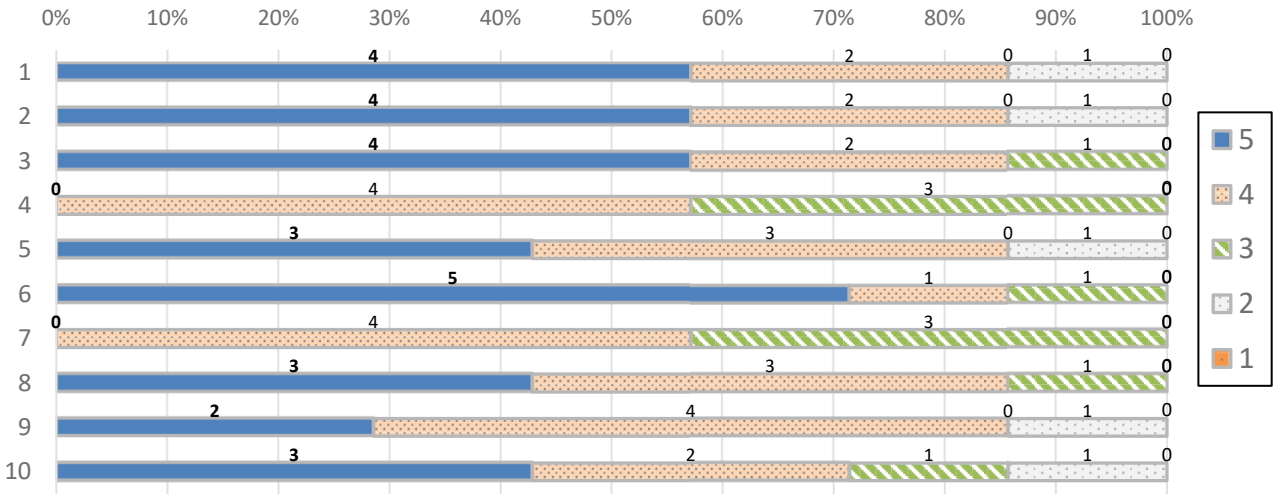
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	72102
授業科目名	Webデザイン
担当者	蒲原　新一
所属	生命環境

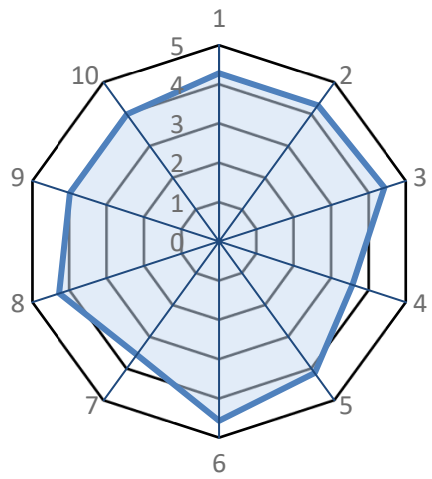
調査実施日	2023年7月
回答者数	7
対象者数	65

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者数に対して回答者数が少ないが、概ね良い評価をえることができていると考えられる。Q1及びQ2に授業に関する説明が「あまりよくない」と評価している学生もいるので注意をしていきたい。

授業内容の難易度も丁度良いところに設定できているのではないかと考える。

休講はあったが、補講を「合意の上実施」と受け取っている学生と「教員の都合で実施」と半々の評価であったことが気になる。休講のお願いと補講の実施日は学生と相談して決定していたが合意形成をしっかりと行いたい。

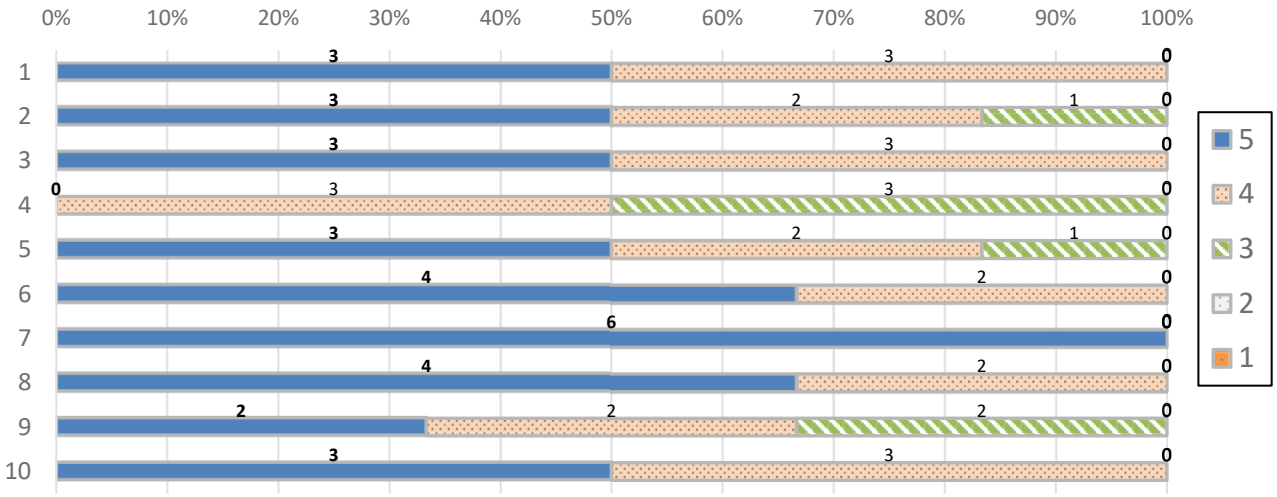
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92103
授業科目名	環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ
担当者	蒲原　新一
所属	生命環境

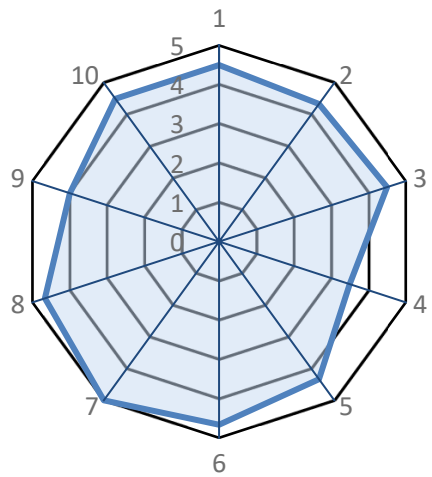
調査実施日	2023年7月
回答者数	6
対象者数	27

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者数に対して回答者数が少ないが、概ね良い評価をえることができていると考えられる。「良くなかった」という評価がなかったことはよかった。Q1及びQ2に授業に関する説明が「あまりよくない」と評価している学生もいるので注意をしていきたい。

授業内容の難易度も丁度良いところに設定できているのではないかと考える。

自己学習に取り組む学生が増えるように適切な課題を用意していきたい。

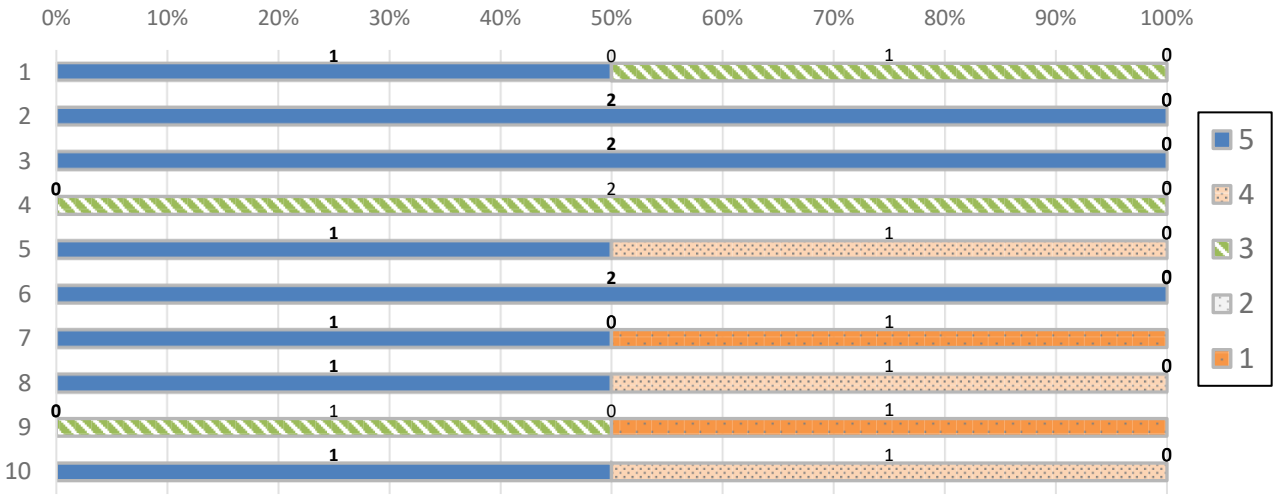
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18107
授業科目名	生物学概論
担当者	市瀬　実里
所属	生命環境

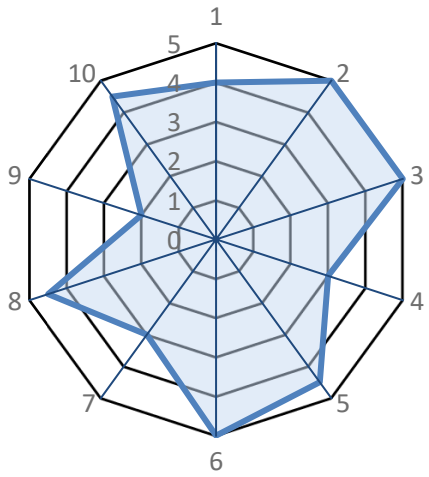
調査実施日	2023年7月
回答者数	2
対象者数	16

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が2名しかないため、正確には分析することができませんが、概ね理解の得られる授業を展開できたのだと感じます。今後は、文系出身でも分かりやすいような講義の進行を工夫したいと考えています。

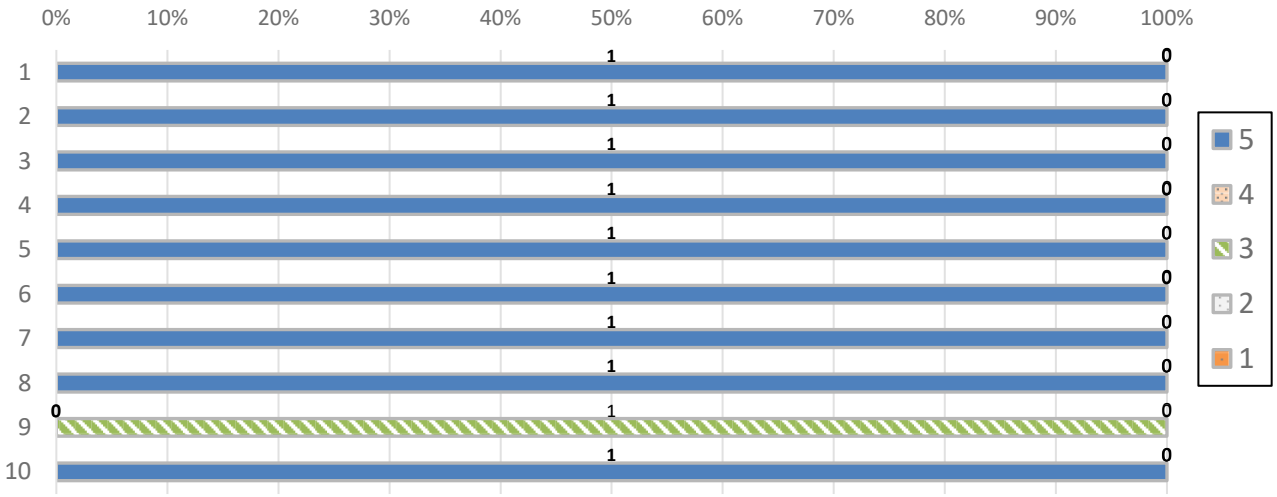
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92111
授業科目名	生態系調査法
担当者	持田　浩治
所属	生命環境

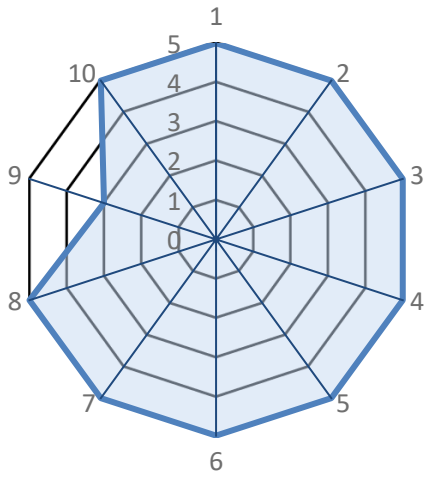
調査実施日	2023年7月
回答者数	1
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

解答者が1名とサンプルサイズは小さいものの、アンケート結果から、大きな問題はないと思われる。今後も、講義スライドのバージョンを修正するなど、より良い講義を心がけたい。

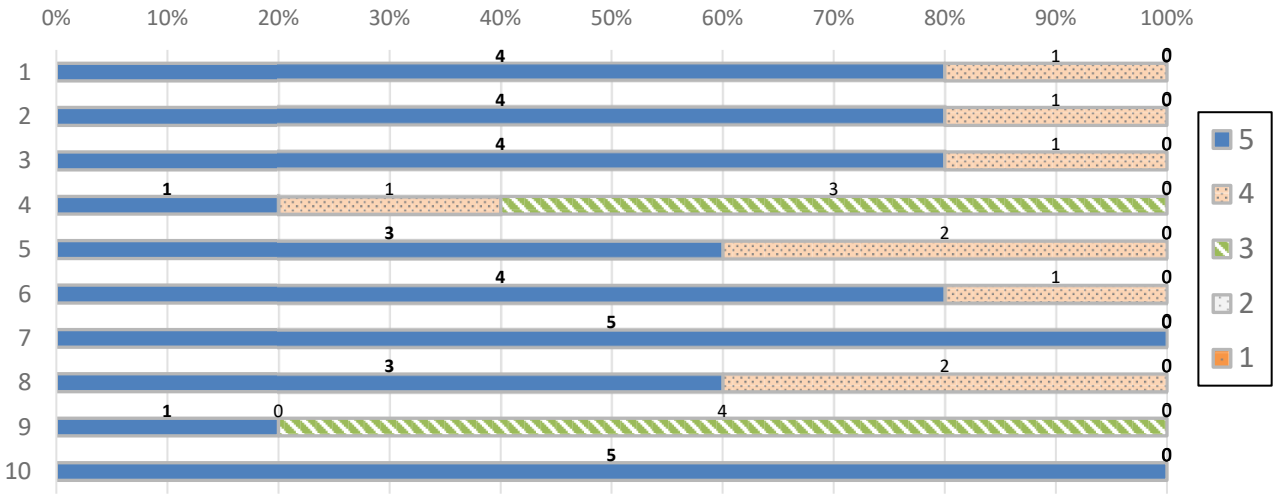
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92113
授業科目名	環境化学基礎実習
担当者	持田　浩治
所属	生命環境

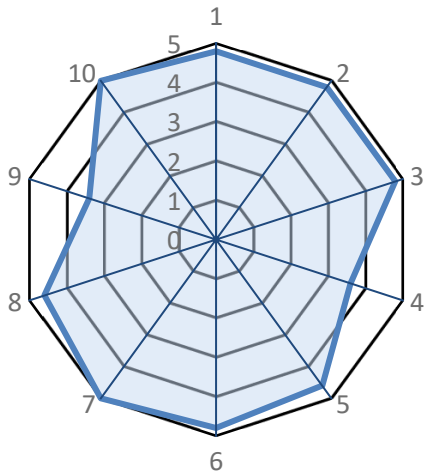
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	22

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

解答者が4名とサンプルサイズは小さいものの、アンケート結果から、大きな問題はないと思われる。今後も、講義スライドのバージョンを修正するなど、より良い講義を心がけたい。

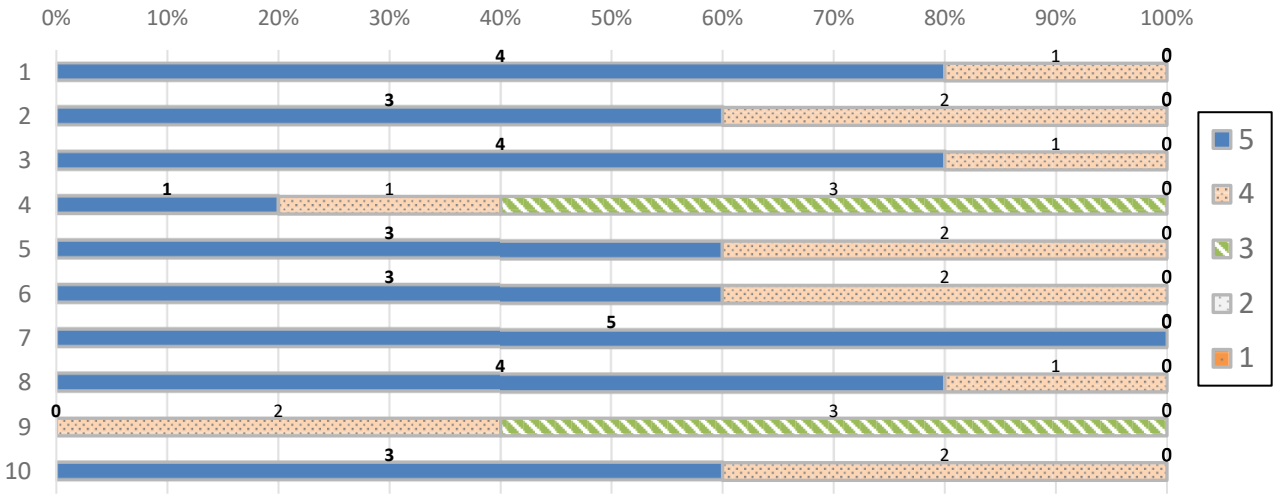
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92250
授業科目名	生態系の保全とビオトープ
担当者	持田　浩治
所属	生命環境

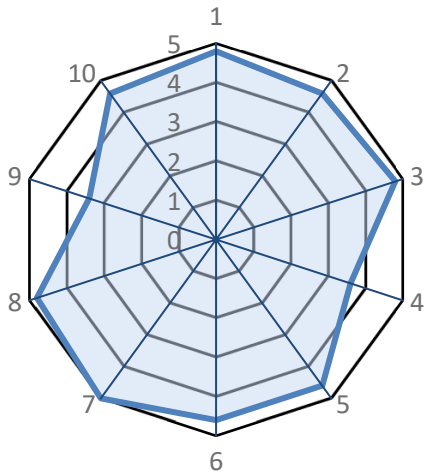
調査実施日	2023年7月
回答者数	5
対象者数	24

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

解答者が5名とサンプルサイズは小さいものの、アンケート結果から、大きな問題はないと思われる。今後も、講義スライドのバージョンを修正するなど、より良い講義を心がけたい。

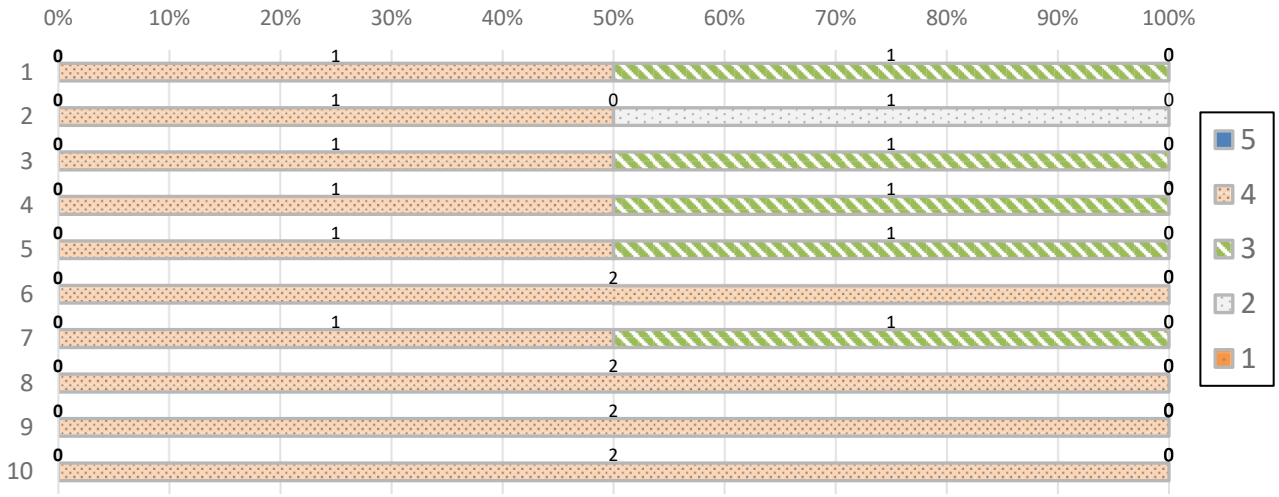
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	18261
授業科目名	物理学概論
担当者	蒲原　新一
所属	生命環境

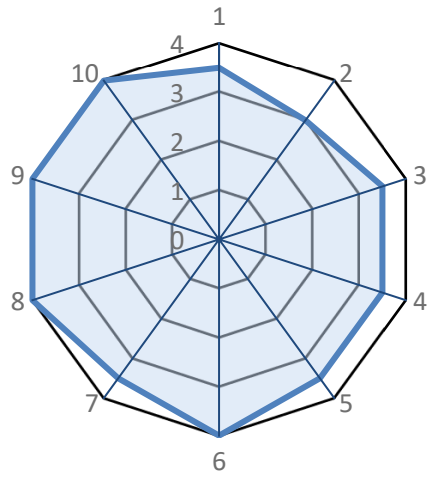
調査実施日	2024年2月
回答者数	2
対象者数	17

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者数に対して回答者数が少ないが、大きな問題はないと考えられる。Q2の動機付けが「あまりよくない」と評価している学生もいるので注意をしていきたい。

高校時代に物理について学んでいない学生もいるので内容や受講中の学生の状況に注意していきたい。

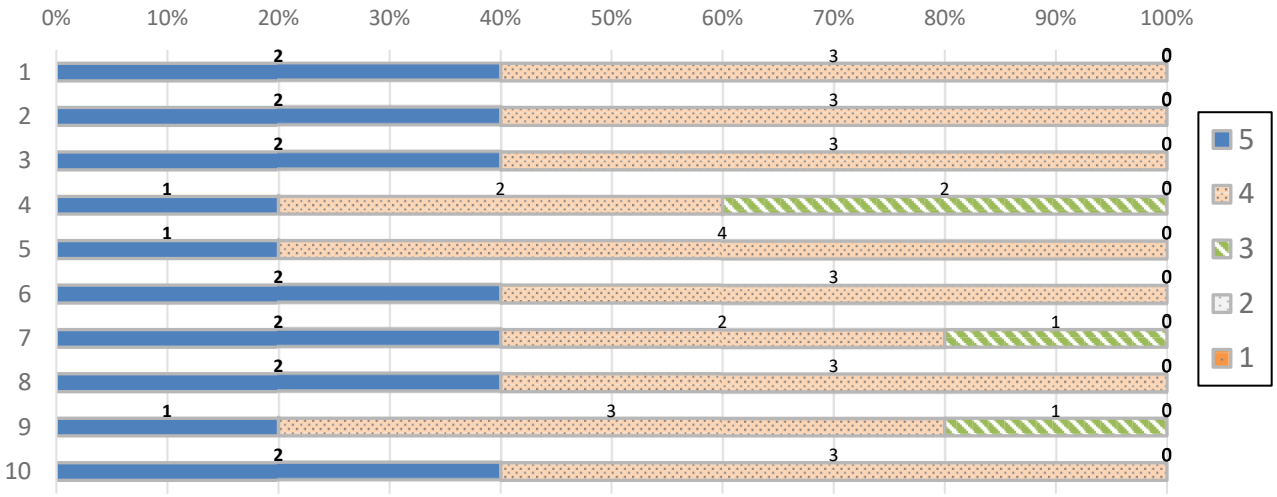
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92104
授業科目名	環境シミュレーション
担当者	蒲原　新一
所属	生命環境

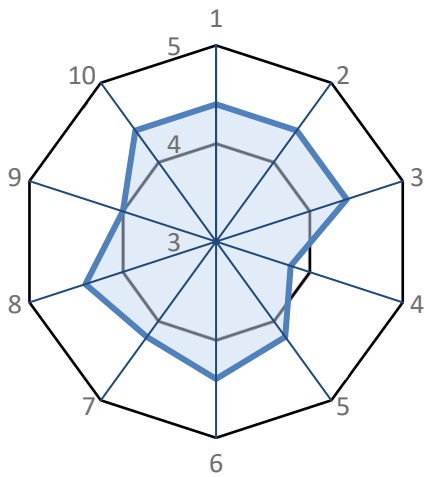
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	51

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



5段階評価	質問No	5	4	3	2	1
	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者数に対して回答者数が少ないが、概ね良い評価をえることができていると考えられる。「まぁよい」の評価を「よい」にあげられるよう、授業素材を見直していきたい。

授業内容が難しいと回答する学生がいるため、授業おわりの「ふりかえり」記入シートをより活用したい。

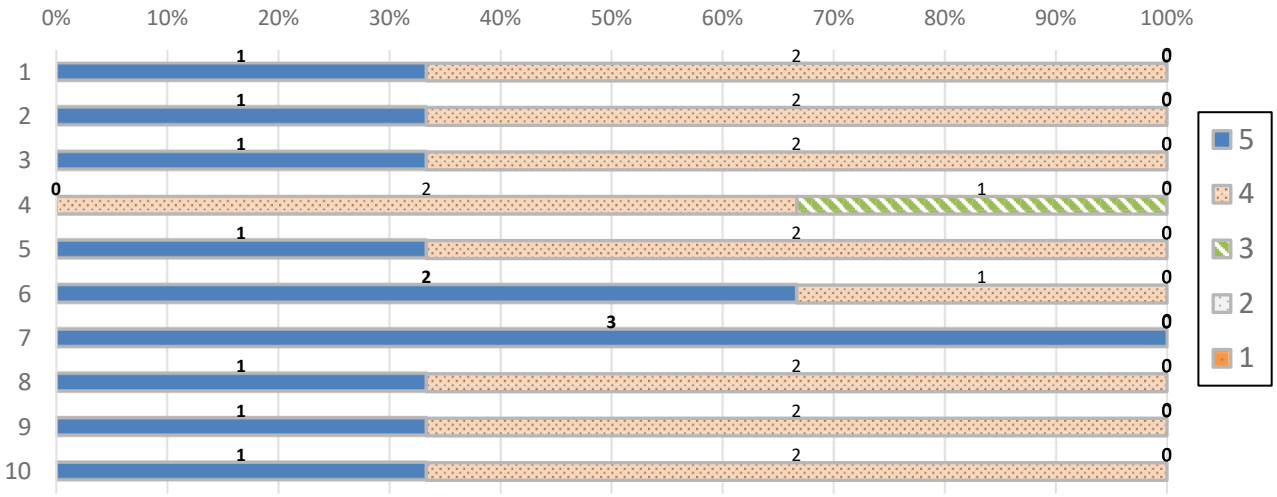
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92261
授業科目名	省エネルギー工学基礎
担当者	蒲原　新一
所属	生命環境

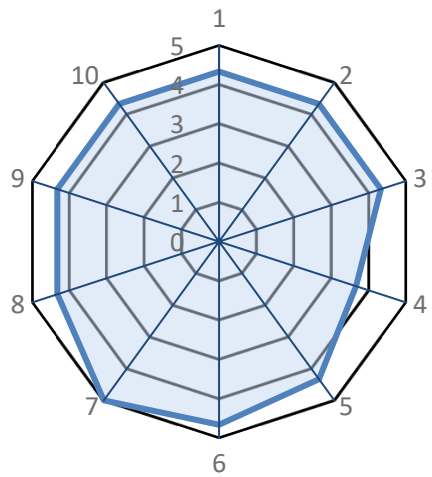
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	21

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

受講者数に対して回答者数が少ないが、概ね良い評価をえることができていると考えられる。「まぁよい」の評価を「よい」にあげられるよう、授業素材を見直していきたい。

授業終わりの「ふりかえり」記入シートの質問項目を見直すなどにより、各回の授業評価・見直しも継続して取り組みたい。

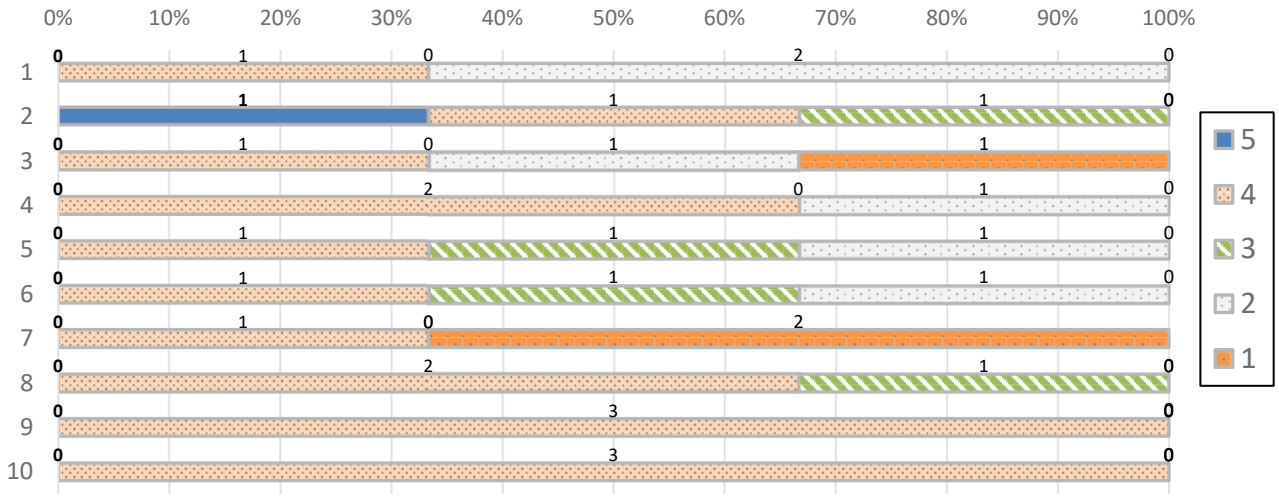
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92252
授業科目名	バイオテクノロジー実習
担当者	市瀬　実里
所属	生命環境

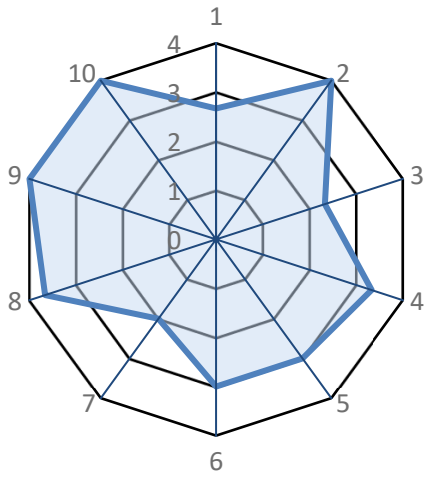
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	19

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

回答者が3名しかないため、正確には分析することができませんが、概ね理解の得られる実習を展開できたのだと感じます。今後は、より実験系に重きをおいた講義進行を行いたいと考えています。

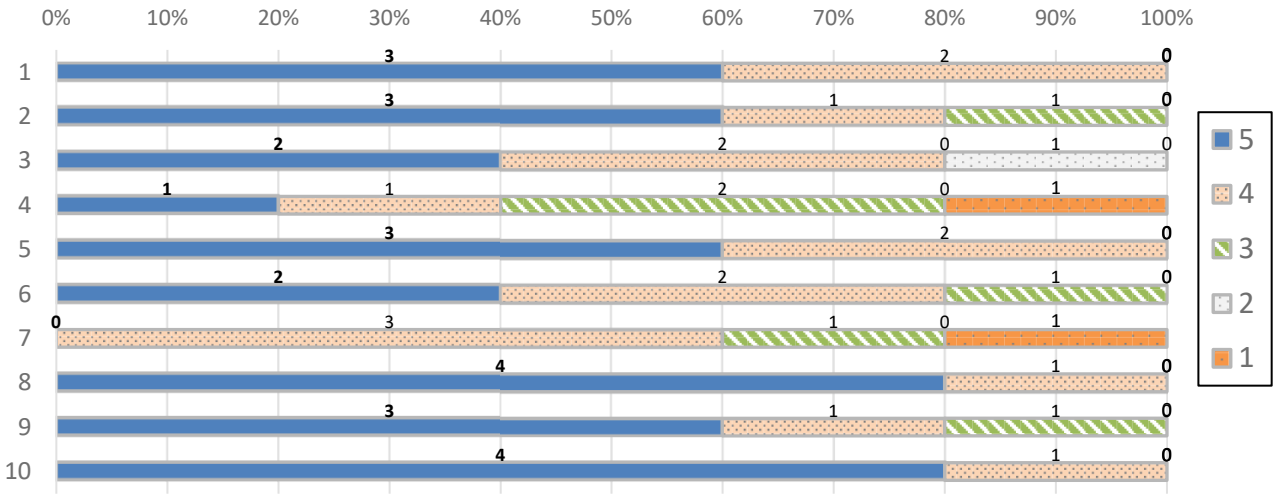
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92253
授業科目名	生物化学
担当者	市瀬　実里
所属	生命環境

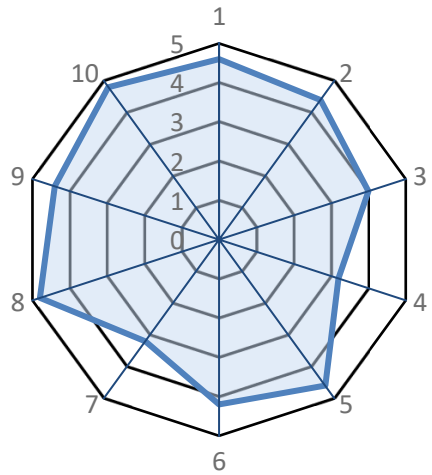
調査実施日	2024年2月
回答者数	5
対象者数	24

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

資格取得のための必修科目ということもあり、講義の難易度を下げることは避けたいと思っていましたが、やや理解が難しい内容だったのだと感じました。今後は、分かりやすいような講義の進行を工夫したいと考えています。

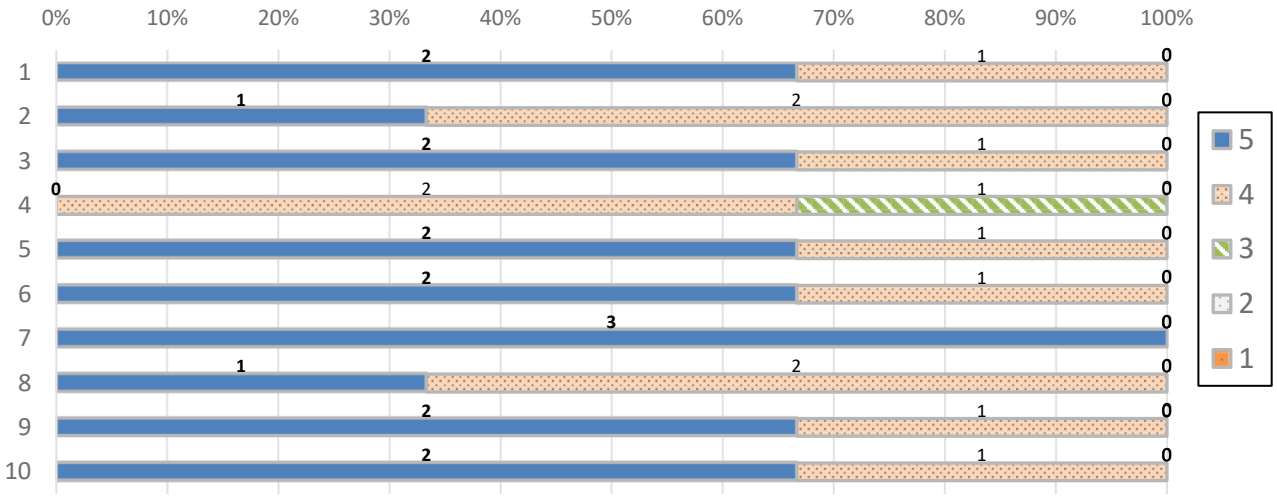
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	92106
授業科目名	生態の科学
担当者	持田　浩治
所属	生命環境

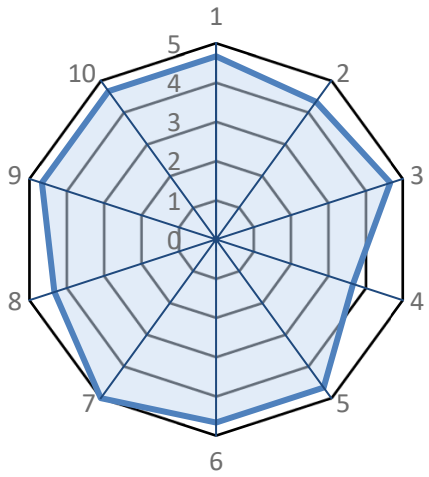
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	25

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

解答者が3名とサンプルサイズは小さいものの、sアンケート結果からは大きな問題はないと思われる。今後も、講義スライドのバージョンを修正するなど、より良い講義を心がけたい。

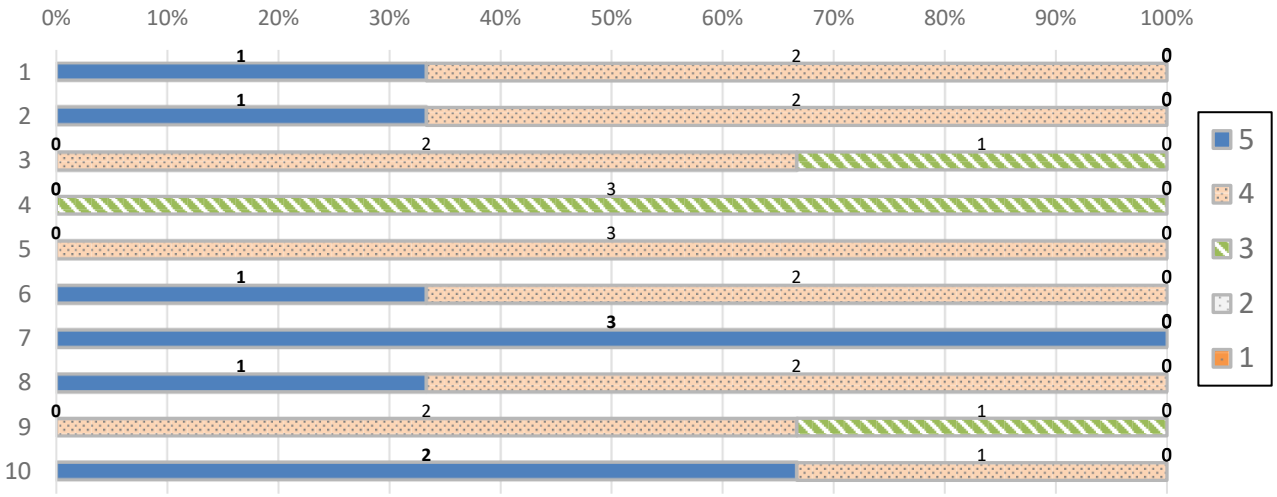
授業評価アンケート（集計表）

時間割コード	93258
授業科目名	栄養化学
担当者	持田　浩治
所属	生命環境

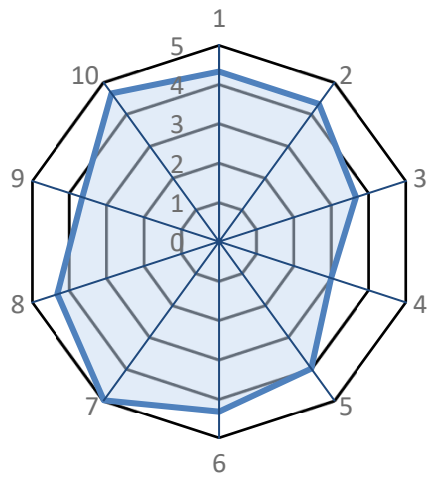
調査実施日	2024年2月
回答者数	3
対象者数	14

質問項目

Q1	この授業について、教員から充分に説明を受けることができましたか。
Q2	カリキュラムの中における設置目的や教育目標など、科目の必要性、動機付けの説明は充分なされていましたか。
Q3	授業の実施は授業計画の説明どおりでしたか。
Q4	授業内容の量や難易度はあなたにとって適切でしたか。
Q5	授業の方法や、授業時の教員の説明は分かりやすかったですか。（板書・口頭での説明・ICTの活用・配布物や教科書等）
Q6	教員は大学暦や時間割の定刻に沿って授業を行いましたか
Q7	休講による補講実施の際は、事前に相談・説明がありましたか。
Q8	教員は授業を受けやすい環境づくりをしていましたか。（私語の制止・静穏の確保・質問を促す等）
Q9	あなたは授業時間以外の自己学修（予習・復習・課題等）は充分にできましたか。
Q10	あなたは授業に積極的に出席し、主体的に参加できましたか。



	質問No	5	4	3	2	1
5段階評価	Q1,2.3,5,6,8,9,10	良い・できた	まぁ良い・まぁできた	普通	あまり良くないあまりできなかった	良くないできなかった
	Q4	難しい	やや難しい	適切	やや易しい	易しい
	Q7	休講なし	休講はあったが相談、合意の上実施	休講があり相談はあったが教員の都合で実施	休講はあったが土曜以外で実施	休講はあったが補講なし



現状分析と改善点

解答者が3名とサンプルサイズは小さいものの、sアンケート結果からは大きな問題はないと思われる。今後も、講義スライドのバージョンを修正するなど、より良い講義を心がけたい。